トヨタ純正

HDDナビゲーション
「NHZN-W60G」

ナビゲーション取扱書 詳細版

■この取扱書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（i～ivページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、
安全にご使用ください。
そのあと大切に保管し、わからないとき再読してください。

トヨタ自動車株式会社

TOYOTA　HDDナビゲーション

このたびは**トヨタ純正**HDDナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に必ずこの取扱書をお読みいただき、記載された内容にしたがって正しくお使いください。

本機は、あくまで走行の参考として地図と音声で案内するものですが、精度により、まれに不適切な案内をする場合があります。案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）にしたがうとともに道路状況に即した運転を心がけてください。規制標識の変更などにより目的地案内で表示されるルートは、車両進入禁止などのルートや、道幅が狭く通行できないルートを案内する場合があります。

この取扱書では安全にご使用いただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

警告	記載事項を守らないと生命にかかわるような重大な傷害、事故につながるおそれがあること。
注意	注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷するなどの恐れがあります。
アドバイス	より安全、快適にご使用いただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

安全上のご注意

警告

●本機はDC12V㊀アース車専用です。
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。
火災の原因となります。

警告

●本機の取り付け、取り外し、配線の変更はしないでください。
不適切な取り付けや配線の場合、故障や車両火災などの事故につながるおそれがあり危険です。
本機の取り付け、取り外しは安全のため、お買い上げの販売店にご相談ください。

警告

●SDメモリーカードは、乳幼児の手の届かないところに保管してください。
誤って飲み込むと、窒息するおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

警告

●運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。
安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

注 意

●実際の交通規制を守ってください。

本機の表示するデジタル地図は、道路の変更、通行止めなどは表示されません。
また、ルート案内で表示されるルートは推奨ルートであり、災害、工事などでも道路状況が変わります。実際の交通規制を必ず守って運転してください。

注 意

●HDD（ハードディスク）更新用コネクタのカバーは、地図データの更新時以外は開けないでください。

ゴミなどが入り故障の原因になります。

注 意

●走行中の操作は危険ですので、停車して安全を確認の上、操作してください。

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
走行中に画面を見るときは、必要最小限の時間にしてください。
なお、本機は安全のため、走行中一部の機能が使えなくなります。
走行中は一部の細街路を消去します。

注 意

●モニター収納動作中、手などをはさまないように注意してください。

手などをはさんでケガをしたり、ディスプレイの故障の原因になります。

注 意

●車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。

車外の音が聞こえにくいと、交通事故の原因になります。

注 意

●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。

事故、火災、感電の原因になるおそれがあります。また、煙や異音がでたり、異臭がする場合には、すぐにオーディオ機能の電源をOFFにしてお買い上げの販売店にご相談ください。

注 意

●本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、調整することは、絶対にさけてください。

本機内部は、精密な構造になっているので、万一不具合が生じた場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。故障の原因になります。

注 意

●バッテリーあがりにはご注意ください。

エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動することは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

注 意

●車内温度は上げすぎたり、下げすぎたりしないでください。

夏期は車内の温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。
冬期は車内の温度が低くなることがありますので、車内の温度を上げてからお使いください。
そのまま使用すると故障の原因になります。

注 意

●ディスプレイ部の上にコップや缶など異物を置いたり、強い力を加えないでください。

故障の原因になります。

注 意

●ラジオアンテナにモーターアンテナをご使用のときはアンテナを折らないように注意してください。

本機ではFM多重放送の***VICS***情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください。
モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がります。駐車場など天井の低い場所にはいる前は、必ず、オーディオ機能の電源をOFFにしてアンテナが収納されたことを確認してください。
アンテナを下げずに天井の低い場所にはいると、アンテナが折れるなどの故障の原因になります。

注 意

●A/T車の場合

・ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA/Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
・チルト位置を設定する際、PまたはR、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

●M/T車の場合

・ディスクを取り出す際、1・3・5（R）ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。
・チルト位置を設定する際、1・3・5（R）ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。

アドバイス

●現在地の表示について

本機をお買い上げ後、初めてご使用になる時や、長時間バッテリーをはずしておいた場合などには、自車の現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置を修正します。

●結露について

寒いときにヒーターをつけた直後など、本機内部のレンズが結露して正常に作動しないことがあります。このようなときは１時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ正常に作動するようになります。何時間たっても正常に戻らない場合は販売店にご相談ください。

●画面のムラについて

寒冷時にエンジンスイッチをONにしたあと、バックライトの特性上、光ムラが発生したり輝度が低下して画面が暗くなる場合があります。しばらくすると自然にもとの輝度に戻ります。

アドバイス

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動などにより記録されたデータが消失する場合があります。ご購入後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にバックアップをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

①本機の故障、誤作動、または不具合などにより、あるいは本機が電気的なノイズの影響などを受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータなどが変化・消失した場合。

②お客様または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータなどが変化・消失した場合。

③本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータなどが変化・消失した場合。

※なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

●本書に掲載されている画面は実際の画面と異なる場合があります。また、製品の仕様などの変更により本書の内容と製品が一致しない場合がありますのでご了承ください。

●取扱書で使用されている画面と実際の画面は、データベースの作成時期・種類によって異なることがあります。

●地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。

●地図データの誤字・脱字・位置ずれなど表記または内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。

●地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

取扱書の構成

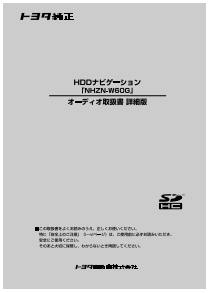
HDDナビゲーションは下記の取扱書で構成されています。
ご利用状況に応じて各取扱書をご覧ください。

ナビゲーションの機能について活用したいとき

「ナビゲーション取扱書 詳細版」（グレー）をお読みください。ナビゲーションの全ての機能を説明しています。

オーディオの機能について活用したいとき

「オーディオ取扱書 詳細版」（ブルー）をお読みください。オーディオの全ての機能を説明しています。



G-BOOK・Bluetoothの機能について活用したいとき

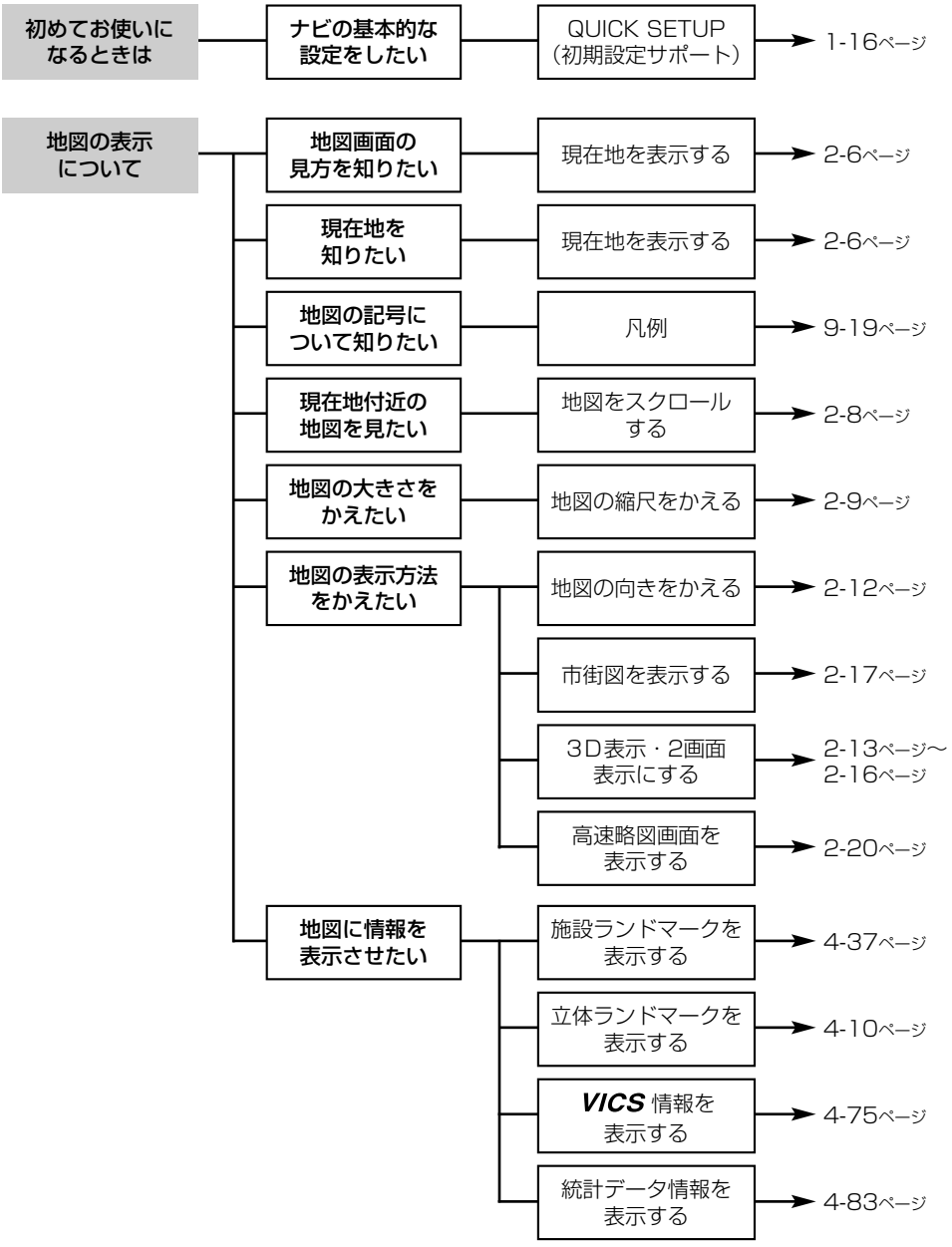
「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」（ピンク）をお読みください。G-BOOKおよびBluetoothの全ての機能を説明しています。

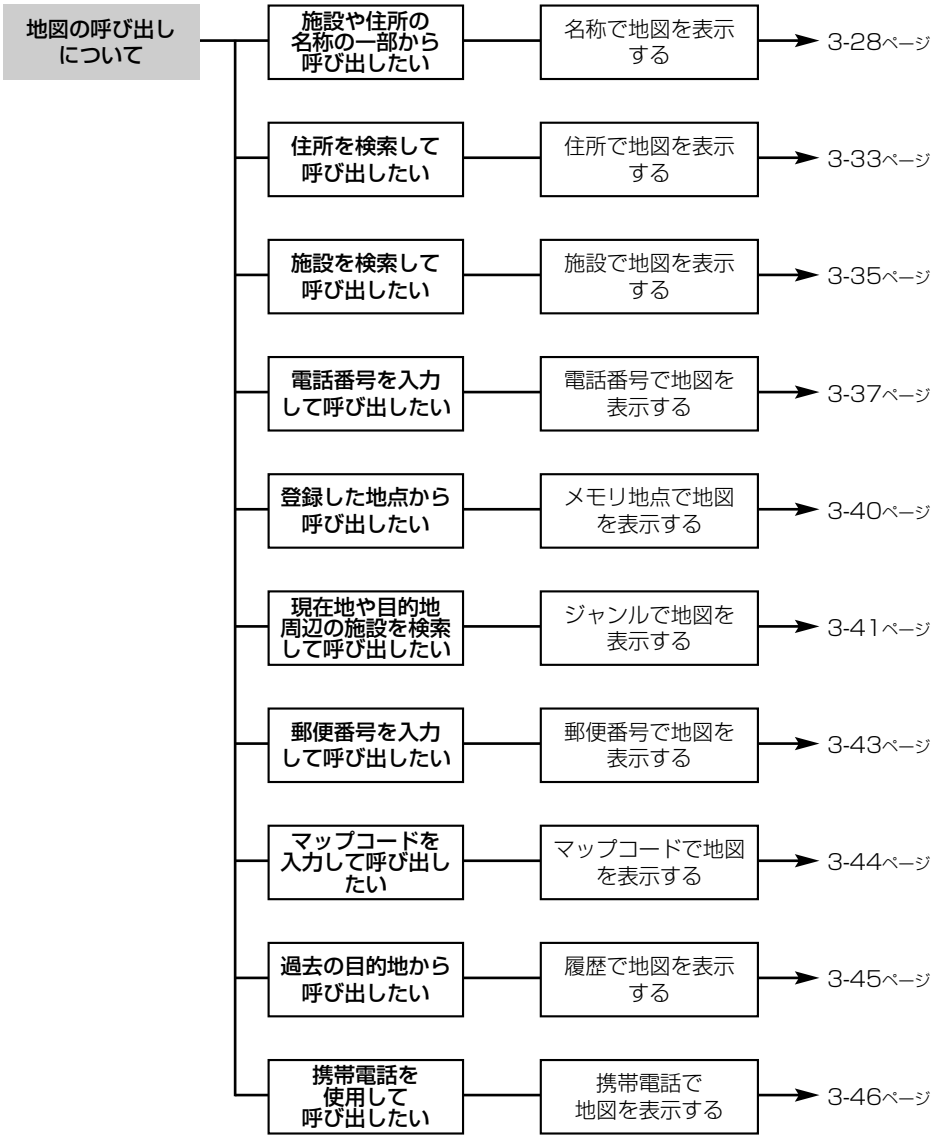
もくじ

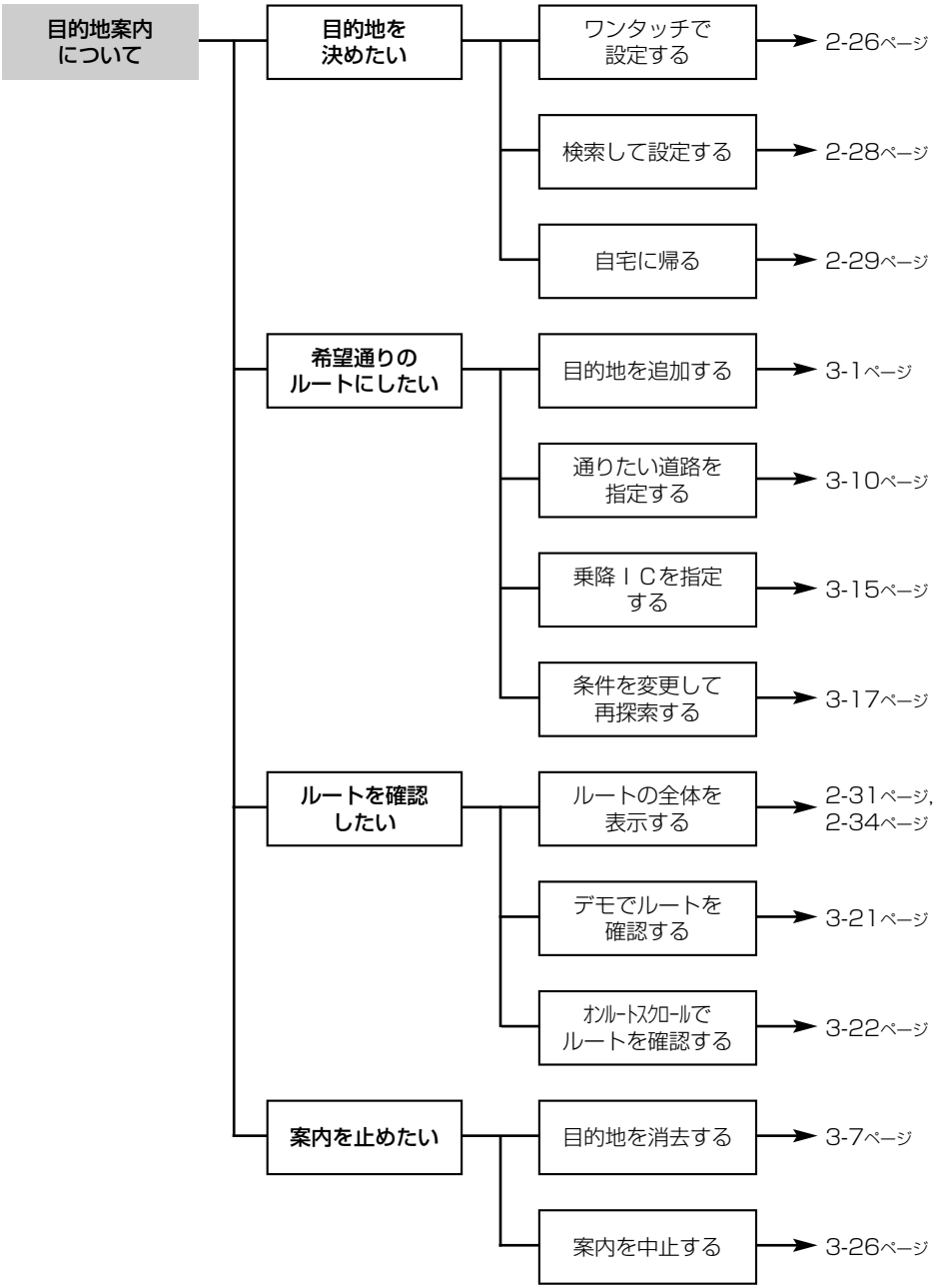
1. はじめに			目的別早見表 ……1-1 主な特長 ……1-7 お使いになる前に ……1-9 電源を入れるには ……1-10 各部の名称とはたらき ……1-11 ディスプレイの角度を調整するには ……1-13 ナビゲーション・テレビ・オーディオの切り替え ……1-14 QUICK SETUP（初期設定サポート）……1-16 画面の調整 ……1-20 オープニング画面の切り替え ……1-23 共通設定 ……1-24 セキュリティ機能を使うには ……1-28
ナビゲーション	2. 基本編	設定・編集	設定・編集画面について ……2-1
		共通の操作	リスト画面・タブ画面の切り替え方 ……2-3 スイッチの意味がわからないときには ……2-5
		地図の表示	現在地を表示するには ……2-6 地図にオーディオ情報を表示するには ……2-7 地図スクロールするには ……2-8 地図の縮尺をかえるには ……2-9 地図の向きをかえるには ……2-12 3D表示にするには ……2-13 2画面表示にするには ……2-15 市街図を表示するには ……2-17 駐車場マップを表示するには ……2-19 高速略図画面を表示するには ……2-20 高速路線マップを表示するには ……2-23
		ルート案内	ルート案内について ……2-24
		ルートを設定する	目的地を設定しルートを探索するには ……2-26 5ルートを確認・選択するには ……2-31
		ルート案内の種類	案内画面について ……2-33 案内をもう一度聞きたいときは ……2-42
	3. 応用編	ルート設定の詳細操作	目的地を追加・並び替え・消去するには ……3-1 通過道路を指定・修正・解除するには ……3-10 乗降ICを指定するには ……3-15 ルートの再探索 ……3-17 区間ごとの探索条件を設定するには ……3-19
		ルートを確認する	ルートの詳細情報を確認するには ……3-20 デモでルートを確認するには ……3-21 オンルートスクロールを使うには ……3-22 走行軌跡について ……3-25
		ルート案内の詳細操作	ルート案内を中止・再開するには ……3-26 案内の音量を調節するには ……3-27
		情報検索	名称で地図を表示するには ……3-28 住所で地図を表示するには ……3-33 施設で地図を表示するには ……3-35 電話番号で地図を表示するには ……3-37 メモリ地点で地図を表示するには ……3-40 ジャンルで地図を表示するには ……3-41 郵便番号で地図を表示するには ……3-43 マップコードで地図を表示するには ……3-44 履歴で地図を表示するには ……3-45 携帯電話で地図を表示するには ……3-46 特別メモリ周辺で地図を表示するには ……3-48

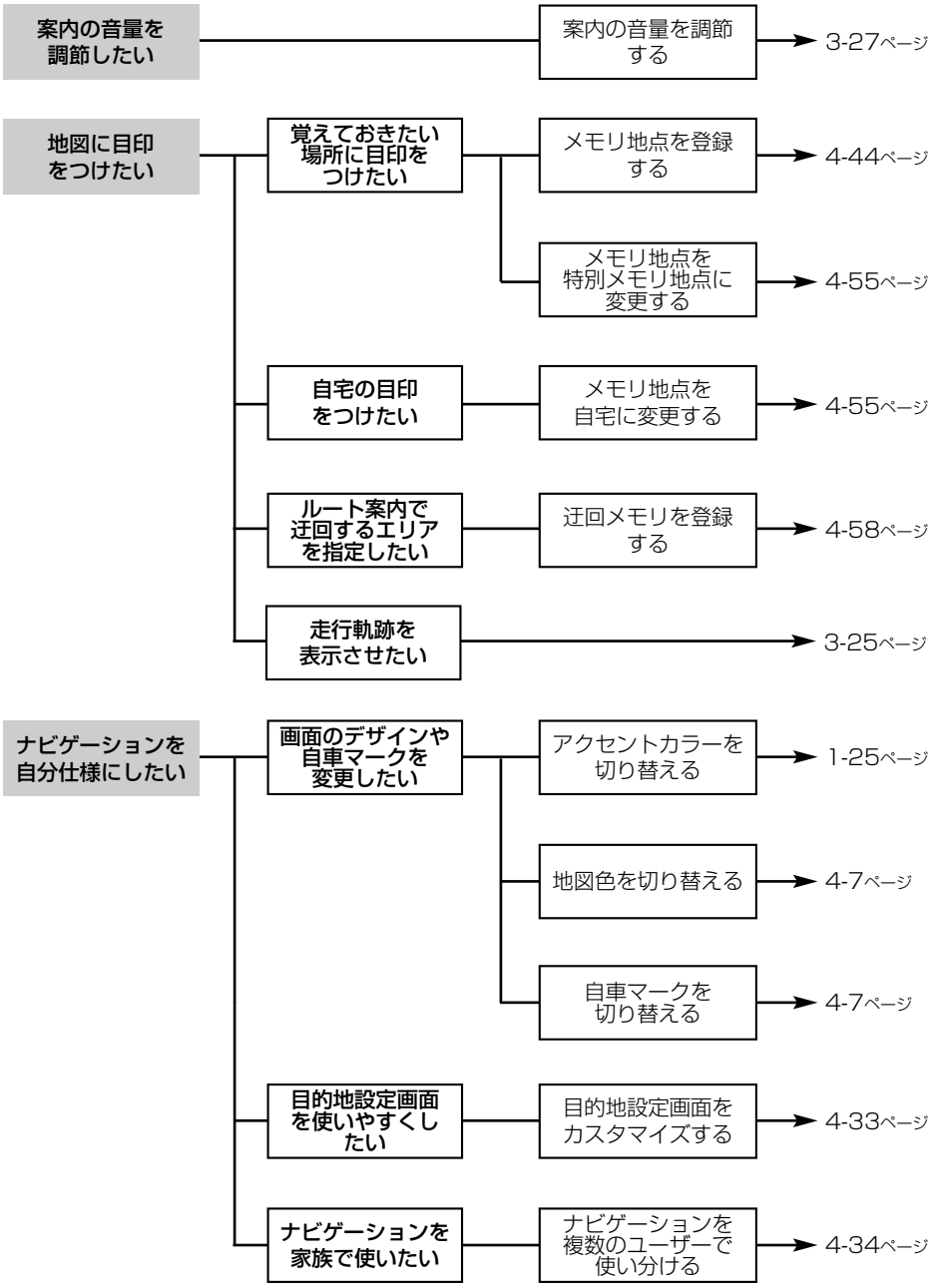
ナビゲーション	4. 便利な機能編	ナビ詳細設定	ナビ詳細設定を行うには ……4-1
		ナビゲーションのカスタマイズ	目的地設定メニューをカスタマイズするには ……4-33 ナビゲーションを複数のユーザーで使い分けるには ……4-34
		ランドマークの表示・検索	施設ランドマークを地図に表示するには ……4-37 近くの施設を検索するには ……4-41 建物の情報を表示するには ……4-43
		メモリ地点	メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-44 迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには ……4-58 メモリーデバイスを使う ……4-64
		携帯連携	ナビゲーションと携帯電話で情報を通信するには ……4-67
		ＶＩＣＳ	VICSを使うには ……4-70
		統計データ情報	統計データ情報を表示するには ……4-83
		メンテナンス	メンテナンスを使うには ……4-87
	5. その他の機能編		補正機能 ……5-1 地図データの更新について ……5-4
6. 情報機能			情報画面について ……6-1 操作説明デモを行うには ……6-3 FM多重放送を見るには ……6-4 電話帳を見るには ……6-8 カレンダーを見るには ……6-10
7. 音声操作			音声操作システムを操作するには ……7-1
8. オプション			VICSを機能アップするには ……8-1 ETCシステムの操作 ……8-5 バックガイドモニターの映像を見るには ……8-9 マルチビューバックガイドモニターの映像を見るには ……8-49 バックモニターの映像を見るには ……8-57 ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムの操作 ……8-62 マルチアングル全周囲モニターの映像を見るには ……8-70
9. 知っておいてください			自車位置精度について ……9-1 VICS各メディアの特性・受信について ……9-3 ルート探索について ……9-5 ルート案内について ……9-7 こんなメッセージが表示されたとき ……9-9 地図データベースについて ……9-11 故障とお考えになる前に ……9-12 アフターサービスについて ……9-14 仕様 ……9-15 用語さくいん ……9-17 凡例 ……9-19 情報の保持について ……9-20

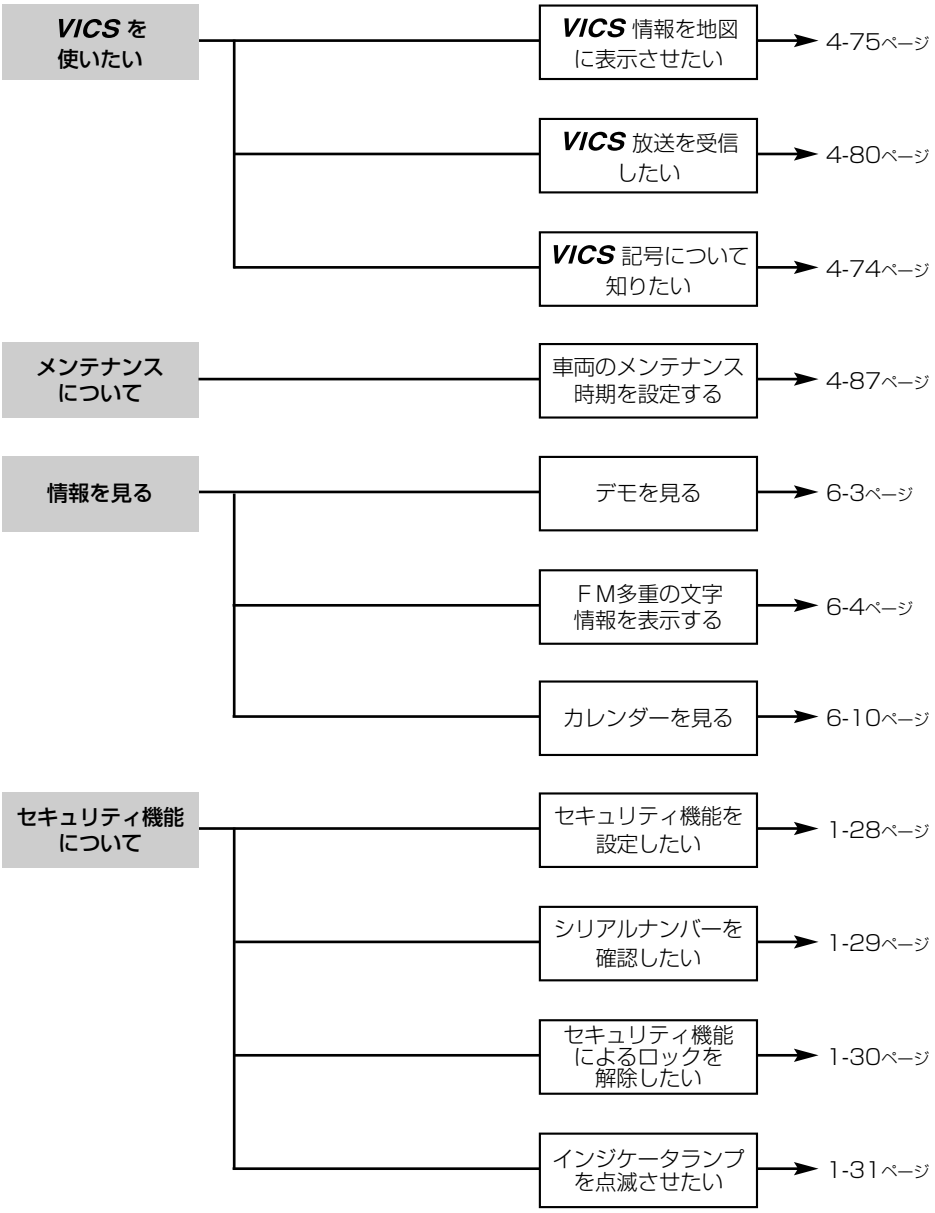
目的別早見表

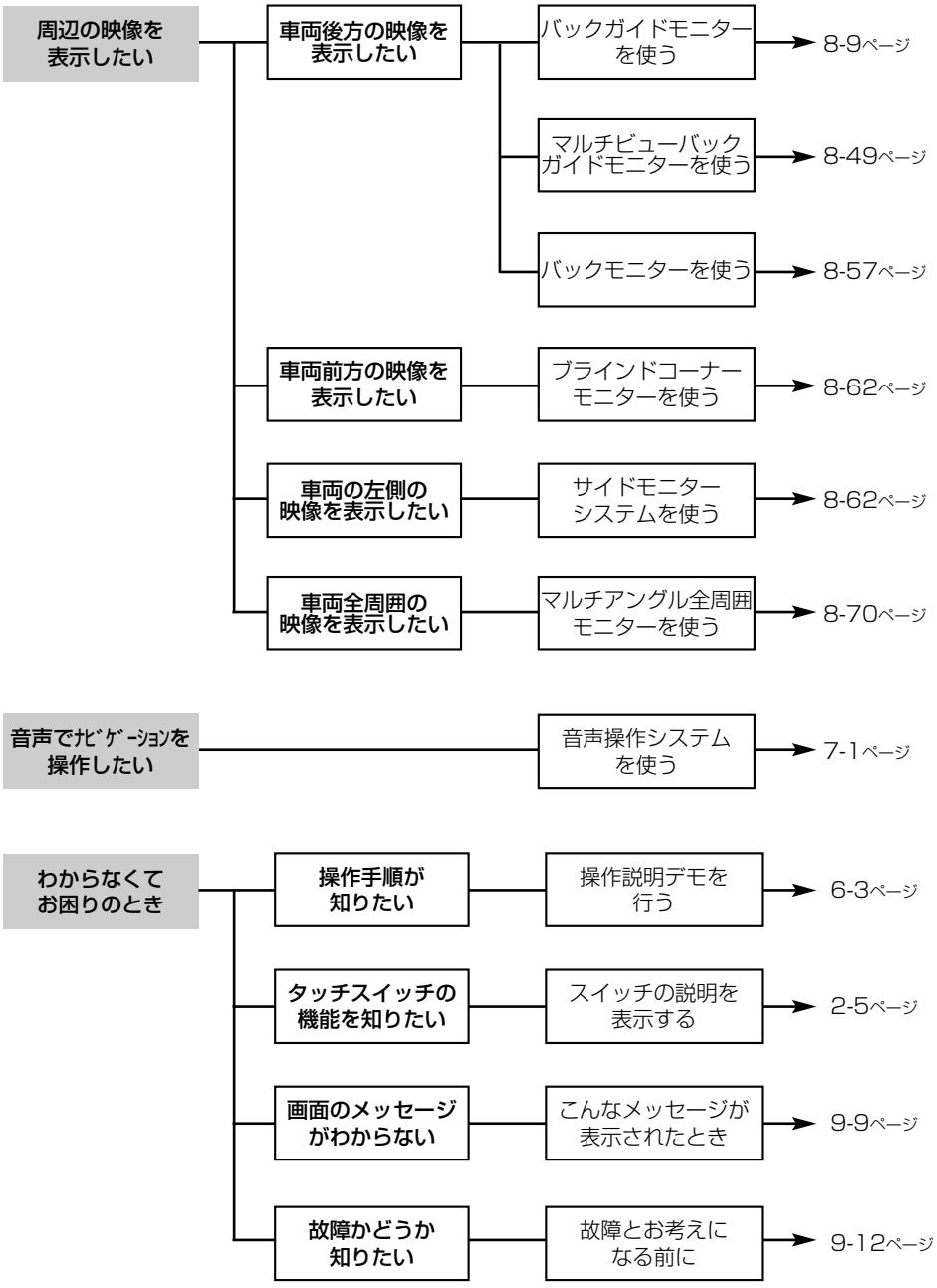

初めてお使いになるときは
ナビの基本的な設定をしたい
QUICK SETUP（初期設定サポート）
1-16ページ
地図の表示について
地図画面の見方を知りたい
現在地を表示する
2-6ページ
現在地を知りたい
現在地を表示する
2-6ページ
地図の記号について知りたい
凡例
9-19ページ
現在地付近の地図を見たい
地図をスクロールする
2-8ページ
地図の大きさをかえたい
地図の縮尺をかえる
2-9ページ
地図の表示方法をかえたい
地図の向きをかえる
2-12ページ
市街図を表示する
2-17ページ
3D表示・2画面表示にする
2-13ページ〜2-16ページ
高速略図画面を表示する
2-20ページ
地図に情報を表示させたい
施設ランドマークを表示する
4-37ページ
立体ランドマークを表示する
4-10ページ
VICS 情報を表示する
4-75ページ
統計データ情報を表示する
4-83ページ


地図の呼び出しについて
施設や住所の名称の一部から呼び出したい
名称で地図を表示する
3-28ページ
住所を検索して呼び出したい
住所で地図を表示する
3-33ページ
施設を検索して呼び出したい
施設で地図を表示する
3-35ページ
電話番号を入力して呼び出したい
電話番号で地図を表示する
3-37ページ
登録した地点から呼び出したい
メモリ地点で地図を表示する
3-40ページ
現在地や目的地周辺の施設を検索して呼び出したい
ジャンルで地図を表示する
3-41ページ
郵便番号を入力して呼び出したい
郵便番号で地図を表示する
3-43ページ
マップコードを入力して呼び出したい
マップコードで地図を表示する
3-44ページ
過去の目的地から呼び出したい
履歴で地図を表示する
3-45ページ
携帯電話を使用して呼び出したい
携帯電話で地図を表示する
3-46ページ


目的地案内について
目的地を決めたい
ワンタッチで設定する
2-26ページ
検索して設定する
2-28ページ
自宅に帰る
2-29ページ
希望通りのルートにしたい
目的地を追加する
3-1ページ
通りたい道路を指定する
3-10ページ
乗降ＩＣを指定する
3-15ページ
条件を変更して再探索する
3-17ページ
ルートを確認したい
ルートの全体を表示する
2-31ページ,
2-34ページ
デモでルートを確認する
3-21ページ
ｵﾝﾙｰﾄｽｸﾛｰﾙでルートを確認する
3-22ページ
案内を止めたい
目的地を消去する
3-7ページ
案内を中止する
3-26ページ


案内の音量を調節したい
案内の音量を調節する
3-27ページ
地図に目印をつけたい
覚えておきたい場所に目印をつけたい
メモリ地点を登録する
4-44ページ
メモリ地点を特別メモリ地点に変更する
4-55ページ
自宅の目印をつけたい
メモリ地点を自宅に変更する
4-55ページ
ルート案内で迂回するエリアを指定したい
迂回メモリを登録する
4-58ページ
走行軌跡を表示させたい
3-25ページ
ナビゲーションを自分仕様にしたい
画面のデザインや自車マークを変更したい
アクセントカラーを切り替える
1-25ページ
地図色を切り替える
4-7ページ
自車マークを切り替える
4-7ページ
目的地設定画面を使いやすくしたい
目的地設定画面をカスタマイズする
4-33ページ
ナビゲーションを家族で使いたい
ナビゲーションを複数のユーザーで使い分ける
4-34ページ


VICS を使いたい
VICS 情報を地図に表示させたい
4-75ページ
VICS 放送を受信したい
4-80ページ
VICS 記号について知りたい
4-74ページ
メンテナンスについて
車両のメンテナンス時期を設定する
4-87ページ
情報を見る
デモを見る
6-3ページ
FM多重の文字情報を表示する
6-4ページ
カレンダーを見る
6-10ページ
セキュリティ機能について
セキュリティ機能を設定したい
1-28ページ
シリアルナンバーを確認したい
1-29ページ
セキュリティ機能によるロックを解除したい
1-30ページ
インジケータランプを点滅させたい
1-31ページ


周辺の映像を表示したい
車両後方の映像を表示したい
バックガイドモニターを使う
8-9ページ
マルチビューバックガイドモニターを使う
8-49ページ
バックモニターを使う
8-57ページ
車両前方の映像を表示したい
ブラインドコーナーモニターを使う
8-62ページ
車両の左側の映像を表示したい
サイドモニターシステムを使う
8-62ページ
車両全周囲の映像を表示したい
マルチアングル全周囲モニターを使う
8-70ページ
音声でﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝを操作したい
音声操作システムを使う
7-1ページ
わからなくてお困りのとき
操作手順が知りたい
操作説明デモを行う
6-3ページ
タッチスイッチの機能を知りたい
スイッチの説明を表示する
2-5ページ
画面のメッセージがわからない
こんなメッセージが表示されたとき
9-9ページ
故障かどうか知りたい
故障とお考えになる前に
9-12ページ

主な特長

マップオンデマンド

通信またはディスク（CD／DVD）を使用して、部分的に地図データを無料（更新サービス期間）で更新します（P.5-4参照）。

セキュリティ

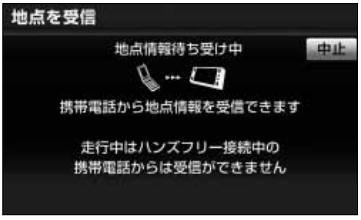
操作のロックや、インジケータの点滅により盗難抑止の効果が期待できます（P.1-28参照）。

ヒント表示

画面に表示されるタッチスイッチの使い方や説明をわかりやすく表示することができます（P.2-5参照）。

携帯連携機能

本機から携帯電話へ現在地、目的地情報を送信したり、携帯電話で取得した地点情報を本機に送信して、地図を表示することができます（P.3-46, 4-67参照）。



目的地設定メニューカスタマイズ

地図を呼び出すスイッチの中からよく使うスイッチを優先して表示し、目的地設定メニューを使いやすくすることができます(P.4-33参照)。

渋滞考慮探索

過去の渋滞統計データや***VICS*** 情報、渋滞予測情報を考慮したルートを探索します（P.4-22参照）。

新旧ルート比較表示

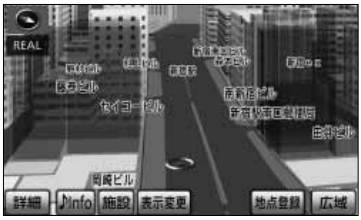
渋滞統計データや***VICS*** 情報、渋滞予測情報をもとに新しいルートが見つかったときは、もとのルートと比較して選択することができます（P.4-22参照）。

高速路線マップ

高速道路上の施設がひと目でわかる、高速道路の簡易地図を表示することができます（P.2-23参照）。

リアル3D市街図

建物の形状を立体的に表現し、道路と敷地もはっきりと区別した市街図を表示します（P.2-17参照）。



料金所レーン案内

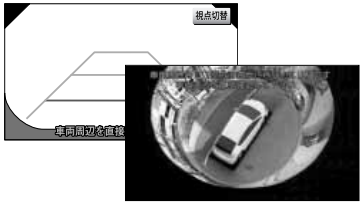
ルート案内中、料金所の手前で3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを表示します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します（P.2-38参照）。

デモ機能

各機能の操作説明のデモンストレーションを画面と音声でわかりやすく紹介します（P.6-3参照）。

豊富なオプション機能

別売のカメラを接続すると、車両の周囲を様々な視点で画面に表示させることができます（P.8-49, 8-70参照）。



お使いになる前に

●悪路走行時について

悪路走行中などで振動が激しい場合、HDD（ハードディスクドライブ）の地図データを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常に戻ります。

●精密機器のため取り扱いに注意

極端な高温や低温の中でのご使用は誤作動や故障の原因になりますので周囲の温度には注意してください。

また本機内部に金属物や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因になりますのでご注意ください。

●FM多重放送の受信について

・ラジオアンテナがモーターアンテナの場合、FM多重放送の***VICS*** 情報を常時受信するため、オーディオの電源をOFFにしてもモーターアンテナは下がりません。モーターアンテナをご使用のときは、ナビゲーションの車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定してください（P.4-25参照）。モーターアンテナ車に設定するとオーディオ機能の電源をOFFにしたときにアンテナが下がり、FM多重放送の***VICS*** 情報は受信できなくなります。車庫入れなどでアンテナを下げる場合は、オーディオ機能の電源をOFFにし、アンテナが下がったことを確認してください。

●お手入れの仕方

＜本機の清掃＞

・ベンジン、シンナー類を使いますと、ケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。

・化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

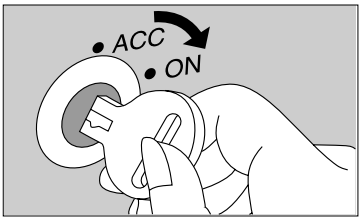
＜ディスプレイ部の清掃＞

・画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふき取ってください。

手で押したり、かたい布などでこすると表面に傷がつくことがあります。また、液晶画面はコーティング処理してあります。ベンジンやアルカリ性溶液などが付着すると画面が損傷するおそれがあります。

電源を入れるには

本機は車のエンジンをかけると自動的にナビゲーションの電源が入ります。
エンジンを切ると電源も切れます。



（1） 車のエンジンスイッチをONまたはACCにします。

●ナビゲーションの電源が入ります。

●初期画面（オープニング画面）が表示されます。

●ナビゲーション画面が表示されます。

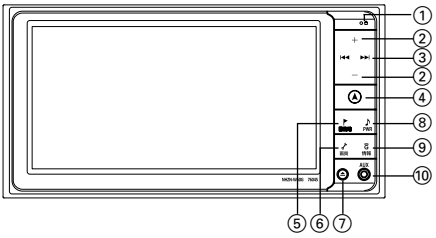
●初めて本機を起動したときは、QUICK SETUP画面が表示されます。（P.1-16参照）

アドバイス

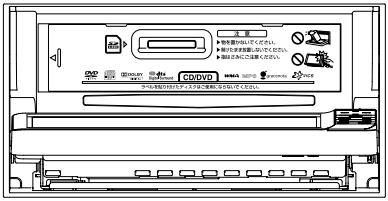
ナビゲーションの画面が表示されないときは、 Ⓐ を押してください。

各部の名称とはたらき

本機はパネルに配置しているボタンを押したり、画面に表示されるタッチスイッチを直接タッチして操作します。



ディスプレイを閉じている状態



ディスプレイを開いている状態

●操作ボタンについて

① インジケータランプ

セキュリティ機能を設定すると、お車を離れた際にランプが点滅して盗難を抑止します。

② VOLボタン

テレビ・オーディオ機能の音量を調整するときに押します。

③ TUNE・TRACKボタン

テレビ・ラジオの放送局の選局、楽曲の選曲やDVDのチャプターを選択するときに押します。

④ 現在地ボタン

ナビゲーションを呼び出し、現在地画面を表示するときに押します。現在地を表示しているときは、現在地の地名を表示します。

⑤ 目的地ボタン

目的地設定画面を呼び出すときに押します。

⑥ 設定・画質ボタン

設定・編集画面を呼び出すときに押します。または、画面の明るさを調整したり、画面モードの切り替えや画面を消すときに押し続けます。

⑦ OPEN（TILT）ボタン

ディスクの差し込みや取り出し、ディスプレイの角度を調整する画面を表示するときに押します。

⑧ AUDIO・PWRボタン

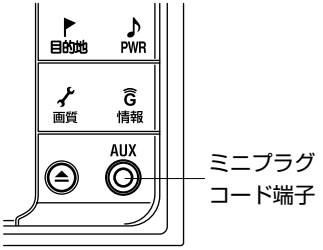
オーディオの操作画面を表示するときに押します。または、オーディオ機能の電源を入れるときや、切るときに押し続けます。

⑨ G・情報ボタン

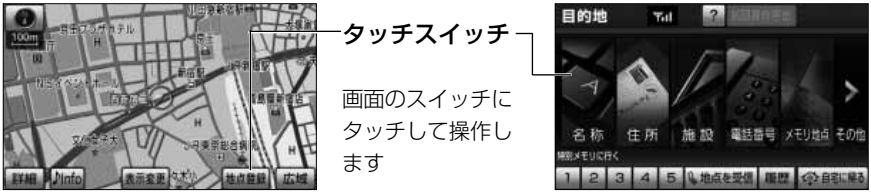
情報機能、G-BOOK機能、BTナビ機能を呼び出すときに押します。

⑩ ミニプラグコード端子

市販のミニプラグコードで、市販のポータブルオーディオなどを接続できます。



●タッチスイッチについて



・タッチスイッチは“ピッ”という音が鳴るまでタッチしてください。
・画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
・スイッチの反応がないときは、一度画面から手をはなしてから再度タッチしてください。
・操作できないタッチスイッチは色が反転します。
・スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチが強調表示されるものもあります。
・１つ前の画面に戻すときは 戻る にタッチします。

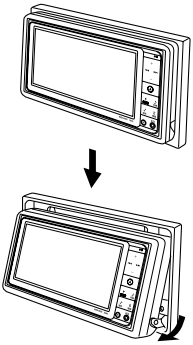
＜本書でのスイッチ表示＞
・タッチスイッチにタッチするときは、 ○○○ でスイッチ名称を表示しています。

アドバイス

液晶画面に保護フィルム（保護フィルター）等を貼り付けないでください。タッチスイッチが正常に操作できなくなります。

ディスプレイの角度を調整するには

画面が見えにくいときにディスプレイの角度を6段階で調整することができます。



（1） ⏏ を押します。

● ディスプレイの角度を調整する画面が表示されます。

（2） TILT にタッチするごとに、ディスプレイ部の角度が1段階ずつ変わります。

● TILT にタッチすると、ディスプレイ部の角度が1段階ずつ戻ります。

● ⏏ を押すと、ディスプレイの角度を調整する画面が解除されます。

アドバイス

●ディスプレイが傾いている状態でも、 ⏏ を押してから TILT または TILT にタッチするとディスプレイは傾きます。
●ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFFにすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、傾いた状態に戻ります。

注 意

●ディスプレイの角度調整をするときは、手などをはさまないように注意してください。けがの原因や、故障の原因になります。
●ディスプレイが傾いている状態では、ディスクの差し込み口が見えることがありますがディスクなどを絶対に差し込まないでください。故障やディスク破損の原因になります。
●本機の金属部分は高温になるため、手を触れないでください。ディスプレイ部の裏側など高温のため、やけどをするおそれがあります。

ナビゲーション・テレビ・オーディオの切り替え

ナビゲーション、テレビ、オーディオの画面や音声は、次のボタンを押すことで切り替えることができます。

ナビゲーション操作

1 Ⓐ を押す（現在地画面）

2 を押す（目的地設定画面）

オーディオ操作

3 を押す（オーディオ操作画面）

● 詳しくは、**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「テレビ・オーディオの切り替え」を参照してください。

設定・編集操作

4 を押す（設定・編集画面）

情報・G-BOOK・携帯連携操作

5 を押す（情報・G・BTナビ画面）

● 詳しくは、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**を参照してください。

本機の機能はエンジンスイッチの位置など次の条件により操作できる場合とできない場合があります。

エンジンスイッチ	ナビゲーション・情報・G・BTナビ画面	テレビ/DVD	オーディオ	FM多重文字情報
OFF (LOCK)	×	×	×	×
ACC	○	○ パーキングブレーキがかかっている場合のみ	○	○
ON 停車中	○	○ パーキングブレーキがかかっている場合のみ	○	○
ON 走行中	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	安全上の配慮から音声だけになります	安全上の配慮から操作できなくなる機能があります	一部の画面は安全上の配慮から表示しません

○：操作できます
×：操作できません

注 意

エンジンスイッチがACCのときはバッテリーあがりにご注意ください。
エンジンを停止させたまま、本機を長時間作動させることは避けてください。
バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。

アドバイス

走行中、操作できないタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

QUICK SETUP（初期設定サポート）

初めて本機を起動したときやバッテリーをはずしたときは、QUICK SETUP画面が表示されます。最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。また、設定状況は画面で確認することができます。

（1） QUICK SETUPを開始する にタッチします。

- 次回起動時に設定する にタッチすると、QUICK SETUPを終了します。次に本機を起動したとき、QUICK SETUP画面が再度表示されます。
- 設定しない にタッチすると、QUICK SETUPを終了します。次に本機を起動しても、QUICK SETUP画面は表示されません。

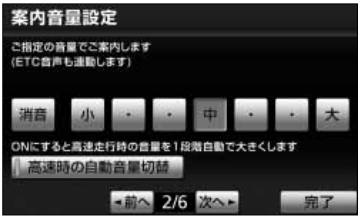
（2） 地図の呼び出し方法を選び、自宅周辺の地図を表示させます。

- 現在地周辺から登録 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 住所から登録 にタッチすると、住所を地図で表示することができます（P.3-33参照 ）。
- 項目によって、設定状況が表示されます。

アドバイス

- 設定の途中でパネルスイッチを押して他の画面に切り替えると、そこまでの設定が反映されます。次に本機を起動したとき、QUICK SETUP画面が再度表示されます。
- 設定の途中で 終了 、 はい の順にタッチすると、QUICK SETUPを終了することができます。次に本機を起動したとき、QUICK SETUP画面は表示されません。設定の続きは、ナビ詳細設定から行ってください(P.4-2参照)。

（3） セット にタッチします。



（4） 次へ▶ にタッチします。

（5） 案内音量を設定します。

- 案内音量の設定方法は**「案内の音量を調節するには」**（P.3-27）を参照してください。

アドバイス

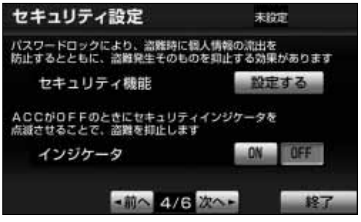
◀前へ にタッチすると、前の画面に戻ります。

（6） 次へ▶ にタッチします。

（7） 車両情報を設定します。

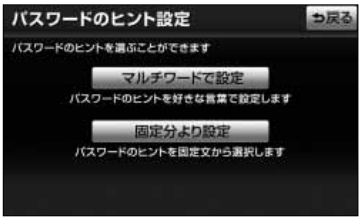
- 車両情報の設定方法は**「車両情報設定」**（P.4-25）を参照してください。

（8） 次へ▶ にタッチします。



（9） セキュリティを設定します。

- 設定については**「セキュリティ機能を使うには」**（P.1-28）を参照してください。
- 設定する にタッチすると、パスワードのヒント設定画面が表示されます。



（10）次へ▶ にタッチします

（11）Bluetooth電話設定をします。

- Bluetooth電話の設定方法は、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「ハンズフリーの準備をするには」を参照してください。

（12）次へ▶ にタッチします。

（13）G-BOOK通信設定をします。※

※G-BOOK mX利用時

- G-BOOKの通信の設定方法は、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKの設定をするには」を参照してください。

アドバイス

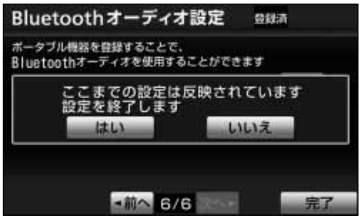
G-BOOK通信設定は、G-BOOK mX Pro利用時は表示されません。

（14）次へ▶ にタッチします。

（15）Bluetoothオーディオを登録します。

- Bluetoothオーディオの登録方法は、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書　詳細版」**の「4.Bluetoothオーディオの操作」を参照してください。

（16）**完了** にタッチします。



（17）**はい** にタッチします。

アドバイス

QUICK SETUPは、ナビ詳細設定からも行うことができます（P.4-2参照）。

画面の調整

画面の明るさや色の調整をすることができます。

アドバイス

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により<昼画表示>と<夜画表示>に切り替わります。

昼画表示

ライト点灯

ライト消灯

夜画表示

1 ライト点灯時に昼画表示にするには

（1） 夜画を表示しているときに ☀ をピッと音が鳴るまで押し続けます。

（2） 昼画面 にタッチします。

- 昼画表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 昼画面 にタッチするごとに昼画面と夜画面が切り替わります。
- 画面を消したいときは 画面消 にタッチします。
  Ⓐ を押すと再び画面が表示されます。

（3） 調整が終了したら 完了 にタッチします。

2 コントラスト（鮮明度）／明るさを調整するには

（1） 画質 をピッと音が鳴るまで押し続けます。

■ **コントラスト（鮮明度）を調整する**

強くするときは 強 、弱くするときは 弱 にタッチします。

■ **明るさを調整する**

明るくするときは 明 、暗くするときは 暗 にタッチします。

（2） 調整が終了したら 完了 にタッチします。

アドバイス

●コントラスト（鮮明度）／明るさ調整は、昼画面・夜画面でそれぞれ独立して調整することができます。

●液晶AIが設定されているときは、コントラスト（鮮明度）/明るさは調整できません。

3 液晶AI機能を使うには

コントラスト（鮮明度）／明るさの調整が自動で行われます。

（1） テレビ/ＤＶＤ/ビデオＣＤをご覧になっているときに 画質 をピッと音が鳴るまで押し続けます。

（2） 液晶AI にタッチします。

● 液晶AI機能が作動しているときは、作動表示灯が点灯します。

● 液晶AI機能を解除するときは、再度 液晶AI にタッチします。

（3） 完了 にタッチします。

アドバイス

液晶AI設定は、テレビ/DVD/ビデオCDの映像画面が表示されているときに設定できます。

4 色合い／色の濃さを調整するには

（1） テレビ/DVD/ビデオCD/バックガイドモニター/マルチビューバックガイドモニター/バックモニター/ブラインドコーナーモニター/サイドモニター/マルチアングル全周囲モニターをご覧になっているときに [画質] をピッと音が鳴るまで押し続けます。

■ 色合いを調整する

緑色を強くするときは 緑 、赤色を強くするときは 赤 にタッチします。

■ 色の濃さを調整する

色を濃くするときは 濃 、色を淡くするときは 淡 にタッチします。

（2） 調整が終了したら 完了 にタッチします。

アドバイス

色合い／色の濃さは、テレビ/DVD/ビデオCD/バックガイドモニター/マルチビューバックガイドモニター/バックモニター/ブラインドコーナーモニター/サイドモニター/マルチアングル全周囲モニターの映像画面が表示されているときに調整できます。

オープニング画面の切り替え

ナビゲーションの電源を入れたときに表示されるオープニング（立ち上げ）画面を、3種類から選ぶことができます。

（1） を押します。

● 設定・編集画面が表示されます。

（2） 画像設定 にタッチします。

（3） オープニング画像変更 にタッチします。

（4） 1 、 2 、 3 のいずれかにタッチします。

アドバイス

販売店用 は販売店専用の機能のため、操作することができません。

（5） 完了 にタッチします。

共通設定

操作音の設定、オーディオ操作画面の継続表示の設定、アクセントカラーの切り替え、セキュリティ機能の設定、メモリ地点や録音した音楽データなどの個人情報の消去を行うことができます。
セキュリティ機能の設定についてはP.1-28～P.1-31を参照してください。

1 操作音を設定するには

ボタンを押したときやスイッチにタッチしたときの操作音を設定することができます。
※操作音が鳴らないボタン、タッチスイッチもあります。

(1) 設定 を押します。

● 設定・編集画面が表示されます。

(2) 共通設定 にタッチします。

(3) BEEP音通知の する 、または しない にタッチします。

● 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

(4) 完了 にタッチします。

2 画面の表示設定をするには

オーディオ操作画面（**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「テレビ・オーディオの切り替え」参照）は、表示させて約20秒以上操作しなかったとき、自動的に表示を「解除する（もとの画面にもどる）」または「解除しない」に切り替えることができます。

（1） P.1-24の **1** の（3）の画面で、オーディオ操作画面の表示を一定時間後に自動的に解除したいときは、操作画面継続表示の **しない** にタッチします。

- 継続して表示させたままにしたいときは **する** にタッチします。
- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（2） **完了** にタッチします。

アドバイス

ディスクの出し入れを行う画面（**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「ディスク・SDメモリーカードの出し入れ」参照）を表示中にオーディオ操作画面を表示して自動解除が行われた場合は、ディスクの出し入れを行う画面を表示する前に表示していた画面を表示します。

3 アクセントカラーを切り替えるには

設定・編集画面やナビ詳細設定画面などに表示されるアクセントカラーや、タッチスイッチの強調表示の色を切り替えることができます。

（1） P.1-24の **1** の（3）の画面で、アクセントカラー切替のいずれかの色にタッチします。

- 設定したタッチスイッチは強調表示されます。

（2） **完了** にタッチします。

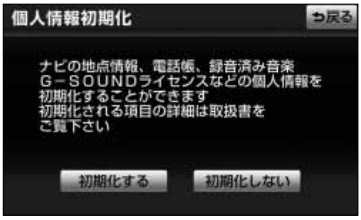
アドバイス

アクセントカラーは、一部の画面で、設定した色に切り替わらないことがあります。

4 個人情報を初期化するには

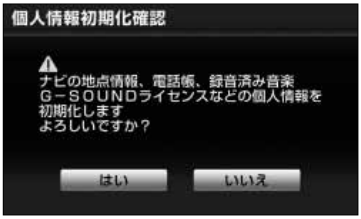
本機に登録したメモリ地点、録音した音楽データなどの個人情報を初期化することができます。

(1) P.1-24の **1** の（3）の画面で、個人情報初期化の **初期化する** にタッチします。



(2) **初期化する** にタッチします。

- **初期化しない** にタッチすると、もとの画面に戻ります。



(3) **はい** にタッチすると、個人情報を初期化します。
いいえ にタッチすると、(1) の画面に戻ります。

- 初期化中は Ⓐ や ♪ PWR などの操作ボタンは使用できません。

●初期化対象項目一覧

機能	項目	ページ
ソフトウェアキーボード	入力履歴	※1
	追加した単語	※1
	編集した定型文	※1
	ソフトウェアキーボード関連の設定・編集項目	※1
地図表示	走行軌跡	3-25
目的地設定	目的地履歴	3-45
ユーザーカスタマイズ	ナビゲーションの設定登録内容	4-34
メモリ地点	メモリ地点	4-44
	迂回メモリ	4-58
メンテナンス	メンテナンス案内時期の設定（パーソナル項目含む）	4-87
	自動通知設定	4-89
	販売店の設定	4-95
オーディオ&ビジュアル	地上デジタルテレビ操作および設定に関する情報	※2
	ハードディスクに録音した音楽データ	※2
	更新データベース	※2
	Gracenoteメディアデータベースバージョン情報	※2
ハンズフリー	電話帳データ	※3
	発信履歴および着信履歴	※3
	ワンタッチダイヤル	※3
	Bluetooth電話機の登録情報	※3
	ロックNo.	※3
	ハンズフリー関連の設定・編集項目	※3
G-BOOKオンラインサービス	ブックマーク	※1
	閲覧履歴	※1
	Myリクエストのメニュー	※1
	G-SOUND楽曲のライセンス	※1
	G-BOOK関連の設定・編集項目	※1

※1　**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「3. G-BOOK機能」を参照してください。

※2　**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「3. テレビ・ラジオ」または「5. サウンドライブラリ」を参照してください。

※3　**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」を参照してください。

セキュリティ機能を使うには

セキュリティ機能を設定すると、バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合に、ナビゲーションやオーディオなどの機能をロック（使用不可）することができます。エンジンスイッチがOFF（LOCK）のときはインジケータランプを点滅させることができます。また、表示されるシリアルナンバーを控えておくと、盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

1 セキュリティ機能を設定するには

セキュリティ機能は、ロックの解除に必要なパスワードのヒント（質問）とパスワード（回答）を登録すると設定されます。

●ヒントはマルチワード（自由に入力する）か、固定文から選択して設定します。

●パスワードは自由に入力して設定します。

アドバイス

●登録したパスワードは、セキュリティ機能のロックを解除する際に必要となります。登録したパスワードは忘れないように控えておいてください。もし、パスワードを忘れた場合は、販売店に問い合わせてください。

●既にパスワードが登録されているときは、パスワードの変更ができます。

（1） を押します。

● 設定・編集画面が表示されます。

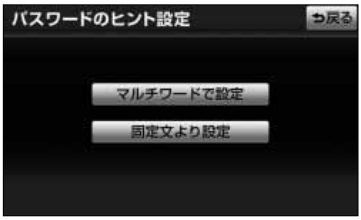
（2） 共通設定 にタッチします。

（3） セキュリティの 設定する にタッチします。

シリアルナンバー

(4) セキュリティ機能の 設定 にタッチします。

- すでに登録されたパスワードを変更する場合は、セキュリティ機能の 設定 にタッチし、 はい にタッチすると、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。
- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。



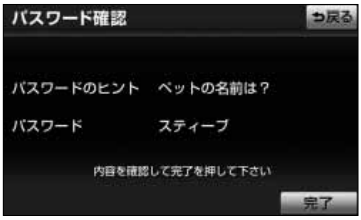
(5) ヒントの登録方法を選択します。

それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- マルチワードで設定 P.1-31
- 固定文より設定 P.1-31

(6) パスワードを入力し、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**(P.4-51～P.4-52) を参照してください。



(7) 完了 にタッチすると、パスワードが登録されます。

- セキュリティ機能が設定されます。

2 セキュリティ機能のロックを解除するには

バッテリーターミナルをはずし、再度接続すると、ナビゲーションやオーディオなどの機能がロック（使用不可）されます。ロックはエンジンスイッチがACCまたはONの時に表示されるパスワード認証画面で、登録したパスワードを入力して解除します。

（1） パスワードを入力し、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。
- シリアルナンバーが表示されます。盗難などにあったとき、本機と所有者の確認をすることができます。

（2） OK にタッチします。

- ナビゲーションやオーディオ機能のロックが解除されます。

3 セキュリティ機能を解除するには

アドバイス

セキュリティ機能を解除すると、設定したパスワードが消去されます。

（1） P.1-29の 1 の（4）の画面で、セキュリティ機能の 解除 にタッチします。

（2） はい にタッチします。

（3） パスワードを入力し、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。
- セキュリティ機能が解除されます。

4 インジケータランプを点滅させるには

セキュリティ機能が設定されている場合、エンジンスイッチがOFFのときにインジケータランプを点滅させることができます。

（1） P.1-29の 1 の（4）の画面で、インジケータの On にタッチします。

- インジケータランプの点滅を解除する場合は、 Off にタッチします。

5 マルチワードでヒントを登録するには

パスワードのヒントを自由に入力することができます。

（1） P.1-29の 1 の（5）の画で、 マルチワードで設定 にタッチします。

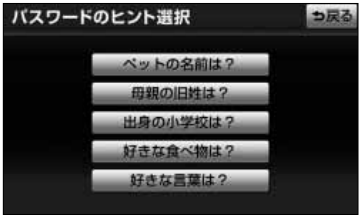
（2） ヒントを入力し、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。

6 固定文でヒントを登録するには

パスワードのヒントを5つの文章から選ぶことができます。

（1） P.1-29の 1 の（5）の画面で、 固定文より設定 にタッチします。



（2） 登録したいヒントにタッチします。

メモ

設定・編集画面について

[メニュー] を押すと、設定・編集画面になります。

設定・編集画面では、各タブからナビゲーションやオーディオ機能などの設定や編集をすることができます。各タブに表示されるタッチスイッチの一覧を紹介します。

設定・編集画面（ナビ）

- → または ← にタッチすると、画面に表示されるタブを切り替えることができます。

タブ	タッチスイッチ	ページ
ナビ	音量設定	3-27
	案内中止/案内再開※1	3-26
	ルート変更※1	3-1、3-10、3-15、3-19
	メモリ地点登録編集	4-44、4-58、4-64
	地図更新	5-4
	ナビ詳細設定	4-1
電話	音量設定	※2
	電話機選択	※2
	電話帳編集	※2
	Bluetooth設定	※2
	電話詳細設定	※2
オーディオ	オーディオプレイヤー切替	※3
	Bluetoothオーディオ設定	※3
	サウンドライブラリ編集	※4
	CD⇒HDD録音設定	※4
G-BOOK	通信設定※5	※6
	Myリクエスト編集	※6
	G-SOUND削除	※6
	プライバシー設定	※6
	G-BOOK詳細設定	※6

タブ	タッチスイッチ	ページ
運転支援	安全・快適走行設定	4-30
	BGM設定※7	8-47
	カメラ表示優先設定※7	8-64
	全周囲モニター設定※7	8-81
メンテナンス	項目設定	4-87
	販売店設定	4-95
	メンテナンス詳細設定	4-89
画像設定	オープニング画像変更	1-23
ETC※7	通知設定	8-7

※1　目的地が設定されていないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。

※2　**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「ハンズフリーの設定をするには」を参照してください。

※3　**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「4. Bluetoothオーディオ」を参照してください。

※4　**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「5. サウンドライブラリ」を参照してください。

※5　G-BOOK mX Pro利用時は、表示されません。また、携帯電話を登録していないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。

※6　**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKの設定をするには」を参照してください。

※7　機器が接続されていないときは表示されません。

リスト画面・タブ画面の切り替え方

▲・▼の切り替え表示

▲、▼にタッチすると、１項目ずつリストが動きます。

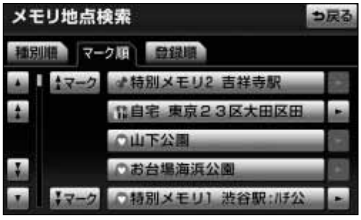
行の切り替え表示

あ行、か行、さ行、た行、な行、は行、ま行、や行、ら行、わ行にタッチすると、「あ行→か行」というようにタッチした行に飛ばしてリストが動きます。

- タッチするごとに、行の中で「あ→い」というように次の音に飛ばしてリストが動きます。
- リストがない行のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

ページの切り替え表示

⏫、⏬にタッチすると、１ページずつリストが動きます。



マークの切り替え表示

🔼マーク、🔽マーク（🔼種類、🔽種類）にタッチすると、前のマーク／次のマークに飛ばしてリストが動きます。

地域の切り替え表示

北海道 、 東北 、 関東 、 中部 、 近畿 、 中四国 、 九州 にタッチすると、タッチした地域に飛ばしてリストが動きます。

施設項目切り替え表示

店 、 車 、 宿泊 、 遊び 、 公共 、 医療 、 交通 、 文化 、 他 にタッチすると、タッチした施設項目に飛ばしてリストが動きます。

- リストがない施設項目のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても操作できません。

アドバイス

- ○○全て にタッチすると、その項目すべての施設が選択されます。
- 全エリア にタッチすると、すべての地域が選択されます。
- 全ジャンル にタッチすると、すべての施設が選択されます。
- リストに表示されている名称が長い場合は、リスト横の ▶ にタッチすると名称のつづきを表示します。また、◀ にタッチすると名称の表示が先頭に戻ります。
- ▶ にタッチしても、名称の全てを表示できない場合があります。
- リストの表示範囲に名称が全て表示されている場合は、▶ の色が反転し、タッチしても操作できません。

タブの切り替え表示

ナビ 、 電話 、 オーディオ 、 G-BOOK 、 運転支援 、 メンテナンス 、 画像設定 、 ETC ※にタッチすると、設定・編集する項目が切り替わります。

※ 機器が接続されていないときは表示されません。

- → 、 ← にタッチすると表示するタブを切り替えることができます。

スイッチの意味がわからないときには

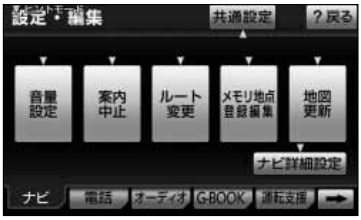
画面に表示されているスイッチの機能について、使い方や機能などのヒント（説明）を表示することができます。

（音量設定の場合の例）

（1） ？ が表示されている画面で、 ？ にタッチするとヒントモードになります。

アドバイス

画面によっては ？ が表示されないものもあります。



- ヒントが表示されるスイッチに▼マークが付きます。
- ▼マークが付いているスイッチのみヒントを表示することができます。

（2） 音量設定 にタッチします。

- 音量設定 のヒントが表示されます。
- ヒント表示中のスイッチは、▼マークが強調表示されます。
- ヒントが表示されるスイッチが反転している場合もヒントは表示されます。

（3） ？戻る にタッチします。

- ヒントモードが解除され、（1）の画面に戻ります。
- ？戻る はヒントモード中のみ表示されます。

アドバイス

●ヒントモード中に他の画面を表示した場合、ヒントモードは解除されます。
●ヒント表示中に走行を開始するとヒントは消去されます。

現在地を表示するには

現在地（自車位置）周辺の地図を表示します。
Ⓐ を押すと、現在地画面が表示されます。

①スケール表示
表示している地図の縮尺を表示します。

②ＧＰＳマーク
ＧＰＳ衛星からの電波を受信し、測位可能な場合に表示します。

***③VICS* タイムスタンプ**
VICS 情報が提供された時刻を表示します。

④時計表示
現在の時刻を表示します。

⑤自車マーク
自分の車の位置を表示します。

⑥方位マーク
表示している地図の向きを表示します。

アドバイス

●納車時および長時間バッテリーをはずしておいた場合、現在地が異なった場所を表示することがあります。この場合、手動で現在地の修正を行う（P.5-1参照）か、ＧＰＳが受信され自動で位置の修正（10分程度かかる場合があります）が行われるまでお待ちください。

●現在地画面で Ⓐ を押すと現在地付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます。

● 50m から 1.6k までの地図縮尺で均一区間の有料道路（都市高速を除く）の料金（¥250）が表示されます。

●地図を表示させているときに、オーディオの再生状態を表示したり（P.2-7参照）、画面のタッチスイッチや方位マークなどを表示させないようにすることができます（P.4-23参照）。
- ♪Info 、 ◀◀Off の順にタッチすると、タッチスイッチのない表示になります。
- ▶▶On にタッチすると、タッチスイッチが再び表示されます。

◀◀Off にタッチしたときの表示

▶▶On にタッチしたときの表示

地図にオーディオ情報を表示するには

現在地画面または地図画面において、オーディオ情報を簡易に表示することができます。

（1）地図が表示されている画面で ♪Info にタッチします。

●オーディオ情報が表示されます。

● ◀◀Off にタッチすると、オーディオの情報を消去し、タッチスイッチのない表示になります（P.2-6参照）。

● ▶▶On にタッチすると、タッチスイッチが再び表示され（P.2-6参照）、 ♪Info をタッチすることができます。

アドバイス

選んでいるオーディオモードの再生状態、またはオーディオ機能のオフの状態を表示します。オーディオ機能の操作については、**「オーディオ取扱書 詳細版」**を参照してください。

地図スクロールするには

現在地画面または地図画面から地図をスクロール（地図移動）させ、見たい場所の地図を探します。

（1）現在地画面で地図にタッチします。

- タッチした地点が画面の中心となり、地図が移動します。移動後は地図画面となります。
- ナビ詳細設定で地図スクロール時の地名表示を「する」に設定しているときは、地図の移動後に画面中心付近の地名や道路名称、道路番号が表示されます（P.4-11参照）。

アドバイス

スクロール時に表示される地名は、 50m から 3k までの地図縮尺で表示されます。

（2） 地図にタッチしてそのまま押しつづけると、画面中央のマーク ⊕ の色が黄色に切り替わり、タッチした地点の方向に地図が移動します（連続スクロール）。

- 地図の中央付近にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が低速で移動します。
- 地図の端にタッチしてそのまま押し続けた場合は、地図が高速で移動します。

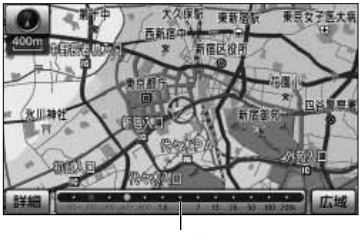
アドバイス

- ●画面上のタッチスイッチがある場所にタッチしても地図は移動しません。
- ●地図スクロール後は地図が固定され、車が移動しても地図は移動しません。 ⓐ を押してください。
- ●地図画面とは地図を表示している画面で、画面中央に ⊕ マークが表示されます。
- ●市街図（ 25m 、 50m の地図）で走行中は地図スクロールできません。
- ●走行中は安全のため、連続スクロールはできません。
- ●走行中は道路の表示量が制限されます。

地図の縮尺をかえるには

現在地画面または地図画面において、地図を1/2500から1/2048万までの希望の縮尺に切り替えることができます。

1 地図の縮尺をかえるには



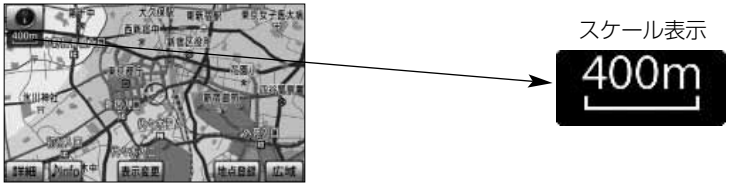
縮尺バー

（1） 地図が表示されている画面で 広域 または 詳細 にタッチして希望する縮尺を選択します。

- 広域の地図に切り替えるには 広域 にタッチします。
- 詳細の地図に切り替えるには 詳細 にタッチします。
- 縮尺バーが表示され、選択された縮尺が○（黄色）で表示されます。

アドバイス

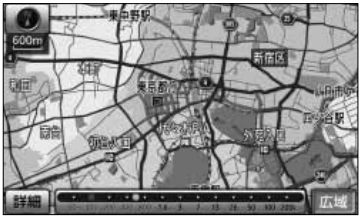
●スケール表示と地図縮尺について
現在地画面、または地図画面の左上に表示される 400m の ―― の長さが約400mであり、表示されている地図縮尺が1／4万図縮尺であることを示しています。
mはメートル、kはキロメートルのことを示します。



●地図を3D表示（P.2-13参照）にしているときに ―― は表示されません。
●スケール表示は、リアル市街図（P.2-17参照）、駐車場マップ（P.2-19参照）では表示されません。

2 フリーズーム機能を使うには

表示されているスケール表示以外の地図縮尺で地図を表示することができます。



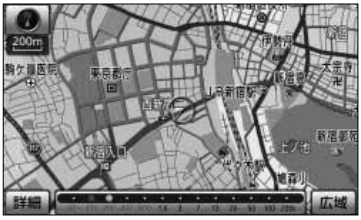
（1） 広域 または 詳細 をタッチし続けます。

- 広域 をタッチし続けると広域な地図に、詳細 をタッチし続けると詳細な地図に縮尺をかえていきます。
- タッチするのをやめると、そのときの地図縮尺が選択されます。

アドバイス

●走行中は安全のため、フリーズーム機能は動作しません。
●市街図（P.2-17参照）のフリーズームはできません。

3 ダイレクト縮尺切り替え機能を使うには



（1） 広域 または 詳細 にタッチしたあと、縮尺バーの表示中に目盛りにタッチすると、タッチした目盛りの縮尺の地図に切り替わります。

アドバイス

走行中は安全のため、ダイレクト縮尺切り替え機能は動作しません。

4 目的地表示縮尺切り替え機能を使うには

目的地を設定しているときに現在地から目的地までの地図を適切な地図縮尺で表示することができます。

（1） 広域 または 詳細 にタッチしたあと、縮尺バーの左上に表示される にタッチします。

アドバイス

目的地を設定（P.2-26）しているときのみ が表示されます。

● 現在地から目的地までの地図が表示されます。

アドバイス

●市街図（P.2-17参照）や3Dの地図（P.2-13参照）を表示しているときは、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。

●走行中は安全のため、目的地表示縮尺切り替え機能は動作しません。

地図の向きをかえるには

現在地画面や地図画面の地図の向きをかえることができます。

(1) （または ）が表示されているときに、（または ）にタッチすると、ヘディングアップ表示（またはノースアップ表示）に切り替えることができます。

- ノースアップ表示は画面の上方向を北に固定して地図を表示します。
- ヘディングアップ表示は、画面の上方向が自車の進行方向になるように地図を自動的に回転して表示します。

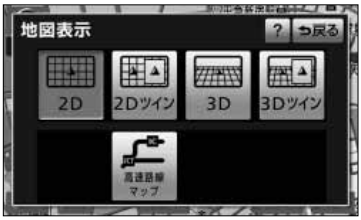
アドバイス

●方位マークは次のように表示されます。
ノースアップ表示
ヘディングアップ表示　赤色が北向き、白色が南向きを示します。
●地図画面ではヘディングアップ表示のときのみノースアップ表示に切り替えることができます。
●以下のような場合、地図画面でヘディングアップ表示になります。
・ヘディングアップの現在地画面で地図スクロールした場合。
・ヘディングアップの現在地画面や地図画面を表示しているとき、目的地設定画面（P.2-28参照）などから 先程の地図 にタッチした場合。
●高速路線マップ（P.2-23参照）を表示しているときは、ヘディングアップ表示に切り替えることはできません。

3D表示にするには

地図に遠近感をもたせて表示することができます。また、地図を見る視点をある範囲内でかえることもできます。

1 3D表示にするには



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。

- 強調表示されているスイッチが現在の画面状態です。

(3) 3D にタッチすると3D表示に切り替わります。
また、3Dツイン にタッチすると2画面表示（P.2-15参照）に切り替わり、左画面が3D表示となります。

アドバイス

3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド（P.4-5参照）表示になります。

2 オールラウンドスクロールを使うには

(1) 3D表示時に、地図にタッチします。

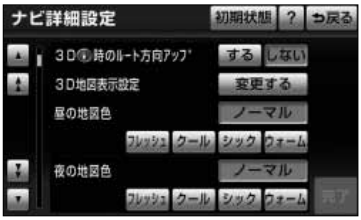
(2) ◤ または ◥ により、地図を回転させることができます。

- ◤ にタッチすると、地図が時計まわりに回転します。
- ◥ にタッチすると、地図が反時計まわりに回転します。
- Ⓐ を押して現在地画面にすると、回転前の状態に戻ります。

アドバイス

走行中は安全のため、オールラウンドスクロールを行うことはできません。

3 3D表示の視点角度を変更するには



(1) 設定・編集画面（ナビ）で ナビ詳細設定 にタッチします。

(2) 地図表示設定 にタッチします。

(3) 3D地図表示設定の 変更する にタッチします。

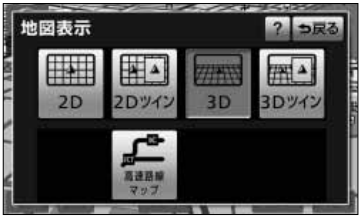
(4) または により視点角度を変更できます。

- にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
- にタッチすると、視点の角度を下げることができます。
- 視点角度は10段階に調整できます。
- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

(5) セット にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

4 3D表示を解除するには



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

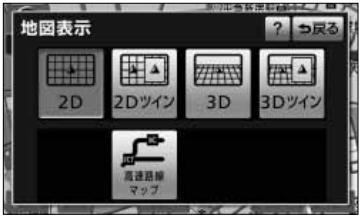
(2) 地図表示 にタッチします。

(3) 2D にタッチすると2D表示に切り替わります。また 2Dツイン にタッチすると2画面表示（P.2-15参照）に切り替わり、左画面が2D表示となります。

2画面表示にするには

現在地画面のときに異なる縮尺の地図を同時に表示させるなど、画面を左右に2分割して地図を表示させることができます。

1 2画面表示にするには



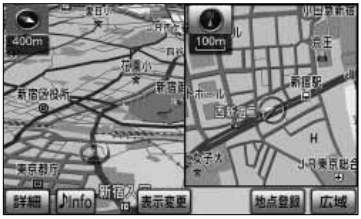
(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。

2Dツイン

(3) 2Dツイン または 3Dツイン にタッチすると2画面表示に切り替わります。

- 左画面は1画面の時と同じ方法で操作できます。
- 1画面表示に戻すには(3)の画面で 2D (2D表示) または 3D (3D表示) にタッチします。



3Dツイン

アドバイス

再度2画面表示にしたときは、前回2画面表示にしていたときの縮尺で地図が表示されます。

2 右画面の操作

（1） 右画面内の地図にタッチします。

作動表示灯

（2） 次に表示された画面で、以下のことができます。

- 広域 または 詳細 にタッチすると、右画面の縮尺を切り替えることができます（P.2-9参照）。
- または にタッチすると、右画面の地図向きを切り替えることができます（P.2-12参照）。
- 3D表示 にタッチするごとに、右画面を3D表示（P.2-13参照）、または2D表示に切り替えることができます。
  右画面が3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 周辺施設表示 にタッチするごとに、右画面の施設ランドマークを表示、または消去することができます（P.4-37参照）。
  右画面の施設ランドマークが表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- VICS表示 にタッチするごとに、右画面の***VICS***情報を表示、または消去することができます（P.4-70参照）。
  右画面の***VICS***情報が表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。

アドバイス

- 2画面表示のときは、左画面のみ地図スクロールすることができます。
- 右画面の 周辺施設表示 および VICS表示 は、左画面の施設表示、および***VICS***表示が表示状態となっているときに操作することができます。
- 右画面の操作は、ナビ詳細設定からも行うことができます（P.4-3参照）。

市街図を表示するには

市街図がある地域では、市街図表示に切り替えることができます。

1 市街図を表示するには

（1） 50m の縮尺の地図を表示しているときに 市街図 にタッチします。

- 市街図が表示されます。
- 通常の地図に戻すには 広域 にタッチします。

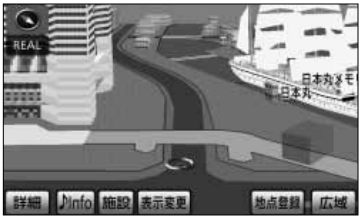
アドバイス

- 市街図 は地図データ（市街図）が存在する場所でのみ表示されます。
- 25m の縮尺市街図では、一方通行を ⇒ で表示します。

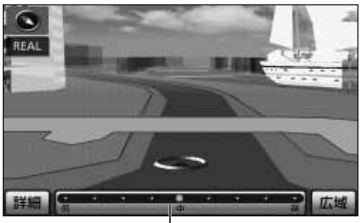
2 リアル市街図を表示するには

建物の形状が立体的に表現された地図を表示することができます。

（1） 3D表示時で、50m の縮尺の市街図を表示しているときに 詳細 にタッチします。



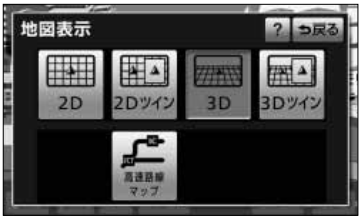
- リアル市街図が表示されます。



角度バー

(2) 広域 または 詳細 により視点の角度を変更できます。

- 視点角度を上げるには 広域 にタッチします。
- 視点角度を下げるには 詳細 にタッチします。
- 角度バーが表示され、選択された角度が○（黄色）で表示されます。
- 視点角度を高・中・低の3段階に変更することができます。
- 詳細 または 広域 をタッチし続けると、さらに細かい段階の視点角度に変更することができます。
- 角度バーの目盛りにタッチすると、タッチした目盛りの角度を選択することができます。
- 一番高い視点角度のときに 広域 にタッチすると 50m の縮尺に戻ります。



(3) 市街図を表示するには、リアル市街図で 表示変更 にタッチします。

(4) 地図表示 にタッチします。

- 2D にタッチすると市街図が表示されます。

アドバイス

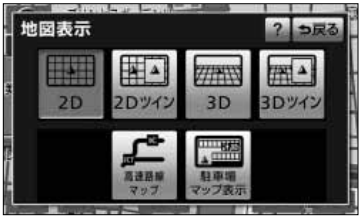
- ●リアル市街図では、施設ランドマークは立体的に表示されます。情報表示などについてはP.4-37を参照してください。
- ●リアル市街図では、視界をさえぎらないために手前のビルは半透明で表示されます。
- ●リアル市街図では、一方通行を ⊖ で表示します。
- ●リアル市街図では、実際の建物と形状が異なる場合があります。

駐車場マップを表示するには

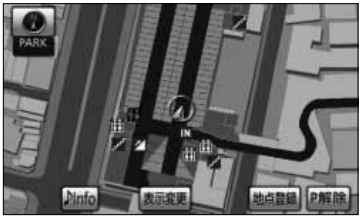
自車が情報の収録されている駐車場に入ると、駐車場マップを表示することができます。

(1) 自車が駐車場にあるとき、 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。



(3) 駐車場マップ表示 にタッチします。



- ナビ詳細設定で駐車場マップ自動表示を「する」に設定（P.4-2参照）している場合、自車が情報の収録されている駐車場に進入すると自動で駐車場マップが表示されます。
- 駐車場マップ表示中は地図画面に P解除 、上記（3）の画面に 駐車場マップ解除 が表示され、タッチすると駐車場マップが解除されます。

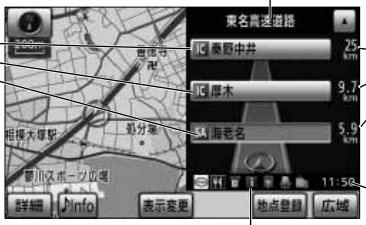
高速略図画面を表示するには

自車が高速道路や有料道路に進入すると、自動的に高速略図画面が表示されます。

1 高速略図画面について

①道路名称
選択した施設の存在する道路名称を表示します。

②施設名称
未通過の施設を表示します。



⑤施設までの距離
現在地からの距離を表示します。

④通過予想時刻
選択した施設への到着予想時刻を表示します。

③設備マーク
選択した施設（ＳＡ・ＰＡのみ）に設置されている設備を、マークで最大6つまで（ガソリンスタンドを除く）表示します。

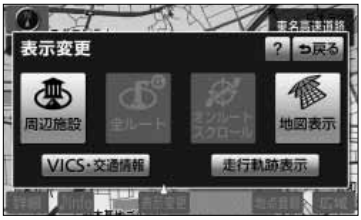
表示される設備マーク		
レストラン	ドラッグストア	仮眠施設
お風呂	キャッシュコーナー	ハイウェイ情報ターミナル
郵便ポスト	ＦＡＸ	ショッピングコーナー
休憩所	スナックコーナー	トイレ
ハイウェイオアシス	スマートIC	ガソリンスタンド（企業マークを表示）

アドバイス

- ●高速略図画面の表示は常に2画面表示になります（高速略図画面解除後は表示前の画面状態に戻ります）。
- ●反対車線の情報は表示されません。
- ●6つ以上の設備があるときは、表示されない設備マークもあります。
- ●ターンリスト図画面（P.2-40参照）は同時に表示することができません。

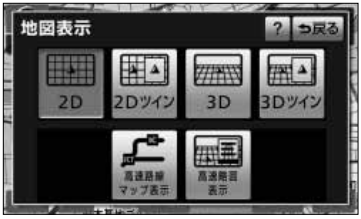
2 高速略図画面の表示と解除

自車が高速道路や有料道路の本線上にあるときは、高速略図画面の表示と解除が行えます。



(1) 自車が高速道路の本線上にあるとき、 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。



(3) 高速略図表示 にタッチします。

● 高速略図画面表示中は上記（3）の画面に 高速略図解除 が表示され、タッチすると高速略図画面が解除されます。

アドバイス

●自車が出口ICに到達すると高速略図画面は自動的に解除されます。
●ルート案内中でないときは、都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）や有料道路では高速略図画面を表示することはできません。

3 高速略図画面を使いこなす

未通過の施設の情報を確認することができます。

（1） 施設名称、または ▲ や ▼ にタッチすると、選択される施設が切り替わります。

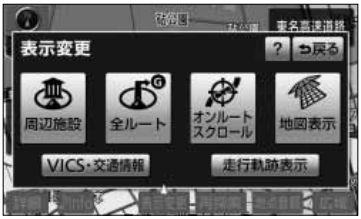
- 選択された施設が強調表示されます。
- 施設を選択したときに 現区間 にタッチすると現在地から最寄りの施設が選択されます。

アドバイス

●自車が都市間高速道路（東名高速や名神高速など）の本線上にあるときは、ルート案内中でなくても、未通過の施設を最大10施設まで表示します。
●ルート案内中は出口ＩＣまでの施設を表示します。

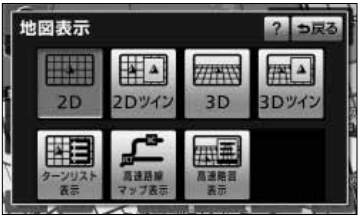
高速路線マップを表示するには

自車が高速道路の本線上を走行すると高速路線マップを表示することができます。一般道路を表示しないため、路線情報をわかりやすく表示します。



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。



(3) 高速路線マップ表示 にタッチします。

アドバイス

一般道路を走行中はスイッチ名称が異なり 高速路線マップ と表示されます。
高速路線マップ にタッチしても高速路線マップが表示され、路線情報を確認することができます。

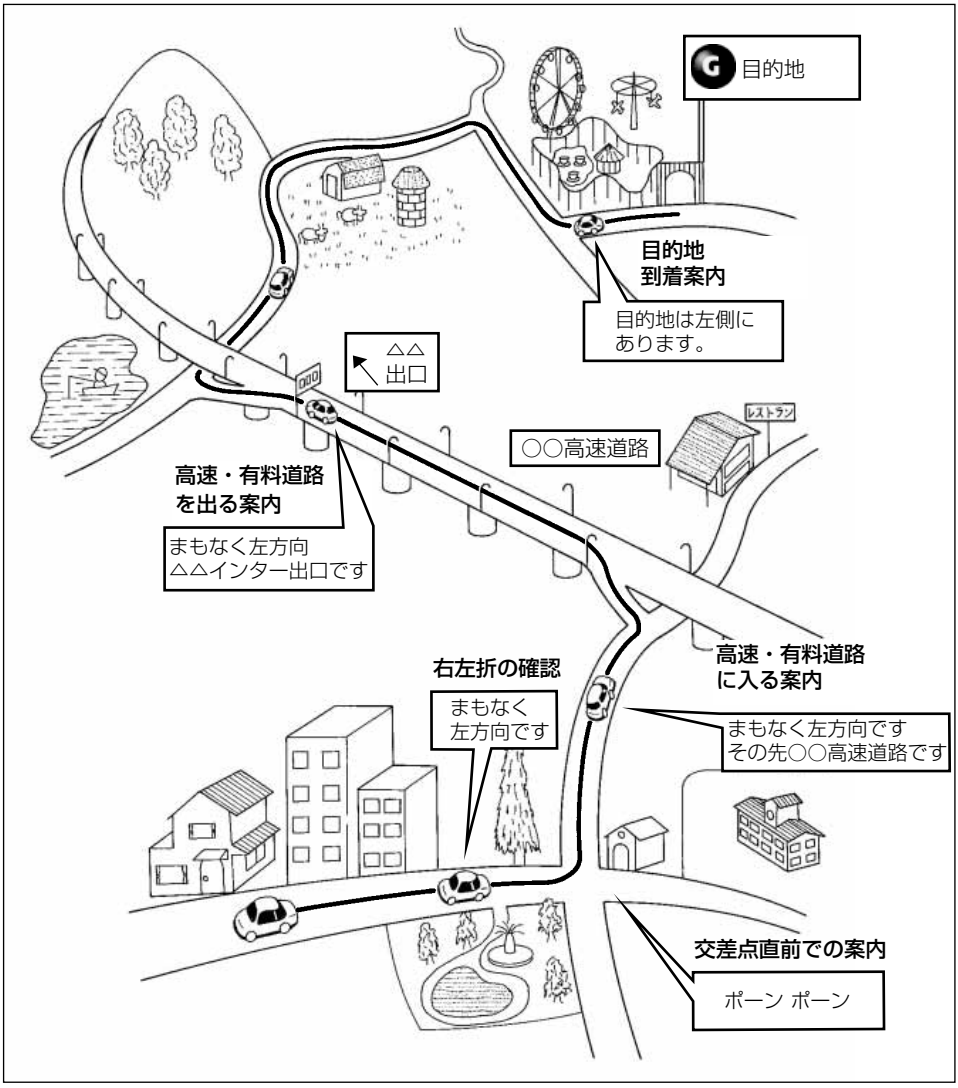
- ナビ詳細設定で高速路線マップ自動表示を「する」に設定（P.4-2参照）している場合、自車が高速道路に進入すると自動で高速路線マップが表示されます。
- 高速路線マップ表示中は上記（3）の画面に 高速路線マップ解除 が表示され、タッチすると高速路線マップが解除されます。

アドバイス

- 高速路線マップを表示させているときは、ヘディングアップ表示（P.2-12参照）または3D表示（P.2-13参照）に切り替えることはできません。
- 広域 または 詳細 にタッチすると、縮尺を1・2・3・4の4段階に変更することができます。
- 一般道路に進入した場合、高速路線マップは自動的に解除され、通常の地図を表示します。
- 一般道路を走行中に表示させた高速路線マップは、 戻る にタッチすると解除されます。
- 全ての路線情報が表示されるわけではありません。
- 都市高マップ（P.2-41参照）は同時に表示することができません。

ルート案内について

●目的地を設定することによって、自動的に推奨ルートを表示します。
●ルートに沿って走行し、分岐点に接近すると音声と案内拡大図（交差点拡大図、3D高速分岐案内など）によりルート案内を行います。
音声案内は聞きたいときに聞くこともできます。



ルート案内は次の手順で案内され、目的地付近に到着すると終了します。

●以下に示す手順は基本的な流れです。

1. 目的地を設定する（P.2-26　目的地を設定しルートを探索するには）

●行きたい場所の地図上に目的地を設定します。

地図画面

目的地設定画面

ルートが探索されます。

2. ルートを選択する（P.2-31　5ルートを確認・選択するには）

●探索されたルートを確認します。

●5本あるルートから案内ルートを選びます。

全ルート表示画面

5ルート選択画面

ルート上を走行すると案内が開始されます。

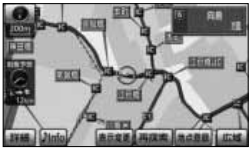
3. ルートを案内する（P.2-33　案内画面について）

●様々な画面と音声による案内で目的地まで誘導します。

交差点拡大図

レーンリスト図画面

都市高マップ



ハイウェイ入口案内

3D高速分岐案内

目的地まで案内にしたがって走行します。

目的地付近に到着すると案内が終了します。

目的地を設定しルートを探索するには

目的地を設定するとルートを探索することができます。

1 目的地を任意地点にワンタッチで設定する

（1） 地図スクロール、 詳細 または 広域 操作により目的地を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m より詳細な地図で 目的地セット にタッチします。

（2） ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

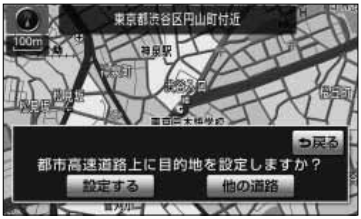
（3） 目的地セット にタッチすると、 ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

（4） すでに目的地が設定されている場合は、 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。

- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。
  P.3-4を参照してください。

アドバイス

- 目的地設定ができるのは、自車から5000km以内の 800m より詳細な地図のときです。
- 800m より広域な地図で設定動作を行った場合は、自動的に 800m の地図に切り替わります。



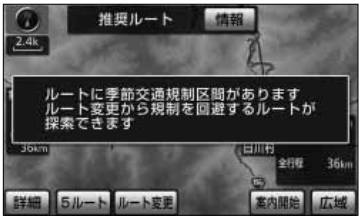
（5） 高速道路や橋、トンネルが目的地付近に存在する場合は、 設定する または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する場所を選択します。

(6) 案内開始 にタッチすると、音声と画面で案内します。

- 青色で表示されているのが案内対象ルートです。ルートの種類は画面上部に表示されます。
- 案内開始 にタッチしなくても、走行を開始してから約3秒後に自動的にルート案内を始めます。

アドバイス

- ルートの種類は最大で5種類表示されます。それぞれのルートの特徴については、P.2-32を参照してください。
- 渋滞考慮探索が「する」に設定されている場合、渋滞が考慮されたルートが探索されます（P.4-22参照）。



(7) ルート上に季節規制区間が存在するときは、規制区間の道路が橙色で表示されます。規制を回避したい場合は、 ルート変更 にタッチします。

- メッセージはナビ詳細設定（P.4-2参照）で、季節規制メッセージ表示を「する」に設定しているときのみ表示されます。

(8) 季節規制回避 にタッチすると、季節規制を回避する探索を行います。

- 季節規制回避後は、 季節規制通過 になります。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は、 季節規制通過 にタッチします。

アドバイス

規制区間を含む道路以外に推奨できる道路がないときは、規制を回避できないことがあります。

2 地図索引機能を使って目的地を設定する

（1） を押して目的地設定画面を表示します。

（2） 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

その他の方法 または 戻る にタッチすると、スイッチの表示を切り替えることができます。

それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 名称 P.3-28
- 住所 P.3-33
- 施設 P.3-35
- 電話番号 P.3-37
- メモリ地点 P.3-40
- ジャンル P.3-41
- Gで設定 ※
- 郵便番号 P.3-43
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- マップコード P.3-44
- 1 ～ 5 P.2-30
- 地点を受信 P.3-46
- 履歴 P.3-45
- 自宅に帰る P.2-29

※「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

アドバイス

目的地設定画面は、よく使うスイッチを優先して表示し、使いやすくすることができます（P.4-33参照）。

(3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

アドバイス

地点を受信 から地図を表示した場合は、 戻る が表示されません。

(4) 目的地セット にタッチします。

(5) すでに目的地が設定されている場合は、新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。

- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定されます。
  P.3-5を参照してください。

(6) の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

3 自宅に帰る

(1) 目的地設定画面で 自宅に帰る にタッチします。

- そのまま自宅を目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、2の(5)の操作を行ってください。

アドバイス

自宅が登録されていない場合、メッセージが表示されます。 はい にタッチすると、下記のスイッチから自宅を登録することができます。それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 目的地履歴 P.3-45
- 住所指定 P.3-33

4 特別メモリ地点に設定する

（1） 特別メモリに行くの 1 、 2 、 3 、 4 、 5 にタッチします。

- そのまま特別メモリを目的地に設定してルート探索を開始します。
- すでに目的地が設定されている場合は、P.2-29の 2 の（5）の操作を行ってください。

アドバイス

特別メモリが登録（P.4-55参照）されていない場合は利用できません。

5 中断された操作を再開する

画面を切り替えるなどして目的地の設定が中断された場合、中断された時に表示していた画面から操作を再開することができます。

（1） 目的地設定画面で 前回操作呼出 にタッチします。

- 中断された画面が表示されます。目的地の設定を再開してください。

アドバイス

- 再開できるのは、前回中断した地図検索機能のみです。
- 中断された操作がないときは、色が反転し、タッチしても操作できません。

5ルートを確認・選択するには

案内を開始する前に、複数のルートから案内するルートを確認し選択することができます。

1 全ルート表示画面の表示

ルート探索が終了すると、自動的に全ルート表示画面が表示されます。

①地図向き
ノースアップで表示されます。

②地図縮尺
現在地と目的地の両方が表示される縮尺で表示します。

③到着予想時刻
目的地に到着する予想時刻を表示します。

④目的地までの距離表示
自車から目的地までの距離を表示します。

⑤フェリー利用
目的地までのルートでフェリー航路を利用する場合に表示します。

⑥有料道料金表示
最終目的地までにかかる有料道路の料金の合計額や残額を表示します。

⑦主要利用道路情報
ルートにおいて主に利用する道路種別とその利用距離を表示します。

⑧乗降ＩＣ
最初に利用する入口ＩＣと最後に利用する出口ＩＣ名称を表示します。
入口ＩＣと出口ＩＣは変更することができます
（P.3-15参照）

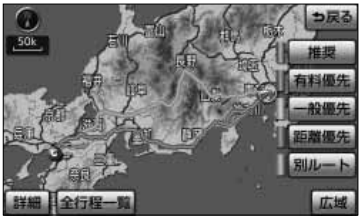
アドバイス

- 5ルート は案内開始前のみ表示され、案内を開始すると表示されません。
  また、複数目的地（P.3-1参照）や通過道路（P.3-10参照）、乗降ＩＣ（P.3-15参照）が指定されている場合も表示されません。
- 高速道路、有料道路を利用しない場合は、乗降ＩＣは表示されません。
- 目的地が2つ設定されているときは、目的地までの距離表示にタッチするごとに設定されている目的地までの距離に切り替わります。3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示にタッチして表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの距離の表示に切り替わります（P.2-35参照）。
- Gルート はG-BOOK利用契約されている場合の、案内開始前のみ表示され、案内を開始すると表示されません。
  GルートとはG-BOOKの交通情報を考慮してルート探索を行う機能です。詳しくは**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に ✕ が表示されることがあります。
- 案内開始後も、全ルート表示画面を表示することができます（P.2-34参照）。

2 複数の全ルート表示を確認し案内するルートを選択する

(1) 全ルート表示画面で 5ルート にタッチします。

● 5つのルートを色分けして表示します。
各ルートは約1秒おきに順次一番上に表示が切り替わります。



(2) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

(3) (2)の画面で 全行程一覧 にタッチすると、5つのルートの距離、料金、所要時間が表示されます。

探索条件	全行程	有料道路	料金	所要時間
推奨	530km	528km	12250円	6時間59分
有料優先	530km	528km	12250円	6時間59分
一般優先	539km	74km		16時間49分
距離優先	497km	195km	5300円	12時間50分
別ルート	556km	550km	12200円	7時間19分

(4) 案内に利用したいルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート表示画面になります。

アドバイス

●案内するルートが同じ場合もあります。
●料金は実際と異なる場合があります。
●5つのルートの特徴
- 推奨　最も推奨できるルート
- 有料優先　できるだけ有料道路を多く利用するルート
- 一般優先　有料道路の利用をかぎりなく少なくするルート
- 距離優先　できるだけ道のり距離が短くなるようにしているルート
- 別ルート　最初に選ばれたルートとは別の道を利用するルート

渋滞考慮探索（P.4-22参照）が「する」に設定されているときは、渋滞を考慮したルートが探索されます。

案内画面について

ルート案内中は状況に応じて様々な案内画面が表示されます。

1 案内中の現在地画面

①案内ポイントマーク
車線案内、通過交差点名称、案内拡大図が表示される地点にマークを表示します。

⑥車線案内
交差点における各車線の分岐方向を矢印で表示します。車線情報のある一部の交差点で表示されます。

②到着予想時刻
目的地に到着する予想時刻を表示します。

⑤道路名称、通過交差点名称表示
現在走行中の道路名称、またはルート上で次に通過する交差点の名称を表示します。

③目的地までの距離表示
自車位置から目的地までの距離を表示します。

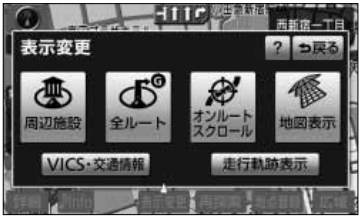
④案内ルート
目的地までの案内ルートを青色で表示します。
（目的地が複数設定されているときは、次の目的地までの案内ルートを青色で表示し、それ以降の案内ルートは白色の線が入った青色で表示します。）

アドバイス

- ●案内ポイントマークは、案内されるポイントの種類によって異なるマークを表示します。
  - ・ 通過交差点名称、または車線案内が表示されていて、信号機がある交差点
  - ・ （灰色） 通過交差点名称、または車線案内が表示されていて、信号機がない交差点
  - ・ （赤色） 案内拡大図が表示される交差点
- ●車線案内は案内ルートの方向によって色分けして表示します。
  ルート案内上、走行を推奨する車線は、青色で表示します。それ以外の車線は、灰色で表示します。
- ●車線案内、および料金案内は実際と異なる場合があります。
- ●細街路（道幅が3m以上5.5m未満の細い道路）における案内ルートは水色で表示します。

2 全ルート表示画面

案内開始後に目的地までの全行程ルートを表示することができます。



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 全ルート にタッチします。

● 全ルート表示画面が表示されます。
全ルート表示画面の詳細については、P.2-31を参照してください。

アドバイス

●案内開始後は 案内開始 、 5ルート 、 Gルート は表示されません。

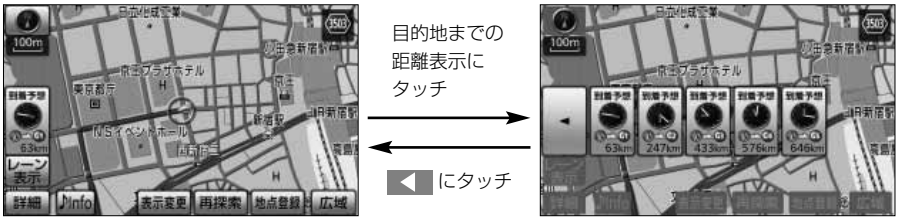
●表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面は、案内開始前の全ルート表示画面（P.2-31参照）と違い、走行を開始してから3秒を経過しても表示は解除されません。

●到着予想時刻と目的地までの距離表示は、自車がルート上に存在しないときは表示されません。
この場合は目的地の方向を示す矢印と、目的地までの直線距離を表示します。

自車がルート上にないときの地図

アドバイス

目的地が3つ以上設定されているときは、目的地までの距離表示（自車がルート上に存在しないときは目的地までの直線距離）にタッチすると、それぞれの目的地までの到着予想時刻と距離が一覧表示されます。表示したい目的地を選択すると、選択した目的地までの到着予想時刻と距離の表示に切り替わります。 ◀ にタッチすると一覧表示は解除されます。



3 案内拡大図表示

分岐点に接近すると自動的に案内分岐点の拡大図が表示されます。また、解除したあとも再表示することができます。

●交差点拡大図

一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ300mまで接近すると、交差点周辺の地図を拡大表示します。

①交差点の拡大図
交差点付近の地図を拡大表示します。拡大図は3Dまたは2Dに切り替えることができます（P.4-2参照）。
また、一部の交差点では立体描画した立体交差点拡大図を表示します。

②拡大解除スイッチ
拡大解除 にタッチすると、交差点拡大図の表示を解除します。
再表示するには ⓐ を押します。

⑤交差点名称
案内する交差点に名称を表示します。

④分岐点までの距離
自車から分岐点までの残距離を表示します。

③施設マーク
分岐点周辺に存在する施設のマークを表示します。

アドバイス

- ●交差点拡大図の自動表示は、ナビ詳細設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-2参照）。
- ●拡大図の再表示は、分岐点を通過する前に行うことができます。
- ●名称のない交差点では、交差点名称は表示されません。

●立体交差点拡大図

立体交差点情報のある交差点では、立体交差点拡大図を表示します。

●側道案内拡大図

ルート案内中、側道の入り口付近または出口付近におよそ300mまで接近すると側道案内拡大図を表示します。

●ハイウェイ入口案内画面

ルート案内中、都市高速道路の入口付近に接近するとハイウェイ入口案内画面を表示します。

①料金案内
料金所（入口、出口、本線上）に接近すると通行料金を表示します。

アドバイス

料金案内の表示は、ナビ詳細設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-2参照）。

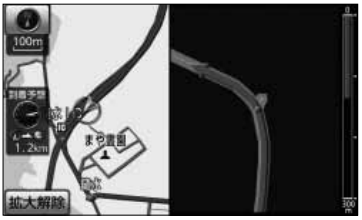
●3D高速分岐案内画面

ルート案内中、高速道路のジャンクション、サービスエリア、パーキングエリア、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると3Dの案内拡大図を表示し、走行する車線を案内します。

①方面名称案内

ＩＣの出口名称やＪＣＴでの進行方向、進行方向の路線番号を表示します。
目的地が設定されていて、ＳＡ・ＰＡに入る場合は施設の名称を表示します。

有料道路、および高速道路の一部のジャンクション、本線出口、ランプウェイ内の分岐点で簡易的な拡大図が表示されます。



アドバイス

- 方面名称案内は、高速道路上の看板の表示とは必ずしも一致しない場合があります。
- 3D高速分岐案内画面の自動表示は、ナビ詳細設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-2参照）。

●料金所レーン拡大図

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。

アドバイス

- 画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。
- 料金所レーン拡大図の自動表示は、ナビ詳細設定で「する」または「しない」の設定を行うことができます（P.4-2参照）。
- 別売の**トヨタ純正**ナビ対応ETCユニットを接続しているときは、実際のレーン運用にしたがっていただくためのメッセージ表示と音声案内を行います。分岐案内などの音声案内と重なる場合には、音声案内が行われないことがあります。
- レーンの種類によって表示されるマークは異なります。
  - E ETC専用レーン
  - 混 ETC/一般混在レーン
  - 般 一般レーン
  - ? 種類が不明なレーン
  - ···· 同じ種類のレーンが4つ以上続くため、省略して表示することを表します。
  - 表示されているレーンの他に、続きのレーンがあることを表します。

●案内拡大図の解除

（1） 案内図が表示されているときに 拡大解除 にタッチします。

- 再度表示するには ◉ を押します（P.2-42参照）。

アドバイス

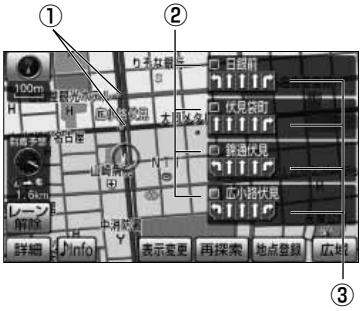
各案内図の表示優先度は「拡大図（分岐図）＜料金所レーン」となっています。

4 レーンリスト図画面

一般道路（高速道路、有料道路以外）で案内を必要とする交差点におよそ700mまで接近すると、案内分岐点までに存在する交差点の車線情報をリスト形式で表示します。

（1） 地図を表示させているときに レーン表示 にタッチします。

- ナビ詳細設定でレーンリスト自動表示を「する」に設定（P.4-2参照）している場合、案内を必要とする交差点の700mまで接近すると自動でレーンリスト図が表示されます。
- レーン解除 にタッチすると、レーンリスト図が解除されます。



①案内ポイントマーク
車線情報を表示している交差点にマークを表示します。

②通過交差点名称
車線情報を表示している交差点の名称を表示します。

③車線案内
ルート上で、案内分岐点までに通過する交差点の車線情報を表示します。

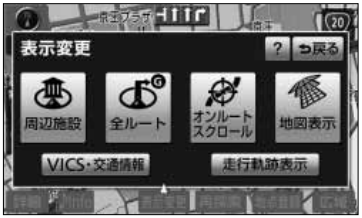
アドバイス

案内ポイントマークは、車線情報を表示する交差点ごとに色分けして表示されます。

- ■（赤色） 案内拡大図が表示される交差点
- ■ 橙色／桃色／緑色） 車線案内される交差点

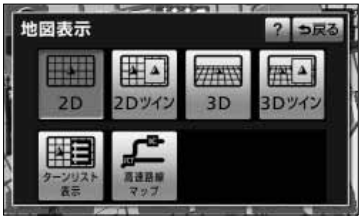
5 ターンリスト図画面

ルート案内中、目的地までに存在する案内分岐点の進路情報をリスト形式で表示します。



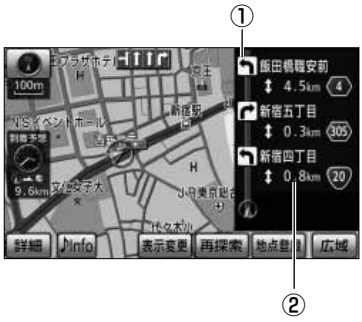
(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。



(3) ターンリスト表示 にタッチします。

- ナビ詳細設定でターンリスト自動表示を「する」に設定（P.4-2参照)している場合、ルート案内を開始すると自動でターンリスト図が表示されます。
- ターンリスト解除 にタッチすると、ターンリスト図が解除されます。



①進路案内

ルート上の案内分岐点の名称および分岐方向を表示します。

②区間距離

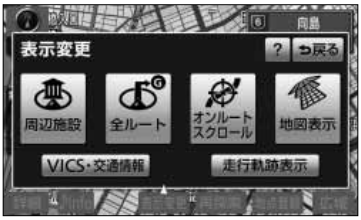
次の案内分岐点までの区間距離、道路番号を表示します。

アドバイス

高速略図画面（P.2-20参照）は同時に表示することができません。

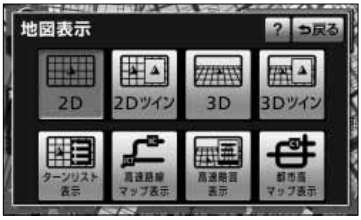
6 都市高マップ

ルート案内中、自車が都市高速道路（首都高速や名古屋高速など）の本線上を走行すると都市高マップを表示することができます。一般道路を表示しないため、複雑な都市高速道路をわかりやすく表示します。



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 地図表示 にタッチします。



(3) 都市高マップ表示 にタッチします。

- ナビ詳細設定で都市高マップ自動表示を「する」に設定（P.4-2参照）している場合、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップが表示されます（ 200m から 1.6k の地図表示時）。
  ただし、案内ルート上を走行していない場合は表示されません。
- 都市高マップ解除 にタッチすると、都市高マップが解除されます。

アドバイス

- ●都市高マップが表示されるのは、地図縮尺が 200m から 1.6k までの間のみです。
  それ以外の地図縮尺を表示している場合や、縮尺切り替えにより 200m より詳細な縮尺、または 1.6k より広域な縮尺に切り替えた場合は通常の地図が表示されます。
- ●一般道路、都市間高速道路、有料道路に進入した場合、都市高マップは自動的に解除され、通常の地図を表示します。
- ●ジャンクション、出入口ランプ全ての名称が表示されるわけではありません。
- ●高速路線マップ（P.2-23参照）は同時に表示することができません。

案内をもう一度聞きたいときは

ルート案内中に案内がよく聞きとれなかった場合や、次の分岐点までの情報を聞きたい場合、再び音声案内を聞くことができます。
また、交差点拡大図などの案内拡大図を解除したあとに再び案内拡大図を見たい場合、再表示することができます。

（1） 現在地画面で Ⓐ を押します。

- 現在の自車位置に相当した距離で音声案内を行います。
- 案内分岐点の手前約300m以内で Ⓐ を押すと音声案内とともに案内拡大図（P.2-35参照）が表示されます。

アドバイス

●ルート上を走行していないときは、音声・案内拡大図は表示されません。

●案内音量が消音のときは Ⓐ を押しても音声は発声されません。
「案内の音量を調節するには」（P.3-27参照）を参考に、聞きやすい音量に調節してください。

●案内拡大図は、案内分岐点を通過すると再表示できません。

目的地を追加・並び替え・消去するには

目的地を設定したあとに、さらに目的地を追加することができます。また、目的地の順序を並び替えたり、消去することができます。

1 目的地を追加するには

(1) 設定・編集画面（ナビ）、または全ルート表示画面で ルート変更 にタッチします。

(2) 目的地・通過目的地の 追加 にタッチします。

(3) 地図の呼び出し方を選び、目的地周辺の地図を表示させます。

その他の方法 または 戻る にタッチすると、スイッチの表示を切り替えることができます。

それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 名称 P.3-28
- 住所 P.3-33
- 施設 P.3-35
- 電話番号 P.3-37

- メモリ地点　P.3-40
- ジャンル　P.3-41
- 郵便番号　P.3-43
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- マップコード　P.3-44
- 1 ～ 5 にタッチすると、特別メモリ地点1～5周辺の地図が表示されます。
- 地点を受信　P.3-46
- 履歴　P.3-45
- 自宅周辺 にタッチすると、自宅周辺の地図が表示されます。

(4) ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

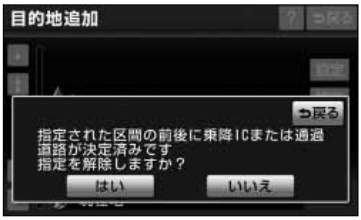
アドバイス

地点を受信 から地図を表示した場合は、 戻る が表示されません。

(5) 目的地セット にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されます。

- 目的地は最大5ヵ所まで設定することができます。
- すでに目的地が5ヵ所設定されている場合は、設定されている目的地を消去してから設定しなおしてください（P.3-7参照）。

(6) 追加する区間の 設定 にタッチします。



（7） 乗降ＩＣ（P.3-15参照）または通過道路（P.3-10参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- はい にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- いいえ にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。

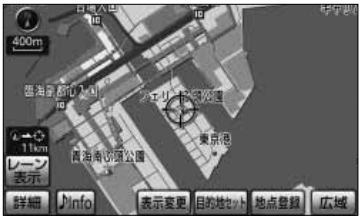
（8） 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。目的地をさらに追加する場合はP.3-1の（2）の操作を行ってください。

- 設定した目的地が G1 ～ G5 の記号で表示されます。

アドバイス

複数の目的地を設定した場合の全ルート表示画面に 5ルート は表示されません。

2 目的地を任意地点にワンタッチで追加する



（1） 目的地が設定されているときに、地図スクロール、広域 または 詳細 操作により目的地を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m より詳細な地図で 目的地セット にタッチします。

（2） ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

（3） 追加目的地 にタッチすると ⊕ の位置に目的地が設定されルート探索を開始します。

- 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。
- 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。
  P.2-26を参照してください。

アドバイス

- ワンタッチで追加した目的地は、G1 として（一番手前の目的地）設定されます。
  目的地の順番を変更したい場合は、**「目的地の順序を並び替えるには」**（P.3-6）を参照してください。
- 乗降ＩＣが指定されているときは（P.3-15参照）、適正なルートを探索するため、指定されているＩＣが自動的に解除される場合があります。

3 地図索引機能を使って目的地を追加する

(1) 目的地が設定されているときに、 を押して目的地設定画面を表示します。

(2) P.2-28の**2**の(2)～(3)の操作を行います。

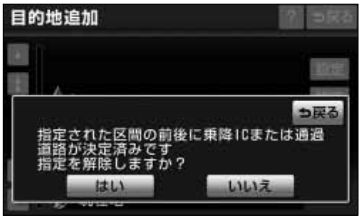
アドバイス

目的地設定画面は、よく使うスイッチを優先して表示し、使いやすくすることができます（P.4-33参照）。

(3) 追加目的地 にタッチすると の位置に目的地が設定されます。

- 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます（P.2-29参照）。

(4) 追加する区間の 設定 にタッチすると、ルート探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。



(5) 乗降ＩＣ（P.3-15参照）または通過道路（P.3-10参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

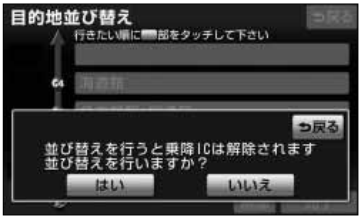
- はい にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の追加を行います。
- いいえ にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路は解除しないで目的地の追加を行います（適正なルートが探索できない場合があります）。

4 目的地の順序を並び替えるには

（1） 目的地を追加後、P.3-1の 1 の（2）の画面で目的地・通過目的地の 並び替え にタッチします。

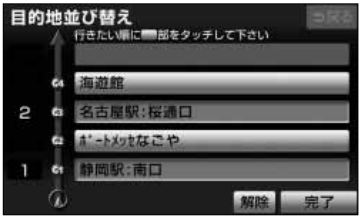
アドバイス

目的地が複数設定されていないと使用できません。



（2） 乗降ＩＣ（P.3-15参照）または通過道路（P.3-10参照）が指定されている場合は、乗降ＩＣまたは通過道路を解除するかを選択する画面が表示されることがあります。

- はい にタッチすると、指定されているＩＣまたは通過道路を解除して目的地の並び替えを行います。
- いいえ にタッチすると、目的地の並び替えを中止して、前の画面に戻ります。



（3） 目的地の名称を通過したい順にタッチします。

- タッチした目的地の名称が強調表示になり、通過順序が番号で表示されます。
- 設定を解除するには、 解除 にタッチするか、解除したい目的地の名称にタッチします。

（4） 設定がよければ 完了 にタッチします。

アドバイス

目的地の通過順序が確定してから3秒間無操作状態が続いたときは、自動的にP.3-7の（5）の画面が表示されます。

(5) 探索開始 にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

5 目的地を指定して消去するには

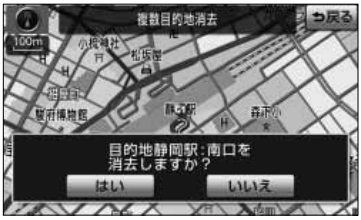
(1) P.3-5の 3 の (2) の画面で 目的地消去 にタッチします。
あるいは、P.3-1の 1 の (2) の画面で、目的地・通過目的地の 消去 にタッチします。

(2) 消去したい目的地の名称にタッチします。

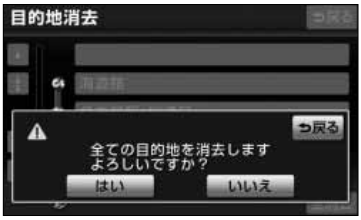
- 全ての目的地を消去するときは 全消去 にタッチします。

アドバイス

目的地が複数設定されていないと、目的地を選択する (2) の画面は表示されません。

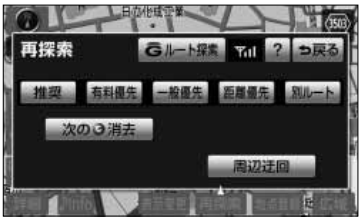


(3) はい にタッチすると目的地が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。



6 次に通過する予定の目的地をワンタッチで消去するには

(1) 現在地画面で 再探索 にタッチします。



(2) 次のG消去 にタッチします。

● 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

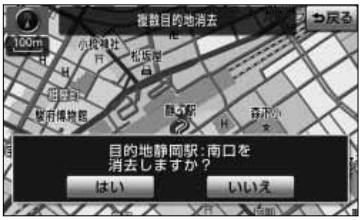
アドバイス

目的地が複数設定されていないときは使用できません。

7 地図画面から目的地を消去する

(1) 地図スクロール、 広域 または 詳細 操作により目的地に ⊕ を合わせ、 情報 にタッチします。

(2) 消去 にタッチします。



(3) **はい** にタッチすると目的地が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地の消去を中止して、前の画面に戻ります。

通過道路を指定・修正・解除するには

目的地が設定されているときに、通りたい道路を指定することができます。
また、指定した通過道路の位置を修正したり、解除することができます。

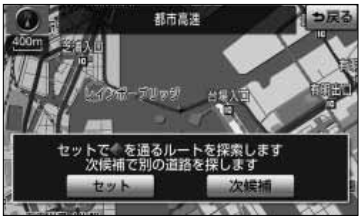
1 通過道路を指定するには

(1) 設定・編集画面（ナビ）、または全ルート表示画面で ルート変更 にタッチします。

(2) 通過点（通過道路指定）の 指定 にタッチします。

- 通過道路は2ヵ所まで設定することができます。
- すでに通過道路が2ヵ所設定されている場合は、設定されている通過道路を解除してから設定しなおしてください（P.3-13参照）。

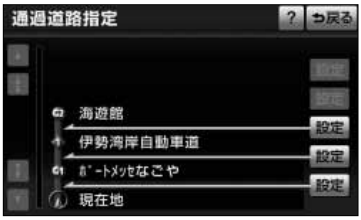
(3) 地図スクロール、 広域 または 詳細 操作により通過道路を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m より詳細な地図で 通過道路セット にタッチします。



(4) 次候補 にタッチして ◆ マークの位置を切り替え、通過したい道路上に ◆ マークが移動したら セット にタッチします。

アドバイス

表示されている地図に道路の表示が少ない場合は、 次候補 にタッチしても ◆ マークの位置が切り替わらないことがあります。



(5) 設定したい区間の 設定 にタッチします。

アドバイス

- 1ヵ所目の通過道路で、複数の目的地および乗降ＩＣが設定されていない場合は、区間を設定する画面は表示されません。
- 乗降ＩＣが指定されているときに（P.3-15参照）、乗降ＩＣの直前または直後の区間の 設定 にタッチすると、適切なルートを探索するため、指定されているＩＣは自動的に解除されます。

(6) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。2ヵ所設定する場合は（1）の操作を行ってください。

- 設定した通過道路が ❶ または ❷ の記号で表示されます。

2 全ルート表示画面から通過道路を指定するには

全ルート表示画面からも通過道路を指定することができます。

（1）全ルート表示画面で地図スクロール、 広域 または 詳細 操作により通過道路を設定したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m より詳細な地図で 通過道路指定 にタッチします。

（2） P.3-11の 1 の（4）、（5）の操作を行います。

● 探索終了後、全ルート表示画面が表示されます。2ヵ所設定する場合は（1）の操作を行ってください。

3 通過道路の位置を修正するには

（1） 通過道路指定後、P.3-10の 1 の（2）の画面で、通過点（通過道路指定）の 修正 にタッチします。

（2） 修正したい通過道路の名称にタッチします。

アドバイス

通過道路が2ヵ所設定されていないときは、通過道路を選択する（2）の画面は表示されません。

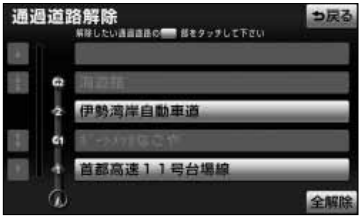
（3） 修正したい位置に ⊕ を合わせ、スケール表示が 800m より詳細な地図で 通過道路セット にタッチします。

（4） P.3-11の 1 の（4）の操作を行います。

(5) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

4 通過道路を解除するには

(1) 通過道路指定後、P.3-10の 1 の (2) の画面で、通過点（通過道路指定）の 解除 にタッチします。

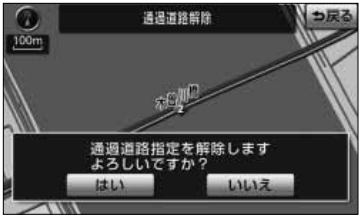


(2) 解除したい通過道路の名称にタッチします。

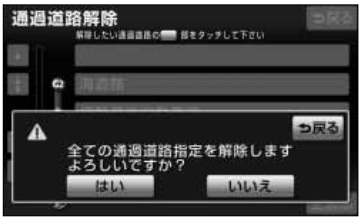
- 全ての通過道路を解除するときは 全解除 にタッチします。

アドバイス

通過道路が2ヵ所設定されていないときは、通過道路を選択する (2) の画面は表示されません。

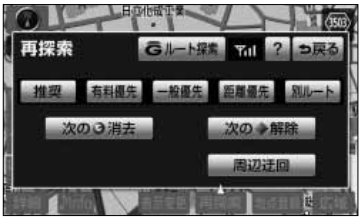


(3) はい にタッチすると通過道路が解除されます。
いいえ にタッチすると通過道路の解除を中止して、前の画面に戻ります。



(4) 探索開始 にタッチすると全ルート表示画面が表示されます。

5 次に通過する予定の通過道路をワンタッチで解除するには



(1) 現在地画面で 再探索 にタッチします。

(2) 次の◆解除 にタッチします。

● 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

アドバイス

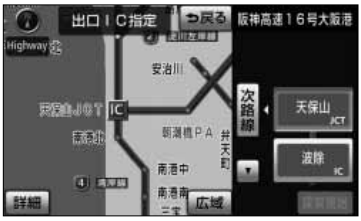
●次に通過するのがP.3-15で設定した乗降ＩＣの場合は 指定IC解除 が表示され、次に通過するＩＣを解除することができます。

●目的地が複数設定されているときは 次の G 消去 が表示され、次の目的地を消去することができます。

乗降ＩＣを指定するには

全ルート表示画面に表示されている乗降ＩＣを変更することができます。

（1） 全ルート表示画面、またはP.3-1の 1 の（2）画面で、変更する乗降ＩＣ名称にタッチします。



● ＩＣを指定する画面が表示されます。現在指定されているＩＣ付近の地図が左画面に表示され、ＩＣ名称のスイッチが右画面に表示されます。

（2） 右画面に表示されているＩＣの路線から指定したいＩＣ名称にタッチします。

● ▲ ・ ▼ 、 次路線 にタッチすると現在設定されているＩＣ付近のＩＣを検索することができます。

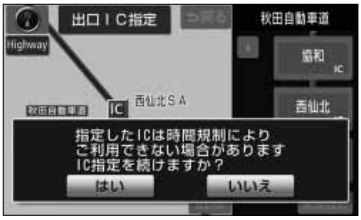
● ＩＣ名称にタッチすると、タッチしたＩＣ名称付近の地図が左画面に表示されます。

● 左画面の地図にタッチして地図を移動すると、地図の中心付近のＩＣ名称が右画面に表示されます。

(3) 探索開始 にタッチします。

- すでに乗降ＩＣを設定している場合は、 入口解除 または 出口解除 にタッチすると設定が解除されます。
- (1) で全ルート表示画面の乗降ＩＣ名称にタッチして設定を行ったときは、探索完了後に全ルート表示画面が表示されます。
- スマートIC（ETC専用インターチェンジ）を選択することもできます。
  このとき、ETC車載機の有無、規制情報などは考慮されませんので、事前にご確認の上、注意して走行してください。

(4) 指定したＩＣに複数の出入り口が存在する場合は、出入り口を選択する画面が表示されます。
次候補 にタッチして ◆ マークの位置を切り替え、指定したい出入口に ◆ マークが移動したら セット にタッチします。



(5) 時間規制があるインターチェンジ（IC）を選んだときにインターチェンジ（IC）指定を続けたい場合は、 はい にタッチします。

- いいえ にタッチすると、前の画面にもどります。

(6) ルート変更画面から設定した場合は、 探索開始 にタッチすると、全ルート表示画面が表示されます。

- 指定した乗降ＩＣ名称が表示されます。

ルートの再探索

ルート案内中（ルートからはずれたときも含む）現在地画面を表示させているときに、ルートの再探索を行うことができます。

1 案内ルートの種類を変更するには

現在、案内されているルート種類と違うルート種類に変更して次の地点（目的地、通過道路）まで探索することができます。

（1） 現在地画面で 再探索 にタッチします。

（2） 変更したい探索条件にタッチします。

● 探索が開始され、新しいルートが表示されます。

アドバイス

- 別ルート は、表示されているルートと異なるルートを、探索条件を変えずに探索したいときにタッチします。
- Gルート探索 はG-BOOK利用契約をしているときに操作できます。Gルート探索については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。
- 渋滞考慮探索が「する」に設定されている場合、渋滞が考慮されたルートが再探索されます（P.4-22参照）。

2 迂回するルートを探索するには

自車前方のルートを迂回したルートを探索することができます。

（1） 現在地画面で 再探索 にタッチします。

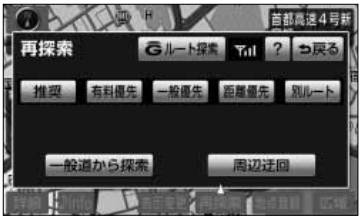
（2） 周辺迂回 にタッチします。

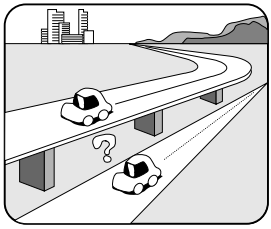
アドバイス

ルート上を走行しているときのみ利用可能です。迂回しないルートが表示されるときもあります。

3 案内される道路種別が違ったら

高速道路と一般道路が上下あるいは並行のまましばらく続くような道路を走行中に、高速道路を走行しているのに一般道路の方が案内ルートになっている、またはその逆の場合は次の方法で探索をやり直してください。





（1） 現在地画面で 再探索 にタッチします。

（2） 一般道から探索 にタッチすると、一般道路からルートが探索されます。
有料道から探索 にタッチすると、高速道路からルートが探索されます。

アドバイス

道路形状により、機能しない場合もあります。

区間ごとの探索条件を設定するには

目的地、通過道路、乗降ＩＣ の区間ごとに、探索条件を設定することができます。

(1) P.3-1の 1 の（2）画面で、 探索条件変更 にタッチします。

(2) それぞれの区間の探索条件にタッチします。

● 設定された探索条件が強調表示されます。

(3) 探索開始 にタッチすると探索が開始され、全ルート表示画面が表示されます。

ルートの詳細情報を確認するには

目的地までのルートで使用する道路の名称、高速道路のＩＣ、料金所などの一覧を表示させることができます。

（1） 全ルート表示画面で 情報 にタッチします。

（2） ルート情報画面が表示されます。

- 道路種別の変わり目、目的地、料金所などでルートを分割し、それぞれの地点で通過予想時刻、料金などが表示されます。
- 各区間のルートには、道路名称、区間距離が表示されます。
- 地図 にタッチすると、設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

アドバイス

●ルート情報画面のまま走行を開始しても、自車マークの位置は更新されません。
●料金所の種類によって表示されるマークは異なります。
- ¥ 料金所
- 検 検札所
- 発券所

● 地点を受信 から目的地を設定した場合は、検索した施設名称と表示する目的地名称が異なることがあります。

デモでルートを確認するには

目的地に到着するまでのルート案内デモを行うことができます。

(1) 目的地を設定し、ルート探索終了後に表示される全ルート表示画面で 案内開始 をピッと音が鳴るまでタッチし続けます。
目的地に到着するまでのルート案内のデモを行います。

(2) Ⓐ を押すとデモを終了します。

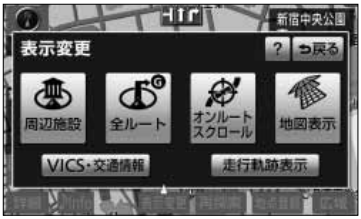
アドバイス

- 表示変更画面から呼び出した全ルート表示画面からはデモは行えません。
- ルート案内デモ中に走行を開始した場合、デモは終了しルート案内を開始します。

オンルートスクロールを使うには

ルート案内中に、画面に表示されているルートに沿って目的地や出発地までの連続地図スクロールを行ってルートを確認することができます。また、ルート沿いに存在する施設を検索し情報を見ることができます。

1 目的地または出発地までのオンルートスクロールを行うには



(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) オンルートスクロール にタッチします。

- オンルートスクロール画面が表示されます。

(3) 設定 にタッチしてオンルートスクロール設定画面を表示します。

(4) 次の目的地まで にタッチし、 完了 にタッチします。

- 初期設定は「次の目的地まで」に設定されています。
- 一度設定すると次回設定が変更されるまで保持されます。

アドバイス

高速路線マップ（P.2-23参照）表示中は、オンルートスクロールを行えません。

(5) ● ▶▶ にタッチすると、目的地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。

● ◀◀ にタッチすると、出発地方向へ低速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶▶ にタッチすると、目的地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。

● ◀◀ にタッチすると、出発地方向へ高速で連続地図スクロールが行われます。

● ▶| にタッチすると、次の目的地へスクロールがジャンプします。

● |◀ にタッチすると、出発地または出発地方向に存在する目的地（目的地を複数設定している場合）へスクロールがジャンプします。

● ⏸ にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。

アドバイス

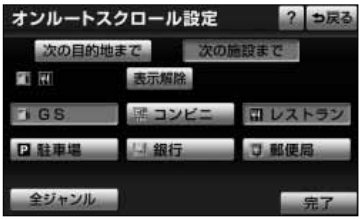
●画面内に案内ルートが表示されていない場合は連続地図スクロールできません。
●走行中はスクロールジャンプのみ行うことができます。
●地図縮尺、地図向きを切り替えた場合は、連続地図スクロールが停止します。

2 次の施設までのルートを確認するには

(1) P.3-22の **1** の（4）の画面で希望の施設にタッチします。

● 全ジャンル にタッチすると施設ジャンルのリスト画面が表示されます。

● 施設にタッチすると 次の施設まで のタッチスイッチが選択できるようになります。



(2) 次の施設まで にタッチし、 完了 にタッチします。

- にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで低速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設まで高速で連続地図スクロールが行われます。
- にタッチすると、進行方向のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。
- にタッチすると、進行方向とは逆のルート沿いに存在する次の施設へスクロールがジャンプします。
- にタッチすると、連続地図スクロールを停止することができます。
- 次の施設までのスクロールが行われ、施設に到着すると施設名称が表示されます。

アドバイス

●P.3-22の 1 の(4)の画面に表示される6つの施設ジャンルは変更することができます（P.4-24参照）。

●次の施設までのオンルートスクロール、およびジャンプスクロールは、 800m より詳細の地図表示のときに行うことができます。

走行軌跡について

1 走行軌跡の表示

走行した道路を約1000 km分保存し、軌跡を表示することができます。

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) 走行軌跡表示 にタッチします。

- 走行した経路上に白い点で軌跡が表示されます。
- 初期設定は、OFF(非表示)になっています。

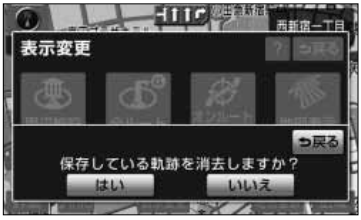
走行軌跡

アドバイス

- 保存できる距離を越えて走行したときは、古い軌跡を消去して、新しい軌跡を保存します。
- 25m～50kの縮尺で表示させることができます。
- リアル市街図（P.2-17参照）または高速路線マップ（P.2-23参照）を表示させているときは、走行軌跡を表示することはできません。
- 走行軌跡を表示していないときは、走行軌跡の情報は保存されません。

2 走行軌跡の消去

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。



(2) 走行軌跡解除 にタッチします。

- はい にタッチすると、地図上の走行軌跡、保存してある走行軌跡の情報とも消去されます。
- いいえ にタッチすると、地図上から走行軌跡は消去されますが、保存してある走行軌跡の情報は消去されません。
  保存されている軌跡の情報を再表示するには、「1 走行軌跡の表示」をご覧ください。

ルート案内を中止・再開するには

設定されているルートの案内が不要の場合、ルート案内を一時中断することができます。
再びルート案内を必要とする場合は、案内を再開することができます。

（1） 設定・編集画面（ナビ）を表示します。

- 案内中は 案内中止 が表示され、案内中止状態のときは 案内再開 が表示されます。

（2） 案内中止 にタッチすると案内を中止します。

- 案内を再開するときは 案内再開 にタッチします。

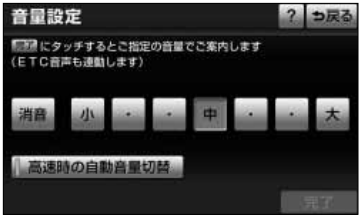
アドバイス

- 案内中止状態のときはルート表示は行われません。
- 設定した目的地や通過道路は消去されないので、裏道を使うときや道に詳しい地域を走行するときに利用すると便利です。
- 音声による案内のみが不要の場合は、ナビ詳細設定の自動音声案内（P.4-2参照）を「しない」に設定してください。

案内の音量を調節するには

音声案内の音量を7段階に調節することができます。案内音声を一時的に消すこともできます。

1 案内の音量を調節するには



(1) 設定・編集画面（ナビ）で 音量設定 にタッチします。

(2) 小、・、・、中、・、・、大 のいずれかにタッチすることにより、案内音量の設定を変更することができます。

- 設定された音量で「この音量でご案内します」の音声が発声されます。
- タッチしたタッチスイッチが強調表示になります。
- 消音 にタッチすると、案内音量が消音になります。

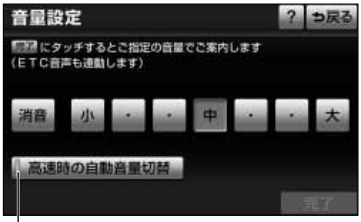
(3) 完了 にタッチします。

アドバイス

案内音量を 消音 にタッチすると「この音量でご案内します」の音声は発声されません。

2 自動音量切り替え機能を使うには

自車が80km以上で走行時に、案内音声を自動的に1段階上の音量で発声させることができます。（車速が70km以下になると、もとの音量に戻ります。）



(1) 設定・編集画面（ナビ）で 音量設定 にタッチします。

(2) 高速時の自動音量切替 にタッチすると、自動音量切替を「設定する」または「設定しない」に切り替えることができます。

- 「設定する」にしたときは、作動表示灯が点灯します。

(3) 完了 にタッチします。

アドバイス

- 案内音量の設定値は変更されません。
- 案内音量が 消音 に設定されているときは音量は切り替わりません。

名称で地図を表示するには

施設名称（または地名）の読み仮名／文字を入力して位置を検索し、該当の地図を表示します。
読み仮名／文字入力で検索したあとに、さらにジャンル別、都道府県別、地域別、各地点別（現在地周辺、最後に表示していた地図、目的地周辺）に検索することもできます。

▼ 以下に目的地設定を名称で地図を表示して行う場合について説明します。

1 名称／読みで地図を表示するには

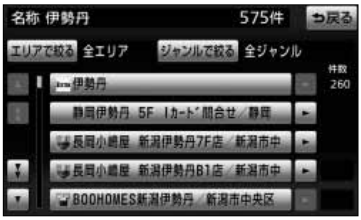
（1） 目的地設定画面（P.2-28参照）で 名称 にタッチします。

（2） 施設名称（または地名）を1文字ずつタッチして読み方を入力します。

- 修正するときは 修正 にタッチすると1文字ずつ消去されます。
- 検索先の候補がない文字のタッチスイッチは色が反転し、タッチしても入力することができません。
- 1文字ずつタッチするごとに、検索される施設名称（または地名）の件数が表示されます。
- 漢字入力 にタッチすると施設（または地名）の名称を漢字で入力することができます。
- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。

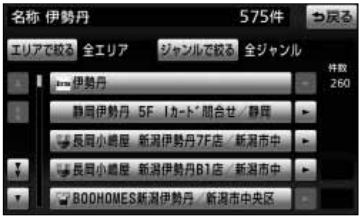
（3） 完了 にタッチすると、その時点で入力した文字から検索された施設名称（または地名）がリストで表示されます。

- 施設名称（または地名）を読み仮名で入力したときは、入力中に検索先の候補が5件以下で、10秒間無操作状態が続くと自動的に施設名称（または地名）のリストを表示します。



(4) 表示したい施設名称（または地名）にタッチします。

- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、 OK にタッチすると、周辺地図が表示されます。
- 施設名称に複数店舗（チェーン店）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。
- リスト表示されている施設名称（または地名）のエリアを指定するときは エリアで絞る に、ジャンルを指定するときは ジャンルで絞る にタッチします。
- 戻る にタッチするとP.3-28の2番目の画面またはP.3-28の3番目の画面に戻ります。



(5) グループ化されたリストにタッチしたときは、次に表示された画面で、施設名称にタッチすると、地図表示されます。

- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、 OK にタッチすると、周辺地図が表示されます。

アドバイス

グループ化された施設名称リストは、50音順と、から近い施設（または地点）の順の2種類の並べ方をさせることができます。

- 名称順 にタッチすると、50音順に並びかわります。
- 距離順 にタッチすると、から近い施設（または地名）の順に並びかわります。

●名称順表示

●距離順表示

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

● 表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携P が表示されます。

(6) 施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示するには 提携P にタッチします。

アドバイス

情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.4-39を参照してください。

(7) 入庫可能な駐車場が存在すると、駐車場名称がリスト表示されます。

● 施設の専用駐車場には P (青色) で、提携駐車場には P (緑色) の記号で表示します。

● 駐車場名称にタッチすると、駐車場の詳細情報が表示されます。

● 各駐車場の 地図 にタッチすると、駐車場周辺の地図を表示します。

アドバイス

●入庫可能な駐車場の検索は、P.4-25で設定した車両情報に基づいて行われます。
●車両の長さ、幅、高さを設定することで、入庫可能な駐車場を検索することができます。

2 ジャンル別検索をするには

(1) P.3-29の 1 の (4) の画面で、 ジャンルで絞る にタッチします。

(2) 表示したい施設のジャンルにタッチします。

● 全ジャンル にタッチすると、P.3-29の 1 の (4) の画面を表示します。この場合、ジャンルの指定は行われていません。

アドバイス

表示したいジャンルとして その他 から 住所 を選択して周辺の地図を表示すると 住所一覧 が表示されます。 住所一覧 にタッチすると周辺の住所から地図を表示することができます。P.3-38を参照してください。

3 エリア別検索をするには

エリア別検索は、都道府県別、地域別、各地点別（現在地周辺、最後に表示していた地図、目的地周辺）別に行うことができます。

●都道府県から検索する

（1） P.3-29の 1 の（4）の画面で、 エリアで絞る にタッチします。

（2） 住所 にタッチします。

（3） 施設のある都道府県名、市区町村名の順にタッチします。

- 全エリア にタッチすると、P.3-29の 1 の（4）の画面を表示します。この場合、都道府県の指定は行われていません。

●地域から検索する

（1） P.3-29の 1 の（4）の画面で、 エリアで絞る にタッチします。

（2） 地域 にタッチします。

（3） 施設のある地域名にタッチします。

- 全エリア にタッチすると、P.3-29の 1 の（4）の画面を表示します。この場合、地域の指定は行われていません。

●各地点から検索する

(1) P.3-29の**1**の(4)の画面で エリアで絞る にタッチします。

(2) 周辺 にタッチします。

(3) 施設周辺の地図を呼び出す方法にタッチします。

- 全エリア にタッチすると、P.3-29の**1**の(4)の画面を表示します。この場合、地域の指定は行われていません。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 先程の地図 にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。
- 目的地周辺 にタッチすると、目的地が1つのみ設定されているときは、目的地周辺の地図が表示されます。
  目的地が複数設定されているときは、目的地のリストが表示されます。

(4) 目的地周辺 にタッチしたときは、施設のある目的地にタッチします。

- タッチした目的地周辺の地図が表示されます。

(5) セット にタッチします。

住所で地図を表示するには

住所から周辺の地図を表示することができます。番地を指定することにより、詳細な住所の検索ができます。

▼ 以下に目的地設定を住所から地図を表示して行う場合について説明します。

1 住所で地図を表示するには

(1) 目的地設定画面（P.2-28参照）で 住所 にタッチします。

(2) 都道府県名、市区町村名、大字名、小字名の順で表示させたい地名をタッチします。

● ○○主要部 にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

2 番地を指定して地図を表示する

（1） P.3-32の 1 の（2）で、小字名にタッチしたあと、番地指定 にタッチすると番地を指定することができます。

（2） 数字と－を１つずつタッチして番地を入入力します。

- 123番地45号を入力する場合、「123－45」と入力してください。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１つずつ消去されます。

（3） 完了 にタッチすると周辺の地図を表示します。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 複数の番地が存在する場合は 周辺住所 が表示されます。

（4） 周辺住所 にタッチすると番地の候補がリスト表示されます。

- リスト最上部の番地（矢印で表示）の位置が、右画面の地図上に のマークで表示されます。
- 表示したい番地にタッチすると、周辺の地図を表示します。

施設で地図を表示するには

ゴルフ場、スキー場、キャンプ場などの施設名称から周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を施設（空港）から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） 目的地設定画面（P.2-28参照）で 施設 にタッチします。

（2） 表示したい施設のジャンルにタッチします。
（ここでは 空港 にタッチします）

● 表示されている施設以外のジャンルは その他 にタッチすると表示され、表示したい施設ジャンルを選択することができます。

（3） 施設のある都道府県名にタッチします。

● 選択したジャンルによっては、 全国の○○ が表示されます。
全国の○○ にタッチすると全国の施設名称を50音順でリスト表示することができます。

（4） 表示したい施設にタッチします。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

● 情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.4-39を参照してください。

●表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携P が表示されます。 提携P にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-30を参照してください。

電話番号で地図を表示するには

市外局番とそれに続く加入者番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を電話番号（066-576-****）から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） 目的地設定画面（P.2-28参照）で 電話番号 にタッチします。

（2） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。
- 市外局番と市内局番を入力しただけでも周辺の地図を表示できます。

（3） 完了 にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると地図を表示します。
  入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
  入力した番号に該当する施設がないとき、または入力した番号が個人住宅などのときは、入力した市外・市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。
- 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

●情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.4-39を参照してください。
●表示した施設に提携駐車場が存在する場合は 提携P が表示されます。 提携P にタッチすると施設の提携駐車場を検索し、入庫可能な駐車場を表示することができます。P.3-30を参照してください。

● 該当地点が存在しない場合（市内局番周辺の地図が表示されたとき）は 住所一覧 が表示されます。

(4) 周辺の住所から地図を表示するには 住所一覧 にタッチします。

(5) 表示させたい地名にタッチします。

● ○○主要部 にタッチすると、周辺の地図が表示されます。

● 番地指定 にタッチすると番地を指定することができます（P.3-34参照）。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

● 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ画面が表示されます。
● 表示させたい施設名称にタッチします。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

メモリ地点で地図を表示するには

すでに登録済みのメモリ地点から、周辺の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をメモリ地点から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） 目的地設定画面（P.2-28参照）で メモリ地点 にタッチします。

アドバイス

メモリ地点が登録されていないときは使用できません。

（2） 表示したいメモリ地点にタッチします。

- メモリ地点のリストは、種別順、マーク順、登録した順の3種類で並べることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並びかわります。
  - マーク順 にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。

ジャンルで地図を表示するには

現在地や目的地周辺に存在する施設の地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をジャンルから地図を表示して行う場合について説明します。

(1) 目的地設定画面（P.2-28参照）で ジャンル にタッチします。

(2) 検索したい施設のジャンルにタッチします。

(3) さらに詳細なジャンルにタッチします。

- 施設のジャンルは5つまで選択することができます。
- 選択解除 にタッチすると、選択されているジャンルが右側から解除されます。
- 選択したジャンルにタッチすると、選択したジャンルが解除されます。

(4) エリア にタッチすると、周辺施設を検索するエリアを選択する画面が表示されます。

- すでに設定している目的地の周辺施設を検索したい場合は、リストの中から検索したい目的地にタッチします。
- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- 住所指定 にタッチすると、住所から周辺施設を表示させたい地域を選択することができます（P.3-33参照）。

アドバイス

目的地を設定している場合にのみ、目的地のタッチスイッチが表示されます。

(5) ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

(6) セット にタッチします。

● 周辺施設のジャンル選択画面が表示されます。

(7) 完了 にタッチします。

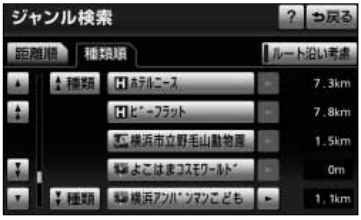
● 違う施設ジャンルを選択するときは、戻る にタッチして画面を切り替えてください。

(8) 表示させたい施設にタッチします。

● 現在地から検索したときは、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを表示します。

● 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、距離順 にタッチすると選択したエリアから近い順に表示されます。

● ルート沿い考慮 にタッチするとルートの進行方向に向かってルート沿いに存在する施設の位置、および現在地からの道なり距離が表示されます(P.4-42参照)。



● 選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称が表示されます。

● 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます(P.4-39参照)。

● 施設によって、写真などの詳細なガイド情報画面が表示されます(P.4-40参照)。

郵便番号で地図を表示するには

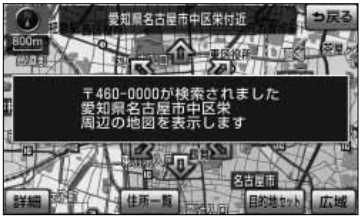
郵便番号によって該当地点の周辺の地図を表示します。

▼ 以下に目的地設定を郵便番号（460-0000）から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） 目的地設定画面（P.2-28参照）で 郵便番号 にタッチします。

（2） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 7桁全ての郵便番号を入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。



（3） 完了 にタッチすると検索を開始します。

- 検索が成功すると周辺の地図を表示します。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。
- 周辺の住所から地図を表示するには 住所一覧 にタッチします。P.3-38を参照してください。

アドバイス

超高層ビル、事業所などの個別に割りあてられた郵便番号から地図を表示した場合は、 住所一覧 は表示されません。

マップコードで地図を表示するには

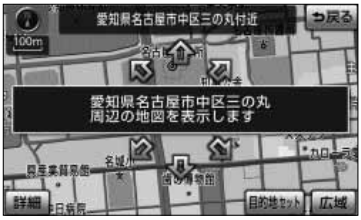
最大13桁（＊を含む）のマップコードから地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定をマップコード（4349XXXX）から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） 目的地設定画面（P.2-28参照）で マップコード にタッチします。

（2） 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。



（3） 完了 にタッチすると検索を開始します。

● 検索が成功すると周辺の地図を表示します。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

●マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、特定の場所を表現していましたが、住所では特定しにくいところも特定することができるようになります。

●標準マップコード（6～10桁）のあとに＊を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。

●マップコードについては、http://www.e-mapcode.comで紹介されています。そちらをご覧ください。

●マップコードは、メモリ地点修正画面（P.4-47参照）の位置名称の下にも表示されます。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

履歴で地図を表示するには

一度設定した目的地は100件分まで自動的に記憶され、その履歴から地図を表示することができます。

▼ 以下に目的地設定を履歴から地図を表示して行う場合について説明します。

(1) 目的地設定画面（P.2-28参照）で 履歴 にタッチします。

(2) 過去の目的地から、表示したい目的地の名称をタッチします。

● 前回出発地 にタッチすると、前回出発地の地図が表示されます。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

●履歴は最近設定した目的地を100件まで記憶しています。
100件を超えると古い順に消去されます。必要な地点はメモリ地点に登録（P.4-44参照）してください。
●履歴で地図を表示したあと、同一地点に目的地を設定した場合は、設定した日付のみが更新されます。
●携帯電話で表示した地図（P.3-46参照）は、履歴に記憶されないことがあります。また、設定したときの名称と異なる名称が記憶されることがあります。
●履歴を消去する場合はP.4-26を参照してください。

携帯電話で地図を表示するには

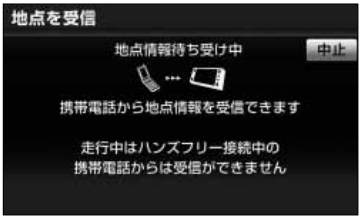
Bluetooth携帯電話で検索した施設の地点情報や、受信したメールに含まれている待ち合わせ場所の情報を本機に送信して、その場所の地図を表示することができます。
本機能を使用するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、各携帯電話会社にお問い合わせいただくか、携帯電話のパンフレット、専用カタログ、トヨタHP内の適合表などを合わせてご覧ください。

▼ 以下に目的地設定を携帯電話から地図を表示して行う場合について説明します。

警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

(1) 目的地設定画面（P.2-28参照）で 地点を受信 にタッチします。

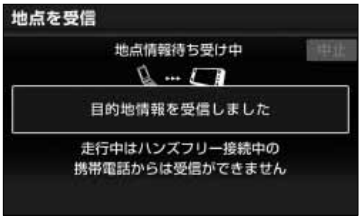


(2) 携帯電話から地点情報を受信します。

- 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。

アドバイス

- 本機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「ハンズフリーの準備をするには」参照）。
- 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
- 受信中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたときは、受信が中止されます。エンジンスイッチをACCまたはONにして再度操作を行ってください。
- 受信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、受信が中止されます。
- データ受信中は、Bluetoothオーディオ（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「4.Bluetoothオーディオの操作」参照）やハンズフリー（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」参照）の接続が切断されます。この場合、受信が終了すると、再接続されます。(機種によっては再接続できないことがあります)。
- 情報・G・BTナビ画面からも、携帯電話から地点情報の受信を行うことができます。(P.4-67参照)



- 携帯電話から地点情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。

- 周辺の地図をノースアップで表示します。

アドバイス

- 情報 は表示した施設に詳細情報が存在する場合のみ表示されます（一部施設を除く）。 情報 にタッチすると施設の詳細情報を表示することができます。P.4-39を参照してください。
- 携帯電話から受信した地点情報は、 地点登録 からメモリ地点に登録すると、ガイド情報画面（P.4-40参照）などに表示された内容と登録内容が異なることがあります。
- 携帯電話から受信した地点情報は、コンテンツによっては著作権で保護されているためメモリ地点に登録できないことがあります。
- 詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
- 携帯電話から受信した地点情報は、携帯電話側の地点情報と位置がずれることがあります。

特別メモリ周辺で地図を表示するには

登録している特別メモリ地点から地図を表示することができます。

▼ 以下にメモリ地点登録を特別メモリ地点から地図を表示して行う場合について説明します。

（1） メモリ地点登録画面（P.4-45）で 特別メモリ周辺 にタッチします。

アドバイス

特別メモリが登録（P.4-55）されていない場合は利用できません。

（2） 登録している地点にタッチします。

● 周辺の地図をノースアップで表示します。

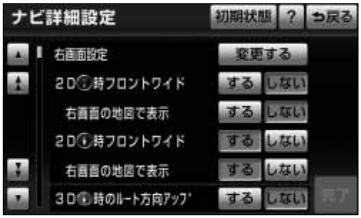
アドバイス

特別メモリ周辺で地図が表示できるのは、メモリ地点、迂回メモリ地点および販売店を登録するときのみです。

ナビ詳細設定を行うには

利用状況に応じてナビゲーションの各種の設定（ナビ詳細設定、安全・快適走行設定）を変えることができます。よく使う機能を設定しておくと便利です。

1 ナビ詳細設定を行うには



（1） 設定・編集画面（ナビ）で ナビ詳細設定 にタッチします。

（2） ナビ詳細設定画面で設定したい項目の分類を選択します。

- 各項目の設定内容については、下記 2 を参照してください。

（3） リストの項目を動かして（P.2-3参照）各機能の設定を行います。

- 各項目の設定内容については、下記 2 を参照してください。
- 初期状態 にタッチすると、全ての項目（一部設定項目を除く）が初期設定値に戻ります（下記 2 参照）。

（4） 全ての設定がよければ 完了 にタッチします。

2 ナビ詳細設定の項目について（＿＿は初期値を示します）

分類	機能名	選択項目	機能名	選択項目
地図表示設定	右画面設定	変更する	昼の地図色	＿＿ノーマル/フレッシュ/クール/シック/ウォーム
	2D 時フロントワイド	する／＿＿しない		
	右画面の地図で表示	する／＿＿しない	夜の地図色	＿＿ノーマル/フレッシュ/クール/シック/ウォーム
	2D 時フロントワイド	＿＿する／しない		
	右画面の地図で表示	＿＿する／しない	自車マーク変更	＿＿ノーマル/ / / / /
	3D 時のルート方向アップ	する／＿＿しない		
	3D地図表示設定	変更する	ビジュアルシティマップ表示	＿＿する／しない

分類	機能名	選択項目	機能名	選択項目
地図表示設定	地図の文字サイズ変更	大／中／小	シーズンレジャーランドマーク表示	する／しない
	周辺施設表示	変更する	地図スクロール時の地名表示	する／しない
	立体ランドマーク表示	する／しない		
自動表示切替設定	交差点拡大図自動表示	する／しない	都市高マップ自動表示	する／しない
	高速分岐模式図自動表示	する／しない	高速路線マップ自動表示	する／しない
	レーンリスト自動表示	する／しない	駐車場マップ自動表示	する／しない
	ターンリスト自動表示	する／しない		
案内表示設定	縮尺切替メッセージ表示	する／しない	3D交差点拡大図	する／しない
	料金案内	する／しない	到着予想時刻表示	変更する
	料金所レーン案内	する／しない	G情報マーク連動サービス※1	する／しない
	県境案内	する／しない		
音声設定	***VICS*** 渋滞・規制音声自動発声	する／しない	他モード時の案内	する／しない
	自動音声案内	する／しない	操作説明音声	する／しない
	細街路での音声案内	する／しない	ハートフル音声	する／しない
ルート系設定	自動再探索	する／しない	交通状況学習結果の消去	消去する
	ルート学習	する／しない	季節規制メッセージ表示	する／しない
	ルート学習結果の消去	消去する	渋滞考慮探索設定	変更する
	交通状況学習結果の表示	表示する		
その他	スイッチ表示設定	変更する	時計表示	する／しない
	目的地メニューカスタマイズ	変更する	ナビ補正	補正する
	周辺施設　走行中呼出ジャンル	変更する	VICS割込設定※3	変更する
	車両情報設定※2	変更する	ユーザカスタマイズ	設定する
	目的地履歴の消去	消去する	QUICK SETUP	設定する
	画面切り替え時の動画表現	する／しない		

※1　G-BOOK利用契約をされているときに操作できます。

※2　目的地が設定されているときは、タッチスイッチの色が反転し、タッチしても操作できません。

※3　別売の2メディア対応の***VICS***システム（P.8-1参照）を接続したときに操作できます。

●右画面設定

2画面表示（P.2-15参照）のときの右画面を操作することができます。

（1） 地図の表示を切り替えるには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、右画面設定の 変更する にタッチします。

（2） 次に表示された画面で、以下のことができます。

- 広域 または 詳細 にタッチすると、右画面の縮尺を切り替えることができます（P.2-9参照）。
- または にタッチすると、右画面の地図向きを切り替えることができます（P.2-12参照）。
- 3D表示 にタッチするごとに、右画面を3D表示（P.2-13参照）、または2D表示に切り替えることができます。
  右画面が3D表示のときは、作動表示灯が点灯します。
- 周辺施設表示 にタッチするごとに、右画面の施設ランドマークを表示、または消去することができます（P.4-37参照）。
  右画面の施設ランドマークが表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。
- VICS表示 にタッチするごとに、右画面の ***VICS*** 情報を表示、または消去することができます（P.4-70参照）。
  右画面の ***VICS*** 情報が表示状態のときは、作動表示灯が点灯します。

（3） 完了 にタッチします。

●2D 時フロントワイド

ノースアップ（P.2-12参照）のとき、自車マークをフロントワイド（進行方向の地図を広く）表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する

しない

●2D 時フロントワイド　右画面の地図で表示

2画面表示で右画面がノースアップ（P.2-16参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定できます。

する

しない

●2D 時フロントワイド

ヘディングアップ（P.2-12参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

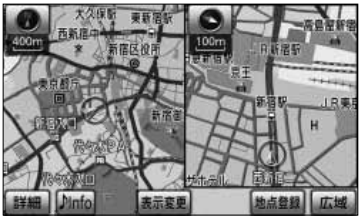
する

しない

●2D 時フロントワイド　右画面の地図で表示

2画面表示で右画面がヘディングアップ（P.2-16参照）のとき、自車マークをフロントワイド表示するか、しない（画面中央表示）か設定ができます。

する



しない

●3D 時のルート方向アップ

3D表示で案内ルート上を走行中に、地図向きをルート方向アップ（ルートの進行方向が画面上方となるような地図）表示に切り替えることができます。

ルート方向アップ表示

●3D地図表示設定

3D表示（P.2-13参照）の視点角度を変更することができます。

（1） 3D表示の視点角度を変更するには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、3D地図表示設定の 変更する にタッチします。

（2） または により視点角度を変更できます。

- にタッチすると、視点の角度を上げることができます。
- にタッチすると、視点の角度を下げることができます。
- 視点角度は10段階に調整できます。
- 初期状態 にタッチすると、角度が初期設定の状態（下から4つ目の設定）に戻ります。

（3） セット にタッチします。

- 設定した視点角度で表示されます。

●昼の地図色

昼画面（P.1-20参照）の地図色を変更することができます。

昼画面

●ノーマル、フレッシュ、クール、シック、ウォームに切り替えることができます。

●夜の地図色

夜画面（P.1-20参照）の地図色を変更することができます。

夜画面

●ノーマル、フレッシュ、クール、シック、ウォームに切り替えることができます。

●自車マーク変更

自車マークの種類を変更することができます。

自車マーク

アドバイス

リアル市街図（P.2-17参照）、または自車の方位修正画面（P.5-1参照）を表示しているときは、自車マークが で表示されます。

●ビジュアルシティマップ表示

ビジュアルシティマップ（道幅を考慮した地図）を表示することができます。

する

しない

●地図の文字サイズ変更

地図に表示されている名称（文字）の大きさを変更することができます。

大

中

小

アドバイス

- ●本書で使用している地図画面は文字サイズ 中 を使用しています。
- ●3D表示（P.2-13参照）のときは、手前側から大きい文字で表示されます。
- ● 文字サイズを 大 にした場合は、文字が重なることがあります。

●周辺施設表示

地図上にGS（ガソリンスタンド）やレストランなどの施設のランドマークを表示することができます。

（1） 地図の表示を切り替えるには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、周辺施設表示の 変更する にタッチします。

（2） 表示させたい施設ジャンルにタッチすると、タッチした施設ランドマークが地図上に表示されます。

- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。
- 表示されている6つの施設ジャンルは、走行中に選択（解除）・追加することができます。
- 6つの施設ジャンルを変更することができます。変更方法の詳細については、P.4-24を参照してください。
- 全ジャンル にタッチすると、6つの施設ジャンル以外の施設ランドマークも選択することができます。

（3） 全ジャンル にタッチしたときは、次に表示された画面で表示させたい施設ジャンルにタッチします。

- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。
- 表示解除 にタッチすると、選択されている施設ジャンルが全て解除されます。
- 選択されている施設ジャンルにタッチすると、選択されていた施設ジャンルが解除されます。

(4) 完了 にタッチします。

アドバイス

- G情報マーク表示 はG-BOOK利用契約をされているときに、G情報マークを表示させるスイッチです。G情報マーク表示については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。
- 施設ランドマークは、800mよりも広域な地図では表示されません。

●立体ランドマーク表示

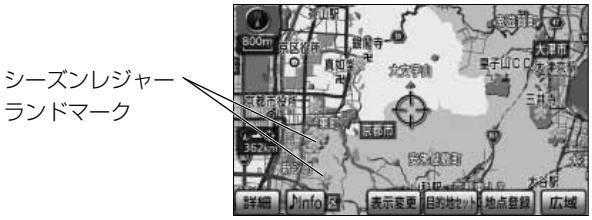
地図上に特定施設の立体ランドマークを表示することができます。

立体ランドマーク

- 800m より詳細の地図に立体ランドマークを表示します。
- 表示された立体ランドマークにタッチすると、施設が赤枠で強調され施設名称が表示されます。
- 情報 にタッチすると、施設情報画面が表示されます（P.4-39参照）。
  施設によっては、写真などの詳細なガイド情報画面が表示されます（P.4-40参照）。

●シーズンレジャーランドマーク表示

季節的に観光スポットとなる場所をマークで表示することができます。



アドバイス

- ●季節によっては表示されないマークがあります。
- ●地域によって季節に誤差があるため、マークが表示される時期と観光スポットの実際の観光シーズンが異なる場合があります。
- ●地図の縮尺によって表示されない場合があります。

●地図スクロール時の地名表示

地図にタッチして地図を移動（スクロール）したときに、画面の中心付近の地名や道路名称、道路番号を表示することができます。

アドバイス

地名表示は、 50m から 3k までの地図縮尺で表示されます。

●交差点拡大図自動表示

ルート案内中、分岐点に接近すると案内分岐点の拡大図（P.2-35参照）を自動で表示することができます。

交差点拡大図

●高速分岐模式図自動表示

ルート案内中、高速道路のジャンクション、サービスエリア、パーキングエリア、本線出口、ランプウェイ内の分岐点に接近すると高速分岐案内図（P.2-37参照）を自動で表示することができます。

高速分岐模式図

●レーンリスト自動表示

ルート案内中、案内分岐点に接近するとレーンリスト（P.2-39参照）を自動で表示することができます。

レーンリスト

●ターンリスト自動表示

ルート案内中、目的地までの案内分岐点、次の分岐点または目的地までの距離、現在走行中の道路名称を自動で表示することができます。

ターンリスト

●都市高マップ自動表示

ルート案内中、自車が都市高速道路に進入すると自動で都市高マップ（P.2-41参照）を表示することができます。

都市高マップ

アドバイス

- ●都市高マップは、200m から 1.6k までの地図縮尺で表示されます。
- ●P.4-1の 1 の（3）の画面で、高速路線マップ自動表示が する に設定されている場合は高速路線マップが表示されます。

●高速路線マップ自動表示

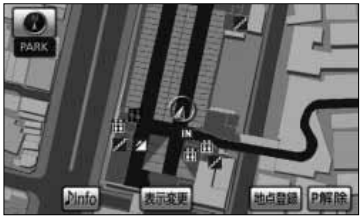
自車が高速道路に進入すると自動で高速路線マップ（P.2-23参照）を表示することができます。

高速路線マップ

●駐車場マップ自動表示

自車が情報の収録されている駐車場に入ると、自動で駐車場マップ（P.2-19参照）を表示することができます。

駐車場マップ



●縮尺切替メッセージ表示

縮尺切り替え中に『市街図を表示します』などのメッセージを画面に表示させることができます。

アドバイス

上記以外に縮尺切り替えメッセージ表示を する に設定したときは、以下のメッセージが表示されます。
『都市高マップは、200m図より詳細な地図では表示できません』
『都市高マップは、1.6km図より広域な地図では表示できません』
『施設情報・***VICS***・交通情報は、広域の地図には表示されません』
『施設情報は、800m図より広域の地図には表示されません』
『***VICS***・交通情報は、1.6km図より広域の地図には表示されません』
『リアル市街図を表示します』

●料金案内

ルート案内中、料金所に接近すると料金案内（P.2-36参照）を表示することができます。

料金案内

アドバイス

表示される料金案内に、ETCによる割引は考慮されません。

●料金所レーン案内

ルート案内中、料金所の手前で、3Dの案内拡大図を表示し、料金所のレーンを案内（P.2-38参照）します。ETCレーンがある場合は、一般レーンとETCレーンの区別も表示します。

アドバイス

画面に表示されているレーン表示は、実際の状態と異なる場合があります。

●県境案内

自車が県境にさしかかると、音声とその県をイメージさせた絵でお知らせすることができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

県境マーク

●3D交差点拡大図

交差点拡大図の表示を2Dまたは3Dに切り替えることができます。

3Dの交差点拡大図

2Dの交差点拡大図

アドバイス

立体交差点拡大図、測道案内拡大図、ハイウェイ入口案内画面、3D高速分岐拡大画面は、交差点拡大図の表示設定に関わらず常に3Dで表示されます。

●到着予想時刻表示

ルート上を走行しているときに、目的地への到着予想時刻（P.2-33参照）を表示することができます。この到着予想時刻を計算する基準として、高速道路、有料道路（都市高速含む）、一般道路の各平均車速を設定することができます。

（1） 平均車速を設定するには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、到着予想時刻表示の 変更する にタッチします。

（2） 設定したい道路種別の ◀ または ▶ にタッチすると平均車速を変更できます。

- ◀ にタッチすると設定速度が遅くなります。
- ▶ にタッチすると設定速度が速くなります。
- 初期状態 にタッチすると、全ての平均車速設定が初期設定値に戻ります。

（3） 設定がよければ 完了 にタッチします。

アドバイス

- 案内ルート上を走行していないときは、到着予想時刻の表示は行われません。
- 到着予想時刻の表示は自車の走行と時間の経過により随時更新されます。
- VICS情報考慮 にタッチすると、***VICS*** 情報および渋滞統計データ（渋滞考慮探索が「する」に設定されている場合）をもとに渋滞や交通規制を考慮した到着予想時刻を表示します（***VICS*** 情報を優先）。
  また、Gルート探索※により、広域の渋滞予測情報をG-BOOKセンターから取得した場合も到着予想時刻に反映されます。
  作動表示灯が点灯しているときは、***VICS*** 情報および渋滞統計データ、またはGルート情報※を考慮します。
  ※**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

●G情報マーク連動サービス

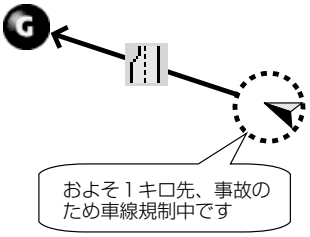
G情報マークの地点情報を利用して、近接案内などのサービスを提供します。詳細については**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

アドバイス

G情報マーク連動サービスの設定は、G-BOOK利用契約をされているときに操作できます。

●*VICS* 渋滞・規制音声自動発声

案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した***VICS*** 情報の音声案内を自動で行うことができます。



アドバイス

- ***VICS*** 情報の音声案内は、***VICS*** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10ｋｍまでの情報です。
- ***VICS*** の表示設定（P.4-75参照）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も案内されます
  （一般道のみに設定されているときも高速道の情報が案内されます）。

●自動音声案内

ルート案内中、分岐点に接近したときなどに音声案内を自動で行うことができます。

まもなく左方向です

●細街路での音声案内

ルート案内中、目的地周辺で、幅5.5m未満の道路（細街路）を通るルートの音声案内を行うことができます。

実際の交通規制や道幅に注意して走行してください。

アドバイス

- ●実際の入り口（玄関、駐車場など）と異なる場所に案内される場合があります。
- ●出発地点が幅5.5m未満の道路にある場合、幅5.5m以上の道路までは、音声案内を行いません。
- ●交通規制（一方通行など）や道幅が狭いなどの理由により、通行できないルートが案内されることがあります。

●他モード時の案内

ラジオやテレビ画面を表示し、その音声を聞いているときにもナビゲーションの音声案内を聞くことができます。

●操作説明音声

画面の説明を音声案内させることができます。

電話番号や施設名称から地図を表示して目的地を設定できます。

●ハートフル音声

その日ナビゲーションが初めて立ち上がったときに、日付や挨拶などを音声で案内させることができます。
日付案内の例･･･今日は○月○日○曜日○○○（記念日など）です。（１回のみ／日）
自宅到着の例･･･お疲れ様でした。（目的地設定の 自宅に帰る からルート案内したときのみ）

今日は6月3日
木曜日○○○（記念日など）です。

アドバイス

上記のハートフル音声は一般的なものであり、状況などにより異なった音声が出力されたり、出力されない場合があります。

●自動再探索

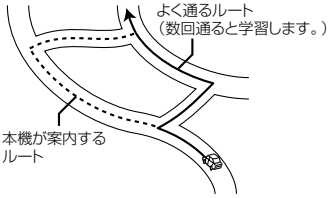
案内ルートから自車が外れてしまった場合でも、自動で再探索を行い現在地から新しいルートを表示することができます。

アドバイス

自動再探索は、公園の敷地など探索対象の道路がないところでは動作しません。探索対象の道を自車が走行していると判断されたときのみ自動再探索を開始します。

●ルート学習

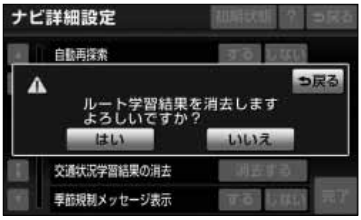
案内ルートから自車が外れて走行したとき、数回同じコースを通ると、そのコースが自動的に学習され、そのコースを優先的に通るルートを探索するようになります。



アドバイス

- ●ルート学習する区間に、細街路が含まれている場合は、ルート学習することができないことがあります。
- ●学習したルートが使われない場合もあります。
- ●ルート学習は、ルートを探索したときの5ルート（P.2-32参照）の 推奨 に反映されます。
- ●地図データを更新した場合（P.5-4参照）、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

●ルート学習結果の消去



（1） ルート学習の結果を消去するには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、ルート学習結果の消去の 消去する にタッチします。

（2） はい にタッチするルート学習の結果を消去します。

● 消去を中止するときには いいえ にタッチします。

●交通状況学習結果の表示

日時、曜日に応じて走行した道路の交通状況を学習し、学習結果を地図上に表示することができます。学習した情報はルート探索や目的地までの所要時間を算出するときに使用されます。

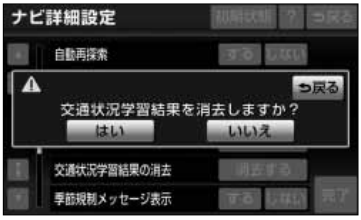
（1） 交通状況の学習結果を表示するには、P.4-1の **1** の（3）の画面で、交通状況学習結果の表示の 表示する にタッチします。

- 曜日・時間に対応した学習結果を表示します。
- 交通状況の学習度合いにより表示が変化します。

アドバイス

細街路の交通状況は学習することができません。

●交通状況学習結果の消去



（1） 交通状況の学習結果を表示するには、P.4-1の **1** の（3）の画面で、交通状況学習結果の消去の 消去する にタッチします。

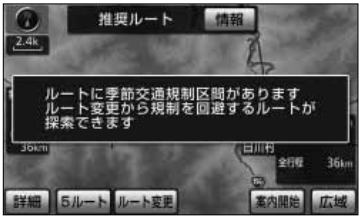
（2） はい にタッチすると交通状況の学習結果を消去します

- 消去を中止するときには いいえ にタッチします。

●季節規制メッセージ表示

探索されたルートに季節規制区間（冬季通行止めなど）が含まれる場合、メッセージを表示することができます。規制区間を回避するルートを探索する方法については、P.2-27を参照してください。

季節規制メッセージ表示



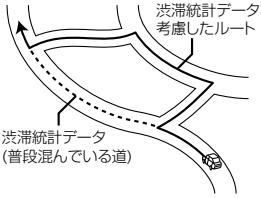
●渋滞考慮探索

過去の渋滞統計データ※1やビーコンから受信した***VICS***情報※2、G-BOOKセンターから提供されたG-BOOK mXユーザーの走行情報※3をもとに、渋滞を考慮したルートを探索します。

※1 ルート案内中、時間経過などにより渋滞データが変化した場合に新しいルートを探索（P.4-85参照）

※2 別売の2メディア対応の***VICS***システムを接続時、ルート案内中に最新の***VICS***情報を受信した場合に新しいルートを探索（P.8-2参照）

※3 G-BOOKオンラインサービス利用時、ルート案内中に最新の渋滞予測情報を取得した場合に新しいルートを探索（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」参照）



アドバイス

自車の移動と時間経過などにより渋滞統計データが変化した場合は、新しいルートを探索します。

●新旧ルート比較表示

渋滞考慮探索（P.4-22参照）で新しいルートが見つかった場合、案内中のルートと新しいルートの比較画面※1・2を表示します。通りたいルートを選択することができます。

※1 渋滞統計データ、またはG-BOOKオンラインサービス利用時、最新の渋滞予測情報をもとに探索した新しいルートと、案内中のルートを比較した画面を表示（渋滞統計データについてはP.4-85参照、G-BOOKについては**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」参照）

※2 別売の2メディア対応の***VICS***システムを接続時、またはG-BOOKオンラインサービス利用時、最新の***VICS***情報または渋滞予測情報をもとに探索した新しいルートと、案内中のルートを比較した画面を表示（***VICS***システムについてはP.8-3参照、G-BOOKについては**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」参照）

●Gルート探索情報自動取得

案内ルートを設定するとき、または再探索したときに、G-BOOKセンターから自動で交通情報を取得することができます。詳細については**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

アドバイス

- Gルート探索情報自動取得の設定は、G-BOOK利用契約をされているときに操作できます。
- G-BOOKセンターから取得した交通情報を考慮してルートを探索するには、P.4-1の **1** の（3）の画面で、渋滞考慮探索設定の 変更する にタッチし、渋滞考慮探索設定画面で渋滞考慮探索の する にタッチします。

●スイッチ表示設定

地図を表示している画面で ◀◀Off （P.2-6参照）にタッチしたとき表示するスイッチを変更することができます。

（1） 表示するスイッチを変更するには、P.4-1の **1** の（3）の画面で、スイッチ表示設定の 変更する にタッチします。

（2） 表示したいスイッチにタッチします。

- 現在設定中のスイッチは、強調表示されます。
- 初期状態 にタッチすると ◀◀Off にタッチしたときに表示できるスイッチの設定が初期状態に戻ります。

（3） 設定がよければ 完了 にタッチします。

アドバイス

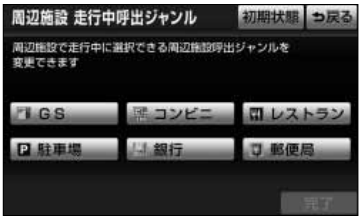
スイッチを全て表示する設定にしたときは、地図を表示している画面に ◀◀Off は表示されません。

●目的地設定メニューカスタマイズ

を押したときの目的地設定画面に表示されている、地図を呼び出すスイッチの中からよく使うスイッチを優先して表示することができます。より使いやすい目的地設定画面を表示させることができます（P.4-33参照）。

●周辺施設　走行中呼出ジャンル

周辺施設（P.4-37参照）で走行中に選択できるジャンルを変更することができます。



（1） ジャンルを変更するには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、周辺施設走行中呼出ジャンルの 変更する にタッチします。

● 現在設定中のジャンルスイッチが表示されます。

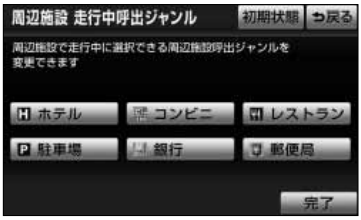
（2） 変更したいジャンルのスイッチにタッチします。

● ジャンルリストが表示されます。

（3） 変更したいジャンルリストのスイッチにタッチします。

● 現在設定中のジャンルスイッチは、強調表示されます。

(4) 選択したジャンルからさらに詳細なジャンルのスイッチにタッチします。



● 初期状態 にタッチすると走行中に選択できるジャンルの設定が初期状態に戻ります。

(5) 設定がよければ 完了 にタッチします。

●車両情報設定

入庫可能な駐車場を検索するときの条件、および有料道路の料金を計算するときの基準となる車両情報を設定します。**目的地が設定されているときは、車両情報を設定することはできません。**

(1) 車両情報を設定するには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、車両情報設定の 変更する にタッチします。

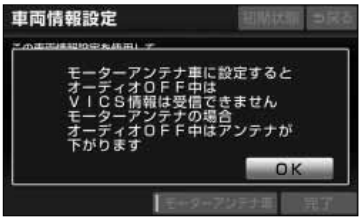
(2) 1 、 3 、 5・7 、 軽 にタッチして、お使いの車両のナンバーを設定します。

● 初期設定は、 5・7 に設定されています。

(3) ◀ 、 ▶ にタッチして、車両の長さ、幅、高さを設定します。

● 初期状態 にタッチすると、車両情報設定が初期状態に戻ります。

(4) お使いのお車がモーターアンテナ車の場合は、 モーターアンテナ車 にタッチして、モーターアンテナ車の設定を「ON」にします。



(5) OK にタッチします。

- 初期設定は「OFF」に設定されています。
- モーターアンテナ車設定が「ON」のときは、作動表示灯が点灯します。
- モーターアンテナ車 にタッチするごとにモーターアンテナ車設定の「ON」と「OFF」が切り替わります。

(6) 完了 にタッチします。

注 意

●モーターアンテナ車の設定が「ON」の場合、オーディオをOFFにするとアンテナが下がり、***VICS*** 情報が受信できなくなります。

●モーターアンテナ車の設定が「OFF」の場合、オーディオをOFFにしても***VICS*** 受信のためにアンテナがのびたままになりますのでご注意ください。

アドバイス

●車両情報の設定は、次の機能が行われるときの基準となります。

・入庫可能な駐車場の検索（P.3-30参照）
・均一区間の料金表示（P.2-6参照）
・現在地画面の料金案内（P.4-15参照）
・ルート情報画面の料金表示（P.3-20参照）
・全ルート表示画面の合計料金表示（P.2-31の 1 の画面、P.2-32の 2 の（4）の画面）

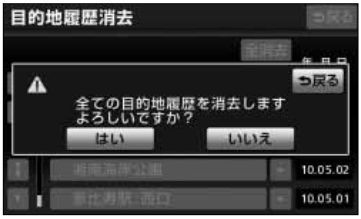
●目的地履歴の消去

過去に設定した目的地の履歴（P.3-44参照）を消去することができます。

(1) 目的地履歴を消去するには、P.4-1の 1 の（3）の画面で、目的地履歴の消去の 消去する にタッチします。

(2) 消去したい目的地履歴の名称にタッチします。

- すべての目的地履歴を消去するときは 全消去 にタッチします。



(3) はい にタッチすると目的地履歴が消去されます。
いいえ にタッチすると目的地履歴の消去を中止して、(2) の画面に戻ります。

●画面切り替え時の動画表現

画面を切り替えるときに動きを持たせることができます。

<フェードアウト・イン>

タッチスイッチにタッチすることによって画面が切り替わるときに行われます。

●時計表示

地図を表示している画面に時計を表示することができます。

時計表示

アドバイス

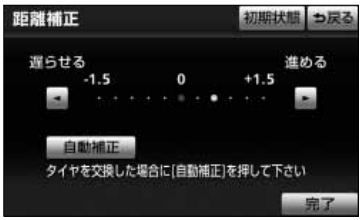
GPSが受信されるまで表示時間がずれる場合があります。
また、時計が表示されるまで時間がかかる場合があります。

●ナビ補正

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているときや、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときに、これらのズレを修正することができます。

現在地の修正（P.5-1参照）

距離の補正（P.5-3参照）

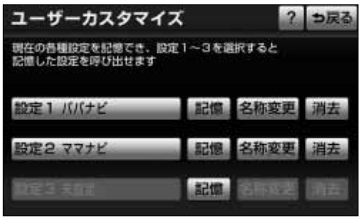


●*VICS* 割込設定

ビーコンから*VICS*情報を受信したときに割り込み（自動）表示する情報や、表示する時間を設定することができます（P.8-2参照）。

●ユーザカスタマイズ

ユーザーにより異なるナビゲーションの設定を最大3ユーザー分記憶することができます。
記憶した設定はご使用になるときにいつでも呼び出すことができます。



（1） 設定の登録や呼び出しなどをするには、P.4-1の **1** の（3）の画面で、ユーザカスタマイズの 設定する にタッチします。

（2） 設定の登録、名称変更、呼び出し、消去を行います。

それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 登録 P.4-34
- 名称変更 P.4-35
- 呼び出し P.4-35
- 消去 P.4-35

●QUICK SETUP

最初に設定しておくと便利な、自宅や案内音量、車両情報などを設定することができます。設定状況は、画面で確認することができます（P.1-16参照）。

3 安全・快適走行設定を行うには

安全・快適走行設定では運転中に注意する地点の案内について設定することができます。

（1） 設定・編集画面（運転支援）で 安全・快適走行設定 にタッチします。

（2） 各機能の設定を行います。

- 各項目の設定内容については、下記 4 を参照してください。

（3） 全ての設定がよければ 完了 にタッチします。

4 安全・快適走行設定の項目について（＿＿は初期値を示します）

機能名	選択項目	機能名	選択項目
一時停止案内	する／しない	レーン警告	する／しない
踏切案内	する／しない	事故多発地点案内	する／しない
合流案内	する／しない	学校存在案内	する／しない
カーブ案内	する／しない		

●一時停止案内

一時停止地点にさしかかると、危険を促す案内を音声とマーク表示で行うことができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

一時停止マーク

●踏切案内

踏み切りにさしかかると、危険を促す案内を音声とマーク表示で行うことができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

●合流案内

高速道路走行中に合流地点にさしかかると、危険を促す案内を音声とマーク表示で行うことができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

アドバイス

●合流地点の形状により以下のマークが表示されます。

●合流の案内は一般道路では行われません。

●カーブ案内

急なカーブにさしかかると、危険を促す案内を音声とマーク表示で行うことができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

アドバイス

カーブの形状により以下のマークが表示されます。

●レーン警告

車線が減少する地点にさしかかると、車線の減少を促す警告案内を音声とマーク表示で案内することができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

アドバイス

- ●レーンの形状により以下のマークが表示されます。
- ●レーン警告のマークの表示は一般道路では行われません。

●事故多発地点案内

一般道路上の交通事故多発地点に案内マークを表示します。また、高速道路上では、交通事故多発地点にさしかかると、危険を促す案内を音声とマーク表示で行うことができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

一般道路

高速道路

交通事故多発地点マーク

この先、事故多発地点です。
ご注意ください。

アドバイス

- ●一般道路の事故多発地点マークは 50m から 800m までの地図縮尺で表示されます。
- ●高速道路上では、自車が事故多発地点を通過すると事故多発地点マークは消去されます。

●学校存在案内

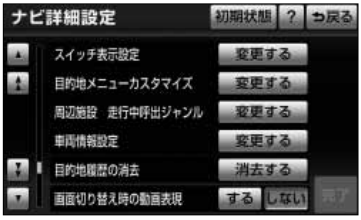
学校付近にさしかかると、危険を促す案内を音声とマーク表示で行うことができます。他の音声と重なる場合は、案内しないことがあります。

アドバイス

学校存在案内は、主に全国の小学校、中学校を対象としています。また、通学時間帯以外は案内しない場合があります。

目的地設定メニューをカスタマイズするには

を押したときの目的地設定画面に表示されている、地図を呼び出すスイッチの中の、よく使うスイッチを優先して表示することができます。より使いやすい目的地設定画面を表示させることができます。



(1) ナビ詳細設定画面（P.4-1参照）で、目的地メニューカスタマイズの 変更する にタッチします。

(2) 目的地設定画面に優先して表示させたいスイッチにタッチします。

- スイッチは5つ選択することができます。
- 選択されたスイッチに再びタッチすると選択を解除することができます。
- 設定済みのときに 初期状態 にタッチすると設定を行う前の目的地設定画面に戻ります。

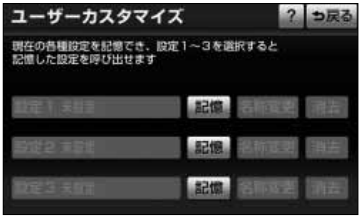
(3) 設定がよければ 完了 にタッチします。

- を押すと設定したスイッチを優先して配置した目的地設定画面が表示されます。

ナビゲーションを複数のユーザーで使い分けるには

本機は、ユーザーにより異なるナビゲーションの設定を最大3ユーザー分記憶することができます。ご家族3人で本機をご使用になる場合には、自車マークや地図の表示などのそれぞれ異なる設定を記憶することができ、ナビゲーションをご使用になるときにいつでも自分の設定を呼び出すことができます。

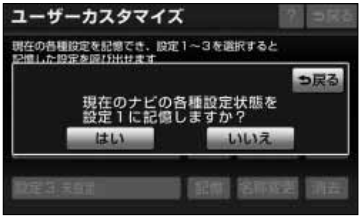
1 ナビゲーションの設定登録をするには



（1） 各項目（P.4-36の**5**参照）をお好みの設定に変更します。

- 現在の設定をそのまま記憶するときは、変更する必要はありません。

（2） ナビ詳細設定画面（P.4-1参照）で、ユーザカスタマイズの 設定する にタッチします。



（3） 設定1～3の中から、未設定のスイッチの右にある 記憶 にタッチします。

（4） はい にタッチします。

- いいえ にタッチすると（3）の画面に戻ります。

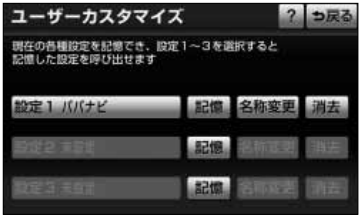
アドバイス

- （3）ですでに登録済みの設定を選んだときは、 はい にタッチすると現在の設定に上書きされます。
- 登録される設定項目はP.4-36の**5**を参照してください。

（5） 名称を1文字ずつ入力します。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。

（6） 完了 にタッチします。

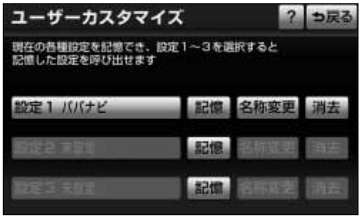


アドバイス

名称は、最大10文字（半角14文字）まで表示することができます。

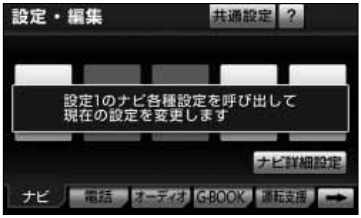
- 登録した名称がスイッチに表示されます。

2 名称を変更するには



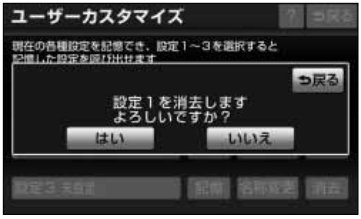
(1) 名称を変更する場合は、P.4-34の**1**の（3）の画面で、変更したい設定スイッチの右にある 名称変更 にタッチして変更します。

3 自分の設定を呼び出すには



(1) P.4-34の**1**の（3）の画面で、登録した自分の設定スイッチにタッチします。

4 自分の設定を消去するには



(1) 登録内容を消去する場合は、P.4-34の**1**の（3）の画面で、消去したい設定スイッチの右にある 消去 にタッチします。

(2) はい にタッチします。

- いいえ にタッチすると、P.4-34の**1**の（3）の画面に戻ります。

5 呼び出せる設定項目について

自分好みの設定が登録できるナビゲーションの設定項目を紹介します。

項　目	ページ	項　目	ページ
地図表示設定	2-9～2-18	***VICS*** の表示設定	4-84
ナビ詳細設定	4-1～4-29	メンテナンス案内の自動通知	4-89
安全・快適走行設定	4-30～4-32	ETC設定※	8-7
VICS の表示道路	4-75	音量設定	3-27

※別売の**トヨタ純正**ナビ対応ETCユニットを接続した場合に表示・設定できます。

アドバイス

●地図表示の設定には以下の項目が含まれます。
- ・地図向き（1画面、2画面とも）
- ・地図表示モード（2D、2Dツイン、3D、3Dツイン）
- ・地図表示縮尺（1画面、2画面とも）
- ・右画面設定（施設表示、***VICS*** 地図表示、3D地図表示）

●ナビ詳細設定の以下の項目は登録対象外です。
- ・車両情報（P.4-25参照）
- ・目的地履歴の消去（P.4-26参照）
- ・ナビ補正（P.4-28参照）
- ・ルート学習結果の消去（P.4-20参照）

施設ランドマークを地図に表示するには

地図上にGS（ガソリンスタンド）やレストランなどの施設のランドマークを表示することができます。また、表示している施設ランドマークの詳細情報を表示することもできます。

1 施設ランドマークを表示するには

表示させたい施設ランドマークを簡易操作で表示することができます。

（1） 現在地画面、または地図画面から 表示変更 にタッチします。

（2） 周辺施設 にタッチします。

- 6つの施設ジャンルが表示されます。

（3） 表示させたい施設ジャンルにタッチすると、タッチした施設ランドマークが地図上に表示されます。

- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。
- 表示されている6つの施設ジャンルは、走行中に選択（解除）・追加することができます。
- 6つの施設ジャンルを変更することができます。変更方法の詳細については、P.4-24を参照してください。
- 全ジャンル にタッチすると、6つの施設ジャンル以外の施設ランドマークも選択することができます。

（4） 全ジャンル にタッチしたときは、次に表示された画面で表示させたい施設ジャンルにタッチします。

- 5種類まで施設ランドマークを表示させることができます。
- 表示解除 にタッチすると、選択されている施設ジャンルがすべて解除されます。
- 選択されている施設ジャンルにタッチすると、選択されていた施設ジャンルが解除されます。
- 複数の施設ランドマークを表示するときは、ナビ詳細設定から行ってください（P.4-9参照）。

アドバイス

● G情報マーク表示 はG-BOOK利用契約をされているときに、G情報マークを表示させるスイッチです。G情報マーク表示については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。
●施設ランドマークの表示は、ナビ詳細設定からも行うことができます（P.4-9参照）。
●施設ランドマークは、 800m よりも広域な地図には表示されません。

2 施設ランドマークを消去するには

地図上に表示されている施設ランドマークを消去します。

（1） 現在地画面、または地図画面から 表示変更 にタッチします。

（2） 周辺施設 にタッチします。

（3） 表示解除 にタッチします。

- 選択されている施設ジャンルがすべて解除（消去）されます。
- 現在選択している施設ジャンルにタッチしても、解除（消去）できます。
  走行中は、P.4-37の**1**の（3）の画面に表示されている6つの施設ジャンルのみ解除（消去）できます。

アドバイス

施設ランドマークの消去は、ナビ詳細設定からも行うことができます（P.4-9参照）。

3 施設ランドマークの詳細情報を表示するには

地図上に表示されている施設ランドマークの名称や施設情報を表示します。

(1) 現在地画面、または地図画面で表示されている施設ランドマークにタッチします。

- 枠が点滅している施設ランドマークの施設名称が表示されます。

(2) 情報 にタッチすると、施設情報画面が表示されます。

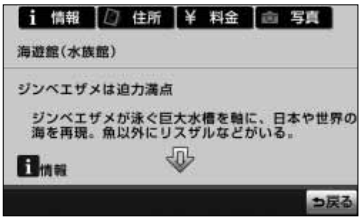
- 施設の個別情報（名称、住所、電話番号など）が表示されます。
- 施設によって、写真などの詳細なガイド情報画面が表示されます（P.4-40参照）。

(3) 目的地セット にタッチすると施設に目的地を設定することができます。

- 地点登録 にタッチすると、施設にメモリ地点を登録することができます。
- にタッチすると電話をかけることができます。詳細については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書詳細版」**の「電話をかけるには」を参照してください。

アドバイス

- 施設名称の表示は、約6秒間表示されると自動的に消去されます。
- 同一の建物に複数の施設が存在し、地図上の施設ランドマークが重なることがあります。その場合、施設ランドマークにタッチするごとに順番に施設名称が表示されます。
- 同一施設の部署・部門が別の施設として、個別にランドマーク表示されることがあります。
- Ⓐ を押して現在地画面を表示した場合、P.4-37の 1 の (3)・(4) で選択した施設ジャンルすべての施設ランドマークが地図上に表示されます。



● ガイド情報画面表示例

アドバイス

● にタッチすると、画面を下にスクロールします。

● にタッチすると、画面を上にスクロールします。

●ナビゲーションの画面に戻るには、 を押します。

●ガイド情報画面に表示されるタッチスイッチにタッチすることで、早く希望の情報を見ることができます。

（施設によって表示されない情報があります）

- 情報 ……情報の表示行まで自動スクロールします。
- 住所 ……住所の表示行まで自動スクロールします。
- 料金 ……料金の表示行まで自動スクロールします。
- 写真 ……写真の表示行まで自動スクロールします。
- 地図表示 ……選択した施設付近の地図を表示します。
- 電話をかける ……検索した施設に電話をかけます。
- このページのトップへ戻る ……情報の先頭にある行の表示に戻ります。

近くの施設を検索するには

選択したジャンルの施設位置を検索し、表示することができます。また、案内中のルート沿いに存在する施設のみを検索し、表示することができます。

1 近くの施設を検索するには

(1) 施設ランドマークが選択されている（P.4-37参照）とき、現在地または地図画面で 表示変更 にタッチします。

(2) 周辺施設 にタッチします。

(3) 施設検索 にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、現在地または ⊕ マークから施設までの直線距離が表示されます。
- 現在地から表示した場合は、現在の進行方向からみてどの方向にその施設があるかを表示します。
- 種類順 にタッチするとリストが記号別に表示され、距離順 にタッチすると現在地または ⊕ マークから近い順に表示されます。

(4) 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

- 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます（P.4-39参照）。
- 施設によって、写真などの詳細なガイド情報画面が表示されます（P.4-40参照）。

アドバイス

- ●距離表示は、自車位置からの直線距離（現在地画面から近くの施設を検索した場合）または ⊕ マークからの直線距離（地図画面から近くの施設を検索した場合）です。
- ●検索可能なのは、現在地または ⊕ マークから半径10km以内に存在する施設で、現在地または ⊕ マークから近い順に200件までです。
- ●同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

2 ルート沿いの施設を検索するには

（1）P.4-41の**1**の（3）で 施設検索 にタッチして検索されたリスト画面で、 ルート沿い考慮 にタッチします。

- 検索された施設がリスト表示され、タッチスイッチに施設の名称、ルートの進行方向に向かって存在する施設の位置および現在地からの道なり距離が表示されます。
- 種類順 にタッチするとリストが種類順に表示され、 距離順 にタッチすると現在地から近い順に表示されます。

（2） 表示させたい施設にタッチすると、選択した施設を中心とした地図が表示され、施設の名称と現在地からの道なり距離が表示されます。

- 情報 にタッチすると施設情報画面が表示されます（P.4-39参照）。
- 施設によって、写真などの詳細なガイド情報画面が表示されます（P.4-40参照）。

アドバイス

●現在地画面、または地図画面上にルートが表示されていないときは、ルート沿いの施設検索は行われません。
●ルート沿いを考慮した施設リストに表示されるマークは、ルートの進行方向に向かった位置を示しています。
- ・・・ルートの進行方向に向かって右側に施設が位置していることを示しています。
- ・・・ルートの進行方向に向かって左側に施設が位置していることを示しています。
- ・・・ルートの進行方向に向かって後ろに施設が位置していることを示しています。

建物の情報を表示するには

市街図を表示させたとき、建物単位での施設情報を見ることができます。

（1） 市街図を表示させます。

- 詳細は、**「市街図を表示するには」**（P.2-17）を参照してください。

（2） 建物に ⊕ を合わせて 施設 にタッチします。

（3） 施設情報 にタッチします。

- 施設情報が表示されない場合や別の施設情報を表示させる場合は、⇧ にタッチして ⊕ を移動させます。

- 右画面の市街図上に建物が立体的に表示され、施設情報が左画面に表示されます。
- 施設件数が複数存在する場合は、建物の名称や階数、建物に存在する施設件数が表示され、施設がリスト表示されます。
- 建物に複数階数がある場合は、建物内に存在するリスト最上部の施設（矢印で表示）の位置を、右画面の建物に青色で表示します。

（4） リスト表示されている施設にタッチすると左画面に施設情報画面が表示されます。施設情報画面の詳細はP.4-39の 3 の（3）を参照してください。

アドバイス

●建物の情報は、市街図を表示させているときのみご覧になれます。
●同一名称で複数の電話番号が登録されている場合、それぞれがリスト表示されます。

メモリ地点を登録・修正・消去するには

忘れたくない地点を地図帳にマークするように、最大500ヵ所まで（Gメモリ地点※100ヵ所を含む）マーキングできる機能です。
メモリ地点を登録しておくと、登録地点周辺の地図を簡単に表示できます。
登録しておいたメモリ地点に音声認識読みを設定しておくと、音声で登録地点周辺の地図を表示させ、目的地などに設定することができます。
また、登録したメモリ地点は位置変更したり消去することができます。

※ Gメモリ地点の登録には、G-BOOK利用契約が必要です。Gメモリ地点の詳細については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

1 現在地を登録する

（1） 現在地画面で 地点登録 にタッチします。

- その時点での自車マークの位置がそのまま登録されます。
- この場合は地点記号が となります。

アドバイス

高速道路上を走行中にメモリ地点を現在地に登録した場合は、地点記号が （方向付き登録記号）となります。

2 地図画面から登録する

（1） 地図スクロール、 詳細 または 広域 操作によりメモリ地点を登録したい位置に を合わせ、スケール表示が 800m より詳細な地図で 地点登録 にタッチします。

- この場合は地点記号が となります。

3 地図索引機能を使ってメモリ地点を登録する

(1) 設定・編集画面（ナビ）で メモリ地点登録編集 にタッチします。

(2) メモリ地点の 登録 にタッチします。

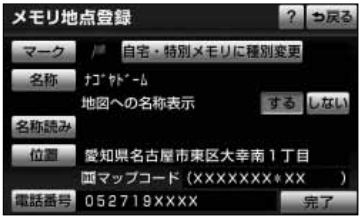
(3) 地図の呼び出し方を選択します。

それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 目的地履歴 P.3-45
- 名称 P.3-28
- 住所 P.3-33
- 施設 P.3-35
- 電話番号 P.3-37
- ジャンル P.3-41
- 郵便番号 P.3-43
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- マップコード P.3-44
- 特別メモリ周辺 P.3-48

(4) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(5) スケール表示が 800m より詳細な地図で セット にタッチします。



(6) 完了 にタッチします。

- 修正・入力をするときは、それぞれの項目にタッチします。
- マーク P.4-47
- 名称 P.4-50
- する ／ しない （地図上への名称表示） P.4-53
- 名称読み P.4-53
- 位置 P.4-49
- 電話番号 P.4-49

4 メモリ地点の情報を見るには

(1) 地図上に表示されているメモリ地点マークにタッチして 情報 にタッチします。

- メモリ地点に登録している名称、住所、電話番号を見ることができます。
- 修正 にタッチすると、メモリ地点修正画面（P.4-47の5の（3）参照）が表示されます。
- にタッチすると電話をかけることができます。詳細については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書詳細版」**の「電話をかけるには」を参照してください。
- 目的地セット にタッチすると、目的地に設定することができます。
- 消去 にタッチすると、現在表示しているメモリ地点を消去することができます。

5 メモリ地点を修正するには

(1) メモリ地点が登録されているとき、P.4-45の3の（2）の画面でメモリ地点の 修正 にタッチします。

(2) メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、種別順、マーク順、登録した順の3種類で並べることができます。

・ 種別順 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並びかわります。
・ マーク順 にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。
・ 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。

（3） 修正・入力をする項目にタッチします。

- マーク ※ P.4-47
- 名称 ※ P.4-50
- する ／ しない （地図への名称表示） P.4-53
- 名称読み P.4-53
- 位置 ※ P.4-49
- 電話番号 ※ P.4-49

※Gメモリ地点では修正できません。

6 メモリ地点の記号を変更するには

登録したメモリ地点の記号を、お好みの記号に変更することができます。

（1） メモリ地点が登録されているとき、P.4-45の 3 の（2）の画面でメモリ地点の 修正 にタッチします。

（2） メモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、種別順、マーク順、登録した順の3種類で並べることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並びかわります。
  - マーク順 にタッチすると、記号の種類別に並びかわります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並びかわります。

（3） マーク にタッチします。

(4) お好きな登録記号にタッチすると、メモリ地点の記号が変更されます。

- マーク2 、 マーク3 にタッチすると、別の記号の画面に切り替わり、お好きな記号を選択することができます。
- マーク3の マーク無し にタッチすると、記号の登録をしないでメモリ地点が登録されます。

(5) 音声付き にタッチしてお好きな登録記号にタッチすると、自車がメモリ地点に約500mまで接近したときに音が鳴るようにすることができます。

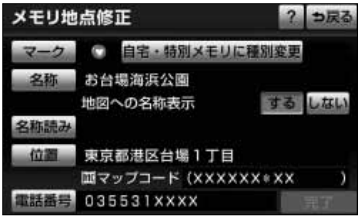
- 音確認 にタッチすると、音声付き登録記号の音を確認することができます。
- 方向付きメモリ にタッチすると、自車が指定した方向からメモリ地点に約500mまで接近したときのみ音が鳴るようにすることができます。

・ または にタッチして を設定する方向に合せます。
・ セット にタッチすると、 の位置にメモリ地点が の記号で登録されます。

7 メモリ地点の位置を修正するには

登録したメモリ地点の位置を変更することができます。

（1） P.4-47の6の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2） 位置 にタッチします。

アドバイス

メモリ地点を登録すると、登録した地点のマップコードがメモリ地点の位置に表示されます。

（3） にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

（4） スケール表示が 800m より詳細な地図で セット にタッチすると の位置にメモリ地点が登録されます。

8 メモリ地点に電話番号を登録するには

登録したメモリ地点に電話番号を登録することができます。電話番号を登録すると、電話番号で地図を表示する（P.3-37参照）ことができます。

（1） P.4-47の6の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。

（2） 電話番号 にタッチします。

(3) 数字を１番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１番号ずつ消去されます。

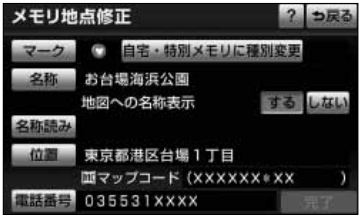
(4) 完了 にタッチします。

アドバイス

P.4-45の 3 の（3）で 名称 、 施設 、 電話番号 、 ジャンル から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の電話番号がメモリ地点の電話番号として自動的に登録されます。

9 メモリ地点に名称を付けるには

(1) P.4-47の 6 の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



(2) 名称 にタッチします。

(3) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。

(4) 文字を入力したあと 完了 にタッチします。

アドバイス

- メモリ地点の名称は、最大35文字（半角70文字）まで文字を入力することができます。
- P.4-45の 3 の（3）で 名称 、 施設 、 電話番号 、 ジャンル から表示した施設をメモリ地点に登録した場合は、表示した施設の名称がメモリ地点の名称として自動的に登録されます。

ひらがな、漢字を入力するとき

(1) かな にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。
- 文字を入力したあと、 変換 にタッチすると文字を漢字変換することができます。漢字変換しないときは 無変換 にタッチします。

(3) 変換 にタッチすると、変換する漢字の候補がリスト表示されます。

(4) ◀ または ▶ にタッチすると、漢字変換する文字の範囲を変更することができます。現在変換されている文字で設定するには 全確定 にタッチします。

(5) 変換したい漢字にタッチします。

カタカナを入力するとき

(1) カナ （カタカナ）にタッチして入力画面を切り替えます。

(2) 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

英字、数字を入力するとき

（1） 英数字 （英字、数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

（2） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 小文字 （または 大文字 ）にタッチすると、入力文字を小文字（または大文字）に切り替えることができます。
- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

数字、記号を入力するとき

（1） 数記号 （数字・記号）にタッチして入力画面を切り替えます。

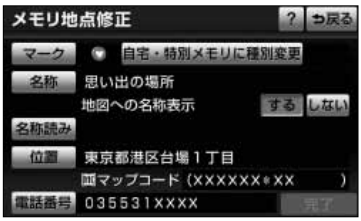
（2） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 他のページを見たいときは、▼または▲にタッチします。
- 半角 （または 全角 ）にタッチすると、入力文字を半角文字（または全角文字）に切り替えることができます。
- 修正するときは 修正 にタッチすると１文字ずつ消去されます。
- 空白の文字を入れるには スペース にタッチします。

10 メモリ地点の名称を地図上に表示するには

登録したメモリ地点の名称を地図画面上に表示することができます。

（1） P.4-47の 6 の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2） 地図への名称表示するの する または しない にタッチします。

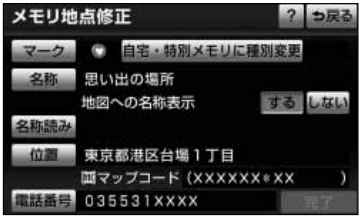
アドバイス

●地図画面上に表示できる文字数は最大15文字（半角30文字）までです。
●メモリ地点の名称は、 800m より詳細な地図で表示することができます。

11 音声認識用の読み仮名を登録するには

登録したメモリ地点に音声認識用の読み仮名を登録すると、音声認識で地図を表示することができます。

（1） P.4-47の 6 の（2）の画面で、メモリ地点の名称にタッチします。



（2） 名称読み にタッチします。

(3) 読み仮名を1文字ずつタッチして入力します。

● 修正するときは 修正 にタッチすると1文字ずつ消去されます。

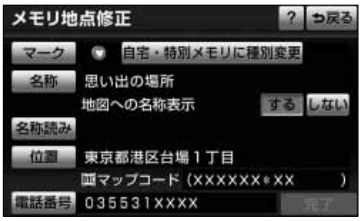
(4) 完了 にタッチします。

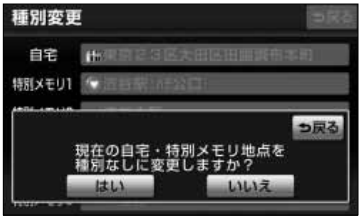
アドバイス

●メモリ地点の読み仮名は、最大24文字まで文字を入力することができます。
●音声認識による地図の表示方法については、P.7-15を参照してください。

12 登録したメモリ地点を自宅や特別メモリ地点に変更するには

自宅や特別メモリ地点に登録すると、地図を呼び出すときに、1回の操作で呼び出すことができます。また、目的地の設定のときは、目的地設定画面から1回の操作でルート探索を開始することができます（P.2-29、P.2-30参照）。





（1） メモリ地点が登録されているとき、P.4-45の **3** の（2）の画面で、 修正 にタッチします。

（2） 種別を変更したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、種別順、マーク順、登録した順の3種類で並べることができます。
  - ・ 種別順 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並び替わります。
  - ・ マーク順 にタッチすると、記号の種類別に並び替わります。
  - ・ 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。

（3） 自宅・特別メモリに種別変更 にタッチします。

（4） 自宅または特別メモリ1～5のいずれかにタッチします。

- すでに自宅または特別メモリが登録されているときはメッセージが表示されます。
  現在の登録地点を種別なしにして登録するときは はい にタッチします。 いいえ にタッチすると（4）の画面に戻ります。

アドバイス

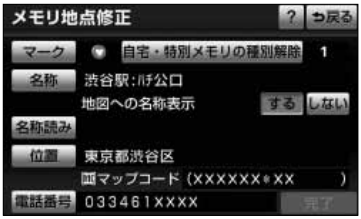
自宅1ヵ所、特別メモリ地点5ヵ所はメモリ地点登録数500ヵ所に含まれます。すでに500ヵ所登録されているときは不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（G-BOOK利用契約をしていないときは、メモリ地点登録数は400ヵ所になります。）

13 自宅や特別メモリを解除するには

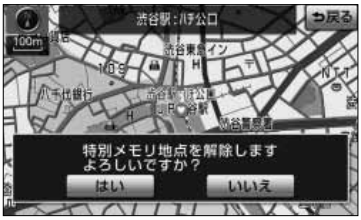
自宅や特別メモリに登録した地点をメモリ地点に変更することができます。

（1） P.4-45の **3** の（2）の画面で、 修正 にタッチします。

（2） 自宅・特別メモリを解除したい地点の名称にタッチします。



（3） 自宅・特別メモリの種別解除 にタッチします。



（4） はい にタッチします。

- いいえ にタッチすると（3）の画面に戻ります。

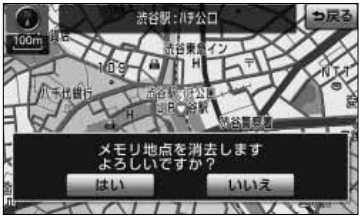
14 メモリ地点を消去するには

登録したメモリ地点を消去することができます。

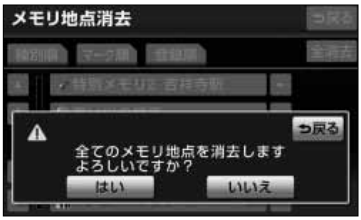
（1） メモリ地点が登録されているとき、P.4-45の 3 の（2）の画面でメモリ地点の 消去 にタッチします。

（2） 消去したいメモリ地点の名称にタッチします。

- メモリ地点のリストは、種別順、マーク順、登録した順の3種類で並べることができます。
  - 種別順 にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点、Gメモリ地点の順に並び替わります。
  - マーク順 にタッチすると、記号の種類別に並び替わります。
  - 登録順 にタッチするとメモリ地点の登録順に並び替わります。
- 全てのメモリ地点を消去するには 全消去 にタッチします。



（3） はい にタッチするとメモリ地点が消去されます。
いいえ にタッチすると、メモリ地点の消去を中止して（2）の画面に戻ります。



アドバイス

P.4-46の 4 の（1）の画面で 消去 にタッチしてもメモリ地点を消去することができます。

迂回メモリ地点を登録・修正・消去するには

目的地までのルートで、迂回したい地点およびエリアを登録することができます。
迂回メモリを登録しておくと、登録した地点またはエリアを回避するルートを探索することができます。また、登録した迂回メモリは位置修正したり消去することができます。

1 迂回メモリを登録するには

（1） 設定・編集画面（ナビ）で メモリ地点登録編集 にタッチします。

（2） 迂回メモリの 登録 にタッチします。

（3） 地図の呼び出し方を選択します。

それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 目的地履歴 P.3-45
- 名称 P.3-28
- 住所 P.3-33
- 施設 P.3-35
- 電話番号 P.3-37
- ジャンル P.3-41
- 郵便番号 P.3-43
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- マップコード P.3-44
- 特別メモリ周辺 P.3-48

(4) ⇧ にタッチすると、地図が移動して ⊕ の位置を変更することができます。

(5) スケール表示が 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

(6) ▲ または ▼ にタッチして、迂回メモリのエリアを選択します。

- ▲ ・ ▼ の間にある数値は迂回させるエリアの一辺の距離になります。
- 最小範囲の ✕ を選択すると、(5) で セット にタッチした地点が迂回メモリとして登録されます。

アドバイス

詳細 または 広域 操作により地図縮尺を切り替えると、エリアを示す正方形枠の大きさが縮尺に連動して切り替わります。

(7) セット にタッチします。

(8) 完了 にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。
- 登録した迂回メモリは、地図画面上に ✕ または □（範囲）で表示されます。
- 修正・入力をするときは、それぞれの項目にタッチします。
- 有効 ／ 無効（ルート探索時の迂回設定） P.4-62
- 名称 P.4-60
- する ／ しない（地図への名称表示） P.4-63
- 位置 P.4-61
- 迂回エリア変更 P.4-62

アドバイス

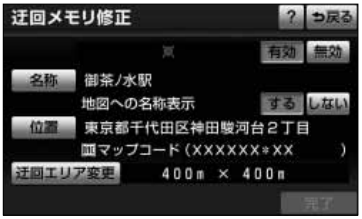
●迂回メモリは10ヵ所まで登録することができます。
●次のような場合は、迂回エリア内を通るルートが探索されることがあります。
・迂回エリア内に自車または目的地（通過道路も含む）が存在する場合。
・自車位置から目的地（通過道路も含む）までが一本道であるなどの理由により、迂回エリアを回避するルートが探索できない場合。
●迂回エリア内に存在する高速道路は、迂回する対象にはなりません。
高速道路を迂回するルートを探索するには、**1**の（6）で迂回メモリのエリアを✕に設定してください。

2 迂回メモリに名称を付けるには

登録した迂回メモリの名称を変更することができます。

（1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-58の**1**の（2）の画面で迂回メモリの 修正 にタッチします。

（2） 迂回メモリの名称にタッチします。



（3） 名称 にタッチします。

（4） 名称を１文字ずつタッチして入力します。

● 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。

（5） 文字を入力したあと 完了 にタッチします。

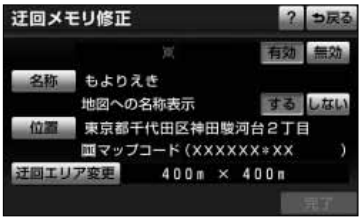
アドバイス

●迂回メモリの名称は、最大35文字（半角70文字）まで文字を入力することができます。
●P.4-58の**1**の（3）で 名称 、 施設 、 電話番号 、 ジャンル から表示した施設を迂回メモリに登録した場合は、表示した施設の名称が迂回メモリの名称として自動的に登録されます。

3 迂回メモリの位置を修正するには

登録した迂回メモリの位置を変更することができます。

（1） P.4-60の**2**の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 位置 にタッチします。

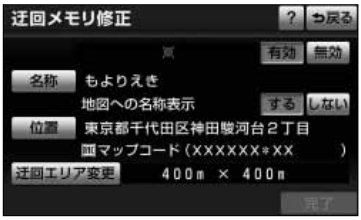
（3） にタッチして、迂回メモリを登録する位置に地図を動かします。

（4） スケール表示 800m より詳細な地図で セット にタッチすると、 の位置に迂回メモリが登録されます。

4 迂回メモリのエリアを変更するには

登録した迂回メモリのエリアを変更することができます。

（1） P.4-60の**2**の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 迂回エリア変更 にタッチします。

（3） ▲ または ▼ にタッチして迂回メモリのエリアを選択します。

- 現在登録されている迂回メモリは ✕ または □（範囲）で表示されます。

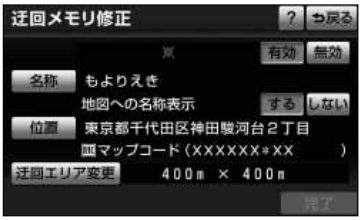
（4） セット にタッチします。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。

5 迂回メモリの有効／無効を設定するには

登録した迂回メモリをルート探索時に有効にするか、無効にするか設定することができます。

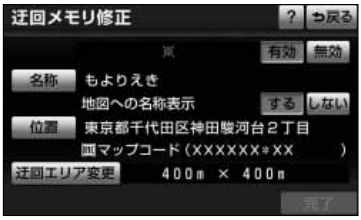
（1） P.4-60の**2**の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。



（2） 有効 または 無効 にタッチします。

6 迂回メモリの名称を地図上に表示するには

登録した迂回メモリの名称を地図画面上に表示することができます。



（1） P.4-60の 2 の（2）の画面で、迂回メモリの名称にタッチします。

（2） 地図への名称表示の する または しない にタッチします。

アドバイス

- 地図画面上に表示できる文字数は最大15文字（半角30文字）までです。
- 迂回メモリの名称は、 800m より詳細な地図で表示することができます。

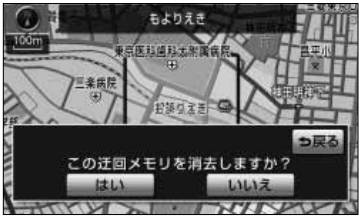
7 迂回メモリを消去するには

登録した迂回メモリを消去することができます。

（1） 迂回メモリが登録されているとき、P.4-58の 1 の（2）の画面で迂回メモリの 消去 にタッチします。

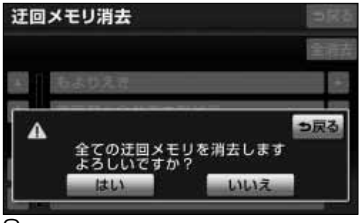
（2） 消去したい迂回メモリにタッチします。

- 全ての迂回メモリを消去するには 全消去 にタッチします。



（3） はい にタッチすると迂回メモリが消去されます。
いいえ にタッチすると、迂回メモリの消去を中止して（2）の画面に戻ります。

- 目的地が設定されている場合は、ルート探索を開始します。



メモリーデバイスを使う

メモリーカードを使うと、メモリ地点のデータを他のトヨタ純正ナビゲーションシステムとデータ交換することができます。

アドバイス

- ●メモリーカードは、市販のSDメモリーカードをご使用ください。
- ●SDメモリーカードの容量が足りない場合は、コピーすることができずエラー表示されます。その場合は、SDメモリーカードから不要なファイルを削除するか、容量の大きいSDメモリーカードをご使用ください。
- ●データ交換が可能なナビゲーションシステムは、2006年以降発売のトヨタ純正ナビゲーションシステムです。詳しくは、販売店にご確認ください。

注 意

動作中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたりSDメモリーカードを取り出さないでください。データが破壊される場合があります。

1 メモリ地点をSDメモリーカードに保存する

本機に登録されているメモリ地点（迂回メモリ含む）のデータをSDメモリーカードに保存（移行）します。（SDメモリーカードの出し入れに関しては、**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「ディスク・SDメモリーカードの出し入れ」参照）

アドバイス

- ●メモリ地点をSDメモリーカードに保存する前に、パスワードを設定しておく必要があります（P.4-65参照）。
- ●保存するときに使用したパスワードは、メモリ地点を読み込む際にも必要となります。設定したパスワードは忘れないように控えておいてください。もし、パスワードを忘れた場合は、販売店に問い合わせてください。
- ●SDメモリーカードに保存後は、本機に登録されているメモリ地点は全て消去され、パスワードも初期化されます。
- ●SDメモリーカードに既にメモリ地点のデータが存在する場合は、上書き保存されますのでご注意ください。
- ●本機で保存されるメモリ地点は最大510件です（迂回メモリ10件を含む）。
- ●本機に登録されているすべてのメモリ地点が保存されます。個別に指定することはできません。

（1） 設定・編集画面（ナビ）で、メモリ地点登録編集にタッチします。

（2） メモリ地点移行にタッチします。

（3） 保存のSDにタッチします。

（4） パスワード（4桁の数字）を入力し、完了にタッチします。

- ● 修正するときは修正にタッチすると1番号ずつ消去されます。

（5） はいにタッチします。

（6） OKにタッチします。

- ● Gメモリ地点もSDメモリーカードに保存されます。

2 メモリ地点を読み込む

SDメモリーカードやCD-Rに保存されているメモリ地点のデータを本機に読み込むことができます。

アドバイス

- ●メモリ地点を読み込むときは、メモリ地点を保存した際に使用したパスワードが必要になります。
- ●本機に読み込み可能なメモリ地点数は、最大510件です（迂回メモリ10件を含む）。
- ●メモリ地点を読み込むと、本機に登録されていたメモリ地点は全て消去され、SDメモリーカードまたはCD-R内のメモリ地点データに置き換えられます。
- ●パソコンなどでCD-Rを作成するときは、CD-Rのルートディレクトリにメモリ地点のデータ（ファイル名：MPT.BIN、MAVD.BIN）を書き込みます。また、CD-Rにはメモリ地点以外のデータを入れないでください。
- ●SDメモリーカードから読み込んだときは、SDメモリーカードに保存されているメモリ地点のデータは全て消去されます。
- ●SDメモリーカードの書き込み禁止を解除してから操作してください。

(1) P.4-64の 1 の(3)の画面で、読み込みの SD または CD-R にタッチします。

(2) データを保存する際に使用したパスワード（4桁の数字）を入力し、 完了 にタッチします。

- ● 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。

(3) はい にタッチします。

- ● メモリ地点・迂回メモリは本機に上書き保存されます。（以前、本機に登録されていたメモリ地点・迂回メモリは削除されます。）
- ● メモリ地点件数の制限や保存した機種によって、移行できないメモリ地点・迂回メモリがある場合があります。
- ● 読み込んだデータにメモリ地点・迂回メモリがない場合は、「0件のメモリ地点」・「0件の迂回メモリ」として本機に上書きされます。

(4) OK にタッチします。

3 パスワードを設定する

本機に登録されているメモリ地点のデータを、SDメモリーカードに保存するときに使用するパスワードを設定します。

アドバイス

- ●設定したパスワードは、メモリ地点のデータを読み込む際も必要となります。設定したパスワードは忘れないように控えておいてください。
- ●万一パスワードを忘れた場合は、パスワードの初期化が必要になります。パスワードを初期化すると、本機に登録されているメモリ地点も全て消去されますので、ご注意ください。
- ●既にパスワードが設定されているときは、パスワードの変更ができます。

(1) P.4-64の 1 の(3)の画面で、パスワードの 設定 にタッチします。

● すでに設定されたパスワードを変更する場合は、 設定 にタッチすると、パスワード入力画面が表示されますので、パスワードを入力してください。

(2) パスワード（4桁の数字）を入力し、 完了 にタッチします。

● 修正するときは 修正 にタッチすると1番号ずつ消去されます。

(3) もういちどパスワード（4桁の数字）を入力し、 完了 にタッチします。

● パスワードが設定されます。

4 パスワードを初期化する

本機に設定されているパスワードを初期化します。

注 意

パスワードを初期化すると、本機のメモリ地点・迂回メモリもすべて消去されますので、ご注意ください。

(1) P.4-64の 1 の(3)の画面で、パスワードの 初期化 にタッチします。

(2) はい にタッチします。

● パスワードが初期化され、メモリ地点、迂回メモリが全て消去されます。

ナビゲーションと携帯電話で情報を通信するには

ナビゲーションと携帯電話で情報を通信するためには、専用のアプリケーションを携帯電話にダウンロードする必要があります。本機で動作確認済みの機種、携帯電話の設定や利用方法については、各携帯電話会社にお問い合わせいただくか、携帯電話のパンフレット、専用カタログ、トヨタHP内の適合表などを合わせてご覧ください。

警 告

運転者が走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

1 携帯電話から地点情報を受信するには

携帯電話から受信した地点情報を、目的地として設定、またはメモリ地点登録することができます。

(1) 情報 を押すと情報・G・BTナビ画面が表示されます。

- 情報またはG-BOOK画面が表示されたときは BTナビ にタッチします。

(2) 地点を受信 にタッチします。

- 地点情報を取得するとメッセージが表示され、検索された地図が表示されます。(P.3-47参照)
- 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。

(3) 目的地セット または 地点登録 にタッチします。
それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 目的地セット P.2-29
- 地点登録 P.4-44

アドバイス

●本機に登録されたBluetooth携帯電話のみ使用することができます（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「ハンズフリーの準備をするには」参照）。
● 同乗者が携帯電話を操作する場合、ハンズフリー（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」参照）に接続中の携帯電話から走行中は地点を受信することはできません。
●受信中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたときは、受信が中止されます。エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作を行ってください。
●受信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、受信が中止されます。
●データ受信中は、Bluetoothオーディオ（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「4.Bluetoothオーディオの操作」参照）やハンズフリー（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」参照）の接続が切断されます。この場合、受信が終了すると、再接続されます。(機種によっては再接続できないことがあります)。
●携帯電話から受信した地点情報は、コンテンツによっては著作権で保護されているためメモリ地点に登録できないことがあります。
●詳細情報は、コンテンツにより表示できない場合があります。
●携帯電話から受信した地点情報は、携帯電話側の地点情報と位置がずれることがあります。

2 携帯電話へ地点情報を送信するには

現在地と、ナビゲーションに設定されている目的地すべての地点情報を、携帯電話に送信することができます。

（1） 情報 を押すと情報・G・BTナビ画面が表示されます。
- 情報またはG-BOOK画面が表示されたときは BTナビ にタッチします。

（2） 地点を送信 にタッチします。

（3） 送信 にタッチします。
- 中止 にタッチすると、通信を中止し前の画面が表示されます。
- 地点情報を送信すると、メッセージが表示され、現在地画面が表示されます。

アドバイス

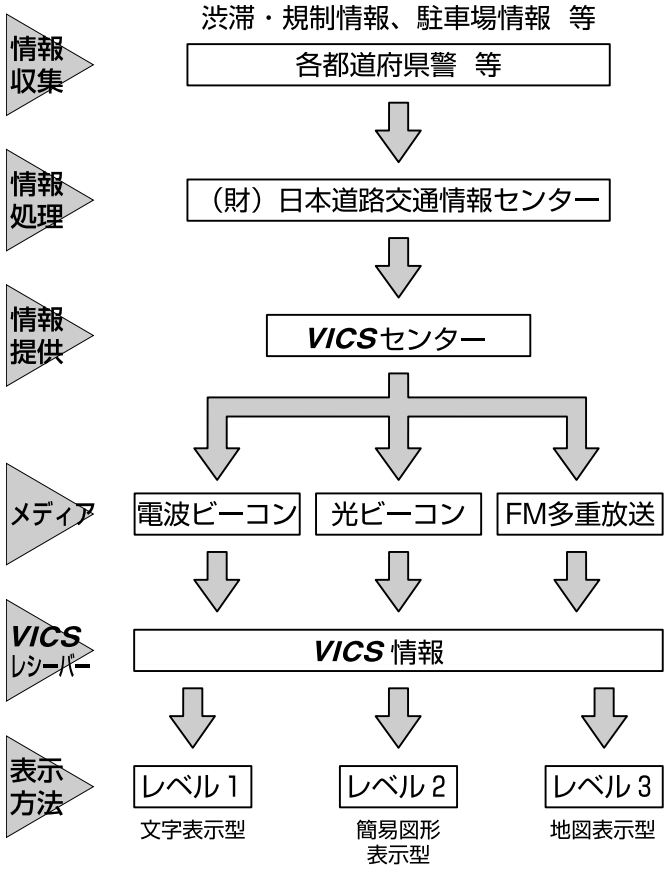
●ハンズフリー接続された携帯電話のみ使用することができます（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「ハンズフリーの準備をするには」参照）。
●送信中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたときは、送信が中止されます。エンジンスイッチをACC、またはONにして再度操作を行ってください。
●送信中に本機を操作したり、他の画面に切り替わったときは、送信が中止されます。
●データ送信中は、Bluetoothオーディオ（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「4.Bluetoothオーディオの操作」参照）やハンズフリー（**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」参照）の接続が切断されます。この場合、送信が終了すると、再接続されます（機種によっては再接続できないことがあります）。
●携帯電話へ送信した地点情報は、ナビゲーション側の地点情報と位置がずれることがあります。

*VICS*を使うには

●*VICS*について

VICS (Vehicle Information and Communication System ：道路交通情報通信システム)は、渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、カーナビゲーションなどの車載機に表示するシステムです。また道路交通情報の提供を通して、安全性の向上、交通の円滑化による環境の保全などを促進することを目的としています。
本機に付与された VICS のロゴマークは、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（***VICS*** センター）の登録商標です。

●*VICS*サービスのしくみ



VICS リンクデータベースの著作権は、財団法人 日本デジタル道路地図協会、財団法人 日本交通管理技術協会（TMT）が有しています。

●*VICS*情報の表示

注 意

VICS情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

文字による***VICS***情報を表示します。（レベル1）

図形による***VICS***情報を表示します。（レベル2）

地図上に***VICS***情報を重ねて表示します。（レベル3）

アドバイス

- 本機は、FM多重放送の***VICS***情報を受信できます。
- FM多重放送の電波が弱い地点では、***VICS***情報の取得に時間がかかる場合や、***VICS***情報が取得できない場合があります。
- 車両情報設定にてモーターアンテナ車に設定（P.4-25参照）されている場合、オーディオ機能の電源がONのときのみFM多重放送の***VICS***情報を受信できます。
- 電波ビーコン、光ビーコンの***VICS***情報は、別売の2メディア対応の***VICS***システムを接続することで受信することができます。

●*VICS*の情報について

・提供される***VICS***情報はあくまでも参考としてください（提供される***VICS***情報は、最新ではないことがあります）。
・電波や光の信号がうまく受信されないときは、一部の表示が乱れることがありますが、新しい信号が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。
・***VICS***の表示内容は、***VICS***センターが提供していますので、本書の画面と実際の画面は異なることがあります。
・***VICS***情報が発信されている地域により、情報の内容は異なります。
・***VICS***による交通情報（渋滞や混雑の矢印など）の地図上への表示は、毎年、追加・更新・削除されます。削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。より正確に情報を表示するためには、最新の地図データをご使用いただく必要があります。地図データに関しては、最寄りの販売店にご相談ください。
・***VICS***情報の表示には、G-BOOKオンラインサービス利用時にG-BOOKセンターから提供されるプローブコミュニケーション交通情報が含まれます。**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

●*VICS*の運用時間

情報提供時間　・FM多重：24時間（但し、第1、第3月曜日の午前1時から5時までは、保守の為に放送を休止いたします。時間につきましては、あらかじめ***VICS***FM多重放送の「お知らせ」メニューでご案内いたします）

・ビーコン：24時間

※ 運用時間は予告なく変更されることがあります。

●*VICS*の問い合わせ先

・***VICS***の車載機の調子、機械、使い方、その他に関するもの
・***VICS***サービスエリアに関するもの
・その他、上記に類するもの
これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

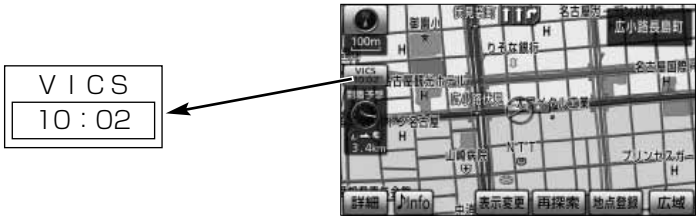
・***VICS***の概念、計画、または表示された情報内容に関することは***VICS***センターへお問い合わせください。（但し、地図表示型の表示内容は除く）

VICSセンター

電話受付 <受付時間 09：30～17：45（土曜、日曜、祝祭日を除く）>
電話番号 0570 - 00 - 8831（全国）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※PHSからはご利用できません。

FAX 受付 <受付時間24時間>
FAX 番号 03 - 3592 - 5494

●*VICS*タイムスタンプ表示について



・***VICS*** 情報を表示するように設定してください。
（P.4-75の**「*VICS* 情報を地図に表示・消去するには」**を参照してください）

・タイムスタンプは***VICS*** 情報を受信すると自動的に現在地画面・地図画面の左中央に情報提供時刻が表示されます。また、***VICS*** 情報は継続受信できないと約30分で自動的に消去され、表示が 交通情報 --:-- になります。

・***VICS*** 情報が受信されていて、地図に表示する情報がないときも、表示が 交通情報 --:-- になります。

・ルート上に渋滞情報が存在する場合、***VICS*** の渋滞情報にしたがってタイムスタンプ内の時刻表示の背景色が切り替わります。手動による再探索や渋滞を回避する探索が行われたあとのルート上に、***VICS*** の渋滞情報が存在しなくなるとタイムスタンプ内の時刻表示の背景色は黒色になります。

・タイムスタンプ内の時刻表示の背景色とスイッチ表示については以下のとおり。
　赤色・・・・ルート上に渋滞情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると渋滞情報を音声で案内します。
　橙色・・・・ ルート上に混雑情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示になりません。タッチすると地図が移動します。
　黄色・・・・ルート上に規制情報が存在することを表します。タイムスタンプはスイッチ表示となり、タッチすると規制情報を音声で案内します。

・タイムスタンプの時刻表示は、***VICS*** 情報が提供された時刻を表しており、***VICS*** 情報を受信した時刻ではありません。

・本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーを外しておいた場合などは、**「*VICS* 情報を地図に表示・消去するには」**（P.4-75参照）を確認して新しい***VICS*** 情報を再度受信するまでお待ちください。

・FM多重放送が受信されていないときは、交通情報が反転（灰色）します。

●地図上に表示される*VICS*情報について

1 渋滞情報

渋滞度	表　示	内　容	表示縮尺
渋滞	赤色	交通の流れが非常に悪い状態	25m～1.6k
混雑	橙色	交通の流れがやや悪い状態	
渋滞なし	水色	交通の流れが良い状態	

※縮尺が1／8万～1／16万の地図を表示しているときは、渋滞情報は全て「━」（矢印なし）で表示します。

2 事象・規制情報

①代表的な *VICS* マーク

マーク	規制内容	表示縮尺
	通行止め・閉鎖	25m～1.6k
	入口閉鎖	25m～1.6k
	事　故	25m～200m
	工　事	25m～200m

※上記以外の*VICS*マークの種類については、右表を参照してください。

②規制範囲

マーク	内　容	表示縮尺
黒色	通行止めの区間	25m～1.6k

3 駐車場・SA／PA情報

渋滞度	表　示	内　容	表示縮尺
空車	P SA PA 青色	利用が可能な状態	25m～1.6k
満車	P SA PA 赤色	ほぼ満車の状態	
混雑	P SA PA 橙色	利用率が高い状態	
不明	P SA PA 黒色	駐車場情報がない状態	25m～400m
閉鎖	P SA	閉鎖されている状態	

参考：*VICS*マークの種類

マーク	内　容
	故障車
	路上障害
	凍結
	作業
	大型通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面交通
	車線規制
	徐行
	入り口制限
	オフランプ規制
	速度規制（30km/h）
	イベント（行事等）
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	火災
	雨
	雪
	駐車場
	サービスエリア パーキングエリア
	注意

1 *VICS* 情報を地図に表示・消去するには

表示している地図に渋滞情報や規制情報を表示・消去することができます。

(1) 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

(2) VICS・交通情報 にタッチします。

(3) *VICS* 情報を表示させたい道路のタッチスイッチにタッチします。

- 一般道のみ にタッチすると、一般道路に関する *VICS* 情報のみを表示します。
- 高速道のみ にタッチすると、高速道路に関する *VICS* 情報のみを表示します。
- 全て にタッチすると、一般道路と高速道路に関する *VICS* 情報を表示します。

- 初期設定では、 全て が強調表示されています。
- 渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが表示されます（P.4-74参照）。
- *VICS* 情報が画面に表示されているときは、その *VICS* 情報が提供された時間を示すタイムスタンプが表示されます。
- 統計データ情報の表示が設定されている場合、統計データ情報も同時に表示されます。 *VICS* 情報のみを表示したい場合、表示設定画面で統計情報の表示設定をOFFにしてください（P.4-84参照）。

アドバイス

VICS 情報は 1.6k よりも広域な地図には表示されません。

(4) ***VICS*** 情報を消去する場合は 非表示 にタッチします。

● 「***VICS*** ・交通情報を消去します」のメッセージが表示され渋滞情報、規制情報、駐車場情報のマークが消去されます。

2 *VICS* 情報の詳細情報を表示するには

地図上に表示されている ***VICS*** マークの詳細情報を確認することができます。

(1) ***VICS*** 情報が表示されている現在地画面または地図画面で、***VICS*** マークにタッチします。

● 規制情報、駐車場マークの詳細情報が表示されます。

アドバイス

●詳細情報は一定時間後、自動的に消去されます。
●施設マークが表示されている場合、施設の詳細情報も表示されます。
●駐車場情報は一部のエリアでしか提供されていません。

3 高速略図画面に*VICS*情報を表示するには

高速略図画面に渋滞情報や規制情報を表示することができます。

（1） 高速略図画面表示中にP.4-75の**1**の（3）の画面で、***VICS***情報を表示させたい道路にタッチします。

- 高速略図画面には、どの道路にタッチしても高速道路の***VICS***情報が表示されます。

- 渋滞情報、規制情報マークが表示されます。
（P.4-74を参照してください）

4 *VICS*文字情報を表示するには

（1） 情報・G・BTナビ画面（P.6-1参照）で VICS にタッチします。

（2） FM文字 にタッチして、文字情報メニュー画面を表示させます。

- 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の文字情報が表示されます。

（3） 文字情報を複数ページ受信したときは、▲・▼にタッチすることでページを送ることができます。

- 自動送り にタッチすると一定時間表示後、自動的にページが送られます。中止するときは、停止にタッチします。
- 目次 にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。

アドバイス

- 走行中に自動送りを行うことはできません。
- 図形 にタッチすると図形情報メニュー画面が表示されます。

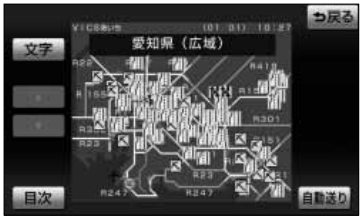
5 *VICS* 図形情報を表示するには

（1） P.4-77の **4** の（2）の画面で、 FM図形 にタッチします。

- 図形情報メニュー画面が表示されます。
- 表示させたい内容の番号にタッチすると選択した番号の図形情報が表示されます。

（2） 図形情報を複数ページ受信したときは、 ▲ ・ ▼ にタッチすることでページを送ることができます。

- 自動送り にタッチすると一定時間表示後、自動的にページが送られます。中止するときは、 停止 にタッチします。
- 目次 を押すと図形情報メニュー画面を表示します。



アドバイス

- 走行中に自動送りを行うことはできません。
- 文字 にタッチすると文字情報メニュー画面が表示されます。

注 意

VICS 文字・図形情報は、走行中も表示されますが注視しないでください。
ハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6 割込情報（緊急情報）受信したときには

（1） 割込情報を受信するとビープ音が鳴り、直ちに画面が表示されます。

- 表示消 にタッチするとメッセージは消去されます。
- 文字 または 図形 にタッチすると、文字情報または図形情報に表示を切り替えます。

アドバイス

割込情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを切り替えることができます。

7 割込情報（緊急情報）を再表示するには

（1） P.4-77の 4 の（2）の画面で、 割込情報 にタッチします。

- 6 で受信した割込情報が再表示されます。

アドバイス

- ●割込情報が複数ページあるときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを切り替えることができます。
- ●再表示させた場合の割込情報画面には 表示消 スイッチは表示されません。

8 自動選局するには

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると自動的に放送局が切り替わります。

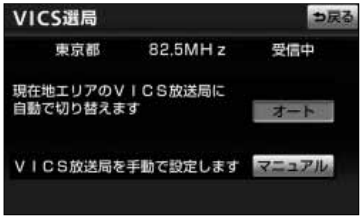
(1) P.4-77の 4 の（2）の画面で、 ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

(2) オート にタッチします。

● 初期設定は、オート（自動選局）に設定されています。

9 エリア選択で選局するには

選択した都道府県の放送局が受信されます。受信状態が変わると、選択した都道府県内で自動的に放送局が切り替わります。



(1) P.4-77の 4 の（2）の画面で、 ＶＩＣＳ選局 にタッチします。

(2) マニュアル にタッチします。

● 選局できる放送局エリアがリスト表示されます。

(3) 受信したい放送局のあるエリアにタッチします。

(4) 完了 にタッチします。

10 周波数を指定して選局するには

選択した周波数の放送局が受信されます。受信状態が変わっても放送局は切り替わりません。

(1) P.4-77の **4** の（2）の画面で、 VICS選局 にタッチします。

(2) マニュアル にタッチします。

(3) TUNE ▲ ・ TUNE ▼ にタッチして希望する周波数を指定します。

(4) 完了 にタッチします。

11 地図に表示する*VICS*情報を設定するには

(1) P.4-75の **1** の（3）の画面で、 表示設定 にタッチします。

- 表示設定画面が表示されます。

(2) 現況情報のそれぞれの項目に対してタッチします。

- タッチすると作動表示灯が点灯し、表示設定ONになります。
- 初期設定では、駐車場の表示設定のみOFFになっています。
- それぞれの情報については、P.4-74を参照してください。

(3) 完了 にタッチします。

●*VICS* 情報表示中の道路色ついて（道路種別表示）

VICS レベル 3 情報表示中に、***VICS*** 表示対象道路と非対象道路を色分けして表示する（道路種別表示「OFF」）か、***VICS*** 情報非表示時と同様に、道路の種類（国道、高速道路、主要地方道、一般都道府県道など）で色分けして表示する（道路種別表示「ON」）かを設定できます。

アドバイス

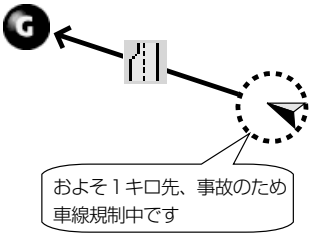
道路種別表示「OFF」時は、***VICS*** 情報表示時、地図上の高速道路は紫色、***VICS*** 情報提供対象道路は緑色、それ以外の道路は灰色で表示されています。

12 *VICS* 情報の音声案内をもう一度聞きたいときは

案内ルート上に渋滞や規制が発生したときに発声される ***VICS*** 情報の音声案内を再び聞くことができます。

（1） ***VICS*** 情報を表示しているときに、タイムスタンプ（P.4-73参照）にタッチします。

● ***VICS*** 情報の音声案内が発声されます。



アドバイス

- 案内ルート上に渋滞・規制が発生したときに、発生した ***VICS*** 情報を自動で音声案内することができます（P.4-2参照）。
- ***VICS*** 情報の音声案内は、***VICS*** 情報が消去されているときは案内されません。
- 案内される情報は、自車前方およそ10ｋｍまでの情報です。
- ***VICS*** の表示設定（P.4-75）が高速道のみに設定されていても、一般道の情報も音声案内されます（一般道のみに設定されているときも高速道の情報が音声案内されます）。

統計データ情報を表示するには

本機に収録されている統計データ情報（渋滞や混雑の情報など）を地図上に表示することができます。また、過去の渋滞統計データをもとに、渋滞を考慮したルートの探索や、新しいルートが見つかったときに、もとのルートとの比較画面を表示することができます。

1 統計データ情報を地図に表示・消去するには

表示している地図に統計データ情報を表示・消去することができます。

（1） 地図を表示させているときに 表示変更 にタッチします。

（2） VICS・交通情報 にタッチします。

（3） 統計データ情報を表示させたい道路のタッチスイッチにタッチします。

- 一般道のみ にタッチすると、一般道路に関する情報のみを表示します。
- 高速道のみ にタッチすると、高速道路に関する情報のみを表示します。
- 全て にタッチすると、一般道路と高速道路に関する情報を表示します。

- 初期設定では 全て が強調表示されています。
- 統計データ情報が破線で表示されます。
  - ・赤色…渋滞している
  - ・橙色…混雑している
  - ・水色…空いている
- ***VICS*** 情報の表示が設定されている場合、***VICS*** 情報も同時に表示されます（P.4-75参照）。統計データ情報のみを表示したい場合、表示設定画面で現況情報の表示設定をOFFにしてください（P.4-81参照）。

アドバイス

統計データ情報は800mよりも広域な地図、リアル市街図には表示されません。

(4) 統計データ情報を非表示にする場合は 非表示 にタッチします。

2 地図に表示する統計データ情報を設定するには

作動表示灯

(1) P.4-83の 1 の (3) の画面で、 表示設定 にタッチします。

- 表示設定画面が表示されます。

(2) 統計情報のそれぞれの項目に対してタッチします。

- タッチすると作動表示灯が点灯し、表示設定ONになります。
- 初期設定では、全て表示ONになっています。
- 渋滞・混雑 にタッチすると、渋滞・混雑情報が表示されます。 空き道 にタッチすると、空いている道の情報が表示されます。

(3) 完了 にタッチします。

3 統計データ情報や渋滞予測情報※を考慮した経路探索をするには

統計データ情報や渋滞予測情報※を考慮したルート探索を行うことができます。

(1) ナビ詳細設定画面（P.4-2参照）で、渋滞考慮探索設定の 変更する にタッチします。

(2) 渋滞考慮探索を「する」に設定します。

- 初期設定は、「する」に設定されています。
- 統計データやG-BOOK※情報を考慮した探索を行わない場合は、 しない にタッチします。

(3) 完了 にタッチします。

※G-BOOKオンラインサービス利用時、渋滞予測情報を取得した場合、新しいルートを探索します。**「G-BOOK・Bluetooth取扱書詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

アドバイス

- ●手動で再探索を行う場合でも、渋滞を考慮した探索を行います。
- ●通行止め規制やランプ閉鎖などの規制が案内ルート上に発生した場合は、上記の設定に関係なく、規制回避するルートを自動的に再探索します。

4 案内中のルートと新しく見つかったルートを比較するには

(1) ナビ詳細設定画面（P.4-2参照）で、渋滞考慮探索設定の 変更する にタッチします。

(2) 新旧ルート比較表示を「する」に設定します。

- 初期設定は、「する」に設定されています。
- 案内中のルートと新しく見つかったルートを比較しない場合は、 しない にタッチします。

(3) 完了 にタッチします。

5 新しいルートが見つかったときには

（1） 新しいルートが見つかると、直ちに画面に表示されます。

- 現在地から、新しいルートともとのルートの分岐点の距離を表示します。

（2） 元ルート または 新ルート にタッチします。

- メッセージが表示されてからしばらく操作をしなかったときは、自動で新しいルートが選択されます。

（3） 完了 にタッチします。

アドバイス

- ●新旧ルート比較表示は、必ず、渋滞考慮探索を「する」に設定してから操作してください。（P.4-85参照）
  - ・渋滞考慮探索が「する」、新旧ルート比較表示が「する」の場合
    自動で新しいルートを探索し、新しいルートで案内を行います。（ルート比較画面は表示されます。）
  - ・渋滞考慮探索が「する」、新旧ルート比較表示が「しない」の場合
    自動で新しいルートを探索し、新しいルートで案内を行います。（ルート比較画面は表示されません。）
  - ・渋滞考慮探索が「しない」、新旧ルート比較表示が「する」または「しない」の場合
    新しいルートは探索されません。（ルート比較画面も表示されません。）
- ●通行止めなどの規制が発生したなどの場合は、時間や距離が増加するルートを表示することがあります。
- ●別売の2メディア対応の***VICS*** システムを接続しているときは案内中のルートと新しいルート（ビーコンから受信した***VICS*** 最新情報を考慮したルート）の比較画面を表示します。（P.8-4参照）

メンテナンスを使うには

車の消耗部品（エンジンオイル、タイヤなど）の交換時期や各種点検時期などのイベント時期を案内することができます。

1 メンテナンス時期を設定するには

（1） を押します。

（2） メンテナンス にタッチします。

- 設定・編集画面（メンテナンス）が表示されます。

（3） 項目設定 にタッチします。

（4） 設定する項目にタッチします。

- （任意入力項目未設定）にタッチすると、表示されている項目以外の項目を設定できます。
- （任意入力項目未設定）以外にタッチしたときは、（6）の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正できます。

（5） （任意入力項目未設定）にタッチすると、メンテナンス案内（P.4-90の 4 参照）が行われるときに表示される名称やマークの設定ができます。P.4-88の 2 を参照してください。

（6） お知らせ日 または お知らせ距離 にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。

(7) 日付および距離を1文字ずつタッチして入力します。

- 修正 にタッチすると、1つずつ消去されます。
- 年 ・ 月 ・ 日 にタッチすると入力した文字を確定します。

(8) 完了 にタッチします。

アドバイス

メンテナンス時期を設定しても、メンテナンス詳細設定の自動通知設定を「する」にしないとメンテナンス案内は行われません（P.4-89の3 参照）。

(9) 入力が完了したら 設定完了 にタッチします。

- 複数のメンテナンス項目を設定するときは、(4) ～ (9) を繰り返します。

2 任意入力項目を設定するには

任意入力項目（ マーク）に、お好きな名称やマークを設定することができます。任意入力項目を設定しておくと、メンテナンス案内が行われるときに設定した名称やマークが表示されます。

(1) P.4-87の1 の (4) の画面で、 （任意入力項目）にタッチします。

(2) メンテナンス案内（P.4-90の4 参照）が行われるときに表示したいマークにタッチします。

(3) 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**(P.4-51～P.4-52) を参照してください。

(4) 入力が完了したら 完了 にタッチします。

(5) お知らせ日、またはお知らせ距離をP.4-87の 1 の(6) にしたがって設定します。

アドバイス

- 修正 にタッチすると、名称を変更することができます。(3)、(4) の操作を行ってください。
- マーク にタッチすると、マークを変更することができます。(2) の操作を行ってください。

(6) 入力が完了したら 設定完了 にタッチします。

3 メンテナンス案内を設定するには

案内の自動通知設定を「する」にすると、時期を設定した項目の案内が行われます。

(1) P.4-87の 1 の (3) の画面で、
メンテナンス詳細設定 にタッチします。

(2) 自動通知の する にタッチします。

- 案内の自動通知設定を解除する場合は、 しない にタッチします。
- 初期設定は「する」に設定されています。

(3) 完了 にタッチします。

アドバイス

- すでに設定されている項目は「青色」、案内時期を過ぎている項目は「オレンジ色」で表示されます。
- 車の使用状況などにより、設定した時期と実際の案内が行われる時期に誤差が生じることがあります。また、計測された走行距離と実際の走行距離に誤差が生じることがあります。

4 メンテナンス案内を表示するには

エンジンスイッチをACCまたはONにし、ナビゲーションが立ち上がったあとに同時に4つまで表示されます。

メンテナンスお知らせ案内

● 5つ以上の項目の案内があるときは、 * （その他）が表示されます。

アドバイス

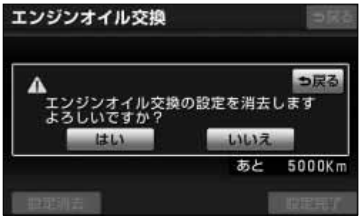
P.4-89の 2 の（3）で設定した名称は案内画面の中央部に表示されます。

● 次回表示しない にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときに案内が表示されません。

5 メンテナンス設定を項目ごとに消去するには

（1） P.4-87の**1**の（4）の画面で、設定を消去する項目にタッチします。

（2） 設定消去 にタッチします。



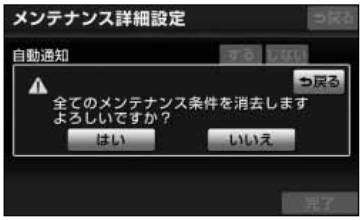
（3） はい にタッチすると設定が消去されます。

● 消去を中止するときは いいえ にタッチします。

6 メンテナンス設定をすべて消去するには

（1） P.4-87の**1**の（3）の画面で、メンテナンス詳細設定 にタッチします。

（2） 設定全消去の 消去する にタッチします。



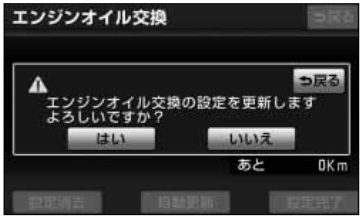
(3) はい にタッチすると設定が全て消去されます。

● 消去を中止するときは いいえ にタッチします。

7 メンテナンス設定を項目ごとに更新するには

(1) P.4-87の 1 の (4) の画面で、案内時期を過ぎている項目にタッチします。

(2) 自動更新 にタッチします。



(3) はい にタッチすると前回設定された日付や距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。

● 更新を中止するときは いいえ にタッチします。

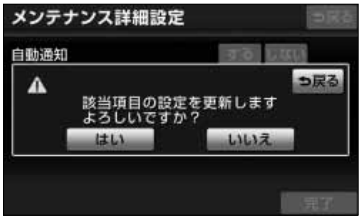
アドバイス

新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。(項目により、計算方法は異なります)

8 メンテナンス設定をすべて更新するには

（1） P.4-87の 1 の（3）の画面で、
メンテナンス詳細設定 にタッチします。

（2） 自動全更新の 全更新する にタッチします。



（3） はい にタッチすると前回設定された日付や距離が更新され、新しい日付・距離に変更されます。

● 更新を中止するときは いいえ にタッチします。

アドバイス

新しい日付は、メンテナンスの時期を設定した日・現在の日・案内する予定だった日から自動的に計算され変更されます。（項目により、計算方法は異なります）

メンテナンスマーク一覧			
	エンジンオイル交換		ブレーキパッド交換
	オイルフィルター交換		Vベルト
	タイヤローテイション （タイヤ位置交換）		冷却水（LLC）交換
	タイヤ交換		ブレーキフルード交換
	エアクリーナー交換		ATF（オートマチックトランスミッションフルード）交換

パーソナルマーク一覧				

その他のマーク	
	案内項目が5つ以上の場合

9 利用する販売店を設定するには

メンテナンス機能でご利用される販売店を設定できます。

(1) P.4-87の 1 の(3)の画面で、 販売店設定 にタッチします。

(2) 地図の呼び出し方を選択します。
それぞれの詳細操作は各ページを参照してください。

- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 目的地履歴 P.3-45
- 名称 P.3-28
- 住所 P.3-33
- 施設 P.3-35
- 電話番号 P.3-37
- ジャンル P.3-41
- 郵便番号 P.3-43
- 先程の地図 にタッチすると、先程表示していた地図が表示されます。
- マップコード P.3-44
- 特別メモリ周辺 P.3-48

(3) にタッチすると、地図が移動して の位置を変更することができます。

(4) スケール表示が 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

(5) 販売店名を入力する場合は、 販売店名 にタッチします。
入力後、 完了 にタッチします。

- 文字の入力方法は**「メモリ地点を登録・修正・消去するには」**（P.4-51～P.4-52）を参照してください。

(6) 電話番号を入力する場合は、 電話番号 にタッチします。

(7) 数字を１番号ずつタッチして入力します。

- 修正するときは 修正 にタッチすると１番号ずつ消去されます。

(8) 完了 にタッチします。

(9) 設定した内容でよろしければ、 完了 にタッチします。

- 販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。
- すでに目的地が設定されている場合は、 新規目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定することができます。P.2-26を参照してください。
- 追加目的地 にタッチすると、現在設定されている目的地に追加して設定することができます。P.3-5を参照してください。

アドバイス

施設 から販売店の地図を呼び出し、地図を動かさずに設定すると、表示した施設の名称・電話番号が自動で入力されます。

10 利用する販売店を修正・消去するには

（1） 販売店設定後、P.4-87の 1 の（3）の画面で 販売店設定 にタッチします。

（2） 修正したい項目の横にあるスイッチにタッチします。

- 販売店名を修正する場合は 販売店名 にタッチします。
  P.4-96の 9 の（5）の操作を行ってください。
- 販売店の位置を修正する場合は、 位置 にタッチします。P.4-95の 9 の（3）～（4）の操作を行ってください。
- 電話番号を修正する場合は、 電話番号 にタッチします。P.4-96の 9 の（7）～（8）の操作を行ってください。

（3） 販売店を消去するときは 販売店の消去 にタッチします。

（4） はい にタッチすると販売店が消去されます。

- 消去を中止するときは いいえ にタッチします。

メモ

補正機能

1 現在地を修正するには

地図上の自車表示位置や方位と実際の自車位置がズレているとき、このズレを修正することができます。

(1) 設定・編集画面（ナビ）で ナビ詳細設定 にタッチします。

(2) その他 にタッチします。

(3) ナビ補正の 補正する にタッチします。

(4) 現在地修正 にタッチします。

(5) にタッチして マークを修正したい位置に移動させます。

- スケール表示が 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

(6) ・ にタッチして自車マークの方向を修正します。

- にタッチすると反時計回りに、 にタッチすると時計回りに自車マークが回転します。
- スケール表示が 800m より詳細な地図で セット にタッチします。

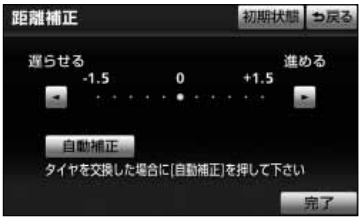
アドバイス

GPS電波を受信すると修正された位置、方位とは関係なく、正しい位置および方位に修正されます。

2 タイヤを交換したときには

タイヤを交換した際などには自車位置の表示がズレる場合があります。また、地図上の自車位置と実際の現在地がズレているとき、このズレを自動補正し、精度よくお使いいただくことができます。

（1） P.5-1の 1 の（4）の画面で、 距離補正 にタッチします。



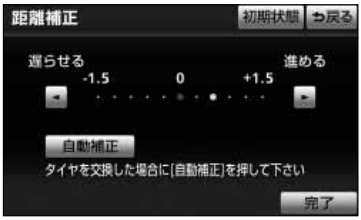
（2） 自動補正 にタッチします。

- 自動補正のときは、タッチスイッチが強調表示されます。

3 自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときには

走行中、地図上の自車マークの進み方と実際の進み方がズレているときにこのズレを手動で調節することができます。

（1） P.5-1の 1 の（4）の画面で、 距離補正 にタッチします。



（2） 地図上の自車マークが実際の進み方よりも進みすぎのときは ◀ にタッチし、遅れすぎのときは ▶ にタッチして調節します。

- 初期状態 にタッチすると初期設定の状態に戻ります。

（3） 完了 にタッチします。

アドバイス

- GPS電波を良好に受信している場合には、常に最適化するように距離補正係数を自動的に修正していますので、距離補正係数の調節は不要です。GPS衛星の保守・点検などの影響で、GPS電波の受信が良好でない場合などにお使いください。
- GPS電波を受信すると自動的に距離補正係数を修正します。
- P.5-2の 2 の（2）で 自動補正 にタッチしたあとは、しばらくの間 ◀・▶ を操作することはできません。

地図データの更新について

マップオンデマンドについて

マップオンデマンドは、全国の高速道路・有料道路・主要国道、ナビゲーションに登録した自宅および設定した目的地周辺の道路変更部分のみを、携帯電話網※、インターネット網を通じてナビゲーションに配信するサービスです。
これにより、地図データを短期間で更新でき、更新された地図を使って、ナビゲーションのルート探索・案内を利用できます。
※G-BOOKオンラインサービス利用時。

全更新と差分更新について

地図更新には、「全更新」と「差分更新」があります。
マップオンデマンドは「差分更新」になります。

1 全更新

最新版地図ソフトで全国の地図データをすべて更新します。マップオンデマンド（差分更新）を継続して利用するためには、トヨタ販売店で最新版地図ソフトを購入いただき、更新していただく必要があります。詳しくは、トヨタ販売店にご相談ください。
※最新版地図ソフトの発行は、予告なく終了することがあります。

- 全更新するときは、それまでのマップオンデマンド（差分更新）のデータと比較し、古い情報のみ更新され、最新の情報はそのまま保存されます。

2 差分更新

通信またはメディア（CD-R／DVD-R）を使用して、部分的に地図データを更新します。この場合、更新するエリアは更新方法によって異なります。

- 更新方法により、通信にかかる実費などが別途必要です。
- 更新される情報は道路や道路情報、全国の3Dランドマーク相当の著名な施設です。

■差分更新サービス期間と費用

＜サービス期間について＞

機器購入後、3年間サービスをご利用いただけます。その後は、最新版地図ソフトを購入いただければ、さらに2年間サービスをご利用いただけます。
通信による自動更新のご利用にはG-BOOKの契約 （初年度無料、2年目以降有料）が必要です。利用料金は、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

＜更新にかかる費用について＞

更新方法		購入時～3年間 更新時の費用	4年目～
通信で 更新※	Bluetooth対応 携帯電話で更新	通信にかかる実費	継続して利用する場合 最新版地図ソフトを購入
	通信モジュールで更新	G-BOOK基本利用料に 含まれています。	
メディア (CD-R/ DVD-R) で更新	マップオンデマンド パソコンサイトから ダウンロード	メディア（CD-R／DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費	
	マップオンデマンド・ サポートデスクへ注文	地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。	

※ G-BOOKオンラインサービス利用時。

3 更新エリアと更新対象について

各更新方法の更新エリアおよび更新対象は、次のようになっています。

地図データ		更新エリア・更新対象		
		マップオンデマンド（差分更新）		全更新
		通信で更新※1	メディア（CD-R/DVD-R）で更新	
道路 データ	高速道路（都市高速道路・有料道路を含む）	全国	ご希望の都道府県 （全国の高速道路・ 主要国道を含む）	全て
	主要国道	全国		
	一部国道、主要地方道、県道、市道、幹線、その他の案内道路、幅5.5m未満の道路	自宅周辺と目的地周辺 ・自宅周辺80km 四方（幅5.5m 未満の道路10km 四方） ・目的地周辺10km 四方		
施設情報		・全国の有料道路施設 ・全国の3Dランドマーク相当の著名な施設		
市街図、音声案内		配信対象外※2		

※1 G-BOOKオンラインサービス利用時。

※2 マップオンデマンド（差分更新）により新たに追加された交差点などでは、ルート案内時、音声案内されない場合があります。

更新情報は、使用データ画面や地図更新画面で確認することができます。

マップオンデマンドの更新方法について

更新方法は次の方法があります

● 通信で更新（G-BOOKオンラインサービス利用時）

Bluetooth携帯電話または通信モジュールを利用して更新します。

全国の高速道路・有料道路・主要国道、ならびに自宅周辺、目的地周辺を更新できます。

※通信にはG-BOOKオンライラインサービスをご利用いただきます。

※携帯電話で更新する場合、通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

※携帯電話で更新する場合、初回のみメディア（CD-R／DVD-R）での更新が必要です。

● メディア（CD-R／DVD-R）で更新

ご希望の都道府県を選択して更新できます。

パソコンのG-BOOKサイトでお客様が選択した都道府県のデータをパソコンにダウンロードし、作成したメディア（CD-R／DVD-R）を使って更新します。

※この方法はG-BOOKオンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。詳しくは、パソコンのG-BOOKサイト　(http://g-book.com/)でご確認ください。

※メディア（CD-R／DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

● 地図更新DVDを注文して更新

マップオンデマンド・サポートデスクに電話していただければ、地図更新DVDを注文することができます。

※この方法はG-BOOKオンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

※地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

地図更新画面について

地図更新に関する情報の確認や操作は、地図更新画面から行います。

1 地図更新画面を表示する

(1) [メニュー] を押します。

● 設定・編集画面が表示されます。

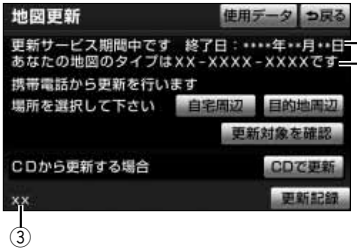
(2) 地図更新 にタッチします。

アドバイス

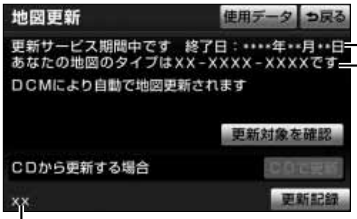
更新方法は、設定・編集画面（ナビ）で 地図更新 にタッチする操作から説明していますが、情報・G・BTナビ画面（G-BOOK）で 地図更新 にタッチしても同様に操作することができます。

2 地図更新画面の使い方

G-BOOK mXモデルの場合



G-BOOK mX Proモデルの場合



※G-BOOKを契約していない場合は画面が異なります。

■情報の確認

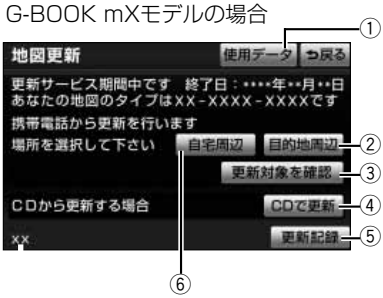
次の情報が確認できます。

① 更新サービス終了日

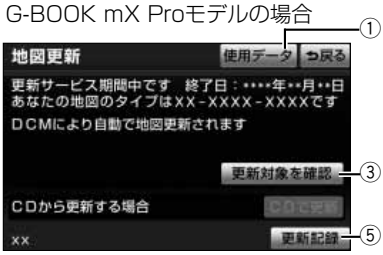
② 地図のタイプ XX-XXXX-XXXX
パソコンサイトからパソコンにデータをダウンロードするとき、または電話で地図更新DVDを注文するときに、地図のタイプの情報が必要になることがあります。(P.5-6参照)

③ ナビゲーション地図のバージョン
ナビゲーション地図のバージョンを示しています。地図更新DVDをご注文の際などに必要になることがあります。

G-BOOK mXモデルの場合



G-BOOK mX Proモデルの場合



※G-BOOKを契約していない場合は画面が異なります。

■各スイッチの使い方

① 使用データ

使用データ画面を表示する

●ハードディスクに収録されているデータベースなどの情報を確認できます。

●使用データ画面に表示される 地図更新 は、全更新時に販売店が使用します。

② 目的地周辺※

携帯電話で、全国の高速道路・有料道路・主要道路と目的地周辺の更新をする

●目的地を設定すると有効になります。

③ 更新対象を確認

携帯電話または通信モジュールの更新エリアと更新対象を確認する

④ CDで更新

メディア（CD-R／DVD-R）で更新をする

● CDで更新 と表示されますが、DVDも利用できます。

⑤ 更新記録

最新の更新日を確認する

⑥ 自宅周辺※

携帯電話で、全国の高速道路・有料道路と自宅周辺の更新をする

●自宅を登録すると有効になります。

※通信モジュール使用時は表示されません。

3 更新方法

ご希望の更新方法で地図を更新します。

- メディア（CD-R／DVD-R）で更新する※
- 携帯電話で更新する
- 通信モジュールで更新する

※ メディア（CD-R／DVD-R）の費用やパソコンの通信費用、地図更新DVDにかかる実費はお客様のご負担になります。

■マップオンデマンドに関するお問い合わせ

マップオンデマンド・サポートデスクにお電話にてお問い合わせください。
お問い合わせの際は、お手元に本機の型番（NHZN-W60G）とシリアルNo.またはG-BOOK用車載端末IDラベルをご用意ください。

■地図を更新する

- 各更新方法の更新エリアと更新対象については、**「更新エリアと更新対象について」**（P.5-5）を参照してください。
- 地図更新にかかる時間については、**「地図更新にかかる時間の目安について」**(P.5-17）を参照してください。

■地図変更中の操作について

地図更新中でも、エンジンスイッチやナビゲーション、オーディオなどの操作をすることができます。

- 更新の途中でエンジンスイッチをOFF（LOCK）にしても、次回エンジンスイッチをACCまたはONにすれば、処理を再開します。
- 差分データが車載機にダウンロードまたはコピーされ、地図更新の準備ができた後、地図画面の 地図更新 にタッチしないでエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合は、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたときに、自動で新しい地図に更新します。
- 差分データをダウンロードまたはコピー中、および地図更新準備中に、ナビゲーション、オーディオなどの操作を行っても地図の更新は継続されます。ただし、音楽CDをハードディスクに録音している間は、地図更新の処理を中断します。この場合は、録音終了後、地図更新の処理を再開します。

4 メディア（CD-R／DVD-R）で更新する

メディア（CD-R／DVD-R）を使用して更新します。

■メディア（CD-R／DVD-R）を準備する

次のいずれかの方法で地図を更新するためのメディア（CD-R／DVD-R）を用意してください。その際、地図のタイプの情報が必要になることがあります。あらかじめ、地図更新画面で確認しておいてください。（P.5-7参照）

＜インターネットから入手する＞

パソコンのG-BOOKサイト(http://g-book.com/)からデータをダウンロードし、ダウンロードしたデータを解凍してメディア（CD-R／DVD-R）にコピーします。

※この方法はG-BOOKオンラインサービスを利用していないお客様もご利用いただけます。

- GAZOO会員IDとパスワード、本機の型番（NHZN-W60G）、シリアルNo.またはG-BOOK用車載端末IDラベルが必要です。
- 詳しくは、ダウンロードサイト内の「使い方ガイド」をご覧ください。

注 意

●メディア（CD-R／DVD-R）には地図データ以外の情報を入れないでください。

●ダウンロードしたデータのファイル名および拡張子を変更しないでください。

変更すると地図更新できません。

アドバイス

メディア（CD-R／DVD-R）代、パソコンの通信にかかる実費は、お客様のご負担になります。

＜電話で注文する＞

マップオンデマンド・サポートデスクに電話して注文してください。
その際、以下の情報が必要になることがありますので、あらかじめご確認ください。

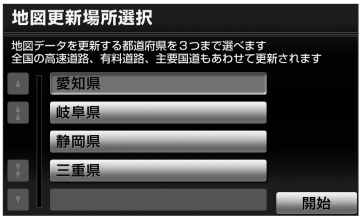
● 本機の型番（NHZN-W60G）、シリアルNo.またはG-BOOK用車載端末IDラベル

窓　　口：マップオンデマンド・サポートデスク
電話番号：0561-57-6814
受付時間：9：00 ～ 18：00（年中無休）

アドバイス

地図更新DVDは有料です。料金については、トヨタ販売店またはG-BOOKのパソコンサイト（http://g-book.com/）でご確認ください。

更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。



（1） メディア（CD-R／DVD-R）を差し込みます。

（2） メディア（CD-R／DVD-R）に4都道府県以上のデータがある場合は更新する都道府県を選択し、 開始 にタッチします。

- 1回の更新で3都道府県まで更新することができます。
- メディア（CD-R／DVD-R）に3都道府県以下しかデータがない場合は、コピー中の画面を表示します。
- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

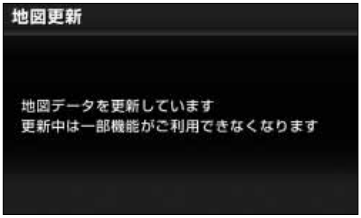
- コピー中はこの画面が表示されます。※

● コピーが完了すると地図更新準備画面に変わります。※

※ この間、ナビゲーション操作は、通常通りご利用できます。 Ⓐ を押してご利用ください。

(3) 現在地画面で 地図更新 にタッチします。

● 更新準備が完了すると、「地図の更新準備ができました」と音声で案内します。

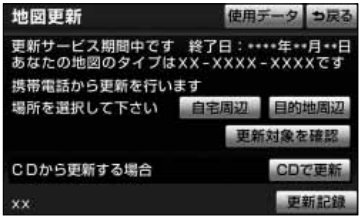


● 地図の更新を開始します。※

※ 地図更新情報画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

(4) 更新終了後、メディア（CD-R／DVD-R）を取り出します。

(5) 地図の更新が完了すると、現在地画面が表示されます。



● メディア（CD-R／DVD-R）に複数のデータ（4都道府県以上）が収録されている場合、続けて更新作業を行うことができます。

● メディア（CD-R／DVD-R）が差し込まれているときに、P.5-7の 2 の画面で、 CDで更新 にタッチします。

● P.5-11の 4 の（2）の画面が表示されますので、続けて（2）～（4）の操作を行ってください。

5 携帯電話で更新する※

新しい地図配信データがある場合に、手動で更新します。
※G-BOOK mX利用時

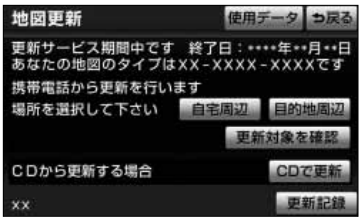
アドバイス

携帯電話で更新する場合、通信にかかる実費はお客様のご負担になります。

●初回の更新

初回はメディア（CD-R／DVD-R）による更新が必要になります。メディア（CD-R／DVD-R）はP.5-10を参照し、ご用意ください。

●2回目以降の更新



(1) P.5-7の**2**の画面で、更新するエリア（自宅周辺、または 目的地周辺 ）にタッチします。

- G-BOOKセンターに接続します。
- 地図が最新状態の場合は、メッセージが表示されます。

(2) データ量が多いときはメッセージが表示されます。継続してよければ はい にタッチします。

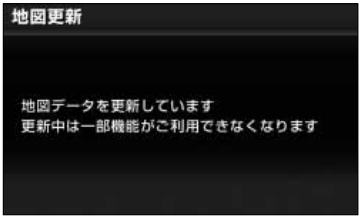
- 通信にかかる実費はお客様のご負担になります。データ量が多い場合は、メディア（CD-R／DVD-R）での更新をお奨めします。
- ダウンロード中はこの画面が表示されます。※

● ダウンロードが完了すると、地図更新準備画面に変わります。※

※ この間、ナビゲーション操作は、通常通りご利用できます。 Ⓐ を押してご利用ください。

(3) 現在地画面で **地図更新** にタッチします。

● 更新準備が完了すると、「地図の更新準備ができました」と音声で案内します。



● 地図の更新を開始します。※

※ 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

● 地図の更新が完了すると、現在地画面が表示されます。

アドバイス

●データ量が多いときに表示される通信データ量は概算値になります。

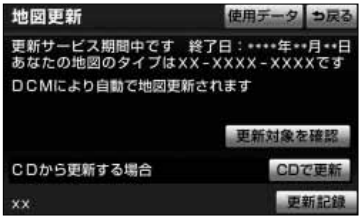
●前回のダウンロードを途中で中断した場合は、同じデータであれば続きのダウンロードを開始します。ただし、前回のダウンロードと違うデータをダウンロードしようとしたときは、ダウンロード途中データ破棄のメッセージが表示されます。

●データのダウンロード終了後、**地図更新** にタッチしないでエンジンスイッチをOFF(LOCK)にした場合、次回エンジンスイッチをACCまたはONにしたとき、自動で新しい地図に更新します。

●更新するデータ量によっては、更新準備完了に時間がかかる場合があります。途中でエンジンを切っても、地図の更新は継続されます。

6 通信モジュールで更新する※

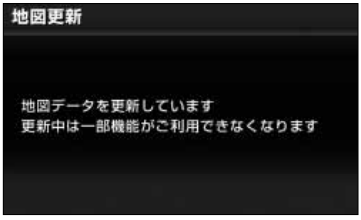
新しい地図配信データがある場合、自動でダウンロードし、更新準備まで行います。
初回の更新には数時間程度かかる場合もありますが、更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。
※G-BOOK mX Pro利用時



(1) エンジン始動時、または目的地設定時にG-BOOKセンターに接続し、新しい地図データがあると、データがダウンロードされます。

(2) 現在地画面で 地図更新 にタッチします。

- 更新準備が完了すると、「地図の更新準備ができました」と音声で案内します。



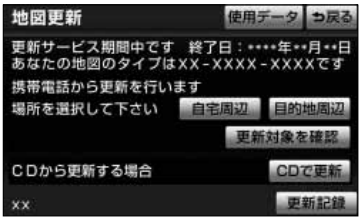
- 地図の更新を開始します。※

※ 地図更新中画面が表示されている間は、ナビゲーションの操作はできません。

- 地図の更新が完了すると、現在地画面が表示されます。

7 更新記録情報を表示する

最新の更新記録を表示することができます。
更新作業完了後に、最新の更新日時などを確認することができます。



（1） P.5-7の**2**の画面で、 更新記録 にタッチします。

● 最新の更新日時が表示されます。

8 知っておいていただきたいこと

■携帯電話での更新について

地図更新に携帯電話を使用される場合は、次の点をご理解の上、ご利用ください。

- 初回はメディア（CD-R／DVD-R）による更新が必要です。（P.5-10参照）
- 接続時間は更新に必要な差分データ量により異なります。また、電波状況や携帯電話の通信速度によっても異なります。
- 通信料は更新に必要な差分データ量により異なります。未更新の期間が長い場合は、メディア（CD-R／DVD-R）での更新をお奨めします。

■地図更新にかかる時間の目安について

地図更新にかかる時間は、大きく分けて次の2つあります。

●地図更新準備までの時間

差分データをダウンロードまたはコピーし、地図更新をするまでの時間です。

更新データが多い場合、地図更新準備に数時間かかることがあります。更新準備中もナビゲーションの操作は通常通りご利用可能です。また、更新準備中にエンジンを切っても問題はありません。次回エンジン始動時に前回中断したところから更新準備を再開します。

音楽CDをハードディスクに録音している間は、一時的に更新準備を停止し、録音終了後に処理を再開するため、その分時間がかかります。

●地図更新をする時間

車載機の地図データを書き換える時間です。

地図更新準備が完了後、現在地画面の 地図更新 にタッチしてからは、数10秒程度で地図更新が完了します。ただし、差分データ量が多い場合は数分程度かかることがあります。

※更新中はナビゲーションの機能が一部操作できません。

■各道路の更新データの配信の目安について

- 高速道路は供用開始後最短7日で配信します。

  ただし、年始年末などの長期休暇、開通道路状況、天候不良、システム保守などにより、配信までの期間に遅延が生じる場合があります。地図更新データの収集／整備状況により、配信までに3カ月ほどかかる場合もあります。

- 一般道路は開通後（変更後）、地図データとして収録・整備を行った後、順次配信されます。

■更新されないデータについて

差分更新では、音声案内データは更新されません。

交差点、路線、方面名称、施設名称、目印などが更新された場合、固有の音声案内は出力されません。

9 故障とお考えになる前に

症状	考えられること	処置
地図更新画面の終了日が「−」になっている。	サービス有効期間の設定前であるためです。	サービス有効期間は自動で設定されます。サービス有効期間設定前でも地図は更新可能です。
いつまでたっても地図データが更新される気配がない。	通信で更新する場合、通信状態によってはダウンロードが中断することがあります。	しばらくしてから、通信状態が良好な場所で再度確認してください。
	通信モジュール使用時 お客様がお住まいの地域で実際に道路更新がなかった。	故障ではありませんので、そのままご利用ください。
	ダウンロード中、コピー中、または更新準備中である。	→ 地図更新 の順にタッチし、表示された画面で状態を確認してください。

情報画面について

情報画面には、ナビゲーション、オーディオ機能以外の本機で利用可能な様々な機能スイッチが多数表示されます。

1 情報画面を表示するには

(1) G 情報 を押すと情報・G・BTナビ画面が表示されます。

- G-BOOKまたはBTナビ画面が表示されたときは 情報 にタッチします。

(2) 操作したい機能のタッチスイッチにタッチします。

- 次頁の表に示す機能を利用することができます。

タッチスイッチ	機　　能	ページ
デモ	本機の主な機能の操作方法を紹介	6-3
FM多重	FM多重放送を表示	6-4
渋滞予測※1	渋滞予測情報の表示	※2
VICS	***VICS*** 情報の表示、設定	4-77、8-1
電話	電話帳の表示	6-8
	ハンズフリー画面の表示	※3
カレンダー	カレンダーの表示	6-10
データ管理	ハードディスクの使用状況、 楽曲タイトルデータベースの更新	※4
ETC※5	ETCの設定	8-5

※1 G-BOOKオンラインサービスを利用されているときに操作することができます。

※2 **「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

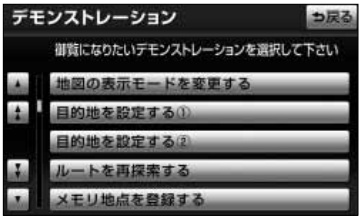
※3 **「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「2. ハンズフリー」を参照してください。

※4 **「オーディオ取扱書 詳細版」**の「サウンドライブラリをお使いになる前に」を参照してください。

※5 機器が接続されていないときは表示されません。

操作説明デモを行うには

主な機能の操作方法を、画面と音声を使ったデモで分かりやすく説明します。



（1） 情報・G・BTナビ画面（P.6-1参照）で デモ にタッチします。

（2） デモを行いたい項目（機能）にタッチします。

（3） デモ開始の画面が表示され、デモを開始します。

- デモ中は画面上に デモ 案内中 マークが表示されます。
- デモが終了すると、（2）のリスト画面を表示します。

（4） デモを途中で終了させるには、 ◁ を押します。

- 目的地 、 メニュー 、 情報 などを押して画面を切り替えると、デモを終了します。

アドバイス

- デモは停車中のみご使用になれます。デモ中に走行を開始した場合は、デモを終了します。
- デモ中は、画面に表示されているスイッチにタッチすることはできません。

ＦＭ多重放送を見るには

■ＦＭ多重放送の番組について

ＦＭ多重放送は１つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

●連動情報番組

ＦＭ音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号などの音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

●独立情報番組

ＦＭ音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

1 ＦＭ多重放送を表示するには

（1） 情報・Ｇ・BTナビ画面（P.6-1参照）で FM多重 にタッチします。

● ＦＭ多重画面が表示されます。

● 走行中に表示できない情報があり、放送局によって異なります。

アドバイス

●ＦＭ多重放送を表示中にＦＭ多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。

●ＦＭ多重放送を表示中のＦＭ音声は、受信している放送局の番組の音声になります。

●テレビの音声を聞いているときに、ＦＭ多重放送を受信すると雑音がはいることがあります。

2 放送局を切り替えるには

(1) 自動選局 にタッチします。

- ＦＭ音声を聞いているときは、⏮ ⏭ を押しても選局できます。

3 番組を切り替えるには

(1) 目次 にタッチします。

(2) 表示させたい番組の番号にタッチします。

- 番組連動 にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。（連動情報番組を表示中はタッチスイッチが強調表示されます）

アドバイス

▲ ・ ▼ が表示されたときは ▲ ・ ▼ にタッチしてページを送ることができます。

4 独立情報番組のページ送りのしかた

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など１回の受信で何ページにもわたる情報（▲・▼が表示されます）が送られる独立情報番組はページを送ってご覧ください。

（1） ▲または▼にタッチするか、 自動送り にタッチします。

- ▲または▼にタッチすると、文字情報のページを１ページずつ送ることができます。
- 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 に切り替わります）、文字情報が自動（約9秒おき）で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
- 文字情報の自動送りを中止するときは、 停止 にタッチします（タッチスイッチが 自動送り に切り替わります）。また、自動送り中に▲または▼をタッチして文字情報を送ったときも、自動送りは中止されます。

アドバイス

緊急情報を受信しているときは自動送りはできません。

5 連動情報番組の文字情報を繰り返し見るには

連動情報番組の文字情報のページは情報が受信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度みたいときは▲にタッチすると過去に受信した情報を見ることができます。

（1） ▲または▼にタッチして見たい文字情報をさがします。

- 文字情報の自動切り替えが中止され 最新情報 が表示されます。
- 最新の文字情報に戻すには、 最新情報 にタッチすると、もとの状態（文字情報が受信されるたびに自動的に切り替わる）になります。

6 文字情報の記録のしかた

（1） 記録したい文字情報を表示させ、 メモ記録 にタッチします。

● 記録できる項目は最大20件です。

アドバイス

記録する内容によっては、20件記録できない場合があります。

7 記録した文字情報の呼び出し・消去

（1） メモ呼出 にタッチします。

● 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

（2） ▲ または ▼ にタッチすると記録した文字情報のページを送ることができます。

● 目次 にタッチするとP.6-5の 3 の（2）の画面を表示します。

（3） 消去 にタッチすると、呼びだした文字情報を消去することができます。

● すべての文字情報を消去するときは、 全消去 にタッチします。

（4） 消去するときは はい にタッチします。

● 消去を中止するときは、 いいえ にタッチします。

電話帳を見るには

ＪＡＦや道路交通情報センターなどの電話番号を表示させることができます。また、設定・登録した地点に電話番号が登録されていれば、メモリ地点、目的地の電話番号を表示することができます。

（1） 情報・G・BTナビ画面（P.6-1参照）で 電話 にタッチします。

（2） 交通ナビ にタッチします。

（3） 見たい項目にタッチします。

- メモリ地点 にタッチしたときは、登録済みのメモリ地点がリスト表示されます。この場合、見たいメモリ地点にタッチすると、メモリ地点の名称と電話番号が表示されます。
- 目的地 にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます。（複数の目的地が設定されているときは設定されている目的地がリスト表示されます。この場合、見たい目的地にタッチすると目的地の名称と電話番号が表示されます）

（4） 見たい施設の所在する都道府県にタッチします。

（5） 見たい施設名称にタッチすると、施設の名称と電話番号が表示されます。

アドバイス

- メモリ地点に登録された電話番号に“ー”（ハイフン）は表示されません。
- 目的地、メモリ地点の電話番号は、9桁以上の電話番号が存在する場合にのみ表示されます。
- にタッチすると電話をかけることができます。詳細については、**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「電話をかけるには」を参照してください。

カレンダーを見るには

カレンダーを表示することができます。

（1） 情報・G・BTナビ画面（P.6-1参照）で カレンダー にタッチします。

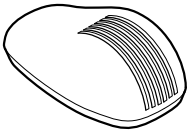
- 現在の日付のカレンダー画面が表示されます。
- ▲月 ・ ▼月 または ▲▲年 ・ ▼▼年 にタッチすると、過去の年月、未来の年月を表示することができます。過去の年月、未来の年月を表示したときは 今月 にタッチして現在月を表示することができます。

音声操作システムを操作するには

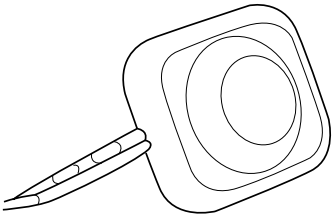
音声操作システムについて

音声操作は音声認識用マイクと音声入力ボタンを使い、音声でナビゲーションの操作を行うことができる機能です。

1 音声操作システムの構成



音声認識用マイク
（音声入力を認識します）



音声入力ボタン
（音声操作への切り替えや解除に使用します）

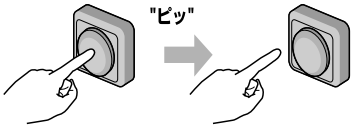
2 音声を正しく認識するために

音声操作システムは、音声認識コマンドを正しく発声しないと認識されないことがあります。使用上は、以下の点に留意してください。

- **音声入力を行う際に、発声以外の音があると認識されにくくなったり、誤って認識されることがあるため、自動車の窓はできるかぎり閉めてから行ってください。窓を開けていることにより風切り音や外からの騒音など、周囲の音により認識しない場合があります。**
- **方言や言い方の違いには対応していません。音声入力コマンドの指定された読みで発音してください。**
- **地名や施設名称などの通称名や略称には対応していません。**
  必ず検索リスト（タッチスイッチ）に表示される施設や住所の名称または音声入力コマンド一覧表を参考に発声してください。

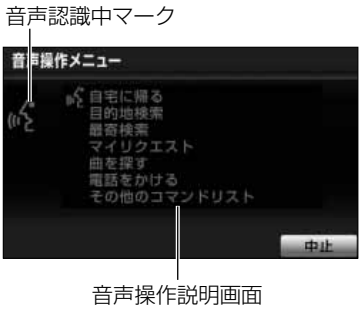
音声操作の使いかた

1 音声入力を行うには



（1） 音声入力ボタンを短く押します。

● 音声入力ボタンを押すと、「ピッと鳴ったらお話しください」という音声ガイドのあとに「ピッ」と鳴ります。



● 音声認識中を示すマーク と音声操作の説明画面が表示されます。

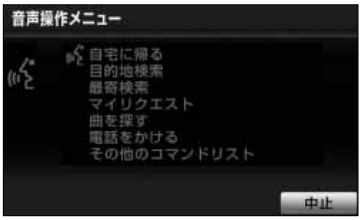
（2）「ピッ」という音が鳴ったあと、およそ6秒以内にマイクに向かって音声入力コマンドを発声します。

● 入力した音声が正しく認識されると音声ガイドが聞こえ、コマンドが実行されます。

アドバイス

●音声入力コマンドは、ナビゲーションの状態によって操作できるものとできないものがあります。音声入力コマンドの詳細については、P.7-20～P.7-25を参照してください。
●音声入力時、マイクから近すぎたり遠すぎたりすると正しく認識されないことがあります。
●コマンドは、力まず滑らかに連続して発声してください。
●発声時間が長過ぎると、正しく認識されないことがあります。

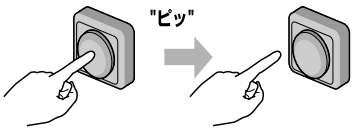
2 音声入力を中止するには



（1） 音声認識中に音声入力ボタンを1秒以上長く押すか、音声操作説明画面上の 中止 にタッチします。

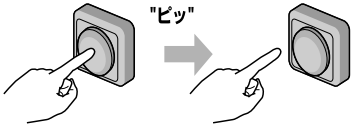
- 音声認識中マークが消え、音声入力を中止します。
- 音声認識中に「中止」を音声入力しても中止できます。

3 音声操作を再開するには



（1） コマンドを認識できなかったときや、▲または▼にタッチしたときは、音声操作を中断します。音声操作を再開したいときは、音声入力ボタンを短く押します。

4 音声操作を省略するには



（1） 音声ガイド出力時に音声入力ボタンを短く押すと、音声ガイドが途中でも次の動作を行うことができます。

5 コマンドリストを表示するには

（1） 「その他のコマンドリスト」と音声入力します。

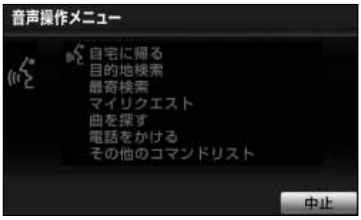
- コマンドリスト画面が表示されます。
- 表示されているコマンドを入力して操作することができます。

音声操作システムの操作例

ここでは代表的な音声操作システムの操作例を紹介します。音声入力コマンドの詳細については、P.7-20～P.7-25を参照してください。

1 基本操作

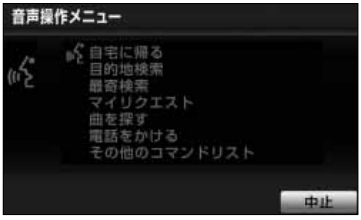
●現在地を表示する



（1）「現在地（げんざいち）」と音声入力します。

● 現在地画面が表示されます。

●地図の縮尺を変更する



（1） 表示させたい地図の縮尺を音声入力します。

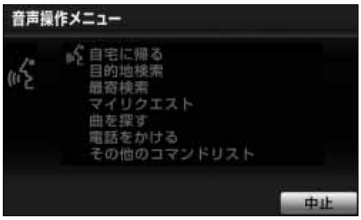
● 一例として「800m（はっぴゃくめーとる）」を音声入力します。

● 800mスケールの縮尺で地図が表示されます。

アドバイス

「詳細（しょうさい）」または「広域（こういき）」を音声入力すると、地図縮尺を1段階ずつ変更できます。

●地図の向きを変更する



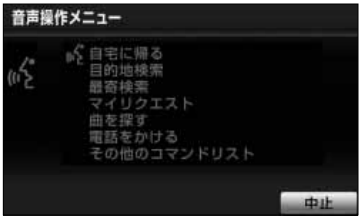
（1）「地図向き変更」と音声入力します。

● 地図の向きが切り替わります。

アドバイス

「ヘディングアップ」（「ノースアップ」）を音声入力すると、ヘディングアップ（ノースアップ）に切り替わります。

●2画面表示にする



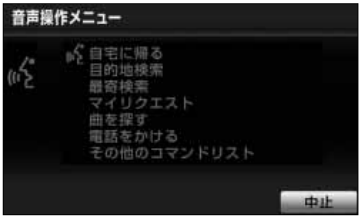
（1）「2画面表示」と音声入力します。

● 2画面表示になります。

アドバイス

「1画面表示」または「2画面表示解除」を音声入力すると、1画面表示になります。

●地図を3D表示にする



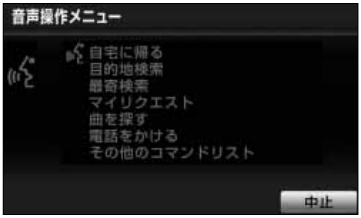
（1）「3D（すりーでぃー）」と音声入力します。

● 地図が3Dで表示されます。

アドバイス

●「2D（つーでぃー）」と音声入力すると地図が2Dで表示されます。
●2画面表示のときに右画面の表示を変更する場合は、「右画面3D表示（みぎがめんすりーでぃーひょうじ）」を音声入力します。

●施設ランドマークを表示する



（1）「コンビニ全（すべ）て」と音声入力します。

アドバイス

周辺施設画面（P.4-37参照）で表示されている6つの施設ランドマークのジャンルを認識することができます。

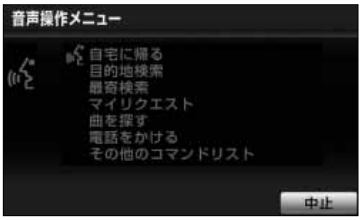
● 音声入力した施設ランドマークが表示されます。
●「施設消去（しせつしょうきょ）」を音声入力すると表示されている施設ランドマークが消去されます。

2 地図を呼び出す

●住所で地図を呼び出す

住所は、番地まで一度に発声しても、途中で区切って発声しても認識することができます。

● 一例として「東京都港区芝公園4丁目2-8」を検索します。



(1)「目的地検索」と音声入入力します。

(2) ピッと鳴ったあとに「住所」と音声入力します。

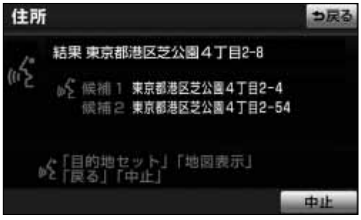
(3) ピッと鳴ったあとに住所を音声入力します。

● 「東京都港区芝公園4丁目」と音声入力します。

アドバイス

住所は、滑らかに連続させて発声してください。

(4)「東京都港区芝公園4丁目」まで認識された場合は、ピッと鳴ったあとに「2−8」を音声入力します。



(5) ピッと鳴ったあとに「地図表示」を音声入力します。

● 目的の住所と異なるときは、ピッと鳴ったあとに「候補○（数字）」と音声入力すると次に該当する住所を選択します。

● 呼び出した地図が表示されます。

● ピッと鳴ったあとに「新規目的地」と音声入力するか、 新規目的地 にタッチすると目的地に設定されます。

● 音声入力を間違えたときは、「戻る」と音声入力すると言い直すことができます。

● すでに目的地が設定されている場合は、ピッと鳴ったあとに「新規目的地」と音声入力するか、 新規目的地 にタッチすると現在設定されている目的地は消去され、新たな目的地として設定されます。
ピッと鳴ったあとに「追加目的地」と音声入力するか、 追加目的地 にタッチすると、最初の目的地として現在設定されている目的地に追加して設定されます。

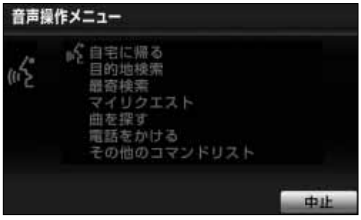
(6) 「新規目的地」または「追加目的地」と音声入力するか、 新規目的地 または 追加目的地 にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

●「セット」または「他の道路」と音声入力するか、 セット または 他の道路 にタッチして目的地を設定する道路の種類を選びます。

アドバイス

●番地、郵便番号、電話番号、マップコードの数字の音声認識は下記のとおりです。
0：ゼロ　1：イチ　2：ニー　3：サン　4：ヨン　5：ゴー　6：ロク　7：ナナ　8：ハチ　9：キュー
「12」は「イチニー」、「123」は「イチニーサン」と発音してください。ただし、番地および電話番号の市内局番部分については、「12」を「ジューニ」、「123」を「ヒャクニジューサン」のように2桁以上の数字で認識することもできます。また、「ゼロ」は「レイ」でも認識します。
●番地入力の「ー」（ハイフン）は「の」または「はいふん」と発音します。「番地」や「号」などは認識しません。
●住所は都道府県、市町村、住所名の順に音声入力します。
●郡名、町名の「大字」、「小字」は省略して発声してください。
●すべての地名を発声しなかったときは、最後に発声した地名の広域図が表示されます。
●長い住所は、分割して音声入力することができます。その場合は、住所リスト（P.3-33参照）に表示される住所で区切って音声入力してください。
（例）「福島県会津若松市門田町中野屋敷」を検索する場合、
「福島県」「会津若松市」「門田町中野」「屋敷」に分割することができます。
但し、「福島県会津若松市門田町」や「中野屋敷」など、習慣的な区切りかたで音声入力すると住所リストの区切りと異なるため正しく認識されません。「福島県会津若松市」を音声入力して、ピッと鳴ったあとに「門田町中野屋敷」を音声入力します。

●施設で地図を呼び出す



（1）「目的地検索」と音声入力します。

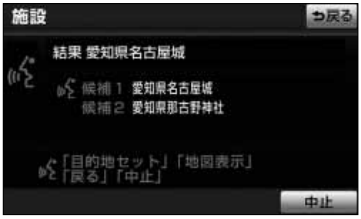
（2） ピッと鳴ったあとに「施設」と音声入力します。

（3） ピッと鳴ったあとに施設名のある都道府県と施設名称を音声入力します。

● 一例として「愛知県(あいちけん) 名古屋城(なごやじょう)」を音声入力します。

アドバイス

認識できる施設名称については、**「施設で地図を表示するには」**（P.3-35参照）で表示される施設のリスト（タッチスイッチ）と同じです。



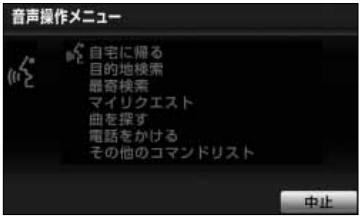
（4） ピッと鳴ったあとに「地図表示(ちずひょうじ)」と音声入力します。

● 目的の施設と異なるときは、ピッと鳴ったあとに「候補(こうほ)○（数字)」と音声入力すると該当する施設を選択します。

● 呼び出した地図が表示されます。

● 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

●電話番号で地図を呼び出す



(1)「目的地検索(もくてきちけんさく)」と音声入力します。

(2) ピッと鳴ったあとに「電話番号(でんわばんごう)」と音声入力します。

(3) ピッと鳴ったあとに電話番号を市外局番から音声入力します。

- 一例として「035766(ゼロサンゴナナロクロク)＊＊＊＊」を音声入力します。

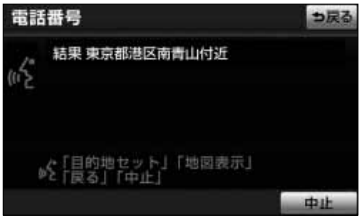
アドバイス

- 電話番号の市内局番にあたる部分を除いて、12を「ジューニ」、123を「ヒャクニジューサン」のように2桁以上の数字で認識することはできません。12は「イチニー」、123は「イチニーサン」と発音してください。
- 電話番号は、途中で区切らず滑らかに連続させて発声してください。
  良い例：「ゼロサンゴーナナロクロク＊＊＊＊」
  悪い例：「ゼロサン、ゴーナナロクロク、＊＊＊＊」
- 「ー」（ハイフン）は省略して発声してください。
- 電話番号は、10桁まで一度に音声入力できます。
- 数字入力画面では数字以外の発声を認識しない場合があります。

(4)「035766」までが認識された場合、ピッと鳴ったあとに残りの「＊＊＊＊(数字)」を音声入力します。

(5) 数字が正しく認識されたら、ピッと鳴ったあとに「検索」と音声入力します。

● 目的の電話番号と異なるときは、ピッと鳴ったあとに「候補○（数字)」と音声入力すると次に該当する施設を表示します。

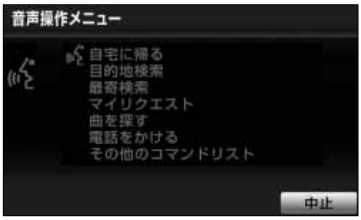


(6) ピッと鳴ったあとに「地図表示」と音声入力します。

● 呼び出した地図が表示されます。

● 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

●特別メモリ地点の地図を呼び出す



（1）「目的地検索」と音声入力します。

（2）ピッと鳴ったあとに「特別メモリ」と音声入力します。

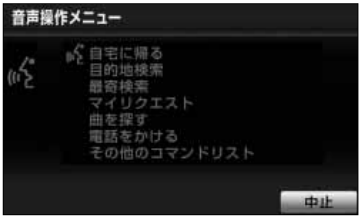
アドバイス

特別メモリ地点1～5を登録しておく必要があります（P.4-55参照）。

（3）ピッと鳴ったあとに「○」（○は１～５の数字）と音声入力します。

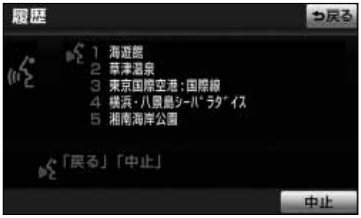
- 呼び出した地図が表示されます。
- 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

●履歴で地図を呼び出す



（1）「目的地検索」と音声入力します。

（2）ピッと鳴ったあとに「履歴」と音声入力します。

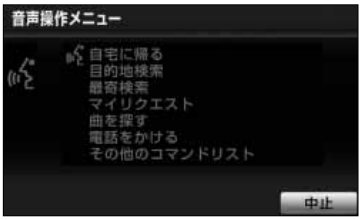


（3）ピッと鳴ったあとに「○」（○は１～５の数字）と音声入力します。

- 呼び出した地図が表示されます。
- 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

●メモリ地点で地図を呼び出す

登録してあるメモリ地点、特別メモリ地点、または自宅の名称読み（P.4-53参照）を音声入力すると地点の地図を呼び出すことができます。



● 一例として名称読みが「ともだち」と登録されているメモリ地点の地図を表示します。

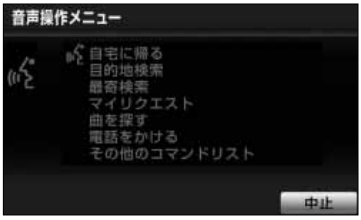
（1）「ともだち」と音声入力します。メモリ地点の地図が表示されます。

● 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

アドバイス

●メモリ地点・特別メモリ地点・自宅に「名称読み」を登録しておく必要があります（P.4-53参照）。
●登録されている名称が短すぎるとき、または他のコマンドと類似しているときは、認識されないことがあります。

●自宅の地図を呼び出す



（1）「自宅に帰る」と音声入力すると自宅の地図が表示されます。

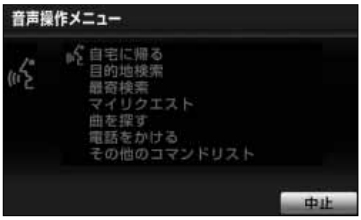
● 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

アドバイス

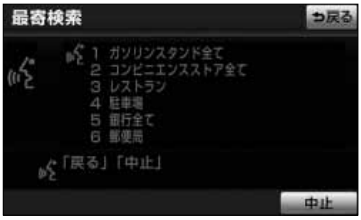
自宅を登録しておく必要があります（P.4-55参照）。

3 周辺施設の検索

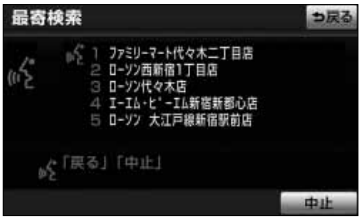
現在地周辺にある施設を検索することができます。



（1）「最寄検索（もよりけんさく）」と音声入力します。



（2） ピッと鳴ったあとに施設のジャンルまたは番号を音声入力します。

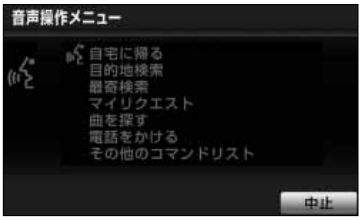


（3） ピッと鳴ったあとに施設の番号を音声入力します。

- 呼び出した地図が表示されます。
- 呼び出した地図の操作や発声を間違えたときの操作については、P.7-8を参照してください。

4 地点の登録

現在地をメモリ地点に登録することができます。



（1）「メモリ地点」と音声入力します。

アドバイス

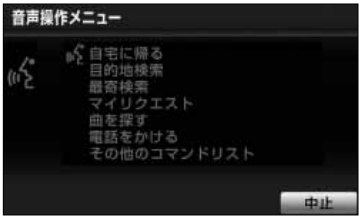
- 「ここを登録」または「地点登録」と音声入力してもメモリ地点を登録することができます。
- 「音声付きメモリ地点」を音声入力すると、メモリ地点を音声付きで登録することができます。
- 「方向付きメモリ地点」を音声入力すると、メモリ地点を自車マークの進行方向・音声付きで登録することができます。

（2）ピッと鳴ったら「はい」と音声入力するか、**はい**にタッチします。

- メモリ地点が登録されます。

5 *VICS* の操作

各 ***VICS*** 情報の表示・消去を操作することができます。



（1）「VICS（ビックス）表示」と音声入力します。

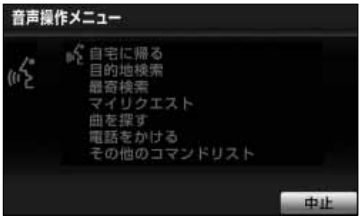
- ***VICS*** 情報が表示されます。
- ***VICS*** 情報を消去する場合は、「VICS（ビックス）表示消去（解除）」と音声入力します。

アドバイス

VICS 情報を受信していないときや受信しても情報がないときは表示できません。

6 知りたインフォ機能

ナビゲーションに関するさまざまな情報を音声で質問し、音声案内を聞くことができます。



■日付・時間について

- 「今日は何日」を音声入力すると今日の日付が案内されます。
- 「今日は何の日」を音声入力すると今日の記念日が案内されます。

■地図について

- 「どっち向いているの」を音声入力すると方角が案内されます。
- 「今走っている道路は」を音声入力すると走行中の道路名称が案内されます。

■目的地案内について

目的地が設定されているときのみ認識させることができます。

- 「あとどれくらい」・「あと何分」・「あと何時間」を音声入力すると目的地までの時間が案内されます。

■*VICS* 情報について

目的地案内中に***VICS*** 情報を受信したときのみ案内させることができます。

- 「この先の渋滞情報は」を音声入力すると約１０ｋｍ先までのルート上の渋滞情報が案内されます。

アドバイス

知りたインフォコマンドの詳細については、P.7-25を参照してください。

7 知っておいてください

●こんな音声が出たときは

音声ガイド	原因	処置方法
認識できませんでした	ピッという音がしてから話し始めるまでの時間が長すぎるとき	ピッという音が聞こえてから6秒以内に話し始めてください
	ピッという音が鳴る前に話し始めているとき	ピッという音を聞いてから話し始めてください
	音声が大きすぎるとき	もう少し小さな声でお話ください
	音声が小さすぎるとき	もう少し大きな声でお話ください
	音声の発声時間が長いとき	もう少し短い時間でお話ください
	音声が正しく認識できないとき	正しい発音ではっきりお話ください

●故障とお考えになる前に

症状	確認項目	処置方法
発声内容を認識しない	音声コマンドの読み方は正しいですか？	音声コマンドを確認の上、正しい読みかたで発声してください。
認識間違いが多い	車外の雑音を音声として認識していませんか？	窓を閉めてお使いください
	車内の音を音声として認識していませんか？	車内の音を止めてお使いください
	マイクに口を近付けていませんか？	マイクに口を近付けずに、助手席の人と会話をする程度のはやさで滑らかにお話ください
	早口で話していませんか？	
音声認識に時間がかかる	認識する言葉の候補数に応じて認識時間が長くかかります	反応の時間が遅くても故障ではありません

音声入力コマンド一覧

ここではナビゲーションを音声操作するときの音声入力コマンド一覧を紹介します。
オーディオを操作する音声入力コマンドについては**「オーディオ取扱書 詳細版」**の「音声入力コマンド一覧」を参照してください。
また、G-BOOK・ハンズフリーを操作する音声入力コマンドについては**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「音声入力コマンド一覧」を参照してください。

1 画面操作コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
画面を消す	画面消し	ガメンケシ

2 周辺施設表示コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
現在地から半径10ｋｍ内で指定されたジャンルの施設を地図上にロゴマーク表示する	ガソリンスタンド全て	ガソリンスタンドスベテ
	コンビニエンスストア全て	コンビニエンスストアスベテ
	レストラン	レストラン
	駐車場	チュウシャジョウ
	銀行全て	ギンコウスベテ
	郵便局	ユウビンキョク

3 地図操作コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
現在地を表示する	現在地	ゲンザイチ
市街図にする	市街図	シガイズ
リアル市街図にする	リアル市街図	リアルシガイズ
2画面表示にする	2画面表示	ニガメンヒョウジ
2画面表示を解除する	2画面表示解除	ニガメンヒョウジカイジョ
1画面表示にする	1画面表示	イチガメンヒョウジ
2D表示にする	2D〔ツーディー〕	ツーディー
3D表示にする	3D〔スリーディー〕	スリーディー
2D2画面（2Dツイン）表示にする	2D〔ツーディー〕ツイン	ツーディーツイン
3D2画面（3Dツイン）表示にする	3D〔スリーディー〕ツイン	スリーディーツイン
ノースアップにする	ノースアップ	ノースアップ
ヘディングアップにする	ヘディングアップ	ヘディングアップ
地図の向きを変更する	地図向き変更	チズムキヘンコウ
右画面を2D表示にする	右画面2D〔ツーディー〕	ミギガメンツーディー
右画面を3D表示にする	右画面3D〔スリーディー〕	ミギガメンスリーディー
右画面を市街図にする	右画面市街図	ミギガメンシガイズ
右画面をリアル市街図にする	右画面リアル市街図	ミギガメンリアルシガイズ
右画面をノースアップにする	右画面ノースアップ	ミギガメンノースアップ
右画面をヘディングアップにする	右画面ヘディングアップ	ミギガメンヘディングアップ
右画面の地図の向きを変更する	右画面地図向き変更	ミギガメンチズムキヘンコウ
道路色色分けONにする	VICS〔ビックス〕道路種別表示	ビックスドウロシュベツヒョウジ
道路色色分けOFFにする	VICS〔ビックス〕道路種別解除	ビックスドウロシュベツカイジョ

4 縮尺操作コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
広域にする	広域	コウイキ
詳細にする	詳細	ショウサイ
右画面を広域にする	右画面広域	ミギガメンコウイキ
右画面を詳細にする	右画面詳細	ミギガメンショウサイ
50、100、200、400、800メートル地図縮尺にする	○メートルスケール〔○は50、100、200、400、800〕	○メートルスケール
1.6、3、7、13、26、50、100、200キロメートル地図縮尺にする	○キロメートルスケール〔○は1.6、3、7、13、26、50、100、200〕	○キロメートルスケール
右画面を50、100、200、400、800メートル地図縮尺にする	右画面○メートルスケール〔○は50、100、200、400、800〕	ミギガメン○メートルスケール
右画面を1.6、3、7、13、26、50、100、200キロメートルスケール地図縮尺にする	右画面○キロメートルスケール〔○は1.6、3、7、13、26、50、100、200〕	ミギガメン○キロメートルスケール

5 ルート探索コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
推奨ルートを探索する	推奨ルート	スイショウルート
有料道優先でルートを探索する	距離優先	キョリユウセン
一般道優先でルートを探索する	有料優先	ユウリョウユウセン
距離優先でルートを探索する	一般優先	イッパンユウセン
別ルートで探索する	別ルート	ベツルート

6 案内設定コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
高速略図画面を表示する	高速略図表示	コウソクリャクズヒョウジ
都市高マップを表示する	都市高マップ表示	トシコウマップヒョウジ
都市高マップを解除する	都市高マップ表示解除	トシコウマップヒョウジカイジョ
ターンリスト図を表示する	ターンリスト	ターンリスト
全ルート図を表示する	全ルート図	ゼンルートズ

7 目的地設定コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
目的地1～5の地図を表示する	目的地○〔○は1～5〕	モクテキチ○
次の目的地の地図を表示する	次の目的地	ツギノモクテキチ
最終目的地の地図を表示する	最終目的地	サイシュウモクテキチ
次の目的地を削除する	次の目的地削除	ツギノモクテキチサクジョ
最終目的地を削除する	最終目的地削除	サイシュウモクテキチサクジョ
全ての目的地を削除する	全ての目的地削除	スベテノモクテキチサクジョ

8 案内中止・再開コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
案内を中止する	案内中止	アンナイチュウシ
案内を再開する	案内再開	アンナイサイカイ

9 地点登録コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
方向付きメモリ地点を登録する	方向付きメモリ地点	ホウコウツキメモリチテン
音声付きメモリ地点を登録する	音声付きメモリ地点	オンセイツキメモリチテン
メモリ地点を登録する	地点登録	チテントウロク
	メモリ地点	メモリチテン
	ここを登録	ココヲトウロク

10 音声操作コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
ナビゲーションの音量を上げる	ナビ音量アップ	ナビオンリョウアップ
ナビゲーションの音量を下げる	ナビ音量ダウン	ナビオンリョウダウン
案内音声を聞く※	案内音声	アンナイオンセイ

※地図以外の画面表示時は、他モード時の案内（P.4-2参照）を「する」に設定しているときに案内音声を聞くことができます。

11 *VICS* 設定コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
VICS情報を表示する	VICS〔ビックス〕表示	ビックスヒョウジ
VICS情報を消去する	VICS〔ビックス〕表示消去	ビックスヒョウジショウキョ
全ての道路に対してVICS情報を表示する	VICS〔ビックス〕全て表示	ビックススベテヒョウジ
高速道路に対してVICS情報を表示する	VICS〔ビックス〕高速道表示	ビックスコウソクドウヒョウジ
一般道路に対してVICS情報を表示する	VICS〔ビックス〕一般道表示	ビックスイッパンドウヒョウジ
割込情報を再表示する	割込情報	ワリコミジョウホウ
ビーコンの割込（文字）表示を設定する	ビーコン文字情報/解除	ビーコンモジジョウホウ
ビーコンの割込（文字）表示を解除する		ビーコンモジジョウホウカイジョ
ビーコンの割込（図形）表示を設定する	ビーコン図形情報/解除	ビーコンズケイジョウホウ
ビーコンの割込（図形）表示を解除する		ビーコンズケイジョウホウカイジョ
注意警戒情報の表示を設定する	注意警戒情報/解除	チュウイケイカイジョウホウ
注意警戒情報の表示を解除する		チュウイケイカイジョウホウカイジョ
VICS FM文字情報を表示する	FM文字	エフエムモジ
VICS FM図形情報を表示する	FM図形	エフエムズケイ
渋滞を考慮してルートを探索する	渋滞考慮探索/解除	ジュウタイコウリョタンサク
渋滞考慮を解除してルートを探索する		ジュウタイコウリョタンサクカイジョ
右画面にVICS情報を表示する	右画面VICS〔ビックス〕表示/消去	ミギガメンビックスヒョウジ
右画面のVICS情報を消去する		ミギガメンビックスヒョウジショウキョ
渋滞・混雑した道路を表示する	VICS〔ビックス〕渋滞混雑表示/解除	ビックスジュウタイコンザツヒョウジ
渋滞・混雑した道路を解除する		ビックスジュウタイコンザツヒョウジカイジョ
空き道を表示する	VICS〔ビックス〕空き道表示/解除	ビックスアキミチヒョウジ
空き道を解除する		ビックスアキミチヒョウジカイジョ
規制情報を表示する	VICS〔ビックス〕規制情報表示/解除	ビックスキセイジョウホウヒョウジ
規制情報を解除する		ビックスキセイジョウホウヒョウジカイジョ
ＶＩＣＳ駐車場を表示する	VICS〔ビックス〕駐車場表示/解除	ビックスチュウシャジョウヒョウジ
ＶＩＣＳ駐車場を解除する		ビックスチュウシャジョウヒョウジカイジョ

12 施設表示コマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
地図画面上の周辺施設表示を消去する	施設表示消去	シセツヒョウジショウキョ
右画面に周辺施設を表示する	右画面施設表示	ミギガメンシセツヒョウジ
右画面の周辺施設表示を消去する	右画面施設表示消去	ミギガメンシセツヒョジショウキョ

13 知りたインフォコマンド

機 能	音声入力コマンド	読 み
日時を知りたい	今日は何日？	キョーワナンニチ
	今日は何曜日？	キョーワナンヨービ
	今日は何の日？	キョーワナンノヒ
自車情報を知りたい	今走っている道路は？	イマハシッテイルドーロワ
	どっち向いているの？	ドッチムイテイルノ
ルート案内情報を知りたい	あとどれくらい？	アトドレクライ
	あと何キロ？	アトナンキロ
	あと何分？	アトナンプン
	あと何時間？	アトナンジカン
	何時に着くの？	ナンジニツクノ
	次の目的地まであとどれくらい？	ツギノモクテキチマデアトドレクライ
	次の目的地まであと何キロ？	ツギノモクテキチマデアトナンキロ
	次の目的地まであと何分？	ツギノモクテキチマデアトナンプン
	次の目的地まであと何時間？	ツギノモクテキチマデアトナンジカン
	次の目的地に何時に着くの？	ツギノモクテキチニナンジニツクノ
	どこから乗るの？	ドコカラノルノ
	どこのインターチェンジから乗るの？	ドコノインターチェンジカラノルノ
	どこで降りるの？	ドコデオリルノ
	どこのインターチェンジで降りるの？	ドコノインターチェンジデオリルノ
	この先の渋滞情報は？	コノサキノジュウタイジョウホウワ
	この先の規制情報は？	コノサキノキセイジョウホウワ
	次に通る施設は？	ツギニトオルシセツワ
	次のサービスエリアは？	ツギノサービスエリアワ
	次のパーキングエリアは？	ツギノパーキングエリアワ

メモ

*VICS*を機能アップするには

別売の2メディア対応の***VICS***システムを接続すると、光・電波ビーコンからの割込情報を受信したり、渋滞を回避するルート探索を行うことができます。また、渋滞を回避したルート（新しいルート）が見つかったときに、もとのルートとの比較画面を表示することができます。

1 割込情報を受信したときには

（1） 割込情報を受信するとピッと音が鳴り、直ちに画面に表示されます。

- 表示消 にタッチすると割込情報が消去されます。

アドバイス

- メッセージ表示後、一定時間経過すると自動的に消去されます。
- 割込情報を複数ページ受信したときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを変えることができます。
- 図形 にタッチすると図形情報画面が表示されます。
- 文字 にタッチすると文字情報画面が表示されます。

2 割込情報を再表示するには

（1） 情報・G・BTナビ画面（P.6-1参照）で VICS にタッチします。

（2） 割込情報 にタッチします。

- 1 で受信した割込情報が再表示されます。

アドバイス

- 再表示された情報は自動的には解除されません。
- 割込情報が複数ページあるときは、▲ ・ ▼ にタッチするとページを変えることができます。
- 再表示させた場合の割込情報画面には 表示消 は表示されません。

3 表示する割込情報を設定するには

（1） ナビ詳細設定画面（P.4-2参照）で、VICS割込設定の 変更する にタッチします。

（2） 割込情報の設定を行います。

- 各項目の する または しない にタッチします。
- 初期設定は、すべての項目が「する」に設定されています。
- 自動で割り込んだ情報の表示時間を設定する場合は、◀ または ▶ にタッチします。
- 初期設定は、15秒に設定されています。

（3） 設定がよければ 完了 にタッチします。

4 *VICS* 情報や渋滞予測情報※を考慮した経路探索をするには

渋滞を回避するルート探索を行うことができます。

（1） ナビ詳細設定画面（P.4-2参照）で、渋滞考慮探索設定の 変更する にタッチします。

（2） 渋滞考慮探索を「する」に設定します。

- 初期設定は、「する」に設定されています。
- ***VICS*** やG-BOOK※の渋滞を考慮した探索を行わない場合は、 しない にタッチします。

(3) 完了 にタッチします。

※ G-BOOKオンラインサービス利用時、渋滞予測情報を取得した場合、新しいルートを探索します。**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

アドバイス

- 手動で再探索を行う場合でも、渋滞を考慮した探索を行います。
- 通行止め規制やランプ閉鎖などの規制が案内ルート上に発生した場合は、上記の設定に関係なく、規制回避するルートを自動的に再探索します。
- ***VICS*** 情報を地図に表示させないと動作しません。

5 案内中のルートと新しく見つかったルートを比較するには

ビーコンから***VICS***情報を受信して新しいルートが見つかったときやG-BOOKオンラインサービス利用時に渋滞予測情報を取得したとき※に、もとのルートと比較して選択することができます。

(1) ナビ詳細設定画面（P.4-2参照）で、渋滞考慮探索設定の 変更する にタッチします。

(2) 新旧ルート比較表示を「する」に設定します。

- 初期設定は、「する」に設定されています。
- 案内中のルートと新しく見つかったルートを比較しない場合は、 しない にタッチします。

(3) 完了 にタッチします。

※ G-BOOKオンラインサービス利用時、渋滞予測情報を取得した場合、新しいルートを探索します。**「G-BOOK・Bluetooth取扱書 詳細版」**の「G-BOOKとナビの連携機能」を参照してください。

6 新しいルートが見つかったときには

（1） 新しいルートが見つかると、直ちに画面に表示されます。

- 現在地から、新しいルートともとのルートの分岐点の距離を表示します。

（2） 元ルート または 新ルート にタッチします。

- メッセージが表示されてからしばらく操作をしなかったときは、自動で新しいルートが選択されます。

アドバイス

- 新旧ルート比較表示は、必ず、渋滞考慮探索を「する」に設定してから操作してください。（P.8-2参照）
  - ・渋滞考慮探索が「する」、新旧ルート比較表示が「する」の場合
    自動で新しいルートを探索し、新しいルートで案内を行います。（ルート比較画面は表示されます。）
  - ・渋滞考慮探索が「する」、新旧ルート比較表示が「しない」の場合
    自動で新しいルートを探索し、新しいルートで案内を行います。（ルート比較画面は表示されません。）
  - ・渋滞考慮探索が「しない」、新旧ルート比較表示が「する」または「しない」の場合
    新しいルートは探索されません。（ルート比較画面も表示されません。）
- 通行止めなどの規制が発生したなどの場合は、時間や距離が増加するルートを表示することがあります。
- ビーコンから***VICS***情報を受信していない場合は、案内中のルートと新しいルート（時間経過による統計データ情報の変化を考慮したルート）の比較画面を表示します。（P.4-86参照）

ＥＴＣシステムの操作

1 ＥＴＣシステムの概要

ＥＴＣ（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

本機能は別売の**トヨタ純正**ナビ対応ＥＴＣユニットを接続した場合に表示・操作できます。

詳しくはＥＴＣユニットの取扱書をご覧ください。

・ＥＴＣユニット ……ＥＴＣカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
・ＥＴＣカード ……ＩＣチップを搭載した、ＥＴＣユニット用カードのことです。ＥＴＣカードでは、このＩＣチップに料金精算に必要なデータが保持されています。
・レーン表示板 ……料金所のＥＴＣレーンに必要に応じて設定されています。料金所のレーン運行状況（ＥＴＣレーン・混在レーン・一般レーンの区別）が表示されます。
・発進制御装置（ゲート） …料金精算を確実にするために、料金所のＥＴＣレーンに必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
・路側表示器 ……料金所のＥＴＣレーンに設置されています。進入車両に対し、適切に通行したかどうかなどのメッセージが表示されます。
・路側無線装置 ……料金所のＥＴＣレーンに設置されています。料金精算のため、ＥＴＣユニットとの通信を行うためのアンテナです。

● 情報・G・BTナビ画面（P.6-1参照）で、ＥＴＣにタッチすると、ＥＴＣメニュー画面になります。

①ＥＴＣカードメッセージ（現在のＥＴＣシステムの状態が表示されます）
「ＥＴＣカード未挿入」……ＥＴＣカードが挿入されていません。
「ＥＴＣカード確認中」……ＥＴＣカードを読み込んでいます。
「ＥＴＣカード異常」……ＥＴＣカードを読み込むことができません。
「ＥＴＣカード挿入済み」……ＥＴＣカードが挿入された状態です。
「システム異常」……ＥＴＣシステムに何らかの異常が発生しています。（含む、ＥＴＣアンテナ外れ検知時）
「未セットアップ」……ＥＴＣがセットアップされていない状態。
「セットアップ完了」……ＥＴＣがセットアップ完了している状態。

2 ETCカードの有効期限の案内

ETCカードの有効期限が当月または切れている場合、音声や画面表示で案内されます。案内はETCカードを挿入する、または挿入した状態でエンジンスイッチをACCまたはONにすると行われます。

注 意

本機能はETCカードの有効期限を確認するための補助手段として使用してください。ETCを使用する前は必ずETCカードに記載されている有効期限を確認してください。

アドバイス

ETCカードの有効期限の案内はETC音声案内が **しない** に設定されていても行われます。

3 履歴表示

（1） ＥＴＣメニュー画面（P.8-5参照）で **履歴情報表示** にタッチします。

- 履歴を切り替えたとき **最新** にタッチすると、最も新しい履歴に戻ります。

（2） **詳細** にタッチすると、利用区間が表示されます。

アドバイス

●表示させることができる履歴は、最大100件までです。
●ＥＴＣゲート付近で履歴を表示させると、路側無線装置との通信ができないことがあります。

4 登録情報表示

（1） ＥＴＣメニュー画面（P.8-5参照）で
登録情報表示 にタッチします。

● お客様の車のＥＴＣユニットに登録された情報が表示されます。また、エラー発生時は最後に発生した統一エラーコードも表示されます。

アドバイス

エラー発生時に表示される統一エラーコードの詳細については、ＥＴＣユニットの取扱書をご覧ください。

5 ＥＴＣの設定

（1） を押します。

（2） にタッチします。

（3） ETC にタッチします。

● 設定・編集画面（ＥＴＣ）が表示されます。

（4） 通知設定 にタッチします。

(5) する または しない にタッチしてＥＴＣの項目を設定します。

- ＥＴＣ割込表示
  有料道路にあるＥＴＣゲートを通ったときや、エラーが発生したときに、割り込み情報が表示されます。
- ＥＴＣ音声案内
  ＥＴＣを利用するときに、音声が発声されます。
- ＡＣＣオン時警告表示
  エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACCにしたとき、カードの差し忘れを画面に表示して警告します。
- ＡＣＣオン時警告音声案内
  エンジンスイッチををOFF（LOCK）からACCにしたとき、カードの差し忘れを音声で警告します。
- カード抜き忘れ警告
  エンジンスイッチをACCからをOFF（LOCK）にしたとき、カードの抜き忘れを音声で警告します。

(6) 完了 にタッチします。

アドバイス

表示させている画面により割り込み情報が表示されないことがあります。また、ＥＴＣ ゲートを通っても表示されないことがあります。

バックガイドモニターの映像を見るには

トヨタ純正バックガイドモニター装着車では、本機にバックガイドモニターの映像を表示させることができます。本機能は別売のバックガイドモニターを接続し、バックガイドモニター機能を設定した場合に表示されます。
※装着および機能の設定ができない車種もありますので、詳しくは販売店へご相談ください。

注 意

- バックガイドモニターは後退操作を補助するものです。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。詳しくは、P.8-39の**「画面に映る範囲」**をご覧ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。詳しくは、P.8-42の**「画面と実際の路面との誤差」**をご覧ください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、画像が薄れることがあります。特に動いているものの画像が歪む、あるいは画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

バックガイドモニターとは

バックガイドモニターは、後退操作（特に駐車時）を補助する装置です。車の後方の映像に後退操作の参考になるガイド線を合成して表示するとともに、さらに音声で案内します※。

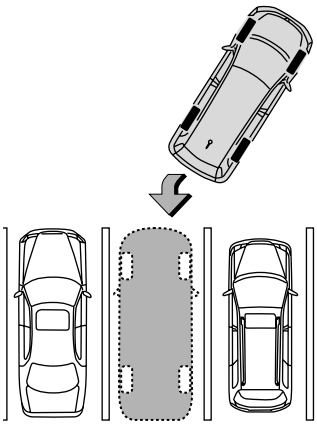
※音声ガイドについては縦列ガイドモードのみ

イラストは縦列ガイドモード時の状況です

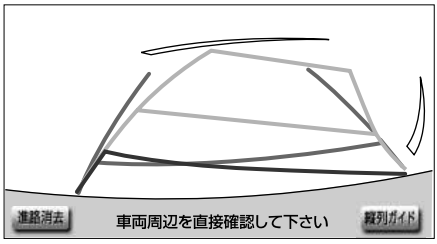
ガイド方法の選び方

1 並列駐車（車庫入れ）時に使用するときは

車庫入れなど並列駐車をするときは、進路表示モードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

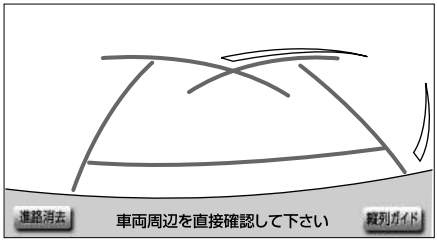


●進路表示モードで
並列駐車をする（P.8-14参照）



ハンドル操作に連動した予想進路などが表示されるモードです。

●駐車ガイド線表示モードで
並列駐車をする（P.8-18参照）

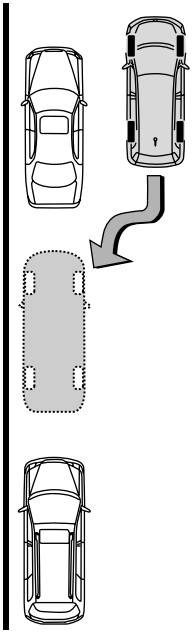


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

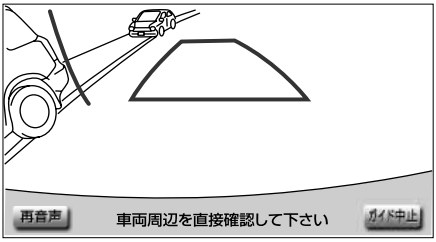
●車両感覚に慣れた方（進路表示モードを必要とせずに駐車できる方）はご使用ください。

2 縦列駐車時に使用するときは

縦列駐車をするときは、縦列ガイドモードか、駐車ガイド線表示モードを使用します。

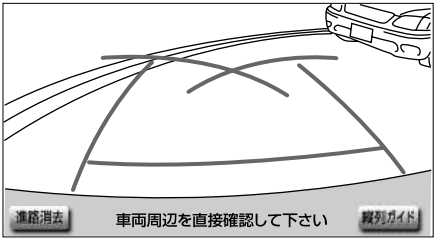


●縦列ガイドモードで
縦列駐車をする（P.8-21参照）



画面表示と音声案内により縦列駐車を補助するモードです。

●駐車ガイド線表示モードで
縦列駐車をする（P.8-34参照）

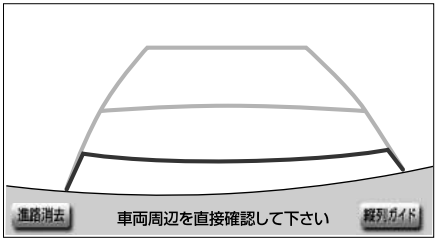


ハンドルの切り返し点（駐車ガイド線）が表示されるモードです。

●縦列ガイドモードを必要とせずに駐車できる方や縦列ガイドモードが使用できないときなどにご使用ください。

ガイド画面の出し方

エンジンスイッチがONのとき、チェンジレバーをⓇにすると、バックガイドモニターの画面になります。

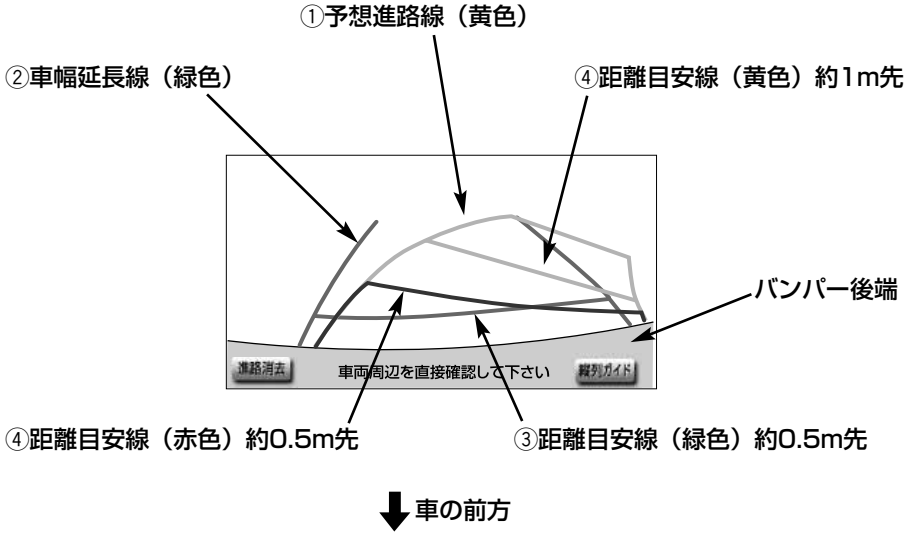


アドバイス

チェンジレバーをⓇにしていても、 Ⓐ 、 ♪PWR など各モードのスイッチを押すと、押したスイッチのモード画面に切り替わります。

並列駐車のしかた（進路表示モード）

1 画面の見方



① 予想進路線（黄色）

車が後退していく進路の目安を示します。

- ハンドル操作と連動します。

② 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっているときは、予想進路線と重なります。
- 実際の車幅より広く表示しています。

③ 距離目安線（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- 約0.5m先を示します。

④ 距離目安線（赤色／黄色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ハンドル操作と連動します。予想進路とともに動きます。
- それぞれの中心位置で、約0.5m先（赤色）・約1m先（黄色）を示します。
- ハンドルがまっすぐ（直進状態）になっていないときは誤差が生じます。
  上の画面では、距離目安線が示す実際の距離（赤色：0.5m先、黄色：約1m先）より右側は近くの位置に、左側は遠くの位置に表示されます。

注 意

●必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・ハンドルがまっすぐ（直進状態）で車幅延長線と予想進路線がずれているときは、できるだけ曲がり角・カーブなどが無く、渋滞の少ない道路を前進で約五分以上走行してください。それでも直らない場合は、お買い上げの販売店で点検を受けてください。

・車幅延長線は実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、予想進路線、車幅延長線が表示されなくなります。また、このとき距離目安線が固定（ハンドル操作と連動しなくなる）されます。もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

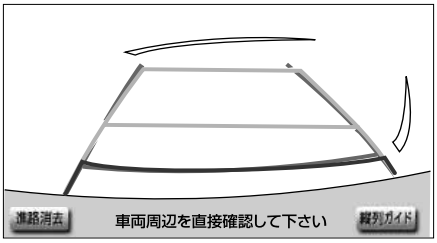
2 操作のしかた

以下に並列右駐車の場合のハンドル操作手順を説明します。並列左駐車の場合、ハンドル操作はすべて左右逆になります。

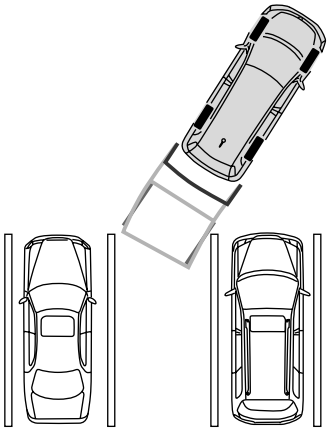
（1）チェンジレバーを Ⓡ にします。

● 進路表示モードになっていない場合は、P.8-47の**「バックガイドモニターの設定」**を参照して進路表示モードにしてください。

〈画面〉

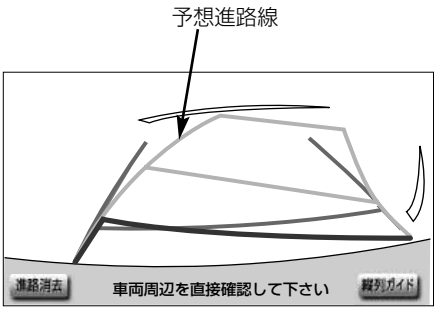


〈車の状況〉

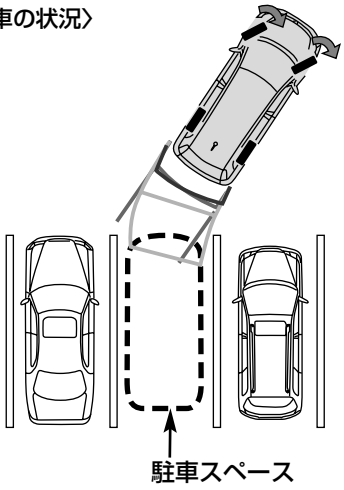


（2） 予想進路線が駐車スペースの中に入るようにハンドルを操作して、ゆっくり後退します。

〈画面〉

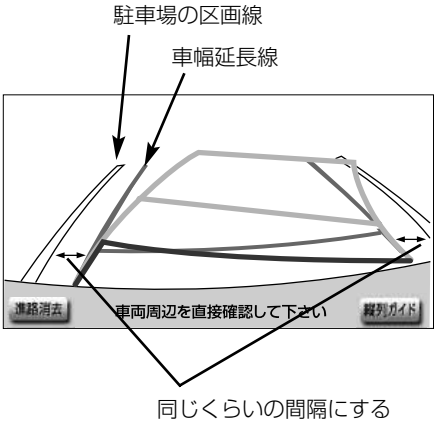


〈車の状況〉

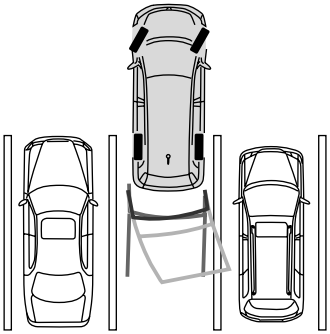


（3） 車の後部が駐車スペースの中に入ったら、車幅延長線と駐車スペース左右の区画線との間隔が車の近くの位置で同じくらいになるようにハンドルを操作します。

〈画面〉

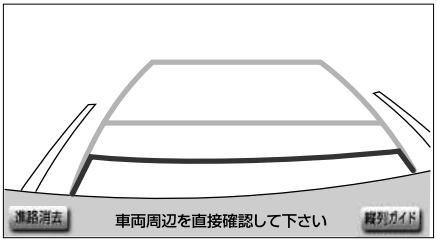


〈車の状況〉

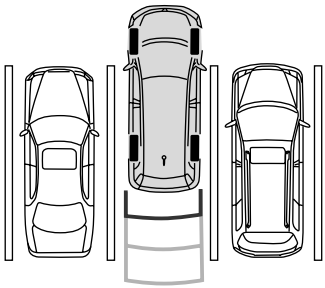


（4） 車幅延長線と駐車場の区画線が平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にして、車が駐車スペースに全部入るまで、ゆっくり後退します。

〈画面〉

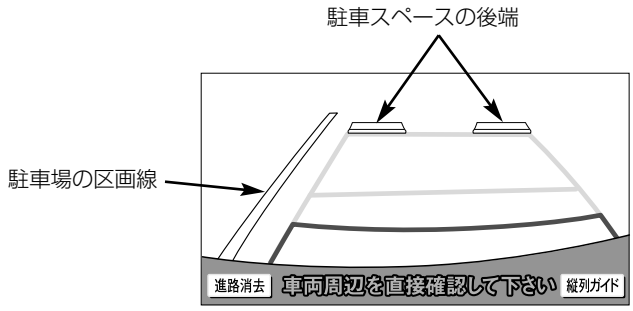


〈車の状況〉



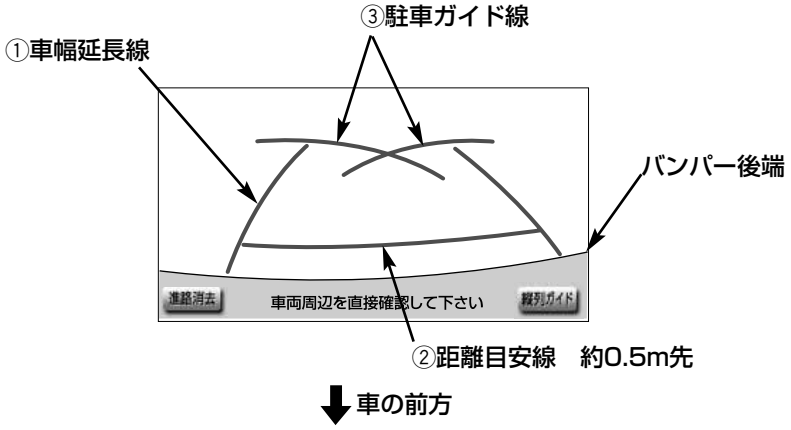
アドバイス

- ●駐車するときは、画面の映像と実際の状況は異なることがありますので、必ず直接確認してください。
- ●距離目安線と駐車スペースの後端が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。
- ●駐車場の区画線が片側しかないときは、車幅延長線と駐車スペースの左端（右端）が画面では平行に見えても（下図参照）、実際には平行でないことがあります。



並列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

1 画面の見方



① 車幅延長線

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- 0.5m先を示します。

③ 駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注 意

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
・車幅延長線は実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、車幅延長線と駐車ガイド線が表示されなくなります。
もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

2 操作のしかた

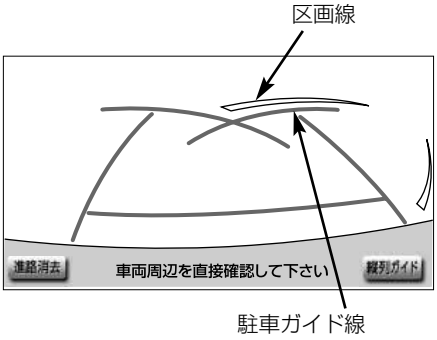
以下に並列右駐車の場合のハンドル操作手順を説明します。並列左駐車の場合、ハンドル操作はすべて左右逆になります。

（1）チェンジレバーを Ⓡ にします。

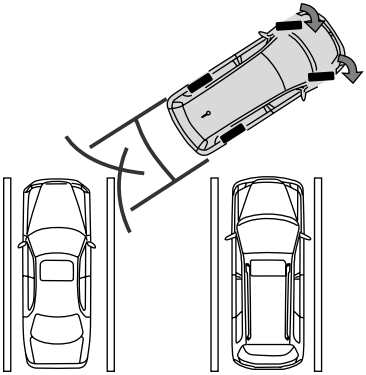
- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、P.8-47の**「バックガイドモニターの設定」**を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

（2） 駐車ガイド線が駐車スペースの左端の区画線に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉



〈車の状況〉

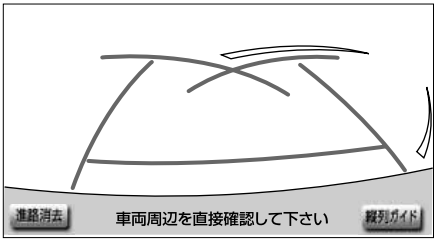


アドバイス

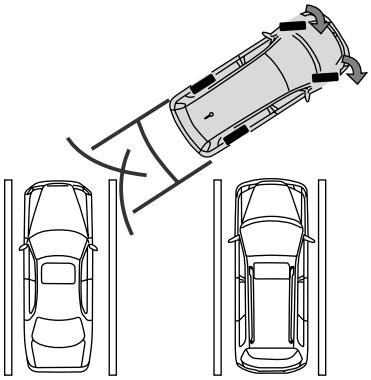
画面のように駐車ガイド線と区画線に合わせて後退すると、駐車スペースの幅が約2.2mの場合にほぼ中央に進入します。駐車スペースの幅に応じて止まる位置を調整してください。

（3） ハンドルを右いっぱいにまわして、ゆっくり後退します。

〈画面〉

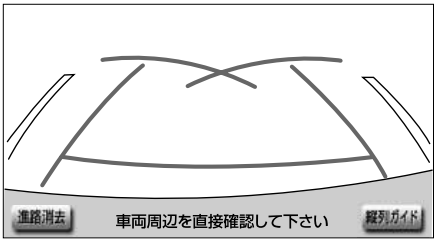


〈車の状況〉

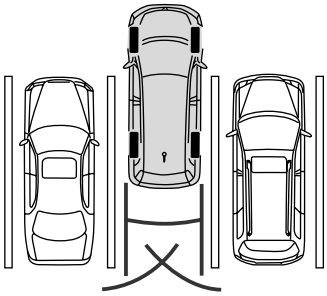


（4） 車が駐車スペースと平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車を終えます。

〈画面〉



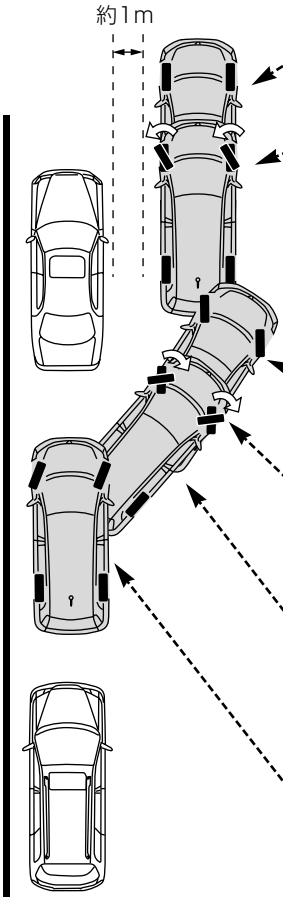
〈車の状況〉



縦列駐車のしかた（縦列ガイドモード）

1 車の動きと画面・音声案内の流れ

〈車の動き〉



〈操作内容〉

道路と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置で止まる。

緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退したら止まる。（画面①※）

車を止めたままハンドルを操作し、緑の枠を駐車したい場所に合わせたら、ハンドルをそのままにして後退する。（画面②※）

緑の曲線が表示されて、緑の曲線が駐車したい位置の左端に合うまでハンドルをそのままにして後退する。（画面③※）

駐車したい位置の左端に合ったら止まり、ハンドルを逆方向にいっぱいまで操作する。（画面④※）

ハンドルをそのままにして距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。（画面⑤※）

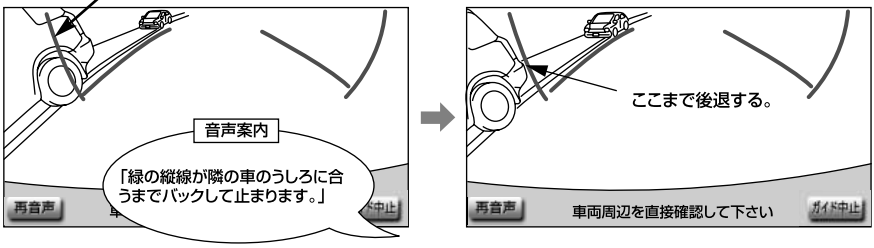
車がほぼまっすぐになったら縦列ガイドモードが終了する。

※画面は、P.8-22に記載。

〈画面・音声案内の流れ〉

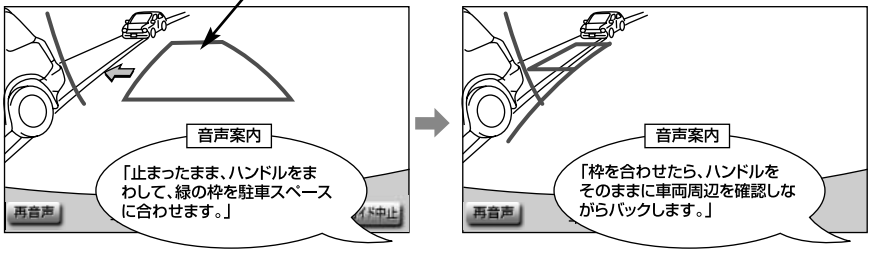
緑の縦線が、隣に駐車している車の後端に合うまで後退する。

画面①



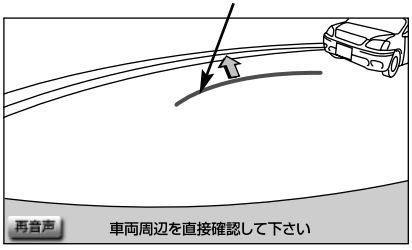
緑の枠を駐車したい場所に合わせる。

画面②

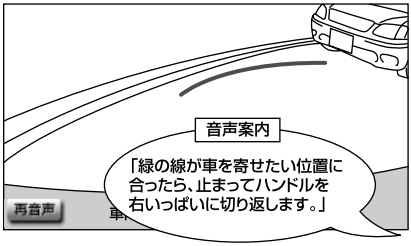


緑の曲線が駐車したい場所の左端に合うまで後退する。

画面③

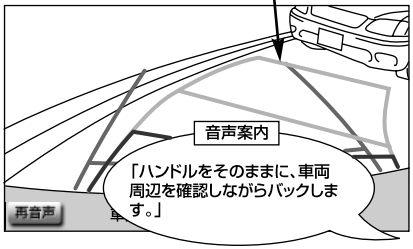


画面④



距離目安線などを参考に、目視やミラーで周辺を確認し後退する。

画面⑤



注 意

●カーブや坂道など平坦・まっすぐでない道路では、使用しないでください。
・ハンドル操作は必ず車を止めた状態で行ってください。

アドバイス

●ガイドを中止したいときは、 ガイド中止 にタッチすると、最初（チェンジレバーをⓇにしたとき）の画面に戻ります。
●音声案内をもう一度聞きたいときは 再音声 にタッチします。
●音声案内は運転席スピーカーより出力されます。

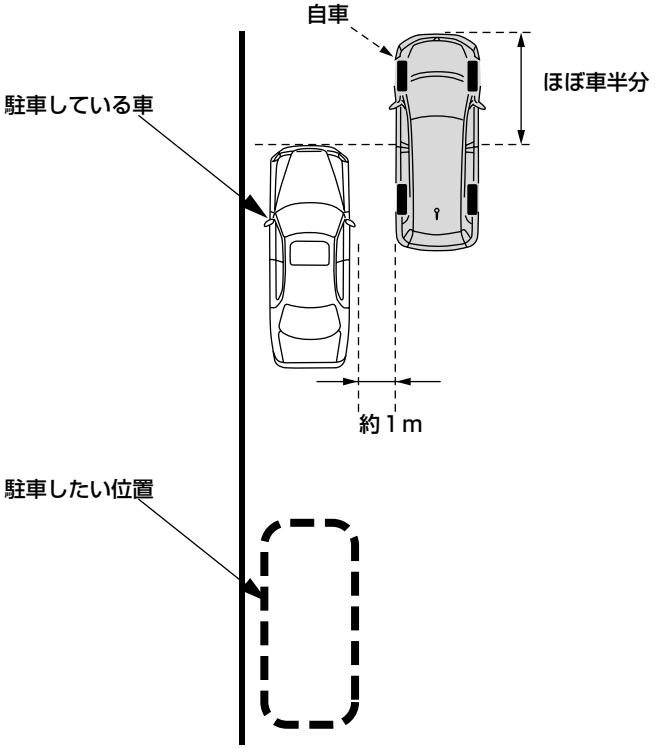
2 操作のしかた

以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などが全て左右逆になります。

マルチビューバックガイドモニターを接続している場合、カメラの視点を標準画面に切り替えます（P.8-52参照）。

（1）道路（または路肩）と平行で、駐車している車との間隔が約1mの位置に止まり、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。

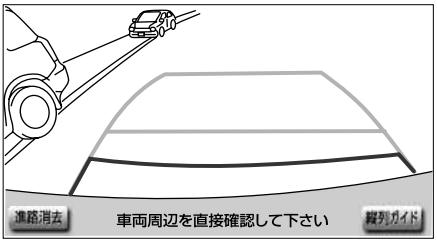
● 前後の位置は、駐車している車より車半分ほど前の位置にします。



（2） チェンジレバーをⓇにします。

(3) 車の位置を確認し、画面の 縦列ガイド にタッチします。

● 画面で駐車している車のリアタイヤよりうしろの部分が映っていることを確認してください。映っていないときは車を正しい位置まで前進させ操作をやり直します。



(4) 表示された画面と同じ位置に、車が止まっていることを確認します。車の位置を確認したら、 次へ にタッチします。

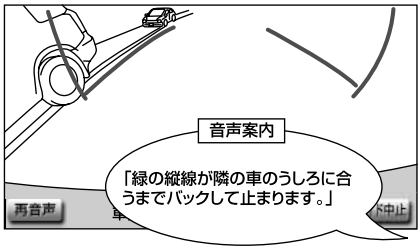
● ガイド中止 にタッチすると、前の画面に戻ります。

アドバイス

次回からこの表示を省略 にタッチすると、この画面は表示されなくなります。再び表示させたいときは、P.8-47の**「バックガイドモニターの設定」**を参照してください。

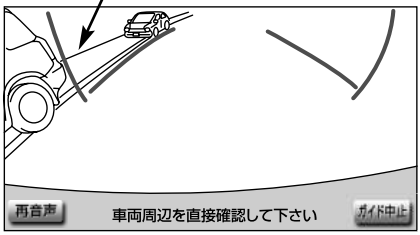
(5) 音声で案内されたら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしたまま緑の縦線が隣に駐車している車の後端に合う位置まで後退し、止まります。

〈画面〉

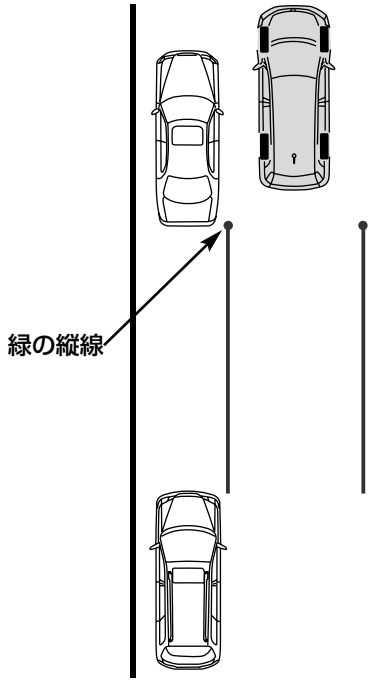


車を後退させる

ここまで後退し止まる



〈車の状況〉

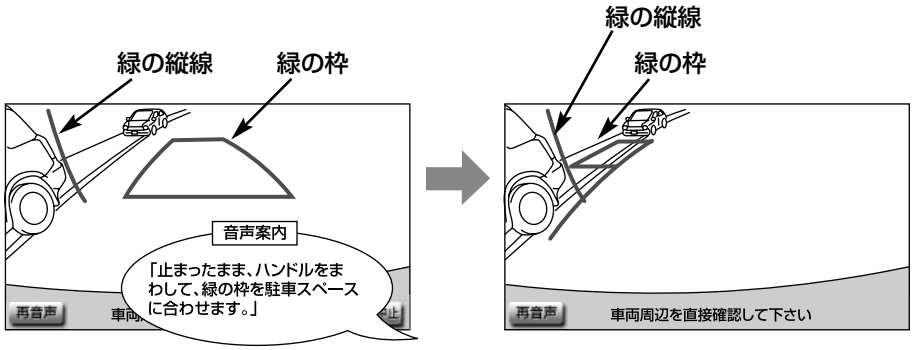


アドバイス

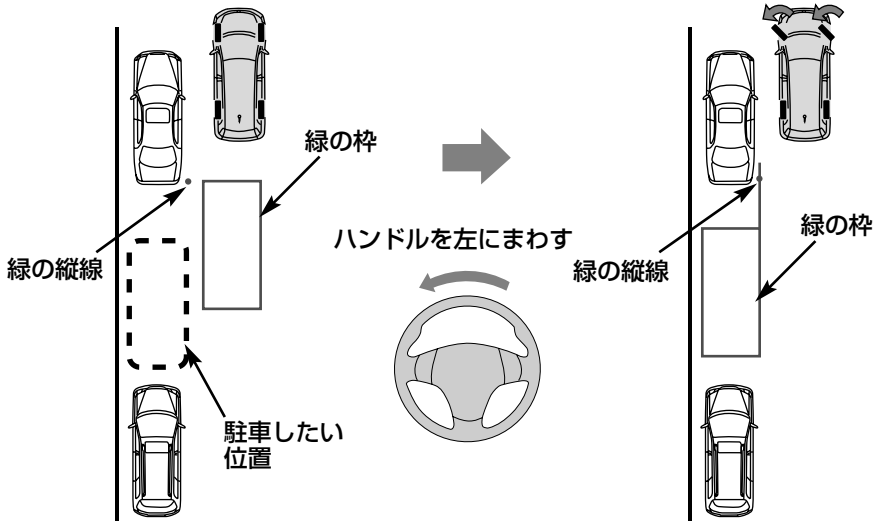
●ハンドルをまっすぐ（直進状態）にしないで後退すると、次の音声案内まで進んでしまうことがあります。その場合は、最初に車を止めた位置まで前進させ、やり直してください。
●チェンジレバーをⓇ以外の位置にしていても、約10秒以内にⓇの位置に戻せば、この画面に戻ります。

(6) 音声で案内され、緑の枠が表示されます。止まったままハンドルを左にまわして、緑の枠を駐車したい位置に合わせます。

〈画面〉



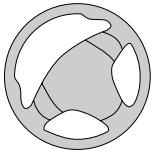
〈車の状況〉

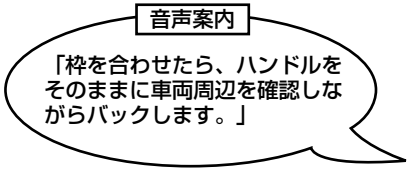


- 緑の枠の中に障害物が無いことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用することはできません。詳しくは、P.8-32を参照してください。
- 画面の中にメッセージが表示されることがあります。メッセージについてはP.8-33を参照してください。

（7） 緑の枠を合わせ、音声で案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。

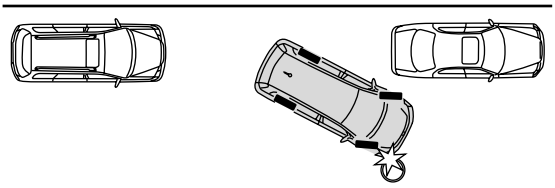
ハンドルはそのまま





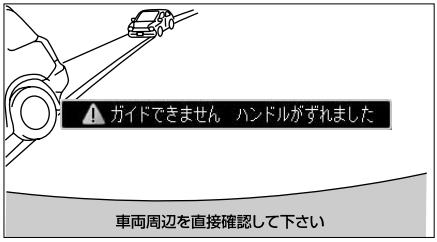
注 意

車の右前端を前方の障害物にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



アドバイス

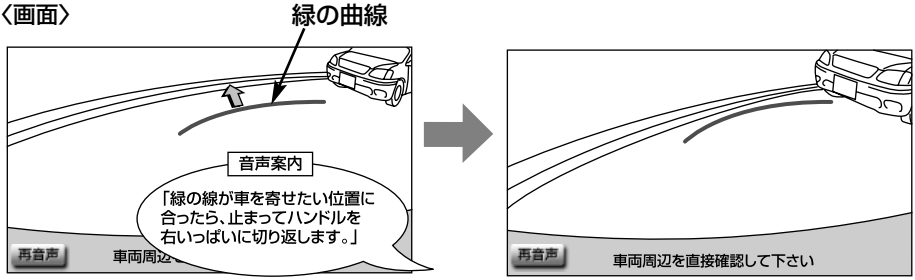
●後退中にハンドルを操作してしまうと、ガイドされなくなります。その場合は、チェンジレバーをⓇ以外にしてから、再度Ⓡにして最初からやり直してください。



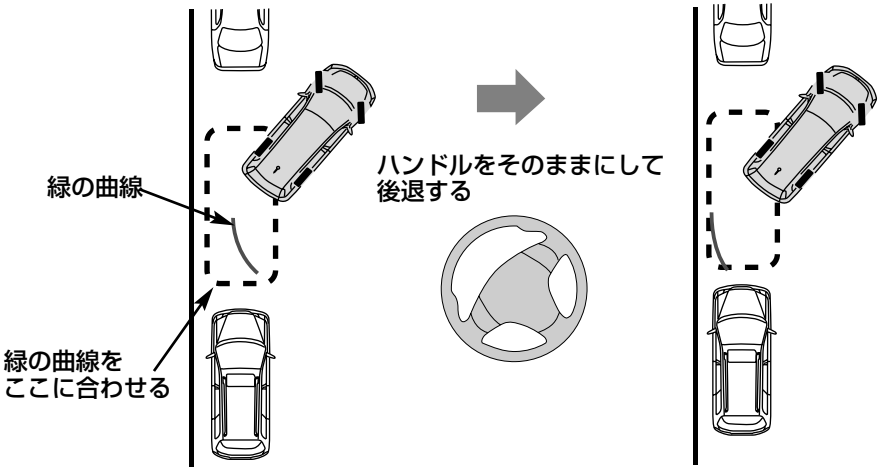
●ごく低速で後退すると、次の案内が行われないことがあります。
●後退を開始すると、ガイド線が表示されなくなります。必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

(8) 音声で案内され、緑の曲線が表示されたら、ハンドルをそのままの状態にして後退します。
緑の曲線が、駐車したい位置の左端の地点に合ったら止まります。

〈画面〉



〈車の状況〉

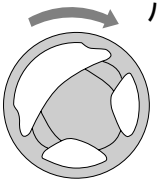


アドバイス

車の速度が速すぎると、案内が間に合わないことがあります。

(9) 車を止めたまま、ハンドルを右いっぱいに回します。

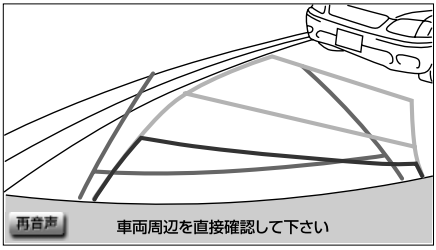
● 必ず車を止めた状態でハンドルを操作してください。



ハンドルを右いっぱいまでまわす

(10) 画面が切り替わって音声案内されたら、ハンドルをそのままの状態にして、後退します。

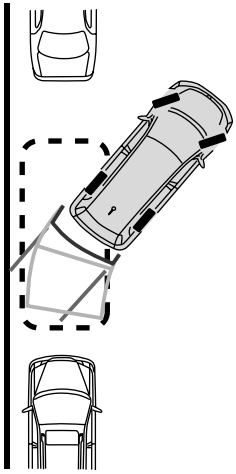
〈画面〉



音声案内

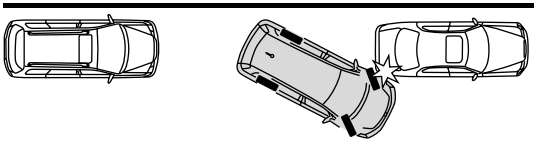
「ハンドルをそのままに、車両周辺を確認しながらバックします。」

〈車の状況〉



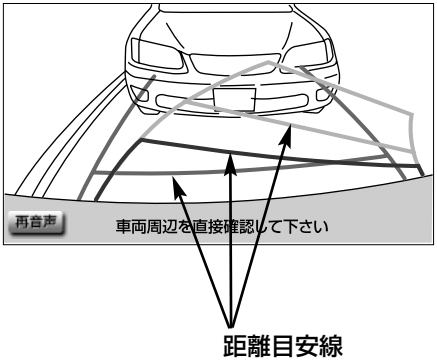
注 意

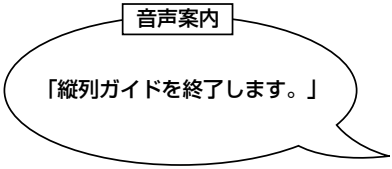
車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないように注意して、ゆっくり後退してください。



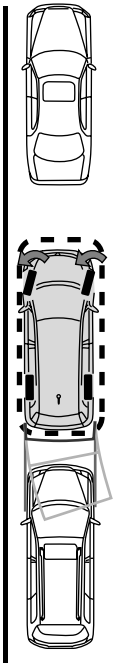
（11）車が道路（または路肩）と平行になったらハンドルをまっすぐ（直進状態）に戻します。距離目安線を参考に、必ず目視やミラーで車の前後を確認し、ゆっくり後退して止まります。車がほぼまっすぐ（直進状態）になると、音声案内されて縦列ガイドモードが終了します。

〈画面〉





〈車の状況〉



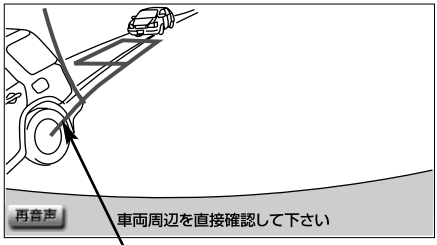
注 意

●手順P.8-27の（6）のときに緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。

・緑の枠の中に障害物がないことを必ず確認してください。緑の枠の中に障害物がある場合は、縦列ガイドモードは使用できません。

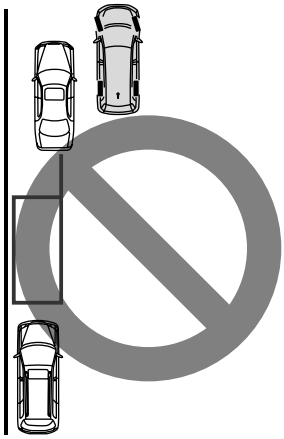
・緑の枠を駐車したい位置に合わせるときは、必ず手前に延びている緑の線が前方に駐車している車のタイヤにかからないようにしてください。緑の枠を駐車したい位置に合わせると前方に駐車している車にかかってしまう場合は、かからない範囲で合わせてください。

〈画面〉



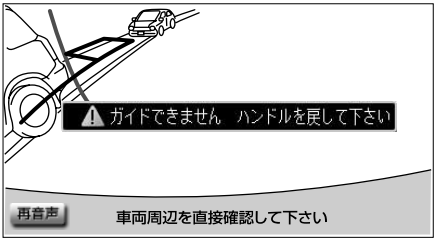
延長線がタイヤにかかっている

〈車の状況〉

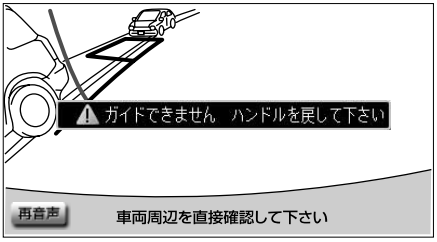


アドバイス

●手順P.8-27の（6）のときに枠が赤くなって、下のようなメッセージが表示された場合、ガイドすることができませんので、ハンドルを戻してください。

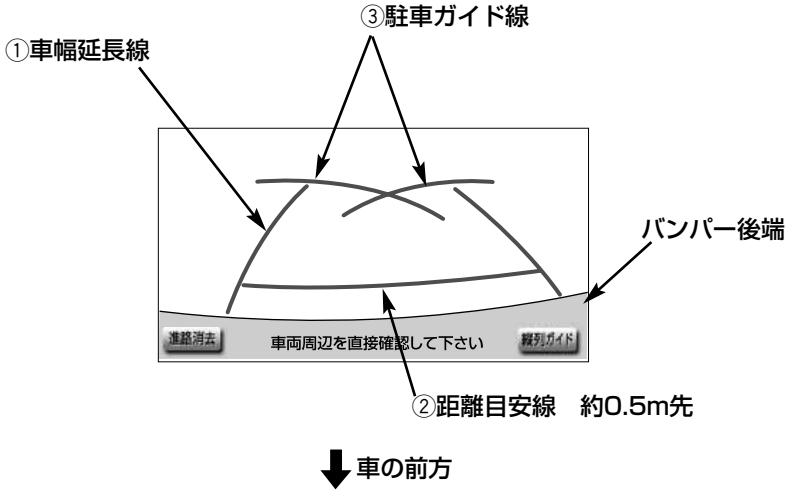


●枠が正しい駐車位置に合っている場合でも、下のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、車が路肩からはなれすぎていることが考えられますので、隣に駐車している車との間隔（約1m）を確認してください。



縦列駐車のしかた（駐車ガイド線表示モード）

1 画面の見方



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

- 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- 0.5m先を示します。

③ 駐車ガイド線

ハンドルをいっぱいまで回して後退（もっとも小回り）したときの進路の目安を示します。

- 駐車時にハンドルを操作する位置の目安となります。

注 意

・乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
・車幅延長線は実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

アドバイス

画面に表示されている 進路消去 にタッチすると、車幅延長線と駐車ガイド線が表示されなくなります。
もとに戻すときは、同じ画面に表示される 進路表示 にタッチします。

2 操作のしかた

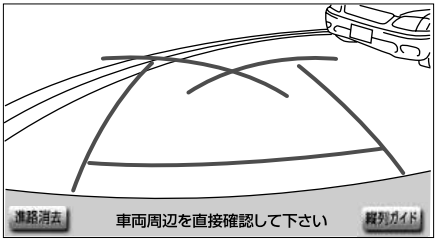
以下の手順は、左側の駐車スペースに駐車するときの例を示しています。右側の駐車スペースに駐車するときは、ハンドル操作などがすべて左右逆になります。

（1）チェンジレバーを Ⓡ にします。

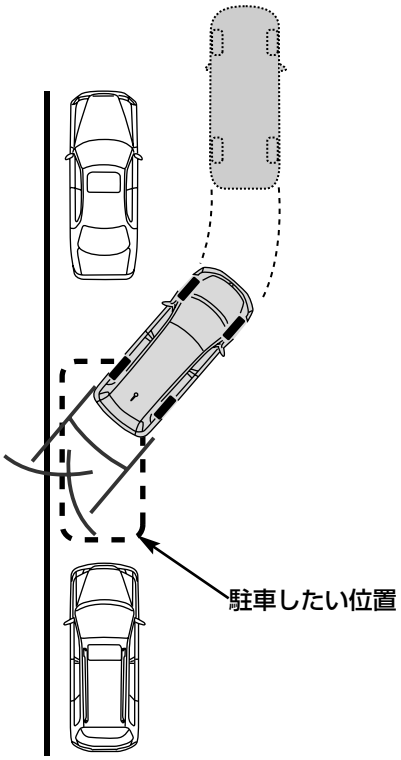
- 駐車ガイド線表示モードになっていない場合は、P.8-47の**「バックガイドモニターの設定」**を参照して駐車ガイド線表示モードにしてください。

（2） 駐車ガイド線が駐車したい位置の左端に合うまで後退したら止まります。

〈画面〉

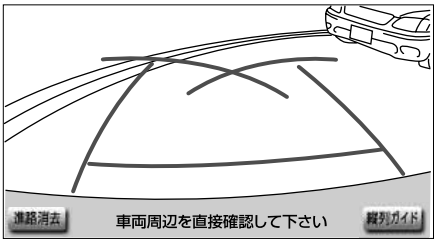


〈車の状況〉

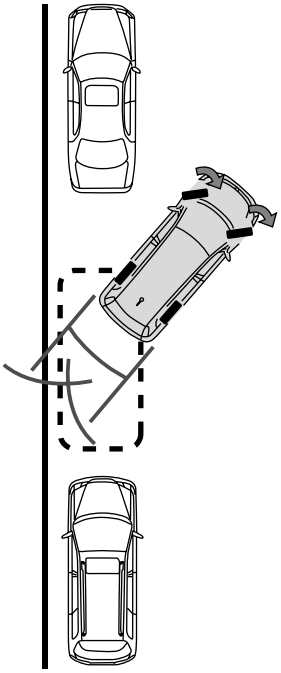


（3） ハンドルを右いっぱいに回して、ゆっくり後退します。

〈画面〉

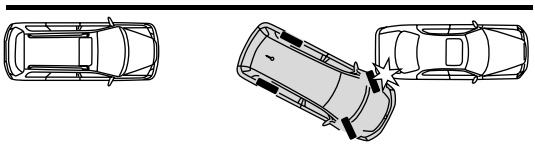


〈車の状況〉



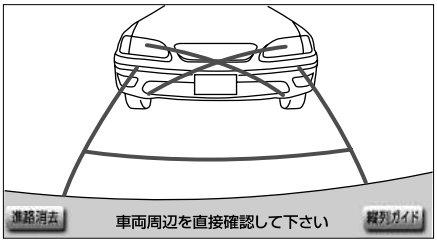
注 意

車の左前端を前方に駐車している車にぶつけないよう注意して、ゆっくり後退してください。

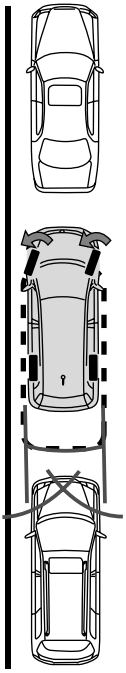


（4） 車が路肩と平行になったら、ハンドルをまっすぐ（直進状態）にします。
画面を参考に最適な位置まで後退し、駐車します。

〈画面〉



〈車の状況〉



バックガイドモニターについての注意点

1 運転時の注意

注 意

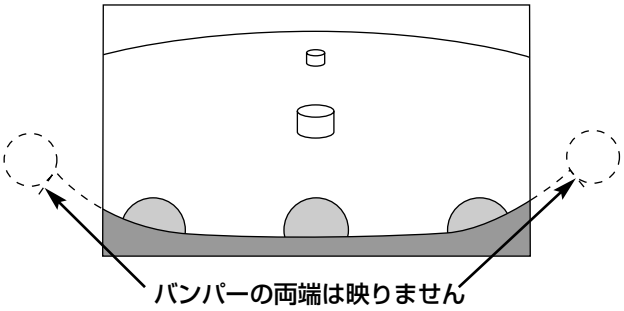
●ガイド線と車の挙動が異なる場合があります。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

・バックガイドモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
・以下のような状況では、車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があるので、必ず周囲の状況を目で確認してください。
凍結したり、滑りやすい路面、または雪道。
タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき。
バックドアが完全に閉まっていないとき。
坂道など平坦でない道路。
・バックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、バックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
・タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

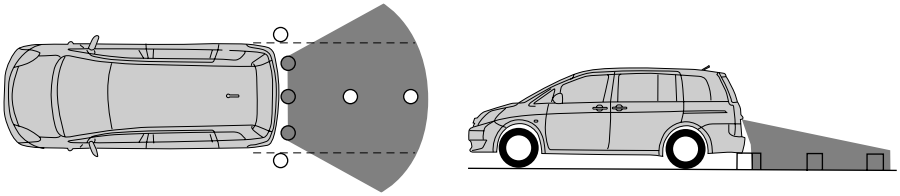
2 画面に映る範囲

バンパー後端から車の後方（下図の範囲）が映ります。

〈画面〉



〈映る範囲〉



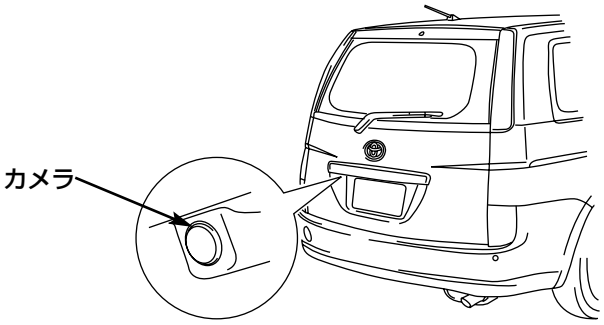
アドバイス

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
●バックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
・暗いところ（夜間など）。
・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
●バックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです（P.1-20参照）。

3 カメラ

番号灯の左側にあります。

※車種によって取付位置は異なります。



注 意

●バックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などで研いだりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
・カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
・高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
・スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

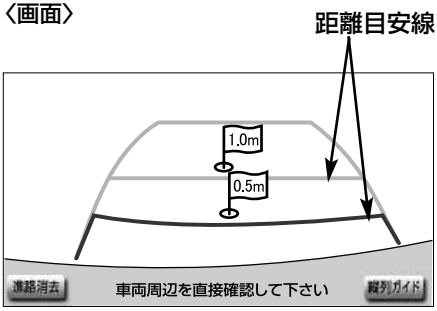
カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

4 画面と実際の路面との誤差

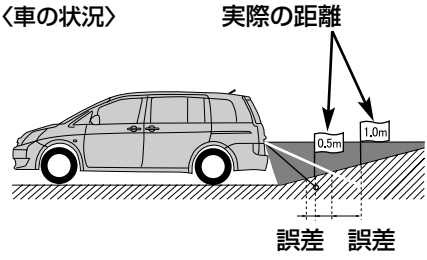
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。

●急な上り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉

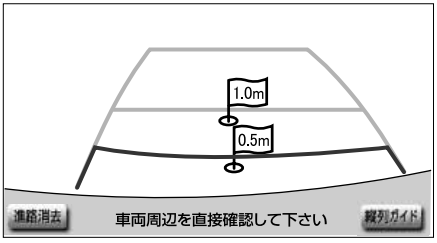


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

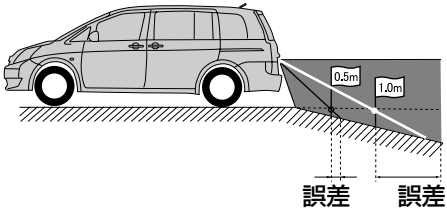
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

●急な下り坂が後方にあるとき

〈画面〉



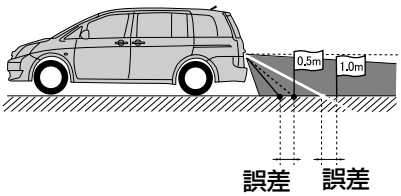
〈車の状況〉



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

実際のガイド線と実際の路面上の進路にも差が生じます。

●車が傾いているとき



乗車人数、積載量などにより車が傾いているときは、実際の距離、進路と誤差が生じます。

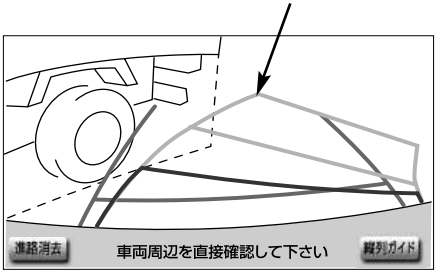
5 立体物が近くにあるとき

画面のガイドは平面物（道路など）を対象にしています。張り出しのある立体物（トラックの荷台のような障害物）が近くにあるときは、以下のことに注意して、ぶつからないようにしてください。

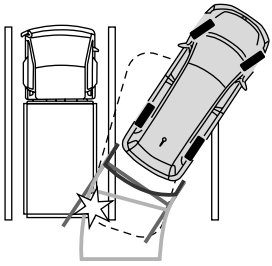
●予想進路線

予想進路は路面に対して表示されるため、立体物の位置を判断することはできません。

〈画面〉



〈車の状況〉

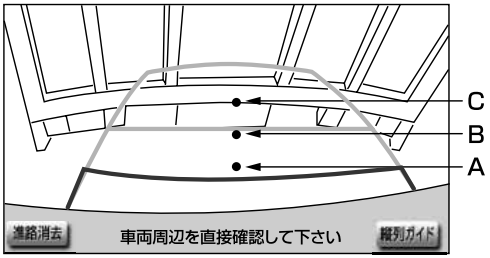


画面では、トラックの荷台が予想進路の外側にあり、ぶつからないように見えますが、実際には荷台が進路上に張り出しているためぶつかることがあります。このように予想進路線が障害物の近くを通るときは、後方や周囲の安全を直接確認してください。

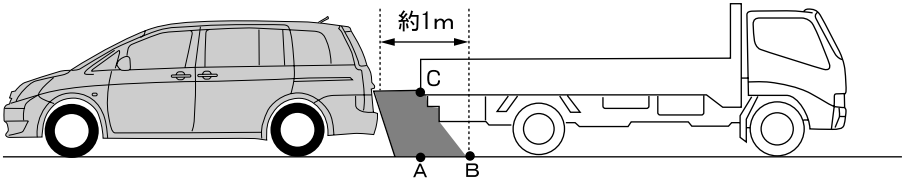
●距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉



〈A,B,Cの位置〉



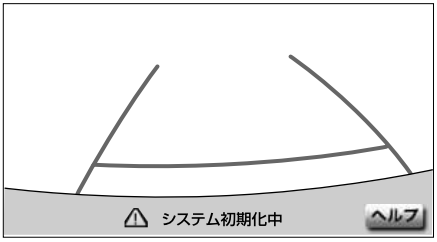
画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

6 システム初期化中表示が出たときは

バッテリーの脱着・バッテリー能力が低下した場合などには、下図の画面が表示されます。

この場合、次のどちらかの操作が必要になります。



●車を止めた状態で、ハンドルを左いっぱいに回したあと、右いっぱいに回します。
（左右どちらが先でも可）

●できるだけ曲り角・カーブなどがなく、渋滞していない道路を前進で約5分間以上走行します。

通常の画面に戻れば、設定完了です。

システム初期化中画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。

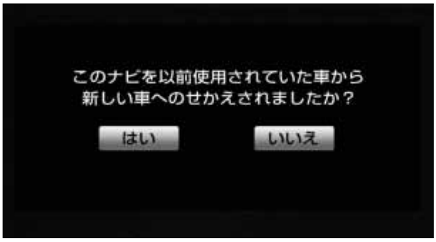
アドバイス

システム初期化中画面で、ヘルプ にタッチすると、操作方法を表示させることができます。

画面に表示されている操作をし、通常の画面に戻れば、設定終了です。
システム初期化中、またはヘルプ画面が表示されたままのときは、トヨタ販売店で点検を受けてください。
● 了解 にタッチすると、もとの画面に戻ります。

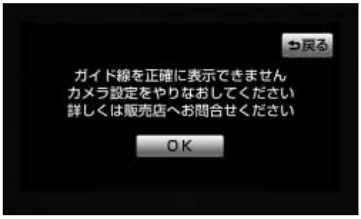
7 バッテリーの脱着、または本機を載せ替えたときは

バッテリーの脱着、または本機を別の車に載せ替えたなどの場合は、チェンジレバーを Ⓡ にすると、下図の確認画面が表示されます。この場合は、下記の操作、または販売店での設定が必要となります。



- はい にタッチすると、ガイド線を表示せずに、車の後方を映すことができます。
- いいえ にタッチすると、ガイド線を表示して、車の後方を映すことができます。
  （本機を別の車に載せ替えたときは、載せ替える前の車に適したガイド線が表示されます。）

本機を別の車に載せ替えたときは、必ず、トヨタ販売店でバックガイドモニターの設定を行ってください。



■ はい にタッチした場合

（1） メッセージ表示画面で、 はい にタッチします。

（2） OK にタッチします。

- ガイド線を表示せずに、バックガイドモニター画面が表示されます。
- 戻る にタッチすると、もとの画面にもどります。

■ いいえ にタッチした場合

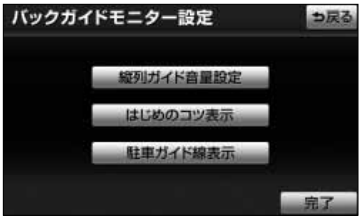
（1） メッセージ表示画面で、 いいえ にタッチします。

- ガイド線を表示して、バックガイドモニター画面が表示されます。

バックガイドモニターの設定

「縦列ガイド音量設定」・「はじめのコツ表示」・「駐車ガイド線表示」の設定ができます。

(1) 設定・編集画面（運転支援）（P.2-1参照）で BGM設定 にタッチします。



(2) バックガイドモニター設定項目で、設定する項目にタッチします。

■縦列ガイド音量設定

- 縦列ガイド音量設定 にタッチすると音声案内を調整することができます。
- 消音 小 ・ ・ 大 のいずれかにタッチします。
- 消音 にタッチしたときは、音声案内されません。

■はじめのコツ表示

- はじめのコツ表示 にタッチすると縦列ガイドモードで表示される「はじめのコツ」を表示するか、表示しないかを選ぶことができます。
- 表示させたいときは、 する にタッチします。表示させたくないときは、 しない にタッチします。

■駐車ガイド線表示

- 駐車ガイド線表示 にタッチすると駐車ガイド線表示モードにするか、進路表示モードにするか、選ぶことができます。
- 駐車ガイド線表示モードにしたいときは、 する にタッチします。進路表示モードにしたいときは、 しない にタッチします。

（3） 設定がよければ、 完了 にタッチします。

マルチビューバックガイドモニターの映像を見るには

トヨタ純正マルチビューバックガイドモニター装着車では、バックガイドモニターの機能が使用できる他、表示させる映像の視点を切り替えることができます。基本的な操作方法や注意点については、P.8-9～P.8-48の**「バックガイドモニターの映像を見るには」**を参照してください。

本機能は別売のマルチビューバックガイドモニターを接続し、マルチビューバックガイドモニター機能を設定した場合に表示されます。

※装着および機能の設定ができない車種もありますので、詳しくは販売店へご相談ください。

注 意

- マルチビューバックガイドモニターは後退操作を補助するものです。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。詳しくは、P.8-53の**「マルチビューバックガイドモニターについての注意点」**をご覧ください。
- カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。詳しくは、P.8-42の**「画面と実際の路面との誤差」**をご覧ください。
- 外気温が低い場合、画面が暗くなったり、画像が薄れることがあります。特に動いているものの画像が歪む、あるいは画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

マルチビューバックガイドモニターとは

マルチビューバックガイドモニターは、車両後退時にカメラの映像を次の3つの視点で表示することができます。

- 標準画面 ……バックガイドモニターと同じ視点です。ハンドル操作に連動したガイド線が表示されます。縦列駐車への切り替えやガイド線を消去することができます。
- ワイドビュー ……標準画面と比べ、左右に広い範囲の映像を表示することができます。車両後退時の左右安全確認をサポートする視点です。
- ワイドビュー＋トップビュー……ワイドビューの映像と、上方から見下ろした映像（トップビュー）を同時に表示することができます。車両後退時の安全運転をよりいっそうサポートする視点です。

アドバイス

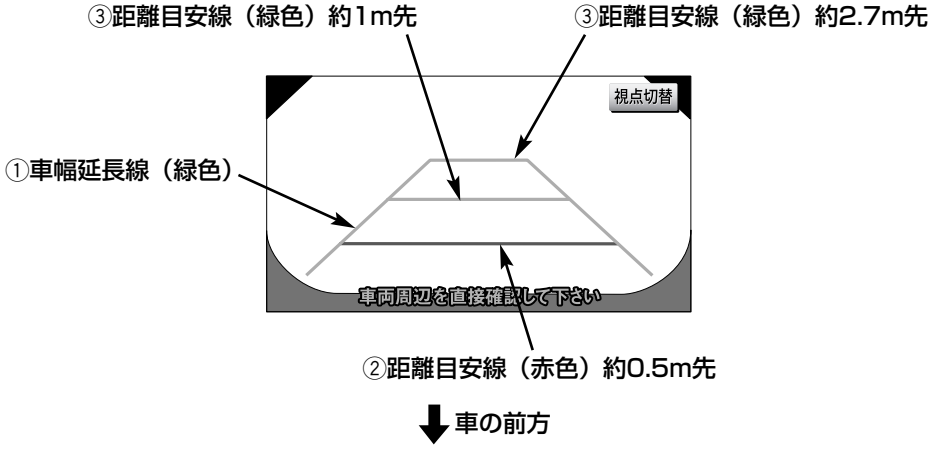
ワイドビューおよびワイドビュー＋トップビューで表示している場合、車幅延長線などのガイド線を消すことができません。また、ハンドル操作に連動した予想進路線などのガイド線は表示されません（P.8-14参照）。

カメラの視点を切り替える

1 画面の見方

標準画面の見方については、P.8-9の**「バックガイドモニターの映像を見るには」**を参照してください。

■ワイドビューの見方



① 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

● 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線（赤色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

● 約0.5m先を示します。

③ 距離目安線（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

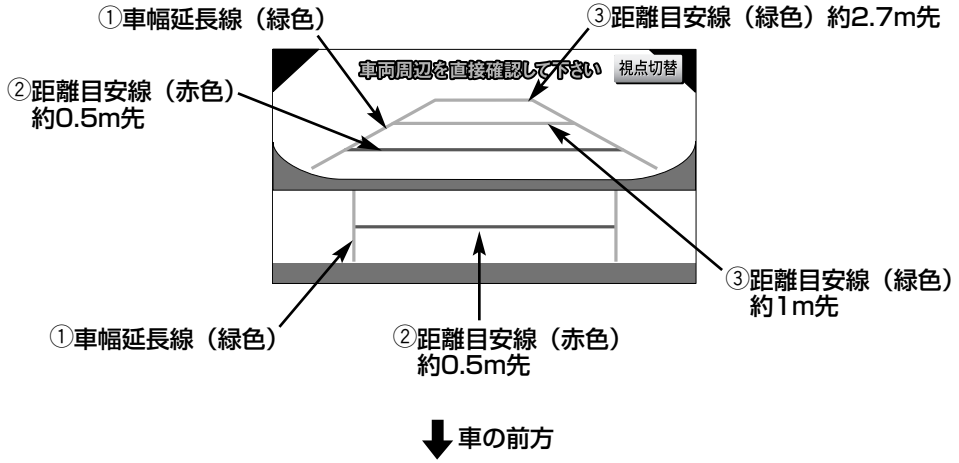
● 約1m先、約2.7m先を示します。

注 意

●乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●車幅延長線は実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

■ワイドビュー＋トップビューの見方



① 車幅延長線（緑色）

車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

● 実際の車幅より広く表示しています。

② 距離目安線（赤色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

● 約0.5m先を示します。

③ 距離目安線（緑色）

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

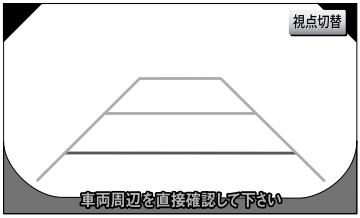
● 約1m先、約2.7m先を示します。

注 意

●乗車人数・積載量などにより、画面のガイド線の示す位置はかわります。
必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●車幅延長線は実際の車幅より広く表示されます。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

2 視点を切り替えるには



（1） チェンジレバーをⓇにします。

（2） 視点切替 にタッチして希望の視点を選択します。

- 視点切替 にタッチするごとに、標準画面、ワイドビュー、ワイドビュー＋トップビューの順に切り替わります。

アドバイス

縦列ガイドモード中は視点を切り替えることができません。

マルチビューバックガイドモニターについての注意点

1 運転時の注意

注 意

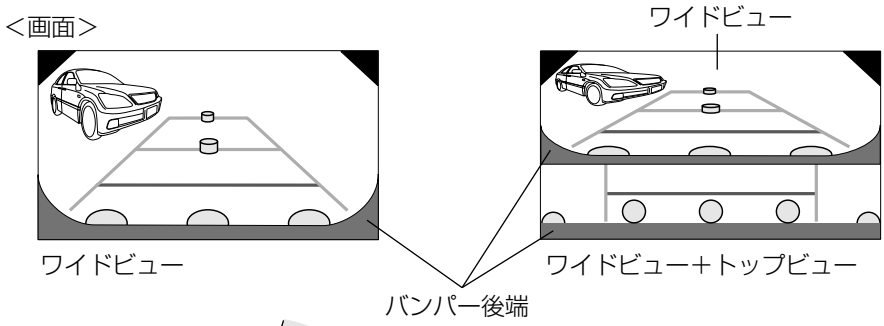
●ガイド線と車の挙動が異なる場合があります。後退するときは、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

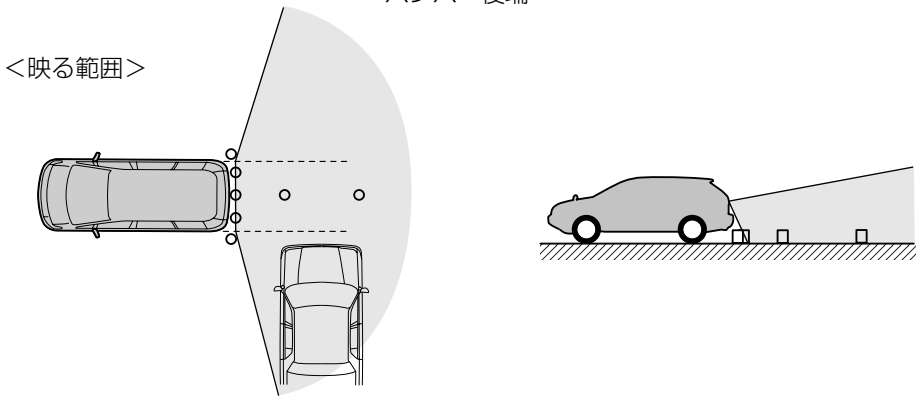
・マルチビューバックガイドモニターを過信しないでください。
一般の車と同様、必ず後方や周囲の安全を直接確認しながら慎重に後退してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。
・画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て後退すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。後退するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。
・以下のような状況では、車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があるので、必ず周囲の状況を目で確認してください。
凍結したり、滑りやすい路面、または雪道。
タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき。
バックドアが完全に閉まっていないとき。
坂道など平坦でない道路。
・マルチビューバックガイドモニターの各モードの操作手順はあくまでも一例であり、駐車時の道路事情・路面や車の状況などにより、ハンドル操作のタイミング・操作量は異なります。以上のことを十分理解したうえで、マルチビューバックガイドモニターをご使用ください。また、駐車するときは、必ず駐車スペースに車を駐車できるかを確認してから操作を行ってください。
・ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
・タイヤを交換するときは、お買い上げの販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

2 画面に映る範囲

画面に映る範囲は各視点で異なります。標準画面の視点については、P.8-39の**「画面に映る範囲」**を参照してください。

■ワイドビューの映る範囲



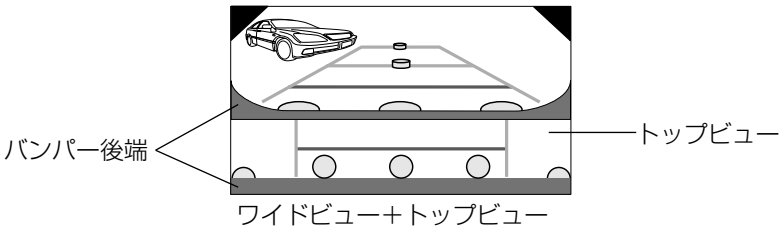


アドバイス

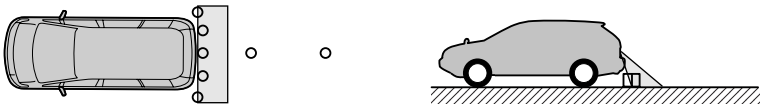
●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
·暗いところ（夜間など）。
·レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
·カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
·カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
·太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
·バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
●バンパー後端の見え方は車種により異なります。
●マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです（P.1-20参照）。

■トップビューの画面に映る範囲

＜画面＞



＜映る範囲＞



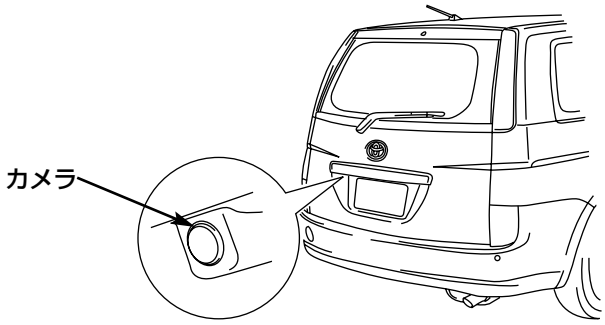
アドバイス

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●マルチビューバックガイドモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
·暗いところ（夜間など）。
·レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
·カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
·カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
·太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
·バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
●バンパー後端の見え方は車種により異なります。
●マルチビューバックガイドモニターの画質調整の方法は、ナビゲーション画面の調整と同じです（P.1-20参照）。

3 カメラ

番号灯の左側にあります。

※車種によって取付位置は異なります。



注 意

●マルチビューバックガイドモニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外し・分解・改造をしないでください。
・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などで研いだりするとカバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
・カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
・高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
・スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

カメラのレンズが汚れていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などの汚れが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。汚れがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

バックモニターの映像を見るには

別売のバックモニターを接続した場合、チェンジレバーを Ⓡ にすると、本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像およびガイド線（車両の車幅や距離感覚を補う補助線）を映すことができます。

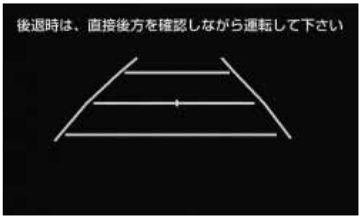
⚠ 注 意

- ●本機（バックモニター）は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。
- ●リアカメラで映し出す範囲は限られていますので、モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周辺の安全を充分確認してください。
- ●雨滴などがカメラに付着すると映りが悪くなるおそれがあります。
- ●以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道　・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき　・坂道など平坦でない道
- ●ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり確認しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ●自車の状況（乗車人数・積載量）により、画面のガイド線の示す位置は変化します。必ず、後方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。
- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- ●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき故障などの原因になります。
- ●カメラ本体をケーブルでぶらさげたり、ケーブルを引張ったりなどは、絶対に行わないでください。防滴性が低下したり、ケーブルの断線など、故障の原因になります。
- ●寒いときにお湯をかけるなど、カメラに急激な温度変化を与えないでください。故障の原因になることがあります。
- ●高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- ●スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこすると レンズカバーにキズが付くことがあります。
●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。
●本機の映像は鏡像となっています。鏡像とは映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。これに対し直接目で見るのと同じ画像を正像と呼びます。
●夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えないまたは見にくいことがあります。
●リアカメラの映像は、車体の一部が映し出されるように調整してください。
●カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

1 後方の映像を映すには

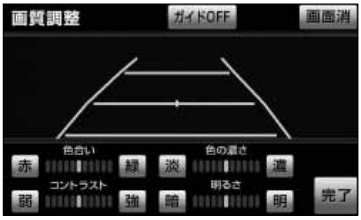


（1） チェンジレバーを Ⓡ にします。

- バックモニターの映像が表示されます。
- チェンジレバーを Ⓡ 以外にすると通常画面に戻ります。

アドバイス

バックモニター映像上にガイド線が表示されない場合や、ガイド線の位置や方向などが適切に表示されない場合は、販売店にお問い合わせください。



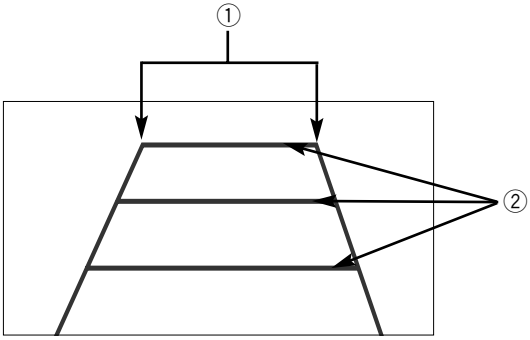
（2） ガイド線の表示・非表示の設定を行う場合は、バックモニターの映像を表示しているときに 画質 をピッと音が鳴るまで押し続けます。

- ガイドON または ガイドOFF にタッチすると、ガイド線が表示または非表示になります。
- 初期設定では、ガイド線表示ONになっています。

2 画面の見方について

■表示線の見方

チェンジレバーをⓇにすると、モニター画面がバックモニターの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うバックガイド線が表示されます。



① 車幅延長線

車幅の延長線で、車をまっすぐ後退させたときの進路の目安を示します。

② 距離目安線

車の後方（バンパー後端から）の距離を示します。

- ハンドル操作と連動しません。
- それぞれの中心位置で、約0.5m先（1本目）・約1m先（2本目）・約2m先（3本目）を示します。

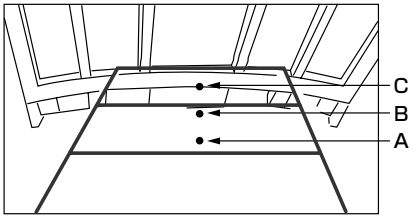
アドバイス

- ●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
- ●後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
- ●画面の明るさ・コントラストを調整することができます（P.1-21参照）。
- ●車両によりバックガイド線が左右にずれて表示されることがありますが、故障ではありません。

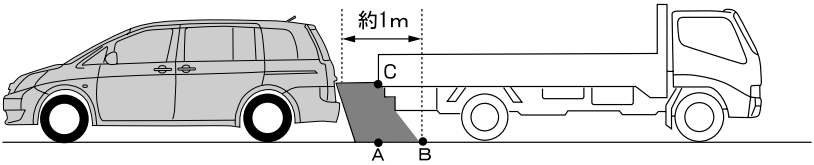
■距離目安線

距離目安線は路面に対して表示されているため、立体物との距離を判断することはできません。

〈画面〉



〈A,B,Cの位置〉



画面では、距離目安線により約1m先（Bの位置）にトラックが駐車してあるように見えますが、実際にはAの位置まで後退すると、ぶつかります。

画面ではA、B、Cの順に近く見えますが、実際の距離はAとCは同じ距離で、BはA、Cより遠い距離にあります。

アドバイス

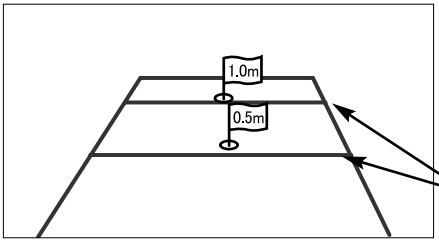
次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
- 暗いところ（夜間など）。
- レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
- カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
- カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
- 太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

3 画面と実際の路面との誤差

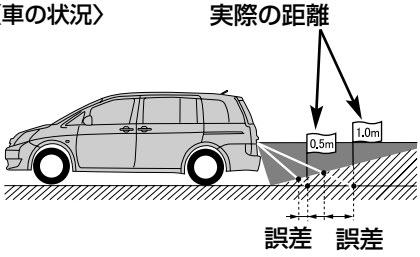
以下の状態のときは、画面のガイドと実際の路面上の距離・進路に誤差が生じます。
（イラストは標準的なカメラ取付位置の場合を示します）

■急な上り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉

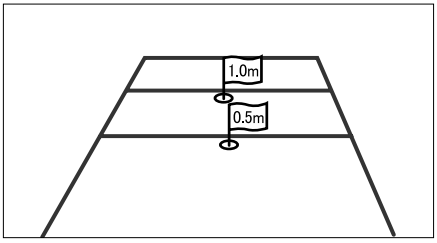


距離目安線は、平らな路面に対しての距離の目安を示しています。そのため、上り坂が後方にあるときには、実際の距離より手前に距離目安線が表示されます。例えば、上り坂に障害物があった場合には、実際より遠くにあるように見えます。

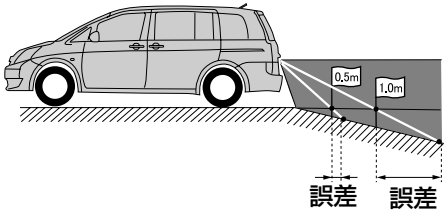
同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

■急な下り坂が後方にあるとき

〈画面〉



〈車の状況〉



下り坂が後方にあるときには、実際の距離よりうしろに距離目安線が表示されます。下り坂に障害物があった場合には、実際より近くにあるように見えます。

同様にガイド線と実際の路面上の進路にも誤差が生じます。

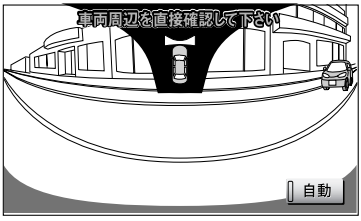
ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムの操作

別売のブラインドコーナーモニターやサイドモニターシステムを装着した場合、周辺の状況を画面に映すことができます。

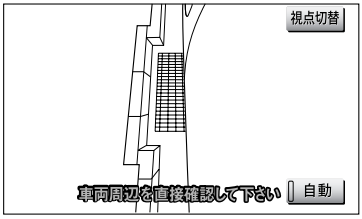
●ブラインドコーナーモニター… 車両前方直下、または見通しの悪い交差点やT字路などで、車両の左右前方を確認することができます。

●サイドモニターシステム…… 左折や幅寄せなどをする際に、車両の左前方を確認することができます。

※ブラインドコーナーモニター、またはサイドモニターシステムが装着できない車種もありますので、詳しくは販売店へご相談ください。



ブラインドコーナーモニター画面



サイドモニター画面

ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムについての注意点

注 意

●ブラインドコーナーモニター/サイドモニターシステムを過信しないでください。
運転は一般の車と同様、慎重に行ってください。

●画面だけを見ながら走行することは絶対にしないでください。
画面に映し出されている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て走行すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。走行するときは、必ず目視やミラーなどで周囲の安全を直接確認してください。

●外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。とくに動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

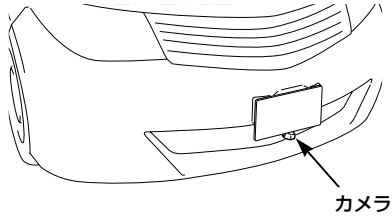
●サイドモニターシステムは、以下のような状況では使用しないでください。
・ドアミラーを格納したとき
・助手席ドアが完全に閉まっていないとき

アドバイス

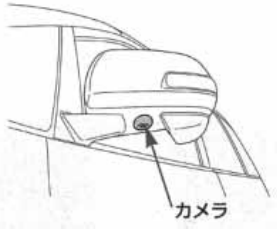
カメラのレンズ特性により、画面に映る人や障害物は実際の位置や距離と異なります。

カメラについての注意点

●ブラインドコーナーモニター



●サイドモニター



注 意

ブラインドコーナーモニター／サイドモニターシステムが正常に作動しなくなるおそれがありますので以下のことにご注意ください。

- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。
- ●カメラの表面を強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりするとレンズが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのレンズはガラスですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化を与えないでください。
- ●カメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。
- ●ブラインドコーナーモニターの取り付け位置は、車種により異なります。
- ●高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
- ●スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

アドバイス

カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などのよごれが付着したときは水洗いし、柔らかい布でふき取ってください。よごれがひどい場合は、中性洗剤で洗い流してください。

1 優先表示の設定をするには

ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、優先して表示する画面を選ぶことができます。

(1) 設定・編集画面（運転支援）（P.2-1参照）で **カメラ表示優先設定** にタッチします。

(2) **ブラインドコーナーモニター** または **サイドモニターシステム** にタッチします。

(3) **完了** にタッチします。

- 優先表示に設定されていない画面は、カメラ映像呼び出しボタン（P.8-65参照）を押して表示することができます。

ブラインドコーナーモニター/サイドモニター画面への切り替え

各モニター画面への切り替えは、低速時に手動、または自動で行うことができます。

1 手動で切り替えるには

エンジンスイッチがONで車速が約12km/h未満の場合、各モニター画面を手動で表示することができます。

（1） カメラ映像呼び出しボタンを押します。

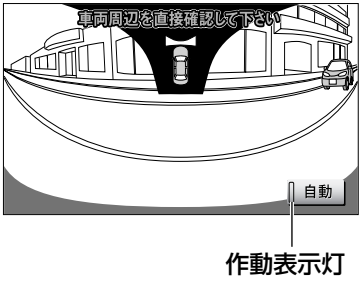
- 各モニター画面が表示されます。
- ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、表示される画面は優先表示の設定により異なります（P.8-64の**「優先表示の設定をするには」**参照）。
- 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
  - ・車速が約12km/h以上になった場合
  - ・カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
  - ・チェンジレバーをⓇにした場合※2
  - ・ ⓐ や 情報 などを押した場合

※1優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。

※2バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。

2 自動で切り替えを設定するには

各モニター画面を自動でON（切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。また、表示するタイミングも選ぶことができます。



（1） 各モニター画面で、 自動 にタッチします。

- タッチするごとに、作動表示灯および表示条件が切り替わります。
- 各モニター画面は、以下の場合に解除されます。
  - ・車速が約12km/h以上になった場合
  - ・カメラ映像呼び出しボタンを押した場合※1
  - ・チェンジレバーをⓇにした場合※2
  - ・ ⓐ や 情報 などを押した場合

※1優先表示に設定されている画面を表示している場合、2回押してください。

※2バックガイドモニター、またはバックモニターを装着していない場合、サイドモニター画面は解除されません。

作動表示灯の色	表示条件
黄色	減速して約10km/h以下になった場合、 またはエンジンスイッチをONにした場合
橙色	エンジンスイッチをONにした場合のみ
無灯（消灯）	自動表示しません

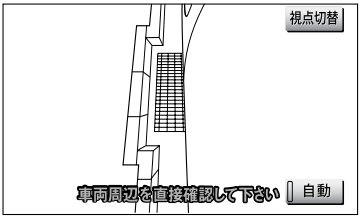
アドバイス

●車速が約12km/h以上のときは、カメラ映像呼び出しボタンを押してもメッセージが表示され、画面が切り替わりません。
●チェンジレバーがⓇの場合、ブラインドコーナーモニターの映像を表示することができません。
●ブラインドコーナーモニターとサイドモニターシステムを同時に装着している場合、自動表示の設定は同じになります。それぞれを異なる設定にすることはできません。

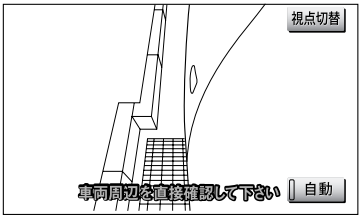
サイドモニターシステムの表示範囲の切り替え

サイドモニターシステムは、画面に表示する範囲を切り替えることができます。

- ●VIEW A…車両左前方の映像を、左側中心で表示することができます。
- ●VIEW B…車両左前方の映像を、前方中心で表示することができます。

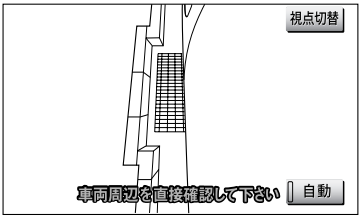


VIEW A表示画面



VIEW B表示画面

1 表示範囲を切り替えるには



（1） サイドモニター画面で、 視点切替 にタッチします。

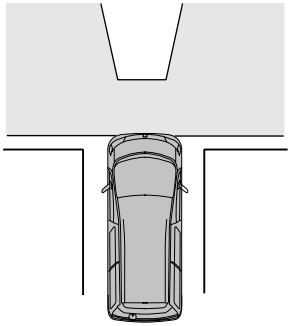
- ● タッチするごとに、VIEW AとVIEW Bが切り替わります。

画面に映る範囲について

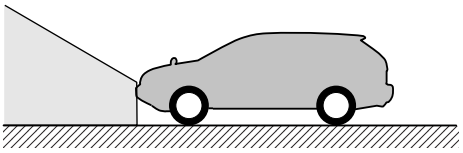
■ブラインドコーナーモニターについて

車両の左右前方の映像（下図の範囲）を表示することができます。

〈左右方向〉



〈上下方向〉



アドバイス

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。

●ブラインドコーナーモニターのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

●画面に車両の一部（バンパーやグリル、ライセンスプレートなど）が映ることがあります。

●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
・暗いところ（夜間など）。
・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。

●ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

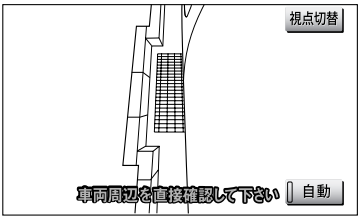
●次のようなときは故障ではありません。
・雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
・夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
・夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
・画面の中央や四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。

●画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。詳しくはP.1-21～1-22を参照してください。

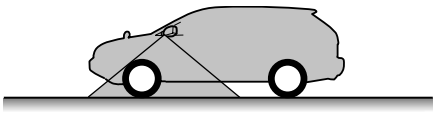
■サイドモニターシステムについて

●VIEW A

車両の左前方の映像を左側中心（下図の範囲）に表示することができます。

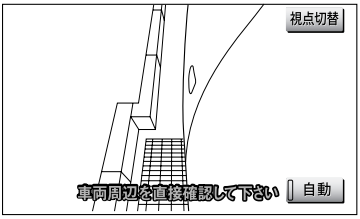


〈映る範囲〉

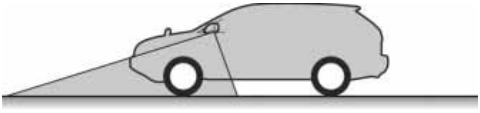


●VIEW B

車両の左前方の映像を前方中心（下図の範囲）に表示することができます。



〈映る範囲〉



アドバイス

- ●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
- ●サイドモニターシステムのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。
- ●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
  - ・暗いところ。（夜間など）
  - ・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
  - ・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき。（雨天時など）
  - ・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
  - ・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
- ●ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり見づらくなることがあります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ●次のようなときは故障ではありません。
  - ・雨の日など湿度が高いときはカメラが曇ることがあります。
  - ・夜間走行のときなどに、前方の車のランプや建物などの灯りが映像に映り込むことがあります。
  - ・夜間など暗い場所では、ノイズを目立たなくするために、白黒映像のように見えたり、実際とは異なった色で見えます。
  - ・画面の四隅は映像の鮮明度が低下することがあります。
  - ・50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
- ●画面の色合い・色の濃さ・明るさ・コントラストを調整することができます。詳しくはP.1-21～1-22を参照してください。

マルチアングル全周囲モニターの映像を見るには

オプションのマルチアングル全周囲モニターを接続している場合、車両を中心とした全周囲（前方・左右・後方）の映像を表示することができます。
車両後方の映像を表示する場合は、P.8-9～P.8-48の**「バックガイドモニターの映像を見るには」**、またはP.8-49～P.8-56の**「マルチビューバックガイドモニターの映像を見るには」**も参照してください。
※マルチアングル全周囲モニター機能が使用可能な車種については、販売店にお問い合わせください。

注 意

カメラレンズの特性により、画面に映る人や障害物の見え方は、実際の位置や距離と異なります。

マルチアングル全周囲モニターとは

マルチアングル全周囲モニターは、車両に取り付けられた4つのカメラの映像を次の3つのモードで表示することができます。

- ●フロントモード……車両前方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- ●バックモード……車両後方の映像を表示する他、車両左右の映像や車両周辺の映像を表示することができます。
- ●回転表示モード……車両周辺の映像を回転表示することができます。

カメラの視点を切り替える

1 画面の見方

後方表示画面（標準･ワイド）の見方については、P.8-9の**「バックガイドモニターの映像を見るには」**、P.8-49の**「マルチビューバックガイドモニターの映像を見るには」**を参照してください。

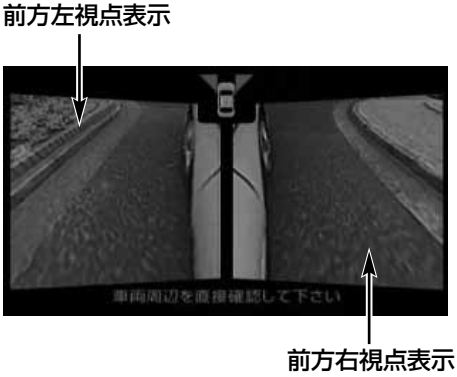
■フロントモード

●全周囲＋前方表示画面

●前方表示画面

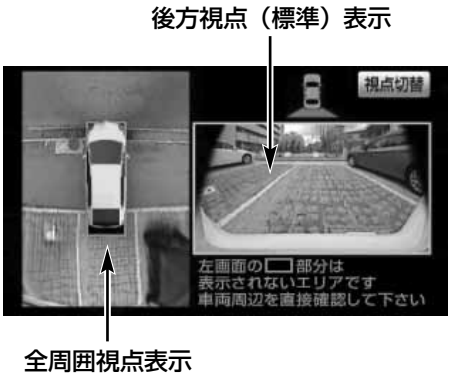
※車両の後方上部から前方を見る視点の映像を表示します。

●前方左右表示画面



■バックモード

●全周囲+後方表示画面

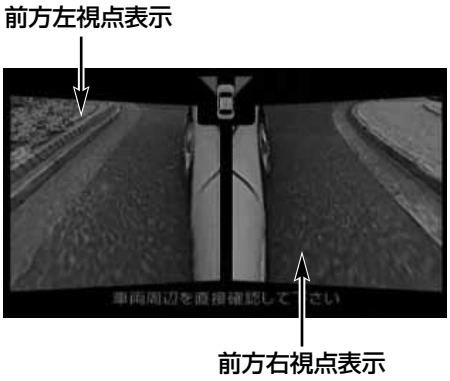


●後方表示画面（標準）

●後方表示画面（ワイド）

※後方表示画面（ワイド）などの画面で、カメラの一部が映り込む現象（ケラレ）が生じることがありますが、故障ではありません。

●前方左右表示画面



●後方左右表示画面（ドアミラーが閉じている場合）

■回転表示モード

●回転表示画面

2 視点を切り替えるには

■フロントモード

（1） フロントモードを表示させます。

- フロントモード表示条件の設定により操作は異なります（P.8-82参照）。
- フロントモード優先表示設定で選択した画面に切り替わります（P.8-83参照）。

（2） カメラ映像呼び出しボタンを押します。

- 押すごとに、視点を切り替えることができます。例えば、フロントモード優先表示画面の設定（P.8-83参照）を“サイド”に設定している場合、フロントモードを表示させたときに前方左右表示画面が表示され、カメラ映像呼び出しボタンを押すごとに全周囲＋前方表示画面、前方表示画面、ナビゲーション画面、前方左右表示画面の順に切り替わります。
- 車速が12km/h以上になると、もとの画面に戻ります。

アドバイス

●ドアミラーが開いていることおよびチェンジレバーがⓇ以外であることを確認してください。
●車速が12km/h以上のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと前方左右表示画面が表示されます。

■バックモード

(1) チェンジレバーを Ⓡ にします。

- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

(2) 視点切替 にタッチします。

- タッチするごとに、全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の順に切り替わります。
- 後方表示画面（標準）の 縦列ガイド にタッチすると、縦列ガイドモードに切り替わります（P.8-21～P8-33参照）。
- 車速が10km/h未満のとき、カメラ映像呼び出しボタンを押すと、車両のドアミラーの開閉状態によって前方左右表示画面、または後方左右表示画面が表示されます。もう一度押す、または車速が12km/h以上になると、後方表示画面に切り替わります。
- チェンジレバーを Ⓡ 以外にした場合、もとの画面に戻ります。

アドバイス

ドアミラーが開いていることを確認してください（車両の後方左右を表示させる場合を除く）。

■回転表示モード

（1） カメラ映像呼び出しボタンを1 秒以上押します。

- 車両周辺の映像が回転表示されます。表示後、または車速が1km/h以上になると、もとの画面に戻ります。
- チェンジレバーをⓇにすると、バックモードの映像に切り替わります。

アドバイス

- ●車両が停止していることを確認してください。
- ●ドアミラーが開いていることを確認してください。
- ●チェンジレバーがⓇ以外であることを確認してください。
- ●初期状態では、エンジンスイッチをACC、またはON にすると、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像が回転表示されます（P.8-82参照）。

マルチアングル全周囲モニターについての注意点

1 運転時の注意点

注 意

●本機能を過信しないで注意して運転してください。道路固有の特性や路面などの状況、また運転操作のばらつきや、舵角センサーの補正状態などにより予測した位置に移動できない場合があります。

●**マルチアングル全周囲モニターを過信しないでください。**
一般の車と同様、必ず周囲の安全を直接確認しながら慎重に運転してください。とくに周辺に駐車している車や障害物などに接触しないようにしてください。

●**画面だけを見ながら運転することは絶対にしないでください。**
画面に映っている映像と実際の状況は異なることがあり、画面だけを見て運転すると車をぶつけたり、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。運転するときは、必ず目視やミラーなどで後方や周囲の安全を直接確認してください。

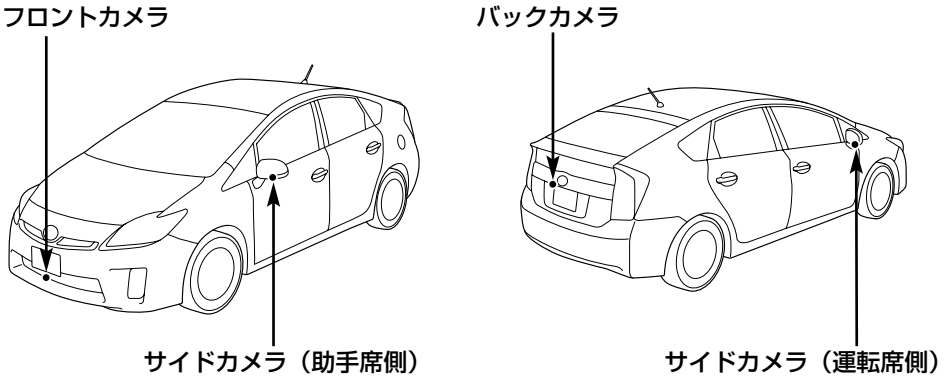
●次のような状況では使用しないでください。車の進路が予想進路線から大きく外れる可能性があります。
·凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
·タイヤチェーン、応急用タイヤを使用しているとき
·バックドアが完全に閉まっていないとき
·坂道など平坦でない道

●タイヤを交換するときは、販売店にご相談ください。タイヤを交換すると、画面に表示されるガイド線の示す位置に誤差が生じることがあります。

●ドアミラーを格納した状態で使用しないでください（車両の後方左右を確認する場合を除く）。適切な範囲を映すことができません。

2 カメラの注意点

カメラは次の位置に取り付けられています。



注 意

マルチアングル全周囲モニターが正常に作動しなくなるおそれがありますので、次のことに注意してください。

・カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃をあたえないでください。カメラの位置や取り付け角度がずれたり、故障などのおそれがあります。その場合、早めに販売店で点検を受けてください。
・カメラ部は防水構造となっていますので、取り外しや分解、改造をしないでください。
・カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすことがあります。
・カメラのカバーやレンズは樹脂ですので、有機溶剤やボディワックス、油膜取り剤、ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
・寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえないでください。
・高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。また、内部に水が入り、故障の原因となることがあります。
・スチーム洗車機は、高温の蒸気が噴出するタイプがあるため、絶対に使用しないでください。

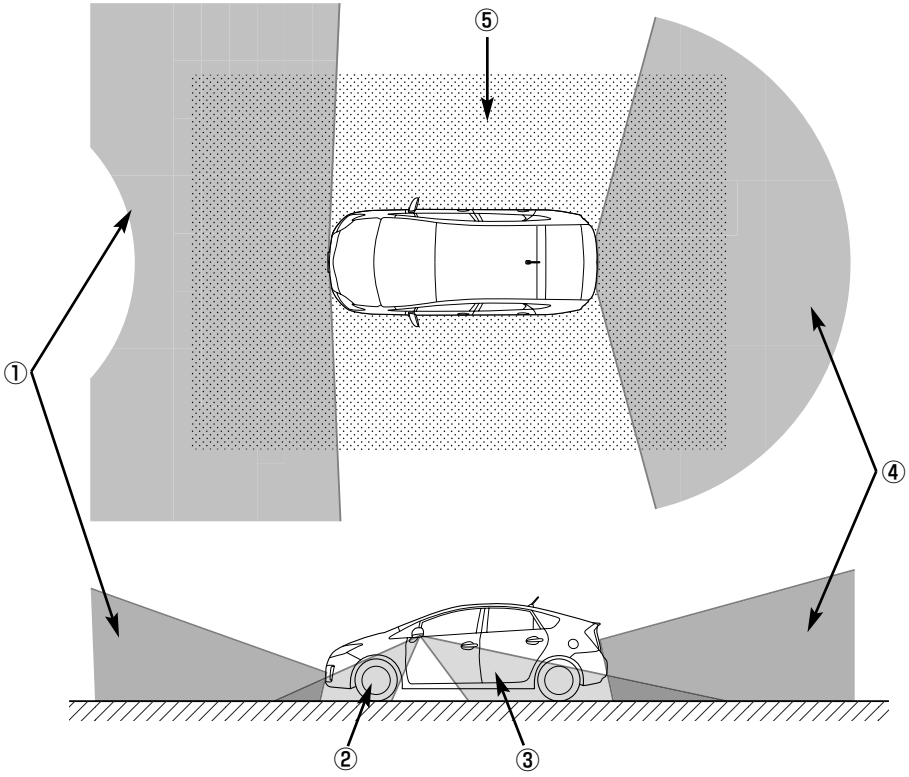
アドバイス

●カメラのレンズがよごれていると、鮮明な画像を映すことができません。水滴、雪、泥などのよごれが付着した場合、水洗いし、柔らかい布でふき取ります。よごれがひどい場合、中性洗剤で洗い流します。
●サイドカメラには夜間照明（赤外光照明）機能があり、夜間の視認性を確保するために赤外光を遮断しない構造になっています。そのため、昼間に太陽光に含まれる赤外光によって、画面の映像が実際の見え方と異なる場合があります。（例えば、映像の色が薄くなったり変色して見えるなどの現象が生じます。）

3 画面に映る範囲

各視点表示は、次の範囲を画面に映すことができます。

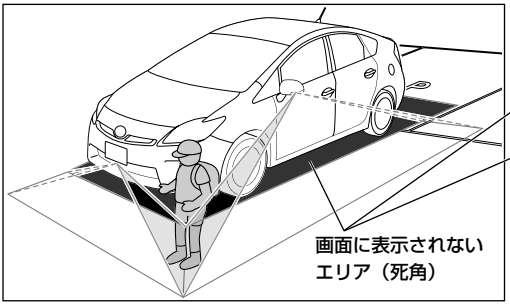
① 前方視点表示
② 前方左右視点表示
③ 後方左右視点表示
④ 後方視点表示
⑤ 全周囲視点表示



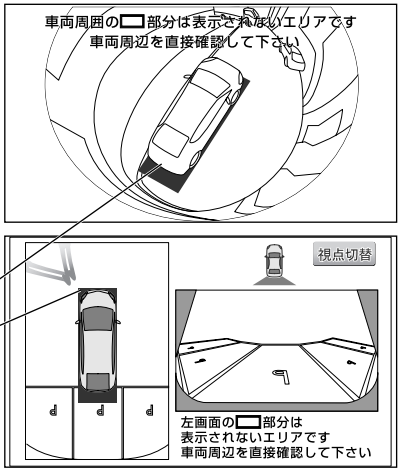
※ 上記は表示範囲を正確に示しているものではありません。

注意

●本機能は、車両に取り付けられた 4 つのカメラの映像を合成して擬似的に全周囲が見えるようにしています。次のマルチアングル全周囲モニターの特性をご理解のうえ使用してください。
·カメラ取付け位置より上部にある物体は映し出されません。
·車両を上から見た映像や後方から見た映像も映像処理により表現しているため、実際の映像と異なる場合があります。（例えば人物などの立体物が寝ているように映る、距離感が実際とは異なるなどの現象が生じます。）
·車両の四隅の映像は、人物などの立体物が二重に見えます。
·車両の四隅および車両付近に死角があり、画面に表示されないエリアがあります。（下図参照）
·画面に表示される車両は、コンピューター処理しているため、実際の車両と異なります。
·画面に表示される車両は、実際の形状より大きく表示されるため、車両付近の物体が車両と接触しているように見える場合があります。



カメラの特性



画面の見え方

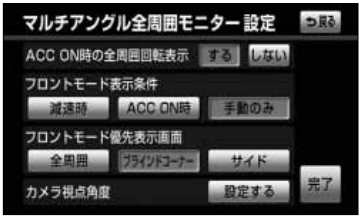
アドバイス

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
·夜間など、暗いところ。
·レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
·カメラに水滴がついたときや、湿度が高い雨天時などのとき。
·カメラ付近に泥などの異物がついたとき。
·太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
·バックライトやブレーキランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
●車両後方の映像を表示する場合、バンパー後端の見え方は車種により異なります。
●広範囲の映像を切り出し、引き伸ばして全周囲画像に処理しているため、画面モードによって部分的に解像度が落ちる場合があります。
●夜間のサイドカメラ映像は赤外光照明によって周辺を照らすため、昼間の色や明るさとは異なって見えることがあります。例えば赤外光を吸収しやすい物（水たまりなど）は黒く、反射しやすい物（植物の葉など）は白っぽく見えるなどの現象が生じます。

マルチアングル全周囲モニターの設定

「ACC ON時の全周囲回転表示」・「フロントモード表示条件」・「フロントモード優先表示画面」・「カメラ視点角度」の設定ができます。

(1) 設定・編集画面（運転支援）（P.2-1 参照）で 全周囲モニター設定 にタッチします。



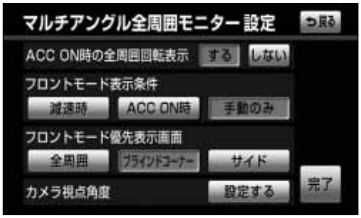
(2) マルチアングル全周囲モニター設定画面で、設定する項目にタッチします。

- ●ACC ON時の全周囲回転表示 P.8-82
- ●フロントモード表示条件 P.8-82
- ●フロントモード優先表示画面 P.8-83
- ●カメラ視点角度 P.8-84

(3) 全ての設定がよければ 完了 にタッチします。

■ACC ON時の全周囲回転表示

エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、オープニング画面が表示された後に自動で車両周辺の映像を回転表示するか、表示しないかを選ぶことができます。



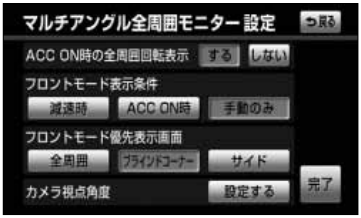
● 表示させたいときは、 する にタッチします。表示させたくないときは、 しない にタッチします。

アドバイス

●フロントモード表示条件を ACC ON時 に設定していると、エンジンスイッチをACC、またはON にするとオープニング画面が表示された後にフロントモードの画面が表示されるため、ACC ON 時の全周囲回転表示を設定することができません（P.8-82ページ参照）
●ドアミラーが閉じていると、ＡＣＣ ＯＮ時の全周囲回転表示を する に設定しても表示されません。

■フロントモード表示条件

フロントモードへの切り替え方を設定することができます。



● 減速時 、 ACC ON時 、 手動のみ （フロントモード表示条件）のいずれかにタッチします。

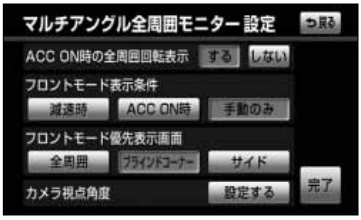
・ 減速時 にタッチすると車速が10km/h未満になったとき、フロントモードに切り替わります。

・ ACC ON時 にタッチするとエンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、フロントモードに切り替わります。もとの画面にもどった後（車速が12km/h以上）、再度減速しても自動で切り替わりません。

・ 手動のみ にタッチするとカメラ映像呼び出しボタンを押したとき、フロントモードに切り替わります。

■フロントモード優先表示画面

フロントモードに切り替えたときに、はじめに表示される画面を設定することができます。



- 全周囲 、 ブラインドコーナー 、 サイド （フロントモード優先表示画面）のいずれかにタッチします。
  - ・ 全周囲 にタッチすると全周囲＋前方表示画面が表示されます。
  - ・ ブラインドコーナー にタッチすると前方表示画面が表示されます。
  - ・ サイド にタッチすると前方左右表示画面が表示されます。

■カメラ視点角度

車両周辺の映像を回転表示させるときのカメラの視点角度を設定することができます。

視点角度 1

視点角度2

視点角度3

（1） 設定する にタッチします。

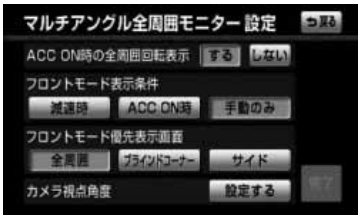
（2） 、または にタッチします。

●視点角度を3段階で設定することができます。

（3） 完了 にタッチします。

便利な使い方

駐車時などにチェンジレバーのⓇとⒹを連続して切り替える場合、次の設定をすると、画面の全周囲視点表示を固定して、前方視点表示と後方視点表示のみをチェンジレバーに連動して切り替えることができます。



(1) P.8-81の(2)の画面で、減速時（フロントモード表示条件）および全周囲（フロントモード優先表示画面）にタッチします。

(2) 完了にタッチします。

(3) チェンジレバーをⓇにします。

- 全周囲＋後方表示画面、後方表示画面（標準）、後方表示画面（ワイド）の中で、前回表示されていた画面が表示されます。

(4) 全周囲＋後方表示画面に切り替わるまで視点切替にタッチします。

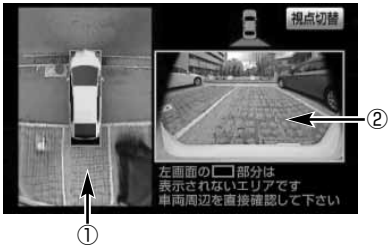
- チェンジレバーのⓇとⒹを切り替えるごとに、画面が切り替わります。

  ①全周囲視点表示

  ②後方視点表示

  ③前方視点表示

チェンジレバーをⓇにした場合



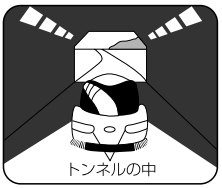
チェンジレバーをⒹにした場合

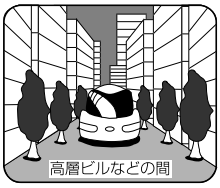
メモ

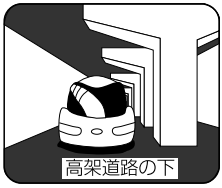
自車位置精度について

GPSを受信できない場所

GPS衛星からの電波は直進性が強いため、次のような場所では受信できないことがあります。



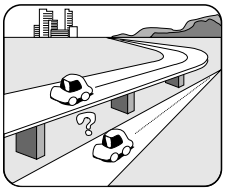




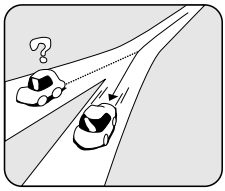
GPS衛星はアメリカの国防総省により管理されており、衛星自体が故意に位置精度を落とすことがあります。このようなときは、自車マークがズレることがあります。

本システムは、以下のような走行環境やGPS衛星の状態により自車マークが正しい位置を表示しないときがありますが、故障ではありません。また新設道路など地図データが実際の道路形状と異なっている道路を走行後、地図データ上の道路に戻ると自車マークがズレることがあります。

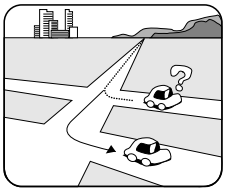
そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して現在位置を自動的に補正します。



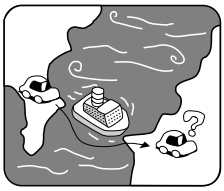
高速道路を走行しているのに、その側道に自車マークがのる場合があります。
また、その逆の場合もあります。



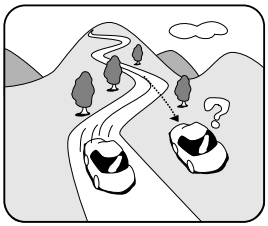
角度の小さなY字路を走行しているとき他方の道に自車マークがのる場合があります。



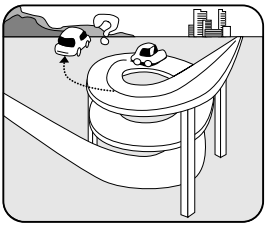
碁盤目状の道路を走行しているとき、隣の道路に自車マークがのる場合があります。



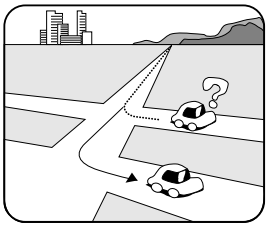
フェリー、車両運搬車などで移動したあと、GPSの受信ができない時、自車マークが移動前の位置になっている場合があります。



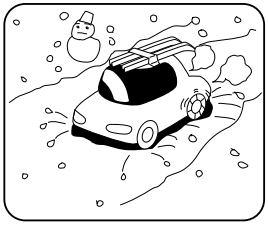
勾配の急な山岳などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



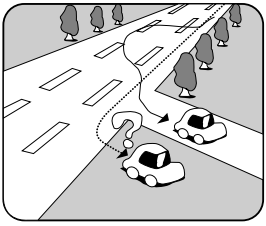
ら旋状の道路などを走行しているとき、自車マークがズレる場合があります。



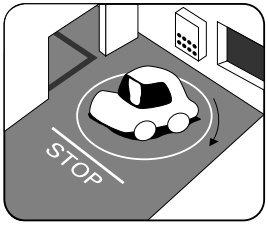
直線路を長い間走行したあとに、右左折した時、手前または先の道路に自車マークがのる場合があります。



雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行している時、自車マークがズレることがあります。
また、タイヤチェーンなどを装着して走行しているときも、自車マークがズレることがあります。



道幅の広い道路で蛇行運転すると、距離が合わなくなり、自車マークがズレることがあります。



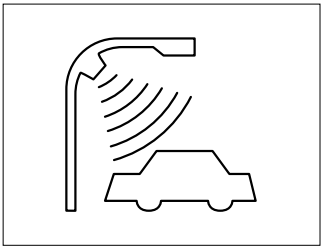
地下駐車場や立体駐車場で､ら旋状の道路を走行したあとや回転したあと一般道にでると、自車マークがズレる場合があります。
エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしている状態で、ターンテーブルなどでの旋回をおこなうと自車マークの向きが異なることがあります。

- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤ使用時に自車マークがズレることがあります。
- 実際の向きと自車マークの向きが異なった場合はGPS衛星による位置修正が行なわれると自動的に方位修正されます。
- 車庫入れ時の後退や、切り返しにより自車マークがズレることがあります。
- 坂道では、自車マークがズレることがあります。

*VICS*各メディアの特性・受信について

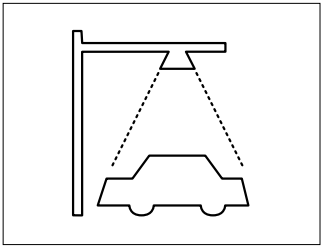
VICSはそれぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。

電波ビーコン



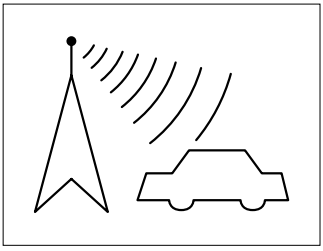
電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供をおこないます。

光ビーコン



光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンごとに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供をおこないます。
（現在地がズレている場合、光ビーコン受信後現在地が自動的に修正されます）

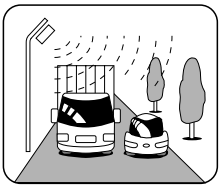
FM多重放送



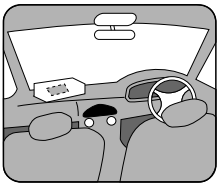
ＦＭ多重放送は、放送局からの電波が届く広い範囲の車両に情報の提供をおこないます。

電波ビーコンの受信について

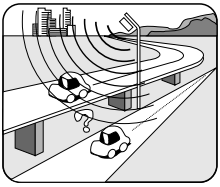
次のような状況では受信できないことや、誤って受信してしまう場合があります。



大型車と並走



アンテナの前に物を置く

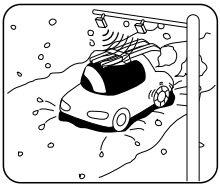


高速高架道路の下

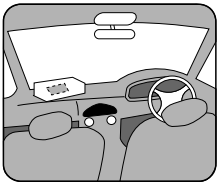
注：高速高架下の一般道を走行している場合に，高速道路の電波ビーコンを受信してしまう場合があります。

光ビーコンの受信について

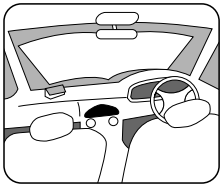
次のような状況では受信できないことがあります。



雪などの悪天候



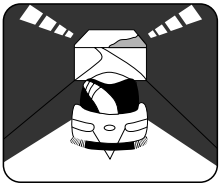
アンテナの前に物を置く



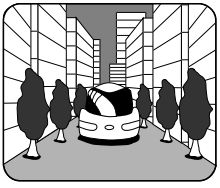
アンテナ受光部の汚れ
フロントガラスの汚れ

FM多重放送の受信について

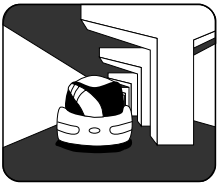
次のような場所では受信できないことがあります。



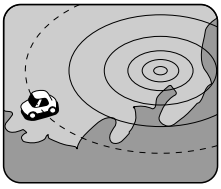
トンネルの中



密接するビルなどの間



高架道路の下



サービスエリア外

注：FM多重の場合、一定周期で情報が更新されますので揃うのに時間がかかる場合があります。（約 3 分程度）

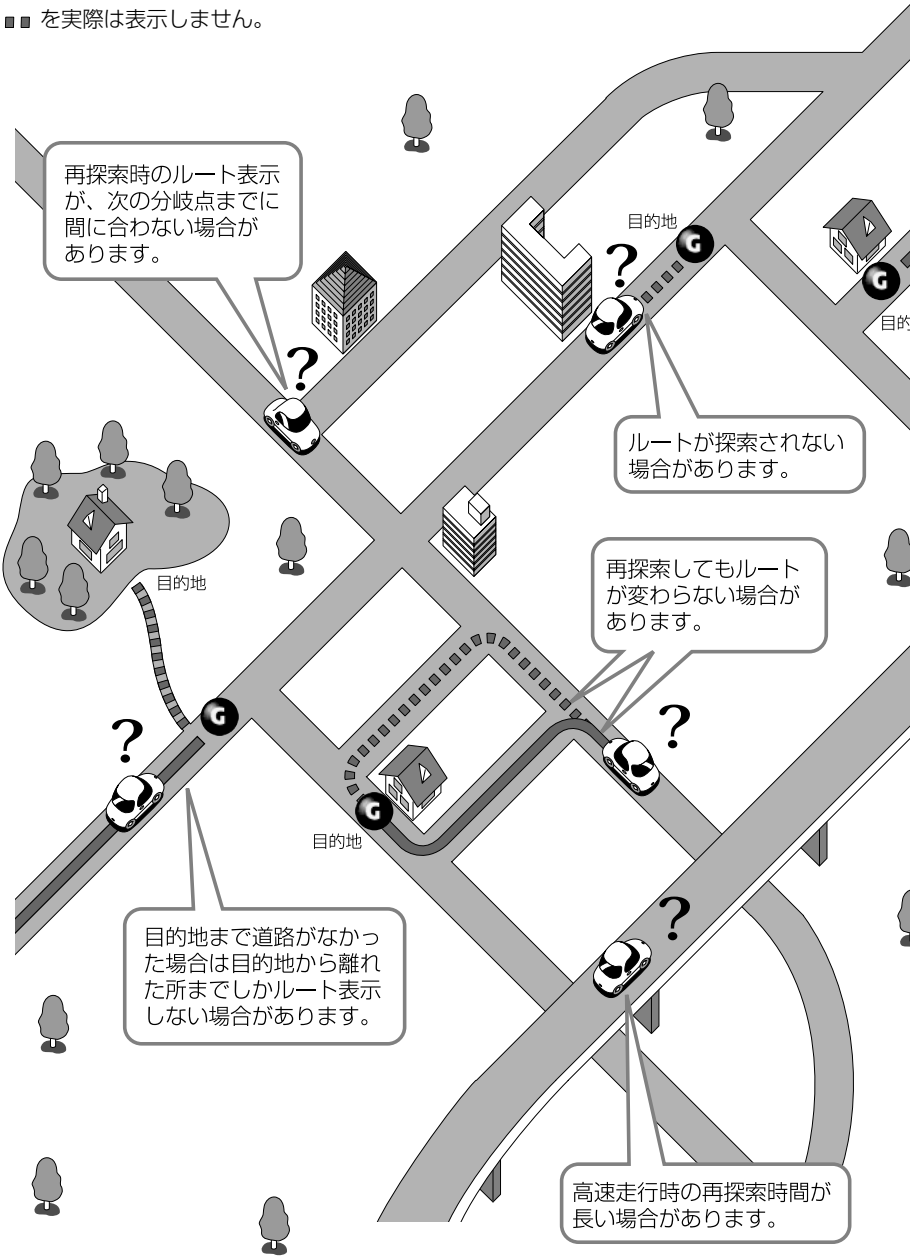
アドバイス

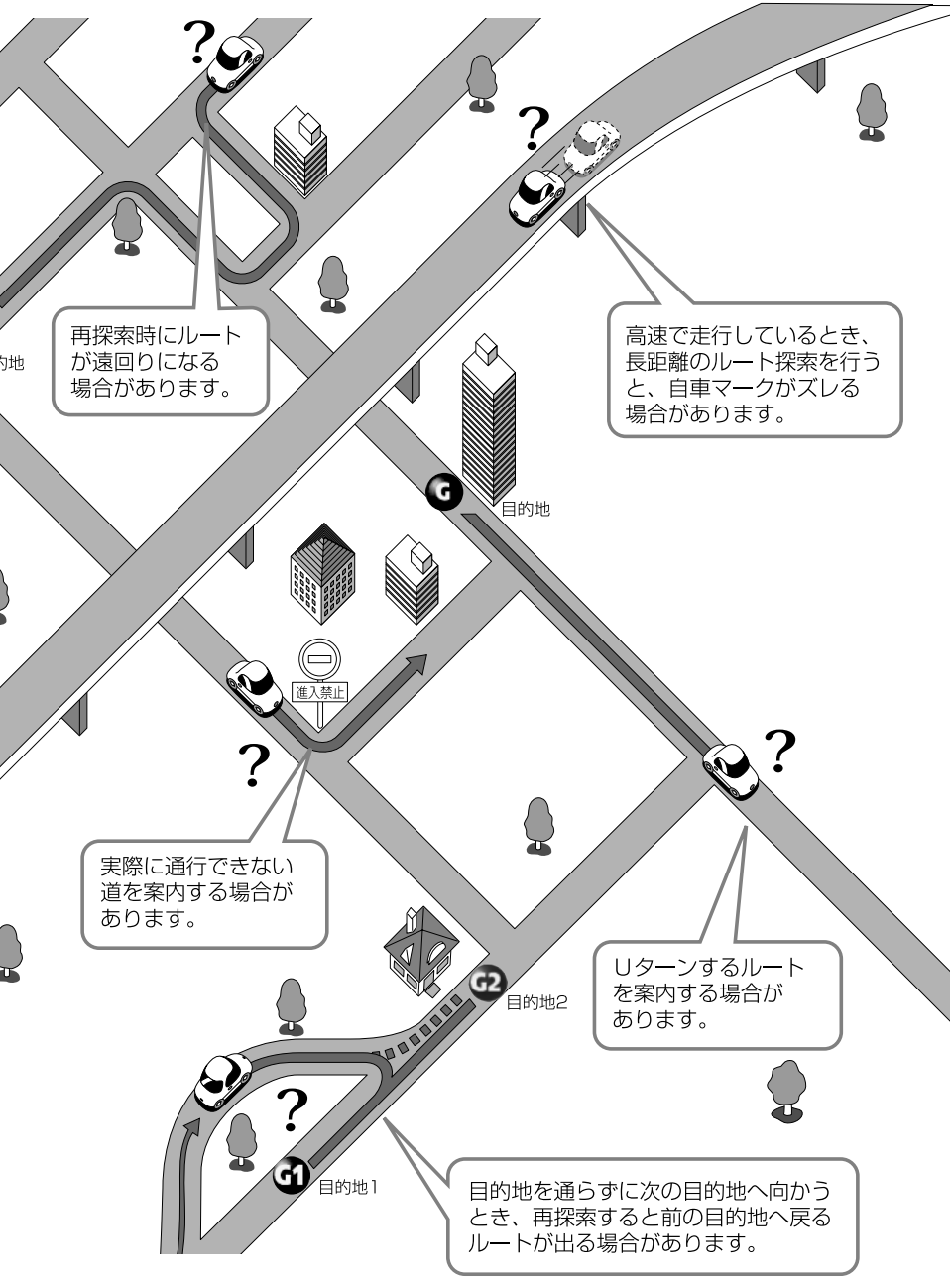
- 30分以上経過した古い情報は自動的に消去されますのでご注意ください。
- FM多重放送の電波が弱い地点では、VICS情報の取得に時間がかかる場合や、***VICS*** 情報が取得できない場合があります。

ルート探索について

●次の条件のような場合故障ではありません。

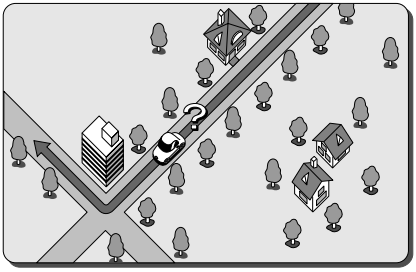
※ ■■■■ を実際は表示しません。



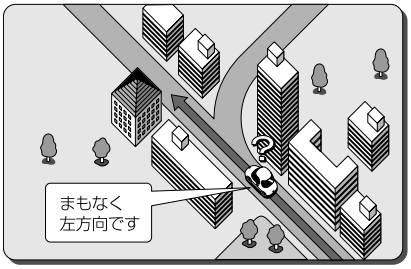

再探索時にルートが遠回りになる場合があります。
高速で走行しているとき、長距離のルート探索を行うと、自車マークがズレる場合があります。
G
目的地
進入禁止
実際に通行できない道を案内する場合があります。
Uターンするルートを案内する場合があります。
G2
目的地2
G1
目的地1
目的地を通らずに次の目的地へ向かうとき、再探索すると前の目的地へ戻るルートが出る場合があります。

ルート案内について

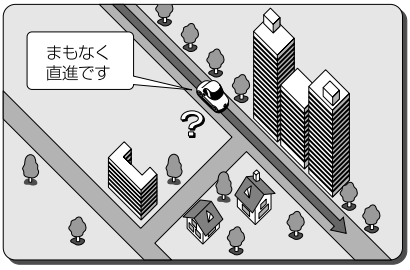
●次のような場合故障ではありません。



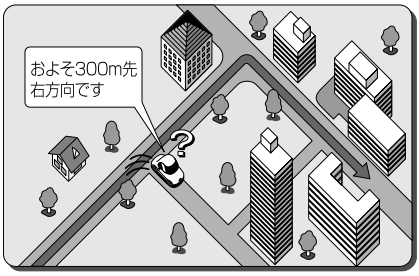
交差点で曲がるときに案内がされない場合があります。



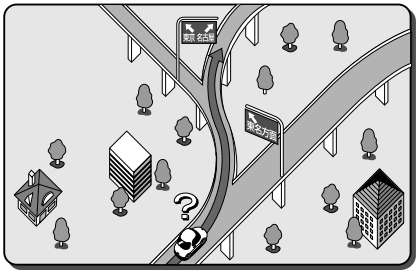
右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。



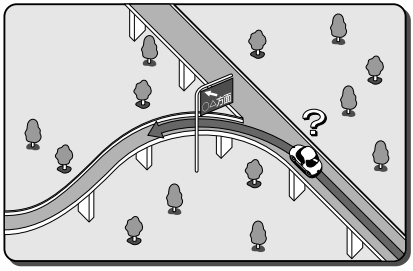
直線道路走行中に、直進案内がされる場合があります。



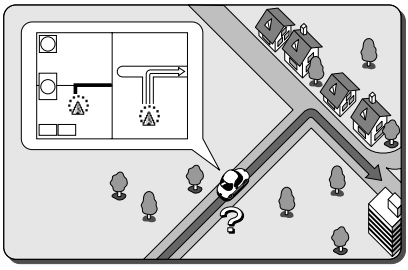
案内ルートを外れて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内がされる場合があります。



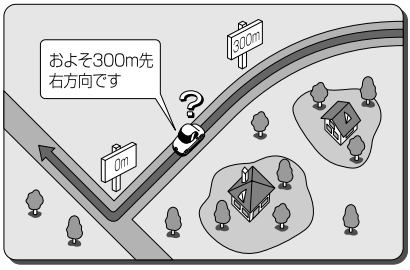
方面案内でいくつもの方面名を表示することがあります。



方面案内が表示されない高速道路・有料道路があります。



交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。



案内距離が多少ズレることがあります。

こんなメッセージが表示されたとき

ナビゲーション部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号入力で入力したデータが地図データに登録されておらず、地図表示ができない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号入力で入力したデータが地図データに登録されておらず、地図表示ができない場合	入力した番号に間違いがないか、ご確認ください。番号を再入力・検索しても地図が表示できない場合は、他の方法で地図を表示させてください。
ルートが探索できませんでした	案内できるルートがない場合	他に目的地を設定するか、あるいは地図を参考に走行してください。
新しいルートが探索できませんでした 前回のルートでご案内します	案内中のルート以外に適切なルートが見つからなかった場合	表示しているルートで走行していただくか、地図を参考にして走行してください。
自宅が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに自宅周辺で地図を表示しようとしたとき	自宅の登録を行ってからお使いください。
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が1ヶ所も登録されていないときに、メモリ地点から地図を表示しようとした場合	メモリ地点の登録を1ヶ所以上行ってからお使いください。
特別メモリ地点が登録されていません 設定・編集のメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ地点に目的地を設定しようとしたとき	特別メモリ地点の登録を行ってからお使いください。
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（ワンタッチメモリ地点登録のときを除く）	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（800mスケール図以下）で行ってください。
低温のため使用できません しばらくしてからお使い下さい	ハードディスク内の温度が異常に低い場合	本機が正常な動作をするまで、お待ちください。
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点を登録した数が500カ所※のときに、さらに登録しようとしたため	不要なメモリ地点を消去してから登録してください（P.4-57参照）。

※G-BOOK利用契約をしていないときは、メモリ地点数は400ヵ所になります。

VICS/FM多重部

メッセージ	メッセージが表示される場合	処置方法
ＶＩＣＳの文字（図形）情報を受信中です しばらくお待ち下さい	文字情報、図形情報のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
最新のＶＩＣＳ割込情報は ありません	割り込み情報を再表示しようとしたときに受信した割り込み情報がない場合	割り込み情報受信後、30分以内にご利用ください。
ＶＩＣＳの文字（図形）情報を受信していません ＶＩＣＳ選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していない場合	選局しなおして***VICS***の情報を受信してください（P.4-80参照）。
受信中です しばらくお待ち下さい	FM多重放送のメニューを受信中の場合	メニューの受信が完了するまでお待ちください。
FM多重放送を受信できません	選局したが、FM多重放送番組を一つも受信できなかった場合	受信感度の良い所に車を移動してからご利用ください。
この情報は停車中にご覧になれます	連動情報番組表示中に車が走行した場合	車を安全な所に停車させてからご利用ください。
ＶＩＣＳ・交通情報は1.6km図より広域の地図には表示されません	***VICS***表示中に1.6kmスケール図より広域の地図にしたため※	1.6kmスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください（P.2-9参照）。

※ナビ詳細設定の縮尺切替メッセージ表示を「する」にしているときに表示されます。

地図データベースについて

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部、または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の5万分の１地形図および2.5万分の１地形図を使用しました。

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の2.5万分の1地形図を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認　平15企指向第2号）

この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

この地図の作成に当たっては、財団法人 日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認　06-052T）

©2010 財団法人　日本デジタル道路地図協会
©アイシン・エィ・ダブリュ株式会社 & ZENRIN CO.,LTD &
株式会社トヨタマップマスター & 株式会社 昭文社

交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・標示などにしたがってください。

交通事故多発地点マークについて
この地図に使用している事故多発地点データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成してあります。

ボトルネック踏み切りデータについて
この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省のデータを参考に作成してあります。

道路交通情報データについて
道路交通情報データは、財団法人 日本道路交通情報センターから提供されます。データ作成には、財団法人 道路交通情報通信システムセンター（VICSセンター）の技術が用いられています。

統計交通情報について
統計交通情報データは、JARTIC/VICSおよび独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

本製品のデータ格納機能として、株式会社ACCESSのAVE-File(TM)を搭載しています。
Copyright© 2000-2004 ACCESS CO., LTD.

アドバイス

地図データの詳細につきましては、 の 地図更新 をご覧ください。

故障とお考えになる前に

本機が正常に作動しなくなった時は、下表にしたがって確認していただき、それでも作動しない時は、お買い上げの販売店にご相談ください。
万一異常（ヒューズ溶断など）が起こりましたら、必ずお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。ご自身でヒューズの取りかえや修理をされますと故障範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

症状	確認項目
ナビゲーションの画面が表示されない場合	ナビゲーション本体の電源が入っていますか？ ⇒正しく確実に接続されているかどうか確認してください。 画面がナビゲーションの映像に切り替わっていますか？ ⇒モードをナビゲーションに切り替えてください（P.1-14参照）。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）→ACCまたはONにしてください。
タッチスイッチやボタンを操作しても、画面が変わらない場合	画面の表示に時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。 解消されないときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）→ACCまたはONにしてください。
自車を移動させても地図がスクロールしない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると地図がスクロールします。
自車マークが表示されない場合	現在地画面になっていますか？ ⇒「基本編」を参照して、現在地表示にすると自車マークが表示されます。
GPSマークが表示されない場合	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？ ⇒GPSを受信できないような場所にいる場合は（P.9-1参照）、お車を移動してください。解消されない場合は、販売店へご相談ください。
案内音声が出力されない場合	案内中になっていますか？ ⇒「応用編」を参照して、案内中にしてください。 音量が消音（OFF）になっていませんか？ ⇒「応用編」を参照して、聞きやすい音量に設定してください。
地図をタッチしてそのまま押し続けても、連続して地図がスクロールしない場合	走行中に地図をタッチしていませんか？ ⇒走行中は安全のため、連続操作はできません。停車してお使いください。
地図をタッチしても地図がスクロールしない場合	地図をタッチした時に、地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。 故障ではありませんので、地図をタッチしたまま、しばらくお待ちください。

症状	確認項目
地図をタッチして、地図スクロール中に途中で地図が止まる場合	スクロール中に地図データの読み込みが発生すると、地図データの読み込みが完了するまでの間、しばらくスクロールが停止します。 故障ではありませんので、そのままご使用ください。
リストの中に目的の名称がない場合	リストをページごとに飛ばして動かしていませんか？ ⇒「基本編」を参照して、1項目ずつ動かしてください。
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある場合	故障ではありませんので安心してご使用ください。 ⇒液晶特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。
エンジンスイッチをACCまたはONにした後しばらく画面にムラがある、または画面が暗い場合	**寒冷時、液晶のバックライトの特性上、光ムラが発生することもあります。エンジンスイッチをACCまたはONにして温度が上がるまでしばらくお待ちください。**
画面がみにくい場合	画面の明るさ、コントラスト調整は適正ですか？ ⇒P.1-21を参照して明るさ、コントラストを調整してください。 ディスプレイの角度調整は適正ですか？ ⇒P.1-13を参照して画面の向きを見やすい位置にしてください。
SDメモリーカードがSDスロットから取り出せない場合	SDメモリーカードを押さずに取り出そうとしていませんか？ ⇒SDメモリーカードを押して取り出してください。
ディスクを取り出せない場合	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
SDメモリーカードがSDスロットに差し込めない場合	SDメモリーカードの差し込み方向は正しいですか？ ⇒SDメモリーカードの差し込み方向を確認して正しい方向で差し込んでください。 SDスロット内に異物が混入していませんか？ ⇒SDスロット内に異物が混入していないか確認してください。
ディスクを差し込めない場合	車の電源スイッチは入っていますか？ ⇒エンジンスイッチをACCまたはONにしてください。
片側のスピーカーしか音が出ない場合	音量の調節は正しいですか？ ⇒左右音量調節をして確認してください。

アフターサービスについて

1．保証

1） トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場でトヨタ車にお取付けして製造上の不具合が発生した場合、下記に示す期間と条件に従ってこれを無償修理いたします。無償修理は部品の交換あるいは補修により行います。また取り外した不具合部品はトヨタの所有となります。

2） 無償修理を受けられる期間は、商品をトヨタ車にお取付けした日をご使用開始日として起算し3か年間とします。ただし、その期間内でも走行距離が60,000kmまでとします。無償修理をお受けになる場合はトヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場へ自動車に取付けた状態でお持ちください。

3） 保証期間内でも下記に起因する不具合は無償修理いたしません。
①トヨタの販売店、又はトヨタ指定サービス工場以外でのお取付け、修理及びトヨタが認めていない改造など
②取扱書に示す取扱方法と異なる使用および不適切な保管等および、地震、台風、水害など天災並びに事故、火災

4） 次に示すものの費用は負担いたしません。
①消耗部品および油脂類など（ベルト、ヒューズ各種電球など）
②商品を使用できなかった事による不便さおよび損失など

5） 無償修理の継承として期間が残っているものは無償修理をいたしますが点検および取り外し、取付け費用は有料となります。

6） この無償修理は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

7） 無償修理期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げの販売店までお問い合わせください。

8） 商品の上蓋又は底蓋に貼ってあるシール（モデルNo. シリアルNo. 明記）の剥がれたものについては無償修理いたしません。

2．補修用性能部品の最低保有期間

このHDDナビゲーションの補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）は、製造打ち切り後、最低6年間保有しております。

アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

仕様

●ディスプレイ

液晶パネル	：7V型低反射タッチパネル
画面寸法	：156.6 mm×180 mm×82.4 mm（幅×対角×高さ）
ドット数	：115万2000ドット（縦480×横800×3）
有効画素数	：99.99 %
表示方式	：透過型カラーフィルタ方式
駆動方式	：TFT（薄膜トランジスター）アクティブマトリクス方式
タッチパネル	：抵抗膜式タッチパネル

●ラジオ・チューナー部

受信周波数範囲	：AM 522 kHz～1629 kHz FM 76.0 MHz～90.0 MHz
実用感度	：AM 25 dB（μV） FM 8 dB（μV）
信号対雑音比	：AM 42 dB（30 kHzL.P.F.使用） FM 55 dB（30 kHzL.P.F.使用）

●デジタルテレビチューナー部

受信可能放送	：地上デジタル放送
受信周波数	：470～770 MHz（UHF13～62チャンネル）
入力信号レベル	：－75 dBm～－20 dBm
入力インピーダンス	：50 Ω
アンテナコネクタ	：4 ch（フロント×4）

●CD部

信号雑音比	：70 dB（IHF-A使用）
全高調波歪率	：0.08 %（IHF-A使用、1 kHz）
周波数特性	：20 Hz～20 kHz（－3 dB）

●サウンドライブラリ・SD AUDIO部

信号雑音比	：70 dB（IHF-A使用）
全高調波歪率	：0.3 %（IHF-A使用、1 kHz）
チャンネル数	：ステレオ／2 ch
周波数特性（サウンドライブラリ部）	：20 Hz～16.5 kHz（−3 dB）
周波数特性（SD AUDIO部）	：20 Hz～20 kHz（−3 dB）

●共通部

外形寸法	：205.5 mm×104 mm×186.3 mm（幅×高さ×奥行き）
質量（型番：NHZN-W60G）	：3020 g
供給電源電圧	：DC 12 V（試験電圧14.4 V）㊀アース
消費電流	：4 A以下（電源電圧13.2 V、FMモード定格出力時）
動作温度	：−20 ℃～+55 ℃
最大出力	：43 W×4 ch
定格出力	：18 W×4 ch（10 %T.H.D）
適合スピーカーインピーダンス	：4 Ω

●HDD（ハードディスク）部

使用温度範囲	：−20 ℃～+60 ℃

製品の仕様および外観などの変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

用語さくいん

【あ行】
安全・快適走行設定 …… 4-30
案内再開 …… 3-26
案内中止 …… 3-26
一時停止案内 …… 4-30
一般優先 …… 2-32
迂回メモリ …… 4-58
液晶AI …… 1-21
オープニング画面 …… 1-23
音声操作システム …… 7-1
音声付き …… 4-48
音量設定 …… 3-27
オンルートスクロール …… 3-22
【か行】
カーブ案内 …… 4-31
学校存在案内 …… 4-32
画面の調整 …… 1-20
カレンダー …… 6-10
季節規制メッセージ …… 2-27,4-21
季節規制回避 …… 2-27
距離補正 …… 5-2,5-3
距離優先 …… 2-32
携帯連携 …… 3-46,4-67
県境案内 …… 4-15
現在地画面 …… 2-6
交差点拡大図 …… 2-35,4-12
高速時の自動音量切替 …… 3-27
高速分岐模式図 …… 2-37,4-12
高速略図 …… 2-20
高速路線マップ …… 2-23,4-13
交通事故多発地点案内 …… 4-32
交通状況学習結果 …… 4-21
合流案内 …… 4-31
個人情報消去 …… 1-26
【さ行】
細街路での音声案内 …… 4-18
再探索 …… 3-8,3-14,3-17
サイドモニター …… 8-62
シーズンレジャーランドマーク …… 4-11
市街図 …… 2-17
事故多発地点案内 …… 4-32
自車マーク …… 2-6,4-7
施設ランドマーク …… 4-37
自宅に帰る …… 2-29
自宅の登録 …… 4-55
自動音声案内 …… 4-18
自動再探索 …… 4-20
自動補正 …… 5-2
使用データ …… 5-8
車両情報設定 …… 4-25
渋滞考慮探索 …… 4-22,4-85,8-2
周辺迂回 …… 3-18
周辺施設 …… 4-9,4-24,4-37,4-41
周辺施設走行中呼出ジャンル …… 4-24
乗降ＩＣ …… 2-31,3-15
新旧ルート比較表示 …… 4-22,4-86,8-3
推奨 …… 2-32
スケール表示 …… 2-9
セキュリティ機能 …… 1-28
全ルート …… 2-31,2-34
走行軌跡 …… 3-25
操作説明音声 …… 4-19
側道案内拡大図 …… 2-36
【た行】
ターンリスト …… 2-40,4-13
タッチスイッチ …… 1-12,2-6
他モード時の案内 …… 4-18
地図画面 …… 2-6
地図スクロール時の地名表示 …… 2-8,4-11
地図の縮尺 …… 2-9
地点を受信 …… 3-46,4-67
駐車場マップ …… 2-19,4-14
通過道路 …… 3-10
提携駐車場 …… 3-30
デモ …… 3-21,6-3
電源 …… 1-10
電波ビーコン …… 4-70,9-3

統計データ情報 …… 4-83
到着予想時刻 …… 2-20,2-31,2-33,4-16
特別メモリ地点 …… 2-30,3-48,4-55
時計表示 …… 2-6,4-27
都市高マップ …… 2-41,4-13
【な行】
ナビ補正 …… 4-28,5-1
ノースアップ …… 2-12
【は行】
ハートフル音声 …… 4-19
バックガイドモニター…… 8-9
バックモニター …… 8-57
販売店 …… 4-95
光ビーコン …… 4-70,9-3
ビジュアルシティマップ表示…… 4-8
昼画表示 …… 1-20
ヒント…… 2-5
踏切案内 …… 4-31
ブラインドコーナーモニター …… 8-62
フロントワイド…… 4-4,4-5
平均車速 ……4-16
別ルート …… 2-32
ヘディングアップ …… 2-12
方位マーク …… 2-6,2-12
方面名称 …… 2-37
【ま行】
マップオンデマンド（差分更新） ……5-4
マップコード …… 3-44
マルチアングル全周囲モニター …… 8-70
マルチビューバックガイドモニター …… 8-49
右画面 …… 2-16,4-3
メモリ地点 …… 3-40,4-44
メンテナンス …… 4-87
モーターアンテナ車 …… 4-25
目的地 …… 2-26
目的地設定画面 …… 2-28
目的地メニューカスタマイズ …… 4-24,4-33
目的地履歴 …… 4-26
【や行】
有料優先 …… 2-32
ユーザカスタマイズ …… 4-29,4-33
夜画表示 …… 1-20
【ら行】
履歴 …… 3-45
リアル市街図 …… 2-17
立体交差点拡大図 …… 2-36
立体ランドマーク表示 …… 4-10
料金案内 …… 2-36,4-15
料金所レーン案内 ……2-38,4-15
ルート案内 …… 2-24,3-26,9-7
ルート学習 ……4-20
ルート情報画面 …… 3-20
ルート探索 …… 2-26,9-5
ルート方向アップ ……4-6
レーン警告 ……4-32
レーンリスト …… 2-39,4-12
【わ】
割込情報 …… 4-79,8-1
【アルファベット/数字】
ETC …… 8-5
FM図形 …… 4-78
FM多重 …… 6-4
FM文字 …… 4-77
GPSマーク …… 2-6
QUICK SETUP（初期設定サポート）
……1-16,4-29
TILT…… 1-13
VICS …… 4-70,8-1,9-3
VICS渋滞・規制音声自動発声……4-17
VICSタイムスタンプ …… 4-73
2画面 …… 2-15
2Dツイン …… 2-15
3D交差点拡大図 …… 4-16
3D高速分岐案内 …… 2-37
3Dツイン …… 2-13,2-15
5ルート …… 2-31

凡例

表示 ① …ビジュアルシティマップ画面
表示 ② …通常地図画面

表示 ①	表示 ②	内容
		高速・都市高・有料道路
		国道
		主要道
		県道
		その他の道路（巾 5.5m 以上）
		その他の道路（巾 3.0m 以上）
		トンネルまたは整備計画区間 （上記各道路で表示あり）
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		踏切
		ボトルネック踏切※
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京 23 区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
		インターチェンジ
		スマートインターチェンジ
		サービスエリア
		パーキングエリア
		信号機
		駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル
		港湾
		空港・飛行場

表示 ①	表示 ②	内容
		学校
		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設
		トヨタ販売店・共販店
		ネッツ店
		ダイハツ販売店
		トヨタ L&F

※ 列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。
表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

情報の保持について

お車から本機やバッテリーを取りはずした場合、一部（下記表）を除き、本機に保存されている情報（設定）が初期化（消去）されます。お車の点検やバッテリーの交換、地図データの全更新を行う際は、ご注意ください。

●初期化されない情報

項目	内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点（自宅を含む）
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	設定された目的地履歴
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
放送局プリセットメモリー	プリセットメモリーされたテレビ放送局
HDDオーディオデータ	プレイリストデータや音楽データ
Gracenoteメディアデータベース更新データ	バージョンアップしたデータ、バージョンアップ履歴
電話帳	登録した電話帳データ
ワンタッチダイヤル	設定したワンタッチダイヤル
発信／着信履歴	記憶された発信／着信履歴
バックガイドモニター※	バッグガイドモニターの設定

※「このナビを以前使用されていた車から新しい車へのせかえされましたか？」のメッセージに「いいえ」を選択したとき（P.8-46参照）。

アドバイス

一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。ご注意ください。

メモ